
埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書 第120集

下郷遺跡 IV

— 北通り線建設工事に伴う発掘調査IV —

2010.12

深谷市教育委員会

埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書 第120集

しも ごう い せき
下 郷 遺 跡 IV

—北通り線建設工事に伴う発掘調査IV —

2010.12

深谷市教育委員会

序

下郷遺跡は、古代幡羅郡役所（幡羅遺跡）の周辺集落です。その重要性が高く評価されている幡羅遺跡と密接に関係しており、郡役所を支えていた集落の跡といえます。非常に大規模な集落で、確認される遺構の多さや遺物の多様性などから、一般の集落との大きな違いを感じることができます。古代郡役所の実態、更には古代社会を考える上で、重要な遺跡であるといえます。

今回の調査報告書は、北通り線建設に伴う下郷遺跡第6次発掘調査の主な部分の成果についてまとめたものです。この成果を広く市民の皆様に紹介することで、日本の歴史の中に息づく地域の歴史や文化について、ご理解を深めていただきたいと存じます。また、この報告書が学術研究はもとより、学校教育、社会教育などの生涯学習活動を通じて、皆様が歴史を考えるための資料として役立てば、望外の喜びです。

今回の発掘調査および報告書作成にあたり、深いご理解とご協力をいただきました関係者の皆様に、心から感謝を申し上げまして序にかえます。

平成22年12月

深谷市教育委員会
教育長 小柳光春

例　　言

1. 本書は、埼玉県深谷市東方字北下郷2736における都市計画道路「北通り線」の建設工事に伴う下郷遺跡発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、深谷市教育委員会が主体となり、調査費用については深谷市が負担した。
3. 今回報告するのは、平成17年度に行った第6次調査の一部についてである。発掘調査期間は、平成17年8月11日～平成18年2月28日である。
4. 第6次調査は青木克尚の管理のもと、永井智教（現鳩山町教育委員会）が担当した。整理作業は永井・知久裕昭が担当し、報告書の執筆は知久が行なった。
5. 基準点測量及び造構測量、遺物実測の一部は、技研測量設計株式会社に委託した。
6. 出土遺物は、深谷市教育委員会が保管している。
7. 発掘調査から報告書作成に至るまで、次の諸氏のご指導・ご協力を賜った。記して謝意を表したい。

文化庁　埼玉県生涯学習文化財課

| | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|
| 赤熊浩一 | 浅野晴樹 | 新井 端 | 荒井秀規 | 板橋正幸 | 出浦 崇 | 出縄康行 |
| 井上尚明 | 今井 宏 | 江口 桂 | 大橋泰夫 | 大谷 徹 | 河合英夫 | 書上元博 |
| 金子正之 | 神谷佳明 | 川口武彦 | 川原秀夫 | 木戸春夫 | 木下 良 | 木本雅康 |
| 栗岡真理子 | 古池晋禄 | 河野喜映 | 小林 高 | 小宮 豪 | 小宮俊久 | 齋藤直美 |
| 齋藤欣延 | 酒井清治 | 坂井秀弥 | 坂爪久純 | 坂本和俊 | 酒寄雅志 | 佐藤康二 |
| 佐藤 信 | 寺社下博 | 篠原英政 | 末木啓介 | 菅谷浩之 | 鈴木靖民 | 須田 勉 |
| 田尾誠敏 | 高島英之 | 高橋一夫 | 竹野谷俊夫 | 田中広明 | 田中弘志 | 辻 史郎 |
| 富田和夫 | 鳥羽政之 | 中島広顕 | 中島 宏 | 中村太一 | 補宜田佳男 | 根本 靖 |
| 原 京子 | 坂野和信 | 平野 修 | 昼間孝志 | 深谷 昇 | 藤木 海 | 前澤和之 |
| 松田 哲 | 松本太郎 | 水口由紀子 | 宮瀧交二 | 村木志伸 | 村田晃一 | 室伏 徹 |
| 山路直充 | 山中敏史 | 吉野 健 | 渡辺 一 | (敬称略) | | |

凡　例

1. 図面中的方位は、全て国家方眼座標の北を表示している。
2. 遺物の実測図は、須恵器の断面を黒塗りで表現した。また、軸のかかる範囲や赤彩部分については、適宜スクリーントーンで表した。
3. 遺物観察表の記載は、以下の通りである。
 - ・計測値の単位はcmである。
 - ・器径、器高で（ ）を付したものは推定値である。
 - ・種別は土師器をH、須恵器をS、ロクロ土師器をR、灰釉陶器をKとした。
 - ・胎土は、肉眼で確認できた範囲での含有物を、以下のアルファベットで表した。
A…白色粒子、B…赤色粒子、C…黒色粒子、D…石英、E…角閃石、F…片岩
G…白色針状物質、H…砂礫、I…雲母
4. 遺構の略号は、次の通りである。
竪穴建物跡…S J、建物跡…S B、溝…S D、土坑…S K
5. 遺構・遺物実測図の縮尺は、適宜スケールで示した。

発掘調査の組織

第6次発掘調査（平成17年度）

| | | | |
|-------|---------------|---------|-------|
| 調査主体者 | 深谷市教育委員会 | 教育長 | 青木 秀夫 |
| | | 教育次長 | 古川 国康 |
| | | 次 長 | 大澤 芳正 |
| 事務局 | 深谷市教育委員会生涯学習課 | 課 長 | 山口 清 |
| | | 主幹兼課長補佐 | 澤出 晃越 |
| | | 課長補佐 | 猪野塚 昇 |
| | | | 原 常博 |
| | | 文化財保護係長 | 青木 克尚 |
| | | 主 任 | 畠元 直大 |
| | | | 荻野 直美 |
| | | | 知久 裕昭 |
| | | 臨時職員 | 永井 智教 |

報告書刊行（平成22年度）

| | | | |
|-------|---------------|---------|-------|
| 調査主体者 | 深谷市教育委員会 | 教育長 | 小柳 光春 |
| | | 教育次長 | 塚原 寛治 |
| | | 次 長 | 澤出 晃越 |
| 事務局 | 深谷市教育委員会生涯学習課 | 課 長 | 小林 篤 |
| | | 課長補佐 | 吉場 厚仁 |
| | | 文化財保護係長 | 村松 篤 |
| | | 主 査 | 宮本 直樹 |
| | | | 知久 裕昭 |
| | | 主 任 | 荻野 直美 |
| | | 主 事 | 幾島 審 |
| | | | 飯島 岐輔 |

目 次

序

例言

凡例

発掘調査の組織

| | | |
|-----|-----------|-----|
| I | 発掘調査の経過 | 1 |
| 1 | 発掘調査に至る経過 | 1 |
| 2 | 発掘調査の経過 | 1 |
| II | 遺跡の環境 | 2 |
| 1 | 地理的環境 | 2 |
| 2 | 歴史的環境 | 3 |
| III | 遺構と遺物 | 12 |
| 1 | 概要 | 12 |
| 2 | 堅穴建物跡 | 12 |
| 3 | 掘立柱建物跡 | 105 |
| 4 | 土坑 | 113 |
| IV | 調査のまとめ | 142 |

報告書抄録

挿図目次

| | | | |
|----------------------------|----|-----------------------------|----|
| 第1図 埼玉県の地形図 | 2 | 第30図 第5号竪穴建物跡出土遺物（2） | 35 |
| 第2図 下郷遺跡及び周辺の遺跡分布図 | 4 | 第31図 第6号竪穴建物跡（1） | 37 |
| 第3図 幡羅・下郷遺跡の範囲と周辺遺跡 | 5 | 第32図 第6号竪穴建物跡（2） | 38 |
| 第4図 幡羅・下郷遺跡全体測量図 | 6 | 第33図 第6号竪穴建物跡（3） | 39 |
| 第5図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図（1） | 7 | 第34図 第6号竪穴建物跡出土遺物（1） | 40 |
| 第6図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図（2） | 8 | 第35図 第6号竪穴建物跡出土遺物（2） | 41 |
| 第7図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図（3） | 9 | 第36図 第6号竪穴建物跡出土遺物（3） | 42 |
| 第8図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図（4） | 10 | 第37図 第6号竪穴建物跡出土遺物（4） | 43 |
| 第9図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図（5） | 11 | 第38図 第7・8号竪穴建物跡 | 45 |
| 第10図 第1号竪穴建物跡 | 13 | 第39図 第7・8号竪穴建物跡掘方 | 46 |
| 第11図 第1号竪穴建物跡出土遺物 | 14 | 第40図 第8号竪穴建物跡出土遺物 | 47 |
| 第12図 第2号竪穴建物跡 | 14 | 第41図 第9号竪穴建物跡 | 48 |
| 第13図 第2号竪穴建物跡出土遺物 | 15 | 第42図 第9号竪穴建物跡掘方 | 49 |
| 第14図 第3号竪穴建物跡 | 16 | 第43図 第9号竪穴建物跡遺物出土状況、 カマド | 50 |
| 第15図 第3号竪穴建物跡カマド | 17 | 第44図 第9号竪穴建物跡出土遺物（1） | 51 |
| 第16図 第3号竪穴建物跡出土遺物 | 18 | 第45図 第9号竪穴建物跡出土遺物（2） | 52 |
| 第17図 第4号竪穴建物跡 | 20 | 第46図 第9号竪穴建物跡出土遺物（3） | 53 |
| 第18図 第4号竪穴建物跡掘方 | 21 | 第47図 第9号竪穴建物跡出土遺物（4） | 54 |
| 第19図 第4号竪穴建物跡土層断面 | 22 | 第48図 第9号竪穴建物跡出土遺物（5） | 55 |
| 第20図 第4号竪穴建物跡カマド（1） | 23 | 第49図 第9号竪穴建物跡出土遺物（6） | 56 |
| 第21図 第4号竪穴建物跡カマド（2） | 24 | 第50図 第9号竪穴建物跡出土遺物（7） | 57 |
| 第22図 第4号竪穴建物跡出土遺物（1） | 25 | 第51図 第10号竪穴建物跡 | 62 |
| 第23図 第4号竪穴建物跡出土遺物（2） | 26 | 第52図 第10号竪穴建物跡掘方 | 63 |
| 第24図 第4号竪穴建物跡出土遺物（3） | 27 | 第53図 第10号竪穴建物跡出土遺物 | 63 |
| 第25図 第4号竪穴建物跡出土遺物（4） | 28 | 第54図 第11号竪穴建物跡（1） | 64 |
| 第26図 第4号竪穴建物跡出土遺物（5） | 29 | 第55図 第11号竪穴建物跡（2） | 65 |
| 第27図 第5号竪穴建物跡 | 32 | 第56図 第11号竪穴建物跡カマド | 66 |
| 第28図 第5号竪穴建物跡掘方 | 33 | 第57図 第11号竪穴建物跡出土遺物（1） | 67 |
| 第29図 第5号竪穴建物跡出土遺物（1） | 34 | 第58図 第11号竪穴建物跡出土遺物（2） | 68 |
| | | 第59図 第12号竪穴建物跡 | 70 |
| | | 第60図 第12号竪穴建物跡掘方 | 71 |
| | | 第61図 第12号竪穴建物跡カマド | 72 |
| | | 第62図 第12号竪穴建物跡出土遺物（1） | 73 |

| | | | | | |
|------|--------------------|-----|-------|------------------|-----|
| 第63図 | 第12号竪穴建物跡出土遺物（2） | 74 | 第99図 | 第1号掘立柱建物跡土層断面（3） | 109 |
| 第64図 | 第12号竪穴建物跡出土遺物（3） | 75 | 第100図 | 第2号掘立柱建物跡 | 110 |
| 第65図 | 第13号竪穴建物跡 | 76 | 第101図 | 第2号掘立柱建物跡土層断面 | 111 |
| 第66図 | 第13号竪穴建物跡出土遺物 | 76 | 第102図 | 第3号掘立柱建物跡 | 112 |
| 第67図 | 第14号竪穴建物跡 | 77 | 第103図 | 第4号掘立柱建物跡 | 113 |
| 第68図 | 第14号竪穴建物跡掘方 | 78 | 第104図 | 第4号掘立柱建物跡土層断面 | 114 |
| 第69図 | 第14号竪穴建物跡カマド | 79 | 第105図 | 第5号掘立柱建物跡 | 115 |
| 第70図 | 第14号竪穴建物跡出土遺物（1） | 80 | 第106図 | 第5号掘立柱建物跡土層断面 | 116 |
| 第71図 | 第14号竪穴建物跡出土遺物（2） | 81 | 第107図 | 第6号掘立柱建物跡 | 117 |
| 第72図 | 第14号竪穴建物跡出土遺物（3） | 82 | 第108図 | 第1号掘立柱建物跡出土遺物 | 118 |
| 第73図 | 第15号竪穴建物跡 | 83 | 第109図 | 第2号掘立柱建物跡出土遺物 | 118 |
| 第74図 | 第15号竪穴建物跡カマド | 84 | 第110図 | 第3号掘立柱建物跡出土遺物 | 119 |
| 第75図 | 第15号竪穴建物跡出土遺物（1） | 85 | 第111図 | 第5号掘立柱建物跡出土遺物 | 119 |
| 第76図 | 第15号竪穴建物跡出土遺物（2） | 86 | 第112図 | 第6号掘立柱建物跡出土遺物 | 120 |
| 第77図 | 第15号竪穴建物跡出土遺物（3） | 87 | 第113図 | 第1～4号土坑 | 121 |
| 第78図 | 第16・17号竪穴建物跡 | 89 | 第114図 | 第5・6号土坑 | 122 |
| 第79図 | 第16・17号竪穴建物跡掘方 | 90 | 第115図 | 第7～9号土坑 | 123 |
| 第80図 | 第18号竪穴建物跡 | 91 | 第116図 | 第10～12号土坑 | 124 |
| 第81図 | 第16号竪穴建物跡出土遺物（1） | 92 | 第117図 | 第13～17号土坑 | 125 |
| 第82図 | 第16号竪穴建物跡出土遺物（2） | 93 | 第118図 | 第18～20号土坑 | 126 |
| 第83図 | 第16号竪穴建物跡出土遺物（3） | 94 | 第119図 | 第21・22・26号土坑 | 127 |
| 第84図 | 第17・18号竪穴建物跡出土遺物 | 95 | 第120図 | 第23～25号土坑 | 128 |
| 第85図 | 第20号竪穴建物跡 | 96 | 第121図 | 第27～32号土坑 | 129 |
| 第86図 | 第19・20号竪穴建物跡出土遺物 | 96 | 第122図 | 第33～35号土坑 | 130 |
| 第87図 | 第21・22・25号竪穴建物跡（1） | 97 | 第123図 | 第36～41号土坑 | 131 |
| 第88図 | 第21・22・25号竪穴建物跡（2） | 98 | 第124図 | 第42～45号土坑 | 132 |
| 第89図 | 第21号竪穴建物跡カマド | 99 | 第125図 | 第46～50号土坑 | 133 |
| 第90図 | 第23・24号竪穴建物跡 | 100 | 第126図 | 土坑出土遺物 | 134 |
| 第91図 | 第21号竪穴建物跡出土遺物（1） | 101 | 第127図 | 調査区出土遺物 | 136 |
| 第92図 | 第21号竪穴建物跡出土遺物（2） | 102 | 第128図 | 金属製品集成（1） | 138 |
| 第93図 | 第22号竪穴建物跡出土遺物 | 103 | 第129図 | 金属製品集成（2） | 139 |
| 第94図 | 第21・22号竪穴建物跡出土遺物 | 104 | 第130図 | 紡錘車集成 | 141 |
| 第95図 | 第23号竪穴建物跡出土遺物 | 105 | 第131図 | 時期別の遺構分布（1） | 143 |
| 第96図 | 第1号掘立柱建物跡 | 106 | 第132図 | 時期別の遺構分布（2） | 144 |
| 第97図 | 第1号掘立柱建物跡土層断面（1） | 107 | 第133図 | 主軸方位のあり方（1） | 145 |
| 第98図 | 第1号掘立柱建物跡土層断面（2） | 108 | 第134図 | 主軸方位のあり方（2） | 146 |

表 目 次

| | | | |
|--------------------------|----|-----------------------------|-----|
| 第1表 下郷遺跡及び周辺の遺跡一覧表 | 4 | 第30表 第15号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 84 |
| 第2表 第1号竪穴建物跡出土遺物観察表 | 15 | 第31表 第15号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 87 |
| 第3表 第2号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 15 | 第32表 第15号竪穴建物跡出土遺物観察表(3) | 88 |
| 第4表 第2号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 18 | 第33表 第16号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 90 |
| 第5表 第3号竪穴建物跡出土遺物観察表 | 19 | 第34表 第16号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 91 |
| 第6表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 27 | 第35表 第16号竪穴建物跡出土遺物観察表(3) | 94 |
| 第7表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 28 | 第36表 第16号竪穴建物跡出土遺物観察表(4) | 95 |
| 第8表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表(3) | 29 | 第37表 第17・18号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | |
| 第9表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表(4) | 30 | | 95 |
| 第10表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表(5) | 31 | 第38表 第17・18号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | |
| 第11表 第5号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 33 | | 96 |
| 第12表 第5号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 36 | 第39表 第19・20号竪穴建物跡出土遺物観察表 | 96 |
| 第13表 第6号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 43 | 第40表 第21号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | |
| 第14表 第6号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 44 | | 103 |
| 第15表 第8号竪穴建物跡出土遺物観察表 | 46 | 第41表 第21号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | |
| 第16表 第9号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 58 | | 104 |
| 第17表 第9号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 59 | 第42表 第22号竪穴建物跡出土遺物観察表 | 104 |
| 第18表 第9号竪穴建物跡出土遺物観察表(3) | 60 | 第43表 第21・22号竪穴建物跡出土遺物観察表 | |
| 第19表 第9号竪穴建物跡出土遺物観察表(4) | 61 | | 105 |
| 第20表 第10号竪穴建物跡出土遺物観察表 | 61 | 第44表 第23号竪穴建物跡出土遺物観察表 | 105 |
| 第21表 第11号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 68 | 第45表 第1号掘立柱建物跡出土遺物観察表 | 118 |
| 第22表 第11号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 69 | 第46表 第2号掘立柱建物跡出土遺物観察表 | 119 |
| 第23表 第12号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 72 | 第47表 第3号掘立柱建物跡出土遺物観察表 | 119 |
| 第24表 第12号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 75 | 第48表 第5号掘立柱建物跡出土遺物観察表 | 119 |
| 第25表 第13号竪穴建物跡出土遺物観察表 | 77 | 第49表 第6号掘立柱建物跡出土遺物観察表 | 120 |
| 第26表 第14号竪穴建物跡出土遺物観察表(1) | 78 | 第50表 土坑出土遺物観察表 | 135 |
| 第27表 第14号竪穴建物跡出土遺物観察表(2) | 82 | 第51表 調査区出土遺物観察表 | 137 |
| 第28表 第14号竪穴建物跡出土遺物観察表(3) | 83 | 第52表 金属製品一覧表 | 140 |
| 第29表 第14号竪穴建物跡出土遺物観察表(4) | 84 | 第53表 織錦車一覧表 | 141 |

図版目次

- 図版1 遺構確認 調査区全景（1） 調査区全景（2） 調査区全景（3） 第1号竪穴建物跡
第1号竪穴建物跡掘方 第1号竪穴建物跡土層断面 第1号竪穴建物跡カマド
- 図版2 第2号竪穴建物跡 第2号竪穴建物跡遺物出土状況 第3号竪穴建物跡 第3号竪穴建物跡掘方
第3号竪穴建物跡遺物出土状況 第3号竪穴建物跡土層断面 第3号竪穴建物跡カマド
第4号竪穴建物跡遺物出土状況
- 図版3 第4号竪穴建物跡 第4号竪穴建物跡掘方土層断面 第4号竪穴建物跡掘方
第4号竪穴建物跡カマド（1） 第4号竪穴建物跡カマド（2） 第4号竪穴建物跡カマド（3）
第4号竪穴建物跡カマド（4） 第4号竪穴建物跡カマド（5）
- 図版4 第4・6号竪穴建物跡 第5号竪穴建物跡 第5号竪穴建物跡掘方 第5号竪穴建物跡土層断面（1）
第5号竪穴建物跡土層断面（2） 第5・9号竪穴建物跡 第6号竪穴建物跡
第6号竪穴建物跡遺物出土状況（1）
- 図版5 第6号竪穴建物跡遺物出土状況（2） 第6号竪穴建物跡遺物出土状況（3）
第6号竪穴建物跡遺物出土状況（4） 第6号竪穴建物跡遺物出土状況（5） 第6号竪穴建物跡カマド
第7・8号竪穴建物跡 第7・8号竪穴建物跡土層断面 第8号竪穴建物跡土層断面
- 図版6 第8号竪穴建物跡 第9号竪穴建物跡（1） 第9号竪穴建物跡（2） 第9号竪穴建物跡掘方
第9号竪穴建物跡床下土坑 第9号竪穴建物跡遺物出土状況（1） 第9号竪穴建物跡遺物出土状況（2）
第9号竪穴建物跡遺物出土状況（3）
- 図版7 第9号竪穴建物跡遺物出土状況（4） 第9号竪穴建物跡カマド（1） 第9号竪穴建物跡カマド（2）
第9号竪穴建物跡土層断面 第10号竪穴建物跡 第10号竪穴建物跡掘方 第10号竪穴建物跡カマド
第11号竪穴建物跡
- 図版8 第11号竪穴建物跡掘方 第11号竪穴建物跡遺物出土状況（1） 第11号竪穴建物跡遺物出土状況（2）
第11号竪穴建物跡遺物出土状況（3） 第11号竪穴建物跡遺物出土状況（4）
第11号竪穴建物跡土層断面 第11号竪穴建物跡カマド、貯藏穴 第11号竪穴建物跡カマド
- 図版9 第11号竪穴建物跡貯藏穴 第12号竪穴建物跡 第12号竪穴建物跡掘方
第12号竪穴建物跡遺物出土状況（1） 第12号竪穴建物跡遺物出土状況（2）
- 第12号竪穴建物跡遺物出土状況（3） 第12号竪穴建物跡カマド（1） 第12号竪穴建物跡カマド（2）
- 図版10 第13号竪穴建物跡 第14号竪穴建物跡（1） 第14号竪穴建物跡（2） 第14号竪穴建物跡（3）
第14号竪穴建物跡遺物出土状況 第14号竪穴建物跡カマド 第14号竪穴建物跡土層断面
第15号竪穴建物跡遺物出土状況（1）
- 図版11 第15号竪穴建物跡遺物出土状況（2） 第16号竪穴建物跡掘方 第21・22・25号竪穴建物跡
第21・22・25号竪穴建物跡掘方（1） 第21・22・25号竪穴建物跡遺物出土状況
第21・22・25号竪穴建物跡掘方（2） 第21号竪穴建物跡カマド 第23号竪穴建物跡（1）
- 図版12 第23号竪穴建物跡（2） 調査区東端部（1） 調査区東端部（2） 第1号掘立柱建物跡（1）
第1号掘立柱建物跡（2） 第1号掘立柱建物跡（3） 第1号掘立柱建物跡P3と第12号竪穴建物跡
第1号掘立柱建物跡P5（1）

- 図版13 第1号掘立柱建物跡P5（2） 第1号掘立柱建物跡P6 第1号掘立柱建物跡P8（1）
第1号掘立柱建物跡P8（2） 第1号掘立柱建物跡P8（3） 第1号掘立柱建物跡P11
第1号掘立柱建物跡P12 第1号掘立柱建物跡P15（1）
- 図版14 第1号掘立柱建物跡P15（2） 第1号掘立柱建物跡P16 掘立柱建物跡群（1） 掘立柱建物跡群（2）
掘立柱建物跡群（3） 掘立柱建物跡群（4） 掘立柱建物跡群（5） 掘立柱建物跡群（6）
- 図版15 掘立柱建物跡群（7） 掘立柱建物跡群（8） 掘立柱建物跡群（9） 掘立柱建物跡群（10）
第2号土坑 第2号土坑遺物出土状況（1） 第2号土坑遺物出土状況（2） 調査風景（1）
- 図版16 調査風景（2） 調査風景（3） 調査風景（4） 調査風景（5） 調査風景（6）
調査区の風景（1） 調査区の風景（2） 調査区の風景（3）
- 図版17 第11図2（S J 1） 第13図4（S J 2） 第13図4（S J 2） 墨書 第13図5（S J 2）
第13図7（S J 2） 第13図8（S J 2） 第16図6（S J 3） 第16図7（S J 3）
第16図7（S J 3） 墨書 第16図9（S J 3） 第16図10（S J 3） 第16図12（S J 3）
第16図14（S J 3） 第22図1（S J 4） 第22図2（S J 4） 第22図3（S J 4）
- 図版18 第22図4（S J 4） 第22図5（S J 4） 第22図7（S J 4） 第22図8（S J 4）
第22図9（S J 4） 第22図15（S J 4） 第22図16（S J 4） 第23図31（S J 4）
第23図32（S J 4） 第23図32（S J 4） 墨書 第23図34（S J 4） 第23図35（S J 4）
第23図36（S J 4） 第23図41（S J 4） 第23図43（S J 4） 第23図47（S J 4）
第23図48（S J 4） 第24図49（S J 4）
- 図版19 第24図50（S J 4） 第24図58（S J 4） 第24図59（S J 4） 第25図60（S J 4）
第25図61（S J 4） 第25図62（S J 4） 第25図66（S J 4） 第25図67（S J 4）
第29図4（S J 5） 第29図5（S J 5） 第29図11（S J 5） 第29図12（S J 5）
- 図版20 第29図13（S J 5） 第29図19（S J 5） 第29図20（S J 5） 第29図21（S J 5）
第30図27（S J 5） 第30図30（S J 5） 第34図3（S J 6） 第34図4（S J 6）
第34図6（S J 6） 第34図9（S J 6） 第34図12（S J 6） 第34図14（S J 6）
第34図19（S J 6） 第34図20（S J 6） 第35図21（S J 6）
- 図版21 第35図22（S J 6） 第35図23（S J 6） 第35図26（S J 6） 第40図3（S J 8）
第40図4（S J 8） 第40図5（S J 8） 第44図1（S J 9） 第44図4（S J 9）
第44図15（S J 9） 第44図16（S J 9） 第44図17（S J 9） 第44図18（S J 9）
第44図20（S J 9） 第44図21（S J 9） 第44図22（S J 9） 第44図23（S J 9）
第44図24（S J 9）
- 図版22 第44図25（S J 9） 第44図26（S J 9） 第44図27（S J 9） 第44図28（S J 9）
第44図29（S J 9） 第44図30（S J 9） 第44図31（S J 9） 第44図32（S J 9）
第44図34（S J 9） 第45図45（S J 9） 第45図46（S J 9） 第45図55（S J 9）
第45図59（S J 9） 第45図60（S J 9） 第45図63（S J 9） 第45図63（S J 9） 線刻、墨痕
第45図64（S J 9） 第45図65（S J 9）
- 図版23 第45図69（S J 9） 第45図70（S J 9） 第45図71（S J 9） 第45図72（S J 9）
第45図74（S J 9） 第45図75（S J 9） 第46図79（S J 9） 第46図81（S J 9）

- 第46图83 (S J 9) 第46图84 (S J 9) 第46图85 (S J 9) 第46图86 (S J 9)
第46图93 (S J 9) 第46图94 (S J 9) 第46图95 (S J 9) 第46图96 (S J 9)
第46图99 (S J 9) 第46图102 (S J 9)
- 图版24 第46图108 (S J 9) 第47图115 (S J 9) 第47图117 (S J 9) 第47图118 (S J 9)
第47图124 (S J 9) 第48图130 (S J 9) 第48图133 (S J 9) 第49图141 (S J 9)
第49图142 (S J 9) 第49图143 (S J 9) 第49图144 (S J 9) 第49图149 (S J 9)
第57图4 (S J 11)
- 图版25 第57图9 (S J 11) 第57图12 (S J 11) 第57图15 (S J 11) 第57图16 (S J 11)
第57图17 (S J 11) 第57图19 (S J 11) 第57图21 (S J 11) 第62图2 (S J 12)
第62图3 (S J 12) 第62图4 (S J 12) 第62图7 (S J 12) 第62图9 (S J 12)
第62图12 (S J 12)
- 图版26 第62图14 (S J 12) 第62图16 (S J 12) 第62图17 (S J 12) 第62图18 (S J 12)
第63图27 (S J 12) 第63图28 (S J 12) 第63图30 (S J 12) 第63图31 (S J 12)
第63图32 (S J 12) 第66图1 (S J 13) 第66图3 (S J 13) 第66图4 (S J 13)
- 图版27 第66图5 (S J 13) 第66图6 (S J 13) 第70图1 (S J 14) 第70图2 (S J 14)
第70图3 (S J 14) 第70图4 (S J 14) 第70图5 (S J 14) 第70图9 (S J 14)
第70图10 (S J 14) 第70图11 (S J 14) 第70图15 (S J 14) 第70图16 (S J 14)
第70图17 (S J 14) 第70图19 (S J 14) 第70图21 (S J 14) 第70图22 (S J 14)
第70图23 (S J 14) 第70图24 (S J 14)
- 图版28 第71图25 (S J 14) 第71图26 (S J 14) 第71图27 (S J 14) 第71图30 (S J 14)
第71图36 (S J 14) 第71图39 (S J 14) 第71图40 (S J 14) 第71图43 (S J 14)
第71图44 (S J 14) 第72图46 (S J 14) 第72图52 (S J 14) 第75图2 (S J 15)
第75图4 (S J 15) 第75图7 (S J 15) 第75图8 (S J 15)
- 图版29 第75图11 (S J 15) 第75图22 (S J 15) 第75图23 (S J 15) 第75图24 (S J 15)
第75图26 (S J 15) 第76图28 (S J 15) 第76图30 (S J 15) 第76图31 (S J 15)
第76图32 (S J 15) 第76图33 (S J 15) 第76图34 (S J 15) 第76图36 (S J 15)
第76图41 (S J 15) 1 第76图41 (S J 15) 2 第76图44 (S J 15) 第76图45 (S J 15)
- 图版30 第77图51 (S J 15) 第77图64 (S J 15) 第81图11 (S J 16) 第81图14 (S J 16)
第81图16 (S J 16) 第81图17 (S J 16) 第81图18 (S J 16) 第81图19 (S J 16)
第81图20 (S J 16) 第81图21 (S J 16) 第81图24 (S J 16) 第81图25 (S J 16)
第81图26 (S J 16) 第81图29 (S J 16) 第81图31 (S J 16)
- 图版31 第82图33 (S J 16) 第82图37 (S J 16) 第83图49 (S J 16) 第83图50 (S J 16)
第83图52 (S J 16) 第83图54 (S J 16) 第83图65 (S J 16) 第84图4 (S J 17)
第84图5 (S J 17) 第84图10 (S J 17) 第91图1 (S J 21) 第91图3 (S J 21)
第91图7 (S J 21) 第91图10 (S J 21) 第91图13 (S J 21)
- 图版32 第91图16 (S J 21) 第91图17 (S J 21) 第91图20 (S J 21) 第91图22 (S J 21)
第91图23 (S J 21) 第91图24 (S J 21) 第92图30 (S J 21) 第92图32 (S J 21)

- 第93図1 (S J 22) 第93図5 (S J 22) 第94図1 (S J 21・22) 第94図10 (S J 21・22)
第94図11 (S J 21・22) 第95図1 (S J 23) 第95図2 (S J 23)
- 図版33 第109図2 (S B 2) 第109図2 (S B 2) 墨書 第110図2 (S B 3)
第110図2 (S B 3) 外面墨書 第110図2 (S B 3) 内面墨書 第126図1 (S K 2)
第126図6 (S K 6) 第127図18 (調査区) 第127図19 (調査区) 石・土製紡錘車
第1～5号竪穴建物跡出土金属製品 第8・9・11・13・15号竪穴建物跡出土金属製品
第16・17・20・21・23号竪穴建物跡、第2号土坑、調査区出土金属製品
- 図版34 第4号竪穴建物跡出土土鍤 第4号竪穴建物跡出土磨痕石、編物石 第5号竪穴建物跡出土土鍤
第5号竪穴建物跡出土砥石、編物石 第6号竪穴建物跡出土土鍤、編物石(1)
第6号竪穴建物跡出土編物石(2) 第6号竪穴建物跡出土編物石(3) 第8号竪穴建物跡出土土鍤
- 図版35 第8号竪穴建物跡出土砥石、編物石 第9号竪穴建物跡出土土鍤、編物石
第9号竪穴建物跡出土編物石、砥石 第11号竪穴建物跡出土砥石、磨痕石、編物石
第12号竪穴建物跡出土編物石、磨痕石 第15号竪穴建物跡出土土鍤、磨痕石、編物石
第16号竪穴建物跡出土土鍤、砥石、編物石 第14号竪穴建物跡出土須恵器

I 発掘調査の経過

1 発掘調査に至る経過

深谷市は、埼玉県北部に位置し、北を群馬県との境に接する。平成18年1月1日に旧岡部町、旧川本町、旧花園町と合併し、総面積137.58km²、人口約146,500人となった。当地は農業、工業とともに盛んで、古くから深谷ネギの産地としても有名である。歴史的に見て、後期旧石器、縄文、弥生時代、古墳時代を始め、幡羅郡家や榛沢郡家が造られそれぞれ郡の中心として機能していた奈良～平安時代、また百濟木遺跡で郡領クラスの豪族が居宅を営んだ奈良時代、深谷上杉氏の拠点であった室町・戦国時代、宿場町として栄えた江戸時代、そして近・現代まで多くの遺跡、文化財が残され、非常に重要な土地であったことが窺える。鎌倉時代の有力御家人であった畠山重忠の本拠地として、或いは近代日本経済界を築いた渋沢栄一の生地としても良く知られる。

下郷遺跡は、JR深谷駅より東へ約4km、柳挽台地先端部に立地する。標高は35m前後で、面積は約100万m²と広大な範囲に及ぶ。遺跡は東側が熊谷市との境に接しており、熊谷市側には西別府祭祀遺跡や西別府庵寺跡が存在する。いずれの遺跡も、古代幡羅郡家跡である幡羅遺跡と関連するものである。下郷遺跡は、幡羅郡家成立前の古墳群、そして郡家と併存する周辺集落と位置付けられる。また近年、中世の遺構も多く確認されており、郡家廃絶後から東方城成立までの資料が確認されることも期待される。そのため、深谷市教育委員会では、下郷遺跡の周辺を重要な埋蔵文化財包蔵地であると位置付け、事前調査等を行なっている。

下郷遺跡を横断する形で、都市計画道路「北通り線」の建設が計画され、道路予定地における最初の発掘調査（第6次調査）を、平成17年度に行なうことになった。

た。市教育委員会は、文化財保護法第99条の規定に基づき、埋蔵文化財発掘調査通知（平成18年2月15日付深教生発第108号）を提出した。

2 発掘調査の経過

第6次調査は、平成17年8月11日より開始した。調査面積は約2000m²で、現道を挟んで西側を伊丹1区、東側を北下郷1区とした。伊丹1区から確認された主な遺構は、竪穴建物跡2棟、溝6条（内1条は道路側溝）、道路跡1条、土坑9基である。また、北下郷1区から確認された主な遺構は、竪穴建物跡25棟、掘立柱建物跡6棟、溝12条（内2条は道路側溝）、道路跡1条、土坑50基である。北下郷1区西部で、路面幅約8mの斜行する大規模な道路跡が確認された。その近辺には竪穴建物跡が存在しないことが特徴的である。それより北東に当たる幡羅遺跡第21次調査区では、道路跡と竪穴建物跡が多く切り合っていたとの対照的である。また伊丹1区では、それと方位の異なる道路跡が確認された。これは古代の遺構を切っており、中世のものと推定される。

調査は伊丹1区から着手し、北下郷1区へと漸進した。北下郷1区東部は特に遺構が濃密で、6×3間の大型掘立柱建物跡も確認された。遺構の全体をほぼ完掘した後、竪穴建物跡の掘方の調査に入った。ほとんどの竪穴建物跡に数多くの床下土坑が認められ、土取り行為が頻繁に行なわれていたものと思われる。そのため、発掘する土量が非常に多く、調査は難航したが、2月中旬に完掘した。

なお、伊丹1区の全て、及び北下郷1区の成果のうち縄文時代の遺物、道路跡、溝については、『下郷遺跡III』で既に報告した。

II 遺跡の環境

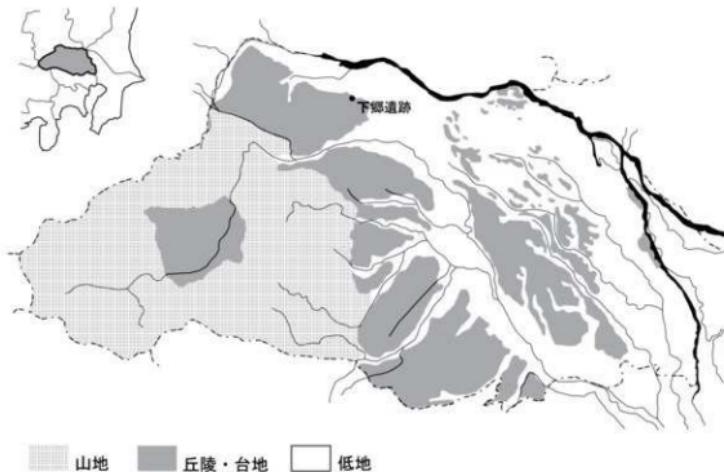
1 地理的環境

深谷市の地形を概観すると、東西に走るJR高崎線付近を境として、南側に櫛挽台地が広がり、北側には妻沼低地が形成されている。櫛挽台地は、荒川によって作られた古い扇状地が浸食されてできた沖積台地で、寄居付近を頂部としている。妻沼低地は、利根川の自然堤防及び沖積低地であり、加須低地と並び利根川の中流低地の一つに数えられる。

櫛挽台地は、構造的には北西側の武藏野面に比定される櫛挽面（櫛挽段丘）と、南東側の立川面に比定される寄居面（御陵威ヶ原段丘）とで段丘状に形成されている。櫛挽面は、ほぼJR高崎線沿いの崖線で比高差5~10mをもって妻沼低地と接しているが、寄居面は高崎線より北へ1.5~1.8km程延びていて、比高差2~5mをもって妻沼低地と接している。接線付近

での標高は、櫛挽面が40~50m、寄居面が32~36m、妻沼低地が30~31mである。櫛挽面は標高70m付近より発する上唐沢川、押切川、戸田川、唐沢川等が北流していて、櫛挽面北端部は南北に台地を開析する浅い谷が発達したものと考えられる。発掘調査で埋没谷が検出されることも多い。また、末端には所謂先端湧水と認められる池等もある。寄居面にはこうした谷筋はほとんど認められず、妻沼低地と接する台地末端部を除き、水利上は生活に不向きだったと考えられる。

妻沼低地は、利根川右岸に広がる肥沃な低地である。南は熊谷市付近を境として秩父山塊に連なる丘陵や台地と大宮台地に挟まれた荒川低地に続き、東は加須低地に接する。妻沼低地は、現在ではほとんど平坦であるが、利根川の氾濫や流路の変遷等により、自然堤防が発達しているものと考えられる。



第1図 埼玉県の地形図

2 歴史的環境

深谷市内で確認されている旧石器時代の遺跡は多くはないが、荒川右岸の江南台地上には、細石刃や彫刻刀形石器が出土した白草遺跡がある。他に幡羅遺跡と花小路遺跡でナイフ形石器が1点ずつ出土している。縄文時代では、東方城跡で草創期の可能性がある尖頭器が出土している。幡羅遺跡、東方城跡ともに櫛挽台地の先端部に位置している。また、それより南西に位置する小台遺跡からは、早期押型文や前期黒浜式土器、諸磯式土器の破片が出土している。

縄文中期、特に後半になると遺跡数やその規模は増大する。中でも上野台の小台遺跡は、多量の土器や石器を包含する埋没谷を中心に、住居や土坑群が展開する。遺構は中期中葉～後期前葉までのものがこれまでに検出されている。小台遺跡と時期的に重なる遺跡は数多く、小河川を挟んで小集落が多数分布していたか、集落が移動していたものと思われる。

縄文後・晩期になると、縄文人の生活域の中心は櫛挽台地から妻沼低地へと移っていく。明戸東遺跡では後期初頭の住居跡、上敷免北遺跡では後期後葉の遺物包含層が検出されるなどしている。そして上敷免遺跡では、包含層から在地の後・晩期の資料に混じり、東海系条痕文土器が検出されたり、埼玉県では初の遠賀川系の壺が検出されるなど、他地域との交流を考えさせられる。また遺構が検出されなくても、妻沼低地にある遺跡を調査すると、ほとんどの場合に縄文後期の土器片が検出される状況である。

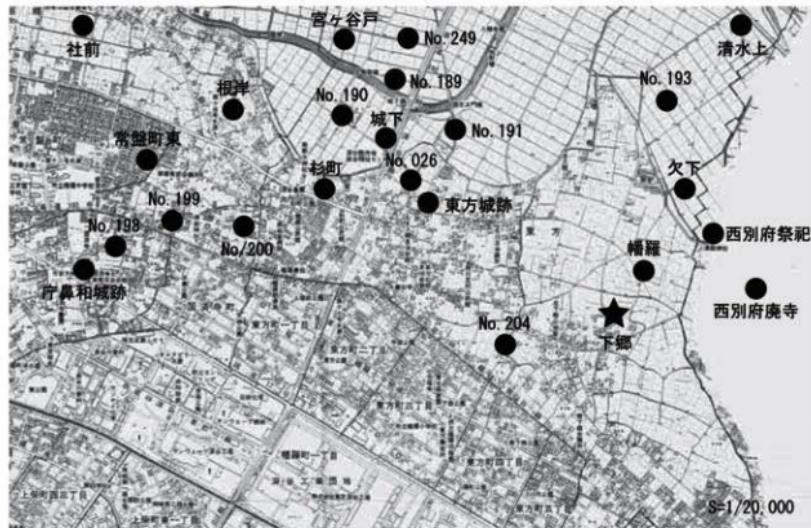
弥生時代に入ると、上敷免遺跡で中期の再葬墓と、若干時期が下る住居跡が同一の自然堤防上に確認され、弥生時代の集落のあり方を考える上で注目される。四十坂遺跡も該期の代表的な遺跡である。

古墳時代前・中期の集落跡は、下手計西浦遺跡や森下遺跡、皿沼西遺跡等、近年調査例が増加している。古墳時代後期前半になると遺跡数は爆発的に増加し、妻沼低地の自然堤防上に大規模な集落が営まれる。この時期には小規模な円墳が数多く造られるようにな

り、幾つかの古墳群を形成する。中でも代表的なものに、櫛挽台地の先端部に形成される木の本古墳群や白山古墳群がある。下郷遺跡北部に分布する古墳群は、木の本古墳群の東端に位置する。大部分は20～30m規模の円墳で、台地の縁辺に沿って構築される。

7世紀頃には、それまでの大集落は縮小傾向になり、代わって宮ヶ谷戸遺跡や東川端遺跡、清水上遺跡等の、幡羅郡家跡と推定される幡羅遺跡に比較的近い位置にある集落規模が拡大する傾向がみられる。律令期には、深谷市の東部は幡羅郡、西部は榛沢郡、南部は男衾郡に属すると考えられる。榛沢郡の郡家跡は中宿遺跡で発見されている。また、幡羅郡家跡である幡羅遺跡は、その範囲と内容を確認するための調査が継続中である。新屋敷東遺跡からは、正倉別院の可能性がある大型建物跡が確認されている。

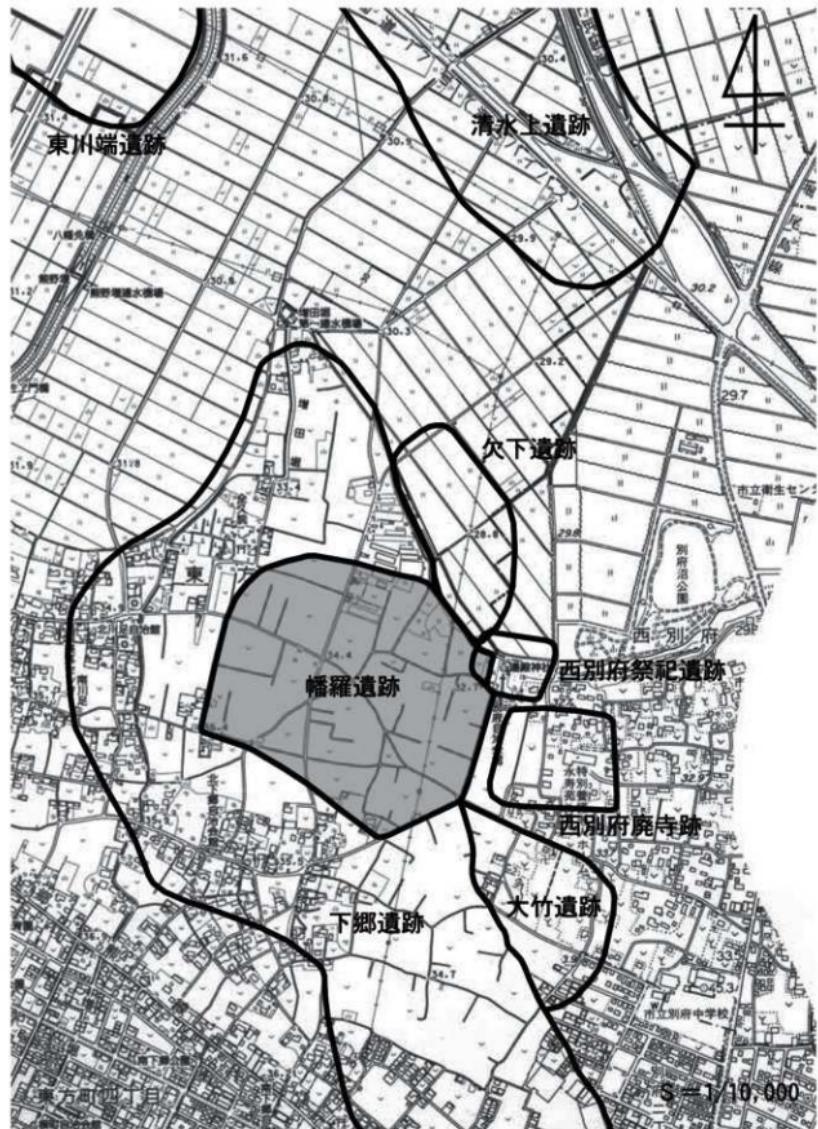
平安時代末期以降は、猪俣党武士団の居館が各地に出現する。代表的なのは岡部氏や人見氏で、岡部六弥太墓と人見氏館跡は、県指定史跡になっている。また、鎌倉街道上道の跡が、旧川本町域から旧花園町域に残る。そして室町時代以降は深谷上杉氏が活躍する。深谷上杉氏は、当初府鼻和城に居を構えたと言われるが、5代目房憲のときに、古河公方勢力との戦闘に備え、より堅固な深谷城に移ったとされる。深谷城跡の北東約1kmには、深谷上杉氏の宿老岡谷香丹が築いたと言われる皿沼城跡があり、北方の守りを堅固なものにしている。また、香丹が隠居後に移ったとされる曲田城跡が北西にある。下郷遺跡に程近い東方城跡は、深谷城から東に約3kmの台地の先端部に位置する。深谷城の周辺には家臣の館等が分布していたと思われ、南方約1.8kmには家臣の館である秋元氏館跡、南西約2.8kmには古河公方勢力を奉制し人見地城を防衛するために築かれたと考えられる館跡が検出された押切遺跡が存在する。また割山西遺跡では、伝承等が一切残っていないが、方形の区画溝が検出された館跡と考えられる。江戸時代になると、深谷城は程なく廃城となり、深谷の大部分は天領となる。また、岡部には岡部藩があり、陣屋が構えられた。



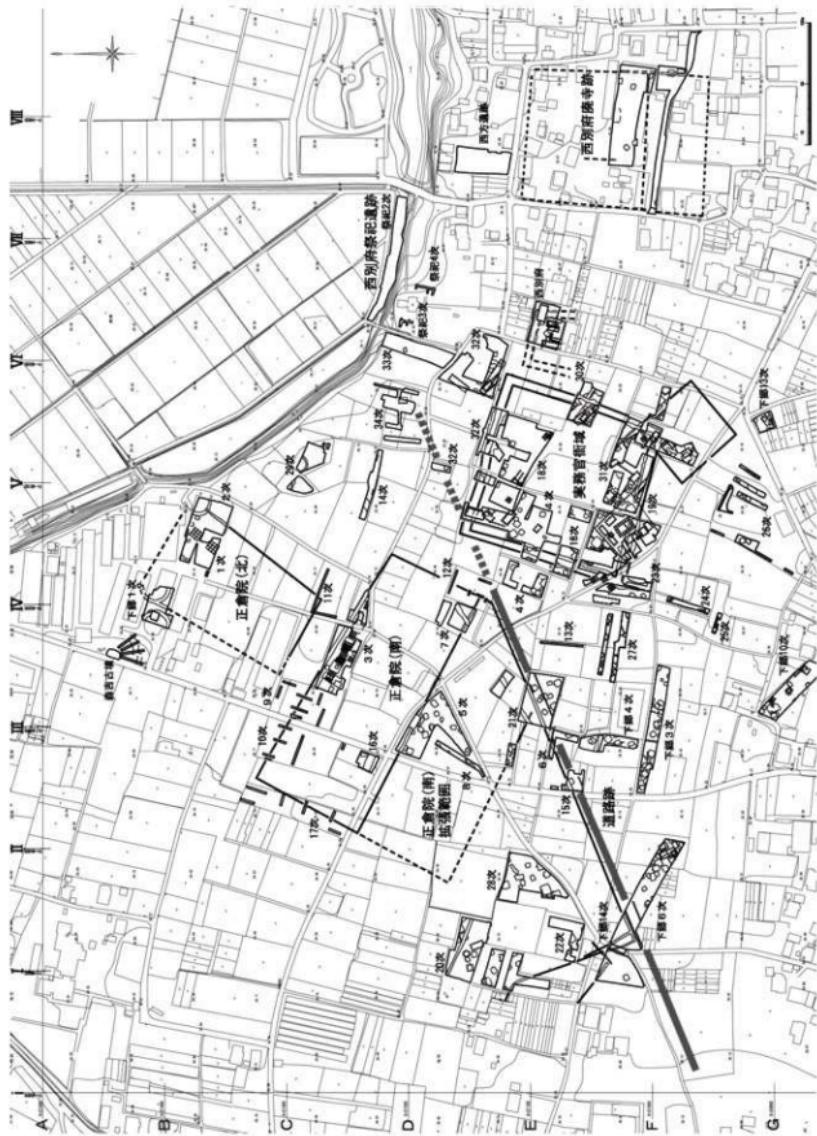
第2図 下郷遺跡及び周辺の遺跡分布図

| 遺跡名称 | 時代 | 遺跡名称 | 時代 |
|---------|-----------------------|--------|-----------------|
| 下郷遺跡 | 縄文中期・後期、古墳後期～平安 | 疔鼻和城跡 | 南北朝 |
| 幡羅遺跡 | 古墳後期～平安 | 社前遺跡 | 縄文前・中期、古墳後期～平安 |
| 西別府廃寺跡 | 古墳後期、平安、中・近世 | No.026 | 縄文中期・後期、古墳後期～平安 |
| 西別府祭祀遺跡 | 古墳後期～平安 | No.189 | 奈良、平安 |
| 欠下遺跡 | 奈良、平安 | No.190 | 古墳後期～平安 |
| 清水上遺跡 | 縄文、弥生前期、古墳前・後期～平安 | No.191 | 古墳後期～平安 |
| 東方城跡 | 縄文早期・後期、室町 | No.193 | 古墳後期～平安 |
| 城下遺跡 | 縄文中期・後期、古墳後期、平安、中・近世 | No.198 | 平安 |
| 宮ヶ谷戸遺跡 | 縄文中・後期、弥生中・後期、古墳後期～平安 | No.199 | 縄文中期、古墳後期～平安 |
| 杉町遺跡 | 縄文中期、古墳後期、奈良、平安、近世 | No.200 | 古墳後期、中世 |
| 根岸遺跡 | 縄文中・後期、古墳後期～平安、中・近世 | No.204 | 縄文、古墳後期～平安 |
| 常盤町東遺跡 | 縄文前期・中期、古墳後期 | No.249 | 奈良、平安 |

第1表 下郷遺跡及び周辺の遺跡一覧表



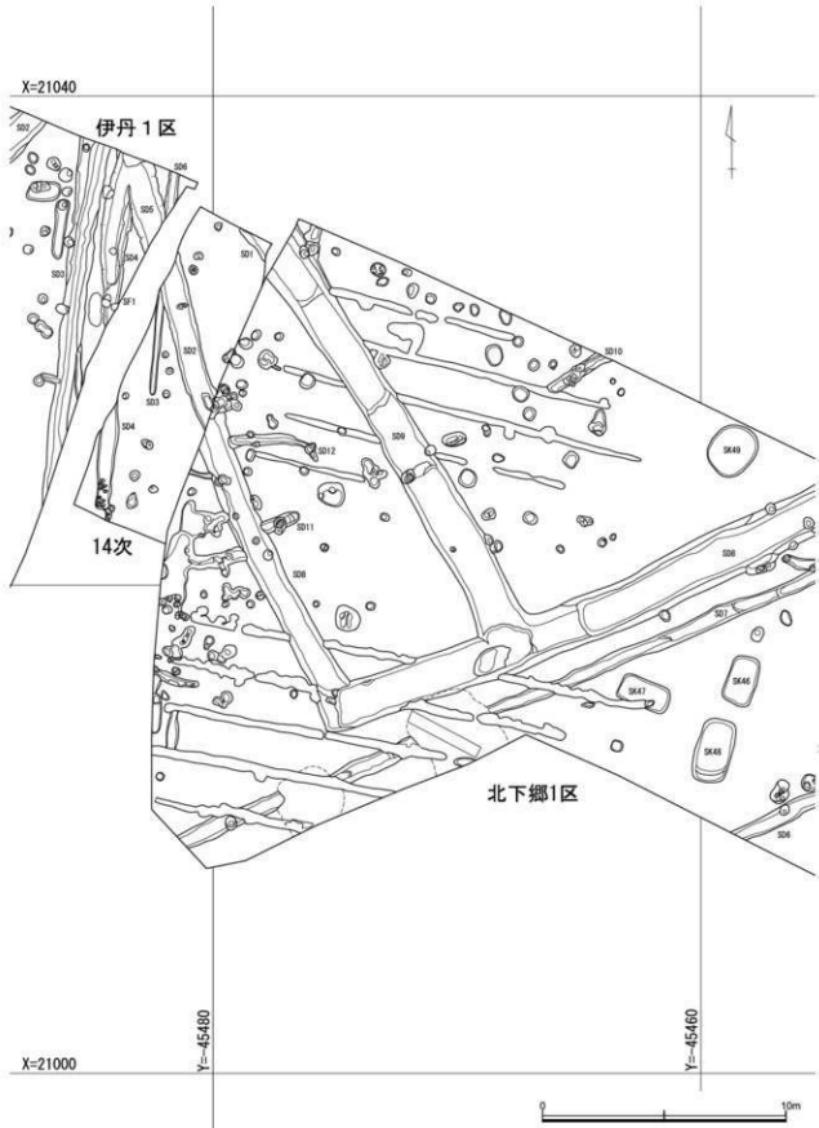
第3図 幡羅・下郷遺跡の範囲と周辺遺跡



第4図 幡羅・下郷道路全体測量図



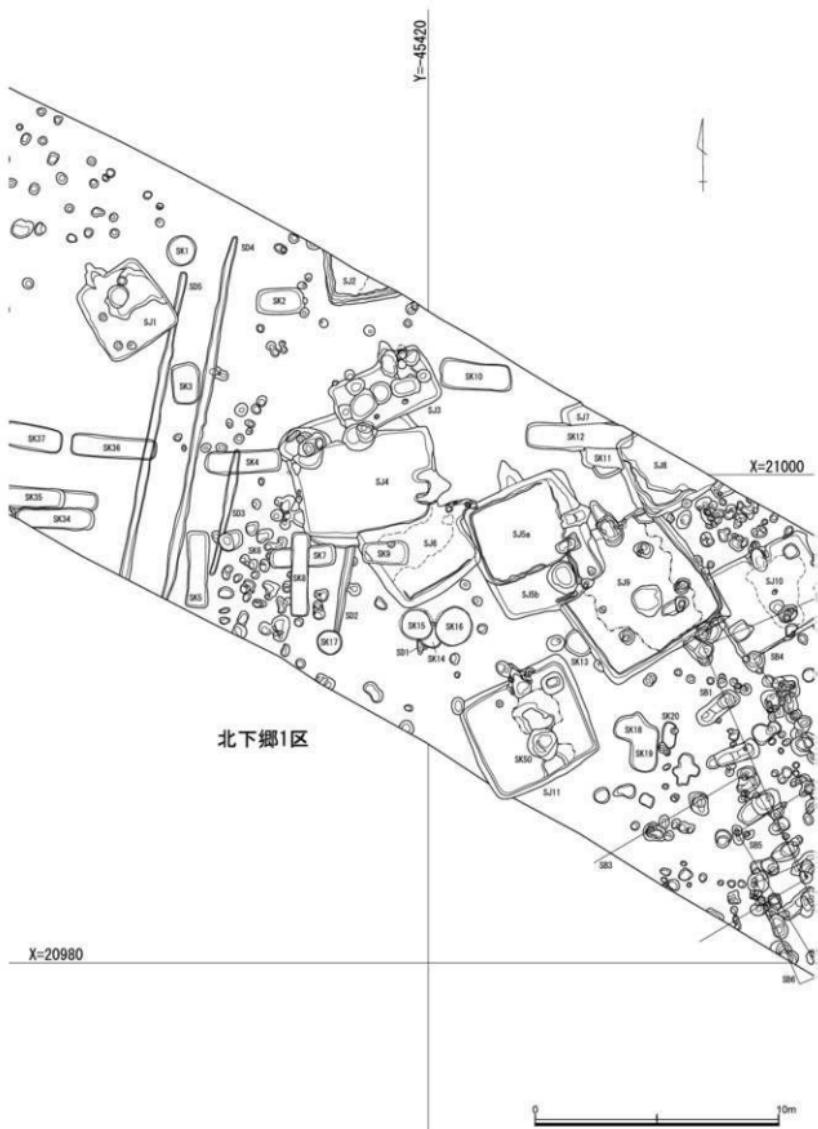
第5図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図(1)



第6図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図（2）



第7図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図（3）



第8図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図(4)



第9図 下郷遺跡第6次調査北下郷1区全体測量図(5)

III 遺構と遺物

1 概要

第6次調査区は現道を挟んで、西側の伊丹1区と北下郷1区に区分した。伊丹1区から確認された主な遺構は、竪穴建物跡2棟、溝6条（内1条は道路側溝）、道路跡1条、土坑9基である。道路跡及びその側溝とみられる第3号溝、土坑のほとんどは中世のものと思われる。

北下郷1区から確認された主な遺構は、竪穴建物跡25棟、掘立柱建物跡6棟、溝12条（内2条は道路側溝）、道路跡1条、土坑50基である。土坑のほとんどは中世のものと思われる。また道路跡は、幡羅遺跡で確認されたものへと統くものである。

調査区周辺の標高は約35mである。遺構確認面までの深さは伊丹1区から北下郷1区の西部は約30cm、北下郷1区の東部は約70cmを測る。確認面は伊丹北下郷1区の東半が東に向かって低くなっている、調査区東端付近の標高が約34.2m、伊丹1区から北下郷1区西部にかけての標高は約34.6mを測る。

なお、伊丹1区の成果及び北下郷1区の縄文時代の遺物、道路跡、溝については、『下郷遺跡Ⅲ』で報告した。今回は、北下郷1区の竪穴建物跡、掘立柱建物跡、土坑、調査区出土遺物について報告する。

2 竪穴建物跡

第1号竪穴建物跡（第10・11図、第2表）

調査区中央部に位置し、第5号溝に切られる。平面形態は方形で、長軸3.4m、短軸3.2mを測る。主軸方位はN-35°-Wである。

床面はほぼ平坦で、確認面からの深さは30cmである。中央部が特に硬く締まる。壁は斜めに立ち上がる。カマドは北西壁や南寄りに構築される。袖は粘土により造られる。燃焼部は幅55cmで、煙道先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より90cm張り出す。支脚石が倒れた状態で出土した。

り出す。

掘方は、床面より15cm深く、カマド前面に直径約90cm、掘方底面からの深さ10cmの土坑が確認された。柱穴、壁溝は確認されなかった。

図示できた遺物は、第11図1～7である。1～6は土師器で、1は統比企型壺、2～4は壺、5は皿、6は甕である。7は刀子である。

遺構の時期は、7世紀末頃と推定される。

第2号竪穴建物跡（第12・13図、第3・4表）

調査区中央部に位置する。平面形態は方形で、主軸方位はN-6°-Wである。

確認面から床面までの深さは40cmを測る。床面は南東部が特に硬く締まる。壁溝は幅20cm、床面からの深さ5cmである。床面からの深さ35cmの床下土坑が確認された。

図示できた遺物は、第13図1～14である。1は土師器暗文壺、2～8は須恵器で、2・3は蓋、4は壺、5・6は高台壺、7は瓶、8は甕である。4の内面には、記号状の墨書が認められる。9・10は土師器甕、11は刀子、12～14は鉄洋である。

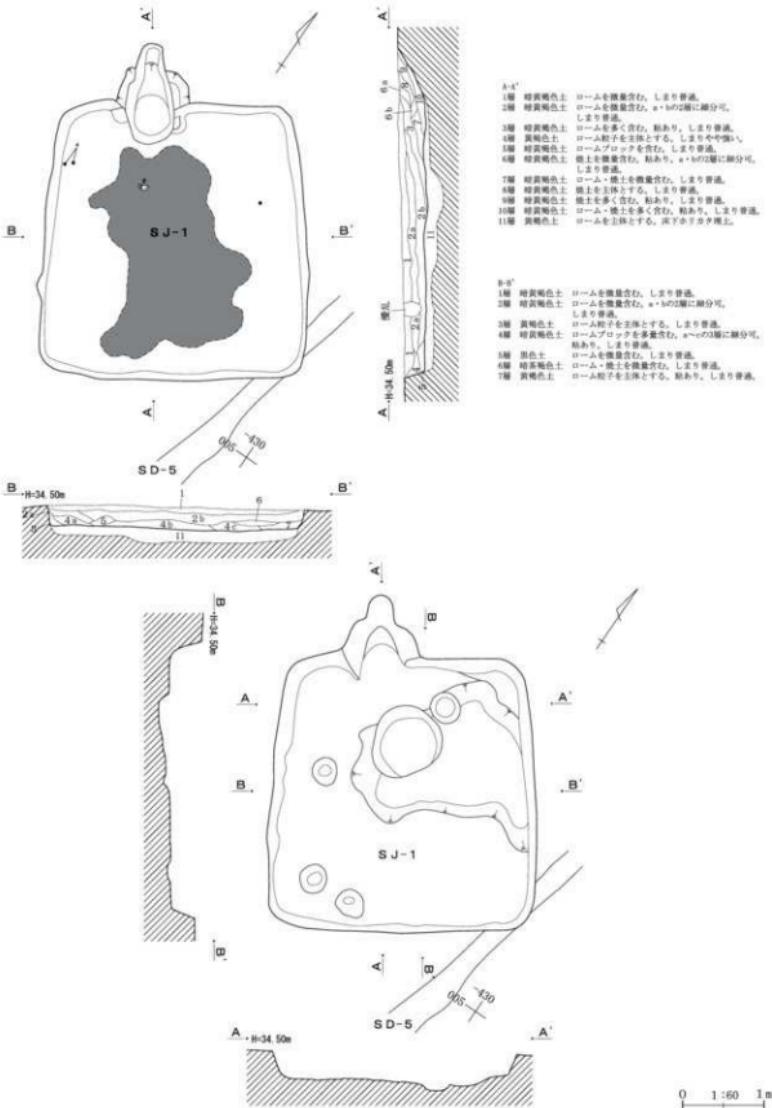
遺構の時期は、9世紀後半と推定される。

第3号竪穴建物跡（第14～16図、第5表）

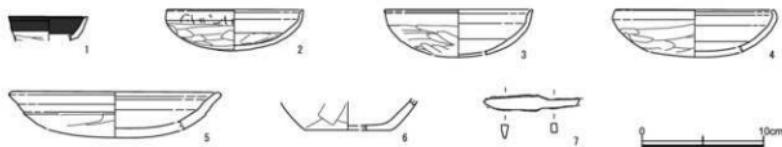
調査区中央部に位置する。平面形態は長方形で、長軸4.3m、短軸2.4mを測る。主軸方位はN-27°-Wである。

床面は北西壁がやや深く、確認面からの深さは30cmである。壁は斜めに立ち上がる。カマドは北西壁や北寄りに構築される。袖は造り付けである。燃焼部は幅60cmで、煙道先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より80cm張り出す。支脚石が倒れた状態で出土した。

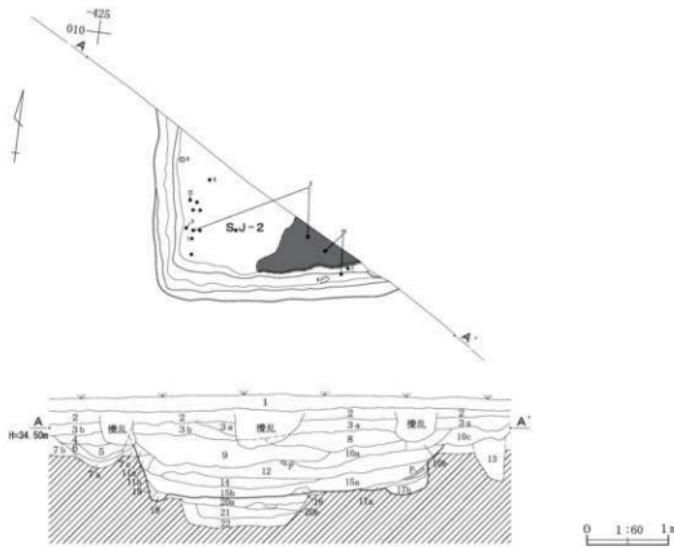
掘方は、床面から30～40cm程度の床下土坑が多数確認されている。



第10図 第1号竪穴建物跡

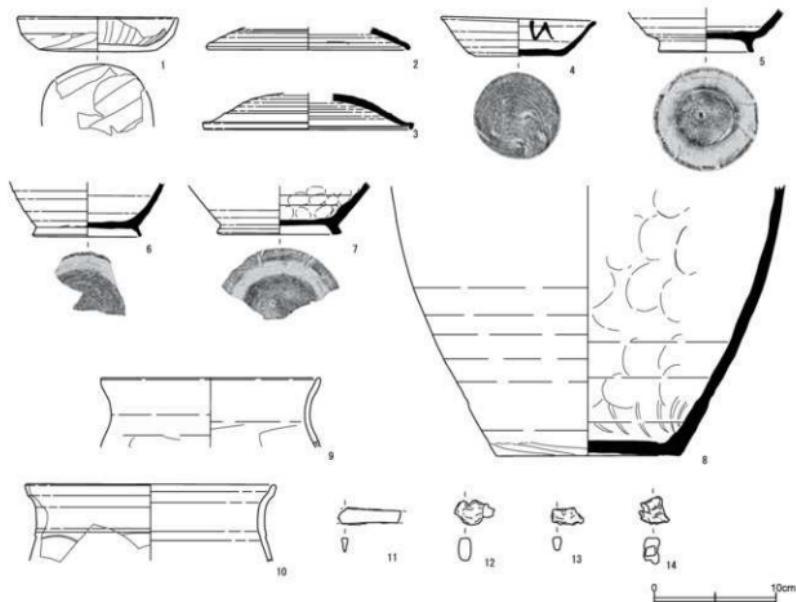


第11図 第1号竪穴建物跡出土遺物



- 1層 土
 2層 青褐色土 ローム粒子・粘土を多量含む。
 3層 黄褐色土 ローム粒子・粘土を少量含む。a-hの層に細分可。
 4層 黄褐色土 ローム粒子・粘土を多量含む。粘・しまり普通。
 5層 黄褐色土 ローム粒子・粘土を多量含む。普通。
 6層 黄褐色土 ローム粒子・粘土を多量含む。粘・しまり普通。
 7層 黄褐色土 ロームブロックを多量含む。a-hの層に細分可。以降ロームブロックを主体とする。粘・しまり強い。
 8層 黄褐色土 ローム粒子・粘土を少含む。粘・しまり弱い。
 9層 黄褐色土 ローム粒子・粘土を少含む。粘・しまり弱い。
 10層 増強土 ローム粒子・粘土を多く含む。a-hの層に細分可。aの方に多く含む。粘・しまり強い。
 11層 黄褐色土 ローム粒子を多量含む。a-hの層に細分可。bに粘土を微量含む。粘・しまり普通。
 12層 増強土 ローム粒子・粘土を含む。ロームブロックを少量含む。粘・しまり普通。
 13層 黄褐色土 ローム粒子を多量含む。a-hの層に細分可。bに多く含む。粘・しまり弱い。
 14層 増強土 ローム粒子を少含む。粘・しまり弱い。
 15層 黄褐色土 ローム粒子を多量含む。粘土を微量含む。ロームブロックを含む。a-hの層に細分可。bに多く含む。粘・しまり普通。
 16層 黄褐色土 粘土を少量含む。ロームブロックを含む。a-hの層に細分可。bに多く含む。粘・しまり弱い。
 17層 黄褐色土 粘土を少量含む。ロームブロックを含む。a-hの層に細分可。bに多く含む。粘・しまり弱い。
 18層 黄褐色土 粘土を少量含む。粘・しまり弱い。
 19層 黄褐色土 粘土ブロックを含む。粘・しまり弱い。
 20層 黄褐色土 粘土・砂礫を少量含む。a-hの層に細分可。bに多く含む。粘・しまり弱い。
 21層 黄褐色土 砂・砂礫を多く含む。a-hの層に細分可。bに多く含む。粘・しまり弱い。
 22層 黄褐色土 粘土ブロックを多量含む。粘・しまり弱い。

第12図 第2号竪穴建物跡



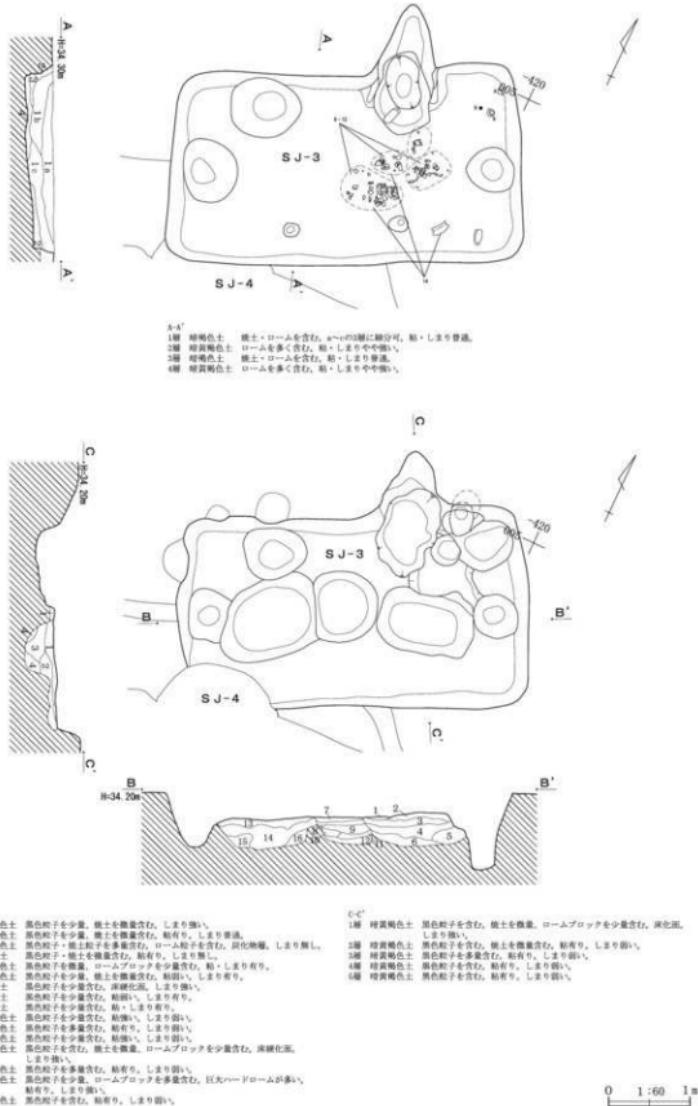
第13図 第2号竪穴建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-------|-------|-----------|----|------|-----|----------|
| 1 | H | 坏 | (6.3) | | | A B C H | 良 | 橙 | 10% | 内外面赤彩 |
| 2 | H | 坏 | 11.2 | 3.4 | | A B C E | 良 | 橙 | 60% | |
| 3 | H | 坏 | (12.2) | (3.9) | | A C E I | 普 | 橙 | 15% | |
| 4 | H | 坏 | (13.1) | (3.9) | | A C H | 普 | にぶい橙 | 25% | |
| 5 | H | 皿 | (16.9) | (3.8) | | A C E H | 普 | 橙 | 5% | |
| 6 | H | 甕 | | | (7.2) | A B C E H | 普 | 橙 | 5% | |
| 7 | | 刀子 | | 幅1.1 | 厚0.6 | | | | | 重さ 6.91g |

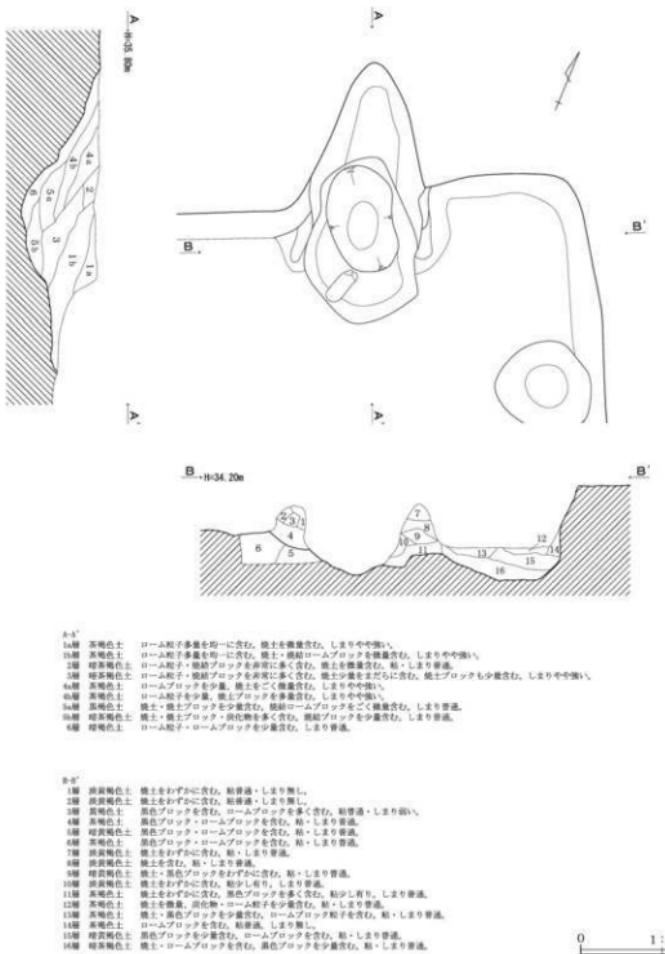
第2表 第1号竪穴建物跡出土遺物観察表

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|-----|--------|-----|--------|-----------|----|----|-----|-----------|
| 1 | H | 坏 | (13.3) | 2.9 | | A B C | 普 | 赤褐 | 30% | |
| 2 | S | 蓋 | (16.8) | | | A C F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 3 | S | 蓋 | (17.1) | | | A C F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 4 | S | 坏 | 12.8 | 3.3 | 7.0 | A C D F H | 不良 | 灰 | 95% | 内面に記号状の墨書 |
| 5 | S | 高台坏 | | | 7.8 | A C D F H | 不良 | 灰褐 | 40% | |
| 6 | S | 高台坏 | | | (8.6) | A C D H | 良 | 灰 | 20% | |
| 7 | S | 瓶甕 | | | (10.2) | A C | 良 | 青灰 | 10% | 外面に自然釉 |
| 8 | S | 甕 | | | (15.1) | A C F H | 良 | 灰 | 20% | 外面に自然釉 |

第3表 第2号竪穴建物跡出土遺物観察表(1)



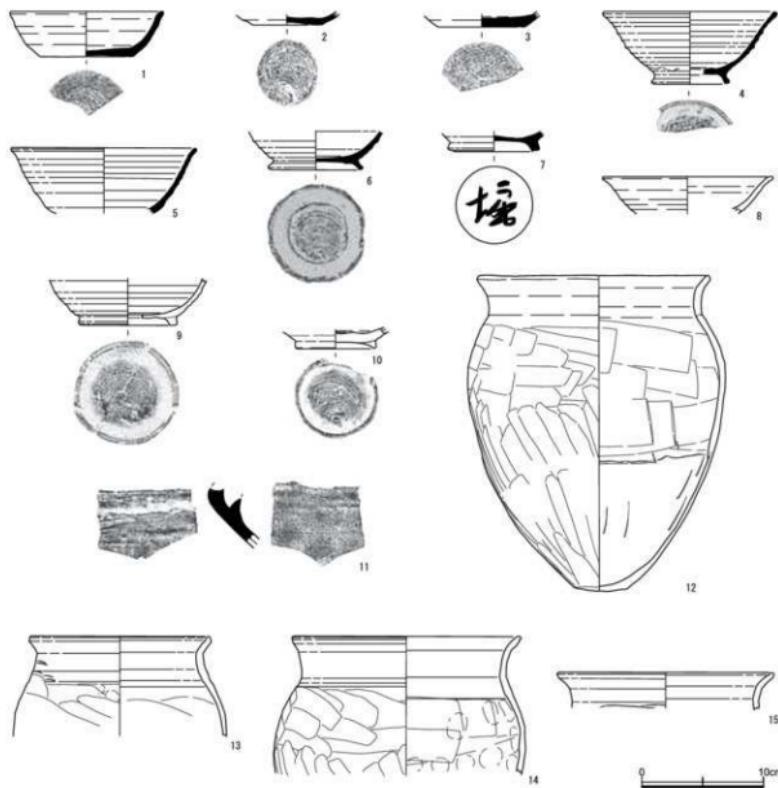
第14図 第3号豊穴建物跡



第15図 第3号竪穴建物跡カマド

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-------|-------|---------|----|-------|----|-----------|
| 9 | H | 甕 | (17.9) | | | A B C E | 良 | 橙 | 5% | |
| 10 | H | 甕 | (20.6) | | | A B C E | 普 | にぶい赤褐 | 5% | |
| 11 | | 刀子 | | 幅 1.3 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 5.38g |
| 12 | | 鉄滓 | 長 1.9 | | 厚 1.0 | | | | | 重さ 13.71g |
| 13 | | 鉄滓 | 長 1.4 | 幅 2.6 | 厚 1.2 | | | | | 重さ 3.25g |
| 14 | | 鉄滓 | 長 2.2 | 幅 2.5 | 厚 1.3 | | | | | 重さ 5.89g |

第4表 第2号竪穴建物跡出土遺物観察表(2)



第16図 第3号竪穴建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-----|--------|-------|-------|---------|-------------|-----|-------|-----|
| 1 | S | 坏 | (12.3) | 3.8 | (7.5) | A C G | 良 | 灰 | 25% | |
| 2 | S | 坏 | | | 5.5 | A C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 3 | S | 坏 | | | (7.1) | A C F H | 普 | 灰褐 | 15% | |
| 4 | S | 高台坏 | (14.4) | | 5.9 | (6.4) | A C F H | 良 | 青灰 | 40% |
| 5 | S | 高台坏 | (15.3) | | | | A C F H | 不良 | にぶい橙 | 20% |
| 6 | S | 高台坏 | | | 7.8 | A C F H | 良 | 青灰 | 40% | |
| 7 | S | 高台坏 | | | 7.6 | A C F H | 不良 | 灰褐 | 25% | |
| 8 | R | 坏 | (13.8) | | | | A B C D I | 普 | 赤褐 | 15% |
| 9 | R | 高台椀 | | (3.8) | (8.0) | | A B C F H I | 普 | にぶい赤褐 | 40% |
| 10 | R | 高台椀 | | | 6.3 | | A C D H I | 普 | 橙 | 15% |
| 11 | S | 甕 | | | | | A C F H | 良 | 青灰 | |
| 12 | H | 甕 | 18.4 | 26.3 | 4.1 | A B C E | 普 | 橙 | 85% | |
| 13 | H | 甕 | (14.8) | | | A B C | 良 | 赤褐 | 20% | |
| 14 | H | 甕 | 18.8 | | | A B C E | 普 | 橙 | 35% | |
| 15 | H | 甕 | (17.8) | | | A C E | 良 | 橙 | | |

第5表 第3号竪穴建物跡出土遺物観察表

図示できた遺物は、第16図1～15である。1～7は須恵器で、1～3は坏、4～7は高台坏である。7は底面に「坡」の墨書がある。8～10はロクロ土師器で、8は坏、9・10は高台椀、11は須恵器甕、12～15は土師器甕である。

遺構の時期は、9世紀後半と推定される。

第4号竪穴建物跡（第17～26図、第6～10表）

調査区中央部に位置し、第6号竪穴建物跡を切る。平面形態は方形で、長軸5.8m、短軸3.8mを測る。主軸方位はN-80°-Eである。

床面は、掘方の影響でやや凸凹があり、確認面からの深さは80cmである。壁は斜めに立ち上がる。力マドは東壁南寄りに構築される。天井部も一部残り、天井や袖は粘土により造られる。燃焼部は幅70cmで、煙道先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より60cm張り出す。

掘方は、床面からの深さ30～60cmの床下土坑がほぼ前面に掘り込まれる。土坑の一部は、壁がオーバーハングする。

図示できた遺物は、第22図1～第26図98である。1～31、47～67は土師器で、1～3・24は暗文坏、4～23・25～31は坏である。31は内面に「X」の線

刻が施される。32～46は須恵器で、32・33は蓋、34～40は坏、41は短頸甕、42～46は甕である。32は外面に「婆羅」の墨書が認められる。47～65は甕、66・67は台付甕、68～74は土錘である。75は石製鍊車、76は毛抜形鉄器、77は鉄鎌、78・79は棒状鉄製品、80は留具の付いた延板状鉄製品、81は鉄製蛇尾、82・83は延板状鉄製品、84・85は磨痕石、86～98は編物石である。

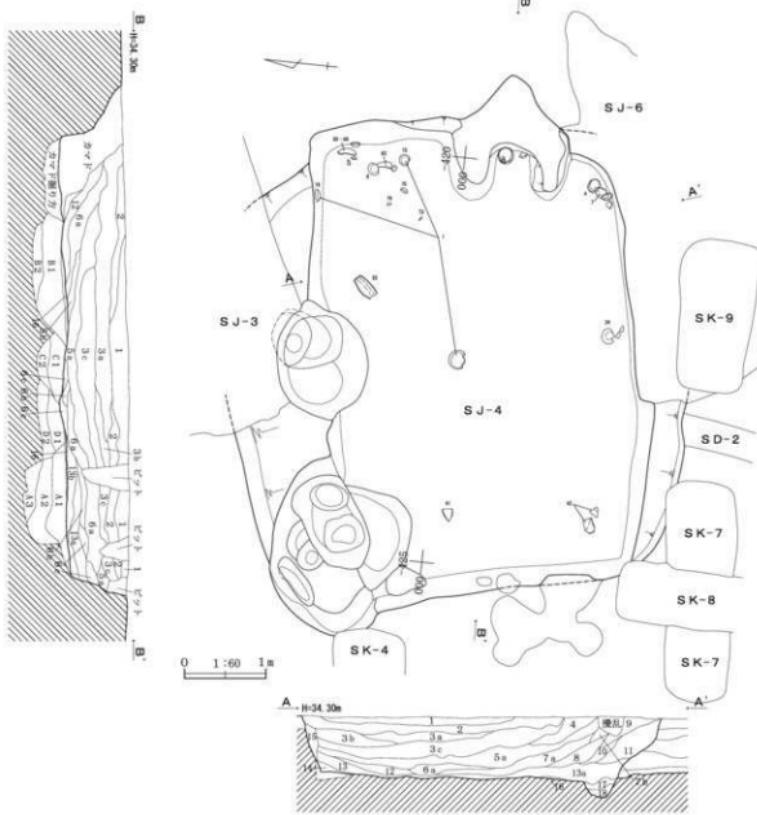
遺構の時期は、9世紀前半と推定される。

第5号竪穴建物跡（第27～30図、第11・12表）

調査区東部に位置し、第6号竪穴建物跡を切る。2棟が重複しており、新段階の第5 a号竪穴建物跡は規模が縮小している。平面形態は方形で、第5 a号竪穴建物跡は長軸3.8m、短軸3.6m、主軸方位はN-66°-E、第5 b号竪穴建物跡は長軸5.3m、短軸5.4m、主軸方位はN-24°-Wである。

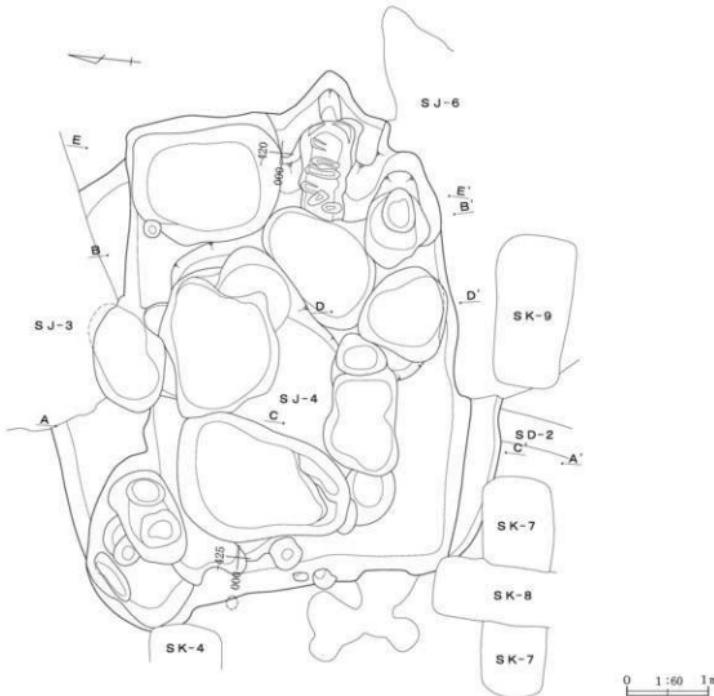
床面は2棟同じレベルで、やや凸凹がある。確認面からの深さは50cmを測る。壁は斜めに立ち上がる。

第5 a号竪穴建物跡の力マドは、北東壁や南寄りに構築される。袖は確認できなかった。燃焼部の幅は60cmで、煙道先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より30cm張り出す。



- 1層 棕黃褐色土 土士を含む。ロームを微量含む。粘・しまり普通。
 2層 棕黃褐色土 土士を含む。
 3層 棕黃褐色土 土士を含む。ロームを多く含む。粘・しまり普通。
 4層 棕黃褐色土 土士を含む。ロームを微量含む。粘・しまり普通。
 5層 棕黃褐色土 土士を含む。ロームを微量含む。粘・しまりやや細い。
 6層 棕黃褐色土 土士ブロック・ロームを含む。泥化物を少く含む。a~cの間に細分可。粘・しまり普通。
 7層 棕黃褐色土 ロームを含む。ロームブロックを多く含む。a~bの間に細分可。粘・しまり細い。
 8層 棕黃褐色土 土士を含む。ロームを含む。粘・しまり普通。
 9層 棕黃褐色土 土士。ローム粒子を含む。系地色或ヒヨコクタネ多く含む。粘・しまり弱い。
 10層 黄褐色土 土士。ローム粒子を少く含む。粘・しまりやや細い。
 11層 黄褐色土 土士を含む。ロームを含む。粘・しまり普通。
 12層 黄褐色土 土士を含む。ロームを含む。a~bの間に細分可。粘・しまり弱い。
 13層 黄褐色土 土士。ローム粒子を多く。炭化物を含む。a~bの間に細分可。粘・しまり弱い。
 14層 黄褐色土 土士を含む。ロームブロックを多く含む。粘・しまり普通。
 15層 黄褐色土 土士を含む。粘・しまり普通。
 16層 黄褐色土 土士を含む。ロームを含む。ローム粒子を含む。粘・しまり細い。
 17層 棕黃褐色土 ローム粒子を含む。土士を含む。粘・しまり弱い。
 18層 黄褐色土 ローム粒子を主とする。ロームブロックを非常に多く含む。炭化物を含む。粘・しまり弱い。
 19層 黄褐色土 土士を含む。ロームを含む。a~bの間に細分可。粘・しまり普通。
 20層 黄褐色土 土士。炭化物。褐色粘土を多く含む。ロームを含む。a~bの間に細分可。
 C層 黄褐色土 炭化物。褐色粘土を多く。ロームをやや含む。1~2の間に細分可。
 D層 黄褐色土 炭化物。褐色粘土を多く。ロームをやや含む。1~2の間に細分可。

第17図 第4号竪穴建物跡



第18図 第4号竪穴建物跡掘方

第5 b号竪穴建物跡のカマドは、北西壁ほぼ中央に構築される。袖は確認できなかった。煙道先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より1.1m張り出す。

掘方は、床面からの深さ30～70cmの床下土坑がほぼ全面に掘り込まれる。

図示できた遺物は、第29図1～第30図50である。1～10は土師器で、1～3・10は暗窓坏、4～9は坏である。11～24は須恵器で、11～18は坏、19は高台坏、20は高台盤、21はコップ形土器、22は蓋、23・24は甕である。25～32は土師器甕、33～41は土鍤、42は土製筋鍤車、43～45は刀子、46・47は砥石、

48～50は編物石である。

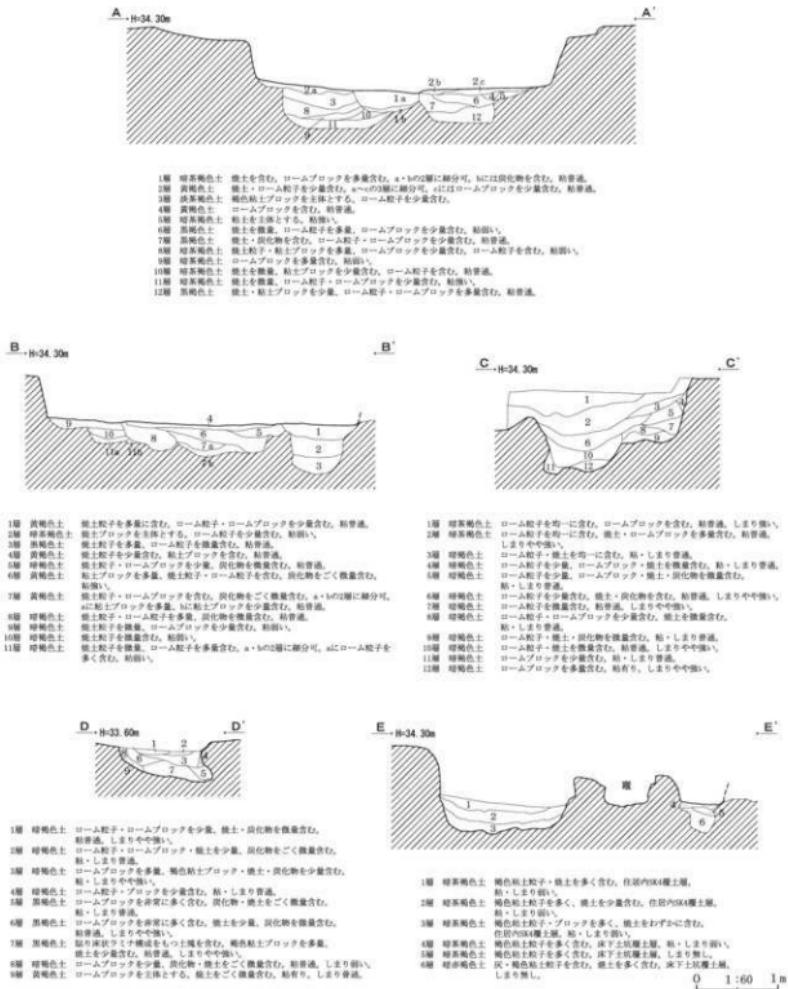
遺構の時期は、8世紀末と推定される。

第6号竪穴建物跡（第31～37図、第13・14表）

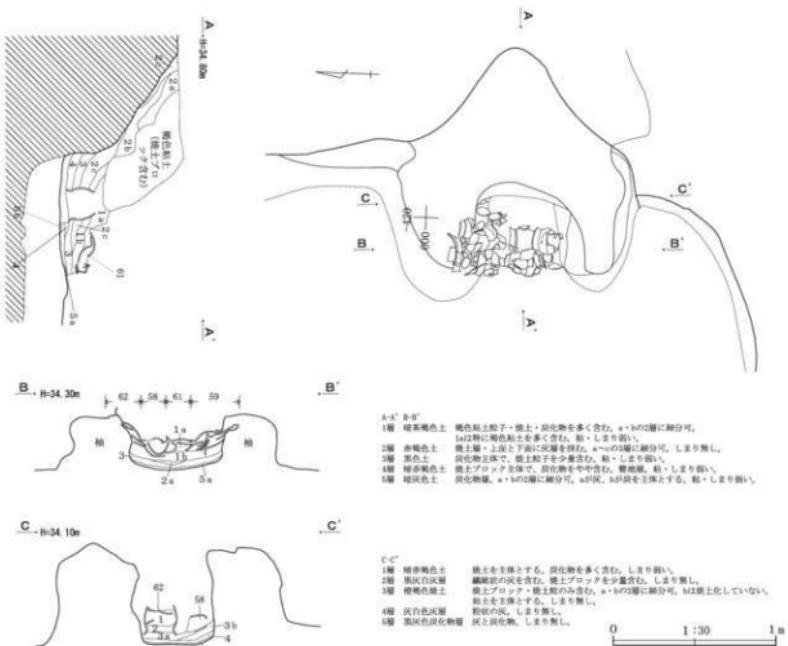
調査区中央部に位置し、第4・5号竪穴建物跡に切られる。平面形態は方形で、一辺4mを測る。主軸方位はN-54°-Eである。

床面はやや凹凸があり、確認面からの深さ65cmを測る。中央部が特に硬く締まる。壁はほぼ垂直に立ち上がり、上半が広がる。南西壁際に黒色磨研坏（第34図3）と暗窓坏（第34図4）が並んで置かれていた。

カマドは北西壁に構築される。袖の補強材で、土



第19図 第4号堅穴建物跡土層断面



第20図 第4号竪穴建物跡カマド(1)

飾器壺を両側に倒立させて使用している。燃焼部の幅50cmで、煙道先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より90cm張り出す。壁溝は幅約10cm、床面からの深さ5cmで、南東壁のみで確認された。

掘方は、床面からの深さ15～30cmの床下土坑が、ほぼ全面に掘り込まれる。

図示できた遺物は、第34図1～第37図67である。1～12は土師器で、1・2は有段口縁壺、3は全面が黒く磨かれた壺である。4～8は暗文壺、9は暗文系無文壺、10・11は北武藏型壺、12は皿である。13～18は須恵器で、13は壺、14は高台壺、15～17はプラスコ瓶、18は甕である。15～17は同一個体の可能性がある。19～25は土師器甕、26は土師器瓶、27は

土錐、28～67は織物石である。

遺構の時期は、7世紀後半と推定される。

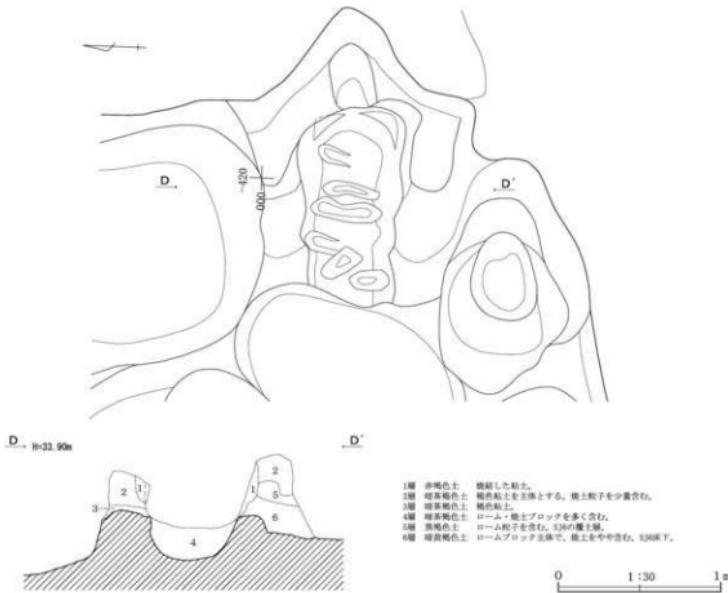
第7号竪穴建物跡(第38・39図)

調査区東部に位置し、第8号竪穴建物跡、第11・12号土坑に切られる。平面形態は方形で、一辺3.3mを測る。主軸方位はN-27°-Wである。

床面はやや凹凸があり、掘り込み面からの深さ50cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、上半が広がる。ピット、壁溝は確認されなかった。

掘方は、壁際が床面から10cm程深く掘り込まれる。床下土坑は確認されなかった。

図示できる遺物は出土しなかった。



第21図 第4号竪穴建物跡カマド (2)

第8号竪穴建物跡 (第38～40図、第15表)

調査区東部に位置し、第7号竪穴建物跡を切り、第11・12号土坑に切られる。平面形態は方形で、一辺3.5mを測る。主軸方位はN-27°-Wである。

床面はやや凹凸があり、掘り込み面からの深さ80cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、上半が広がる。ピット、壁溝は確認されなかった。掘方は、床面からの深さ20～50cmの床下土坑が、ほぼ全面に掘り込まれる。

図示できた遺物は、第40図1～23である。1・2は土師器壺、3～8は須恵器で、3～6は壺、7・8は甕である。9～11は土師器で、9・10は甕、11は台付甕、12～15は土錐である。16は毛抜形鉄器、17は延板状鉄製品、18は棒状鉄製品、19は砥石、20～23は編物石である。

遺構の時期は、9世紀前半と推定される。

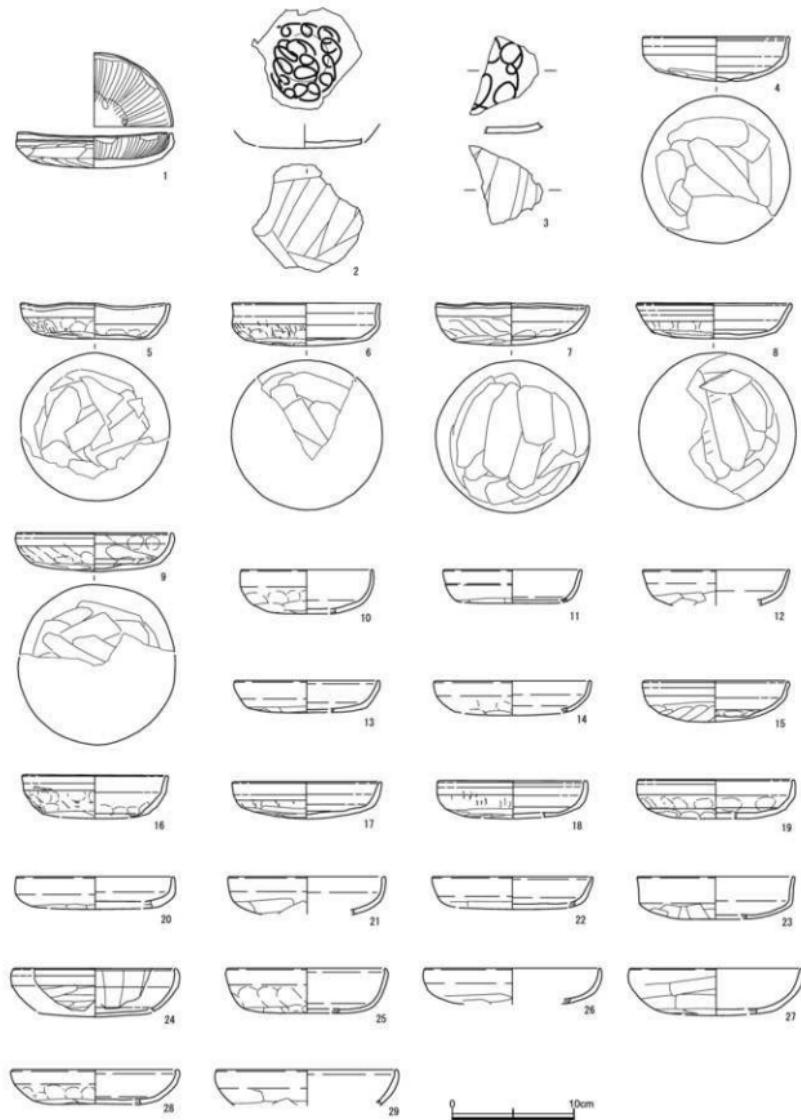
第9号竪穴建物跡 (第41～50図、第16～19表)

調査区東部に位置し、第10号竪穴建物跡を切り、第5・8号竪穴建物跡に切られる。平面形態は方形で、長軸6m、短軸5.8mを測る。主軸方位はN-35°-Wである。

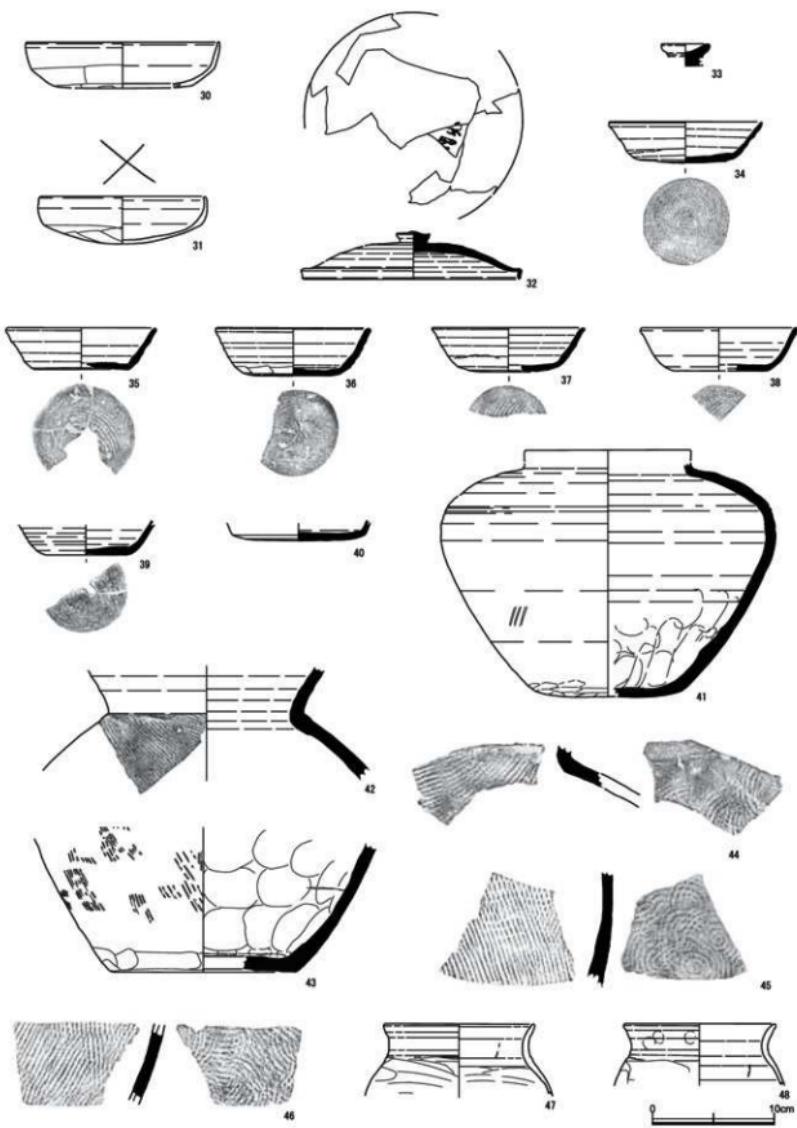
床面はやや凹凸があり、確認面からの深さ45cmを測る。中央付近が特に硬く締まる。主柱穴はP I・3・5・7で、床面からの深さは40～55cmである。壁溝は幅15～30cm、床面からの深さ10cmで、ほぼ全周する。

カマドは北西壁やや北寄りに構築される。袖は粘土により造られ、土師器甕を倒立して補強材としている。燃焼部の幅は60cm、底面の掘込は床面から25cmを測る。奥壁は斜めに立ち上がり、煙道は緩やかに立ち上がる。煙道残存部は、壁より90cm張り出す。

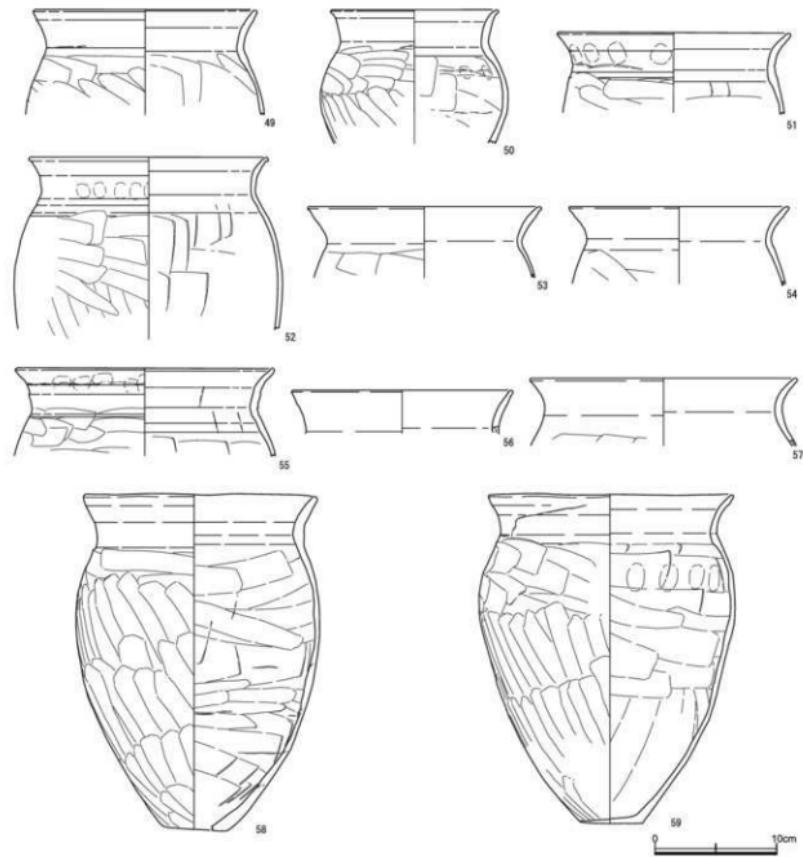
掘方は、床面からの深さ50cm程の床下土坑が2基、



第22図 第4号竪穴建物跡出土遺物 (1)



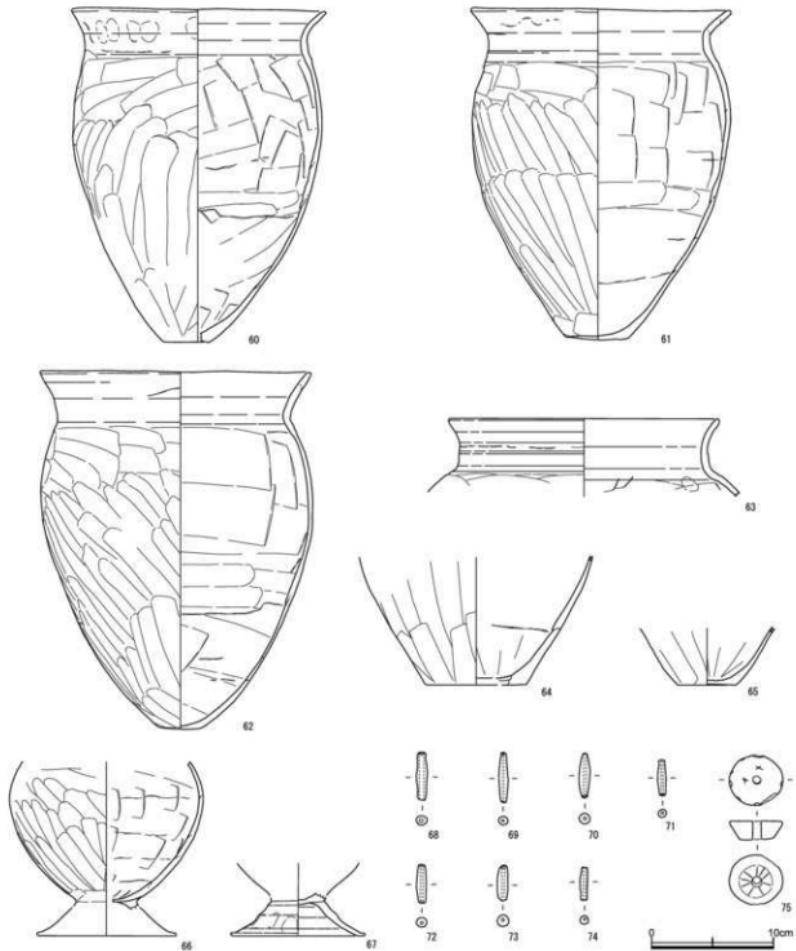
第23図 第4号竪穴建物跡出土遺物（2）



第24図 第4号竪穴建物跡出土遺物(3)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|------|-----|-----------|----|-------|-----|----|
| 1 | H | 壺 | | 12.6 | 2.9 | A B C H I | 普 | 橙 | 90% | |
| 2 | H | 壺 | | | | A B C D E | 普 | 橙 | 25% | |
| 3 | H | 壺 | | | | A C E | 良 | にぶい赤褐 | 15% | |
| 4 | H | 壺 | 11.9 | 3.7 | | A C E I | 普 | 橙 | 80% | |
| 5 | H | 壺 | 12.3 | 2.9 | | A C E I | 良 | 橙 | 50% | |
| 6 | H | 壺 | (12.2) | 3.5 | | A C E | 良 | 橙 | 25% | |
| 7 | H | 壺 | 12.5 | 3.5 | | A C I | 普 | 橙 | 95% | |
| 8 | H | 壺 | (12.5) | 2.9 | | A C E I | 良 | 橙 | 50% | |

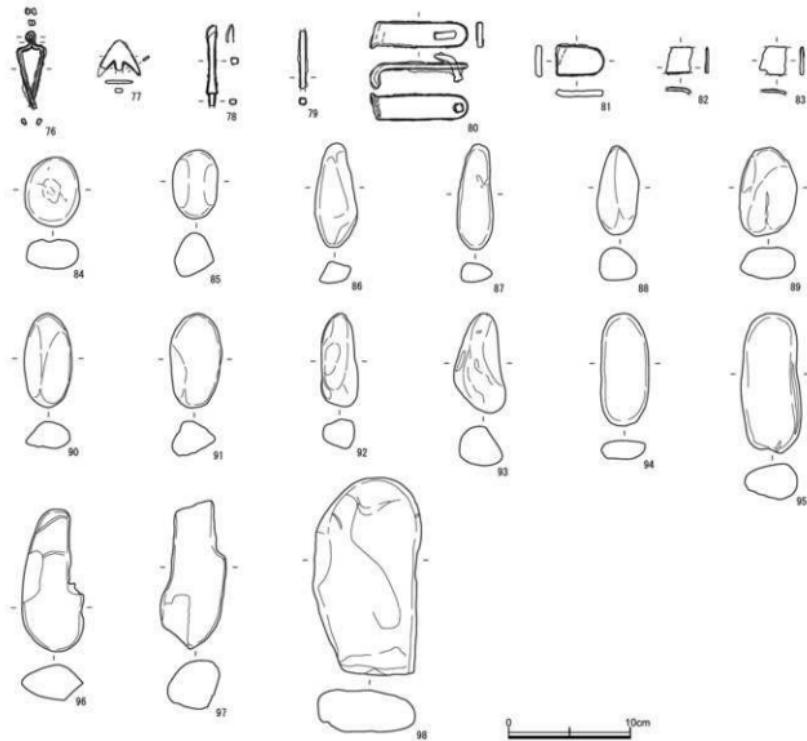
第6表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表(1)



第25図 第4号竪穴建物跡出土遺物 (4)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-------|----|-------|----|------|-----|----|
| 9 | H | 环 | (12.8) | 3.2 | | A C E | 良 | 橙 | 45% | |
| 10 | H | 环 | (10.6) | (3.6) | | A C I | 良 | にぶい橙 | 20% | |
| 11 | H | 环 | (11.3) | (2.7) | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 12 | H | 环 | (12.0) | | | A C I | 普 | 橙 | 15% | |
| 13 | H | 环 | (11.8) | (2.6) | | A C I | 普 | にぶい橙 | 20% | |

第7表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表 (2)



第26図 第4号竪穴建物跡出土遺物 (5)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-------|----|---------|----|------|-----|----|
| 14 | H | 环 | (12.7) | (2.8) | | A C D | 良 | 橙 | 10% | |
| 15 | H | 环 | 11.8 | 3.4 | | A C E I | 良 | 橙 | 80% | |
| 16 | H | 环 | 11.8 | (3.5) | | A C E I | 良 | 橙 | 25% | |
| 17 | H | 环 | (12.0) | 3.1 | | A C E | 良 | 橙 | 25% | |
| 18 | H | 环 | (12.2) | (3.2) | | A C E | 良 | 橙 | 25% | |
| 19 | H | 环 | (13.0) | 3.3 | | A C E I | 良 | 橙 | 30% | |
| 20 | H | 环 | (13.0) | (2.7) | | A B C I | 普 | 橙 | 20% | |
| 21 | H | 环 | (12.8) | | | A C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 22 | H | 环 | (13.0) | (2.7) | | A B C | 普 | 橙 | 15% | |
| 23 | H | 环 | (13.0) | 3.5 | | A C E | 良 | にぶい橙 | 25% | |
| 24 | H | 环 | (13.2) | (4.0) | | A C E | 良 | 橙 | 15% | |
| 25 | H | 环 | (13.0) | 3.7 | | A C E I | 普 | 橙 | 25% | |
| 26 | H | 环 | (14.5) | | | A C | 普 | 橙 | 15% | |
| 27 | H | 环 | (14.0) | (3.8) | | A C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 28 | H | 环 | (13.6) | 2.8 | | A C H | 普 | 暗褐 | 20% | |

第8表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表 (3)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-------|--------|--------|--------|-------------|----|-------|------|-------------------------|
| 29 | H | 壺 | (14.7) | | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 30 | H | 壺 | (16.0) | (3.8) | | A B C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 31 | H | 壺 | (13.4) | 3.8 | | A C H | 普 | 橙 | 25% | |
| 32 | S | 蓋 | 18.0 | 3.9 | | A C G H | 普 | 灰 | 50% | 内面に「X」の線刻 外面に「婆羅」の墨書 |
| 33 | S | 蓋 | | | | A B C F H | 不良 | 灰 | 5% | |
| 34 | S | 壺 | 12.6 | 3.4 | 7.2 | A C G H | 良 | 青灰 | 100% | |
| 35 | S | 壺 | (12.1) | 3.4 | 7.5 | A B C E F H | 不良 | 暗褐 | 60% | |
| 36 | S | 壺 | (12.4) | 3.9 | 7.4 | A C F H | 普 | 灰 | 40% | |
| 37 | S | 壺 | (12.6) | 3.6 | (6.7) | A C G H | 不良 | 灰褐 | 25% | |
| 38 | S | 壺 | (12.6) | 3.5 | (7.7) | A C G H | 良 | 青灰 | 25% | |
| 39 | S | 壺 | | | | A C G H | 普 | 灰 | 25% | |
| 40 | S | 壺 | | | 11.1 | A C F H | 良 | 青灰 | 25% | |
| 41 | S | 短頸壺 | | (20.2) | (12.1) | A C F H | 良 | 青灰 | 35% | |
| 42 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | 5% | |
| 43 | S | 甕 | | | 15.4 | A C F H | 良 | 青灰 | 20% | |
| 44 | S | 甕 | | | | A B C F H | 不良 | 橙 | | |
| 45 | S | 甕 | | | | A B C F H | 不良 | 橙 | | |
| 46 | S | 甕 | | | | A B C F H | 不良 | 橙 | | |
| 47 | H | 甕 | (12.4) | | | A C E H | 普 | 暗褐 | 20% | |
| 48 | H | 甕 | (12.6) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 49 | H | 甕 | (18.4) | | | A B C E I | 良 | 橙 | 20% | |
| 50 | H | 甕 | 13.5 | | | A C E H | 普 | 橙 | 35% | |
| 51 | H | 甕 | (19.1) | | | A B C E H I | 普 | 赤褐 | 10% | |
| 52 | H | 甕 | (19.7) | | | A B C D E | 普 | にぶい橙 | 15% | |
| 53 | H | 甕 | (19.2) | | | A B C H I | 普 | 橙 | 5% | |
| 54 | H | 甕 | (18.0) | | | A B C E | 良 | 橙 | 5% | |
| 55 | H | 甕 | (21.3) | | | A B C E | 良 | 橙 | 10% | |
| 56 | H | 甕 | (18.0) | | | A B C E | 普 | 赤褐 | 5% | |
| 57 | H | 甕 | (21.9) | | | A B C E | 普 | 橙 | 10% | |
| 58 | H | 甕 | 18.4 | 27.9 | 5.0 | A B C E H | 普 | 橙 | 75% | |
| 59 | H | 甕 | 19.7 | 27.5 | 5.1 | A B C E H | 普 | 橙 | 80% | |
| 60 | H | 甕 | 20.8 | 27.3 | (3.8) | A B C E H | 良 | 橙 | 75% | |
| 61 | H | 甕 | 20.9 | 27.5 | 5.0 | A B C E H | 普 | 橙 | 90% | |
| 62 | H | 甕 | 22.2 | 29.4 | 3.5 | A B C E H I | 普 | 橙 | 90% | |
| 63 | H | 甕 | (22.2) | | | A C E | 良 | 橙 | 15% | |
| 64 | H | 甕 | | | (8.3) | A B C E H I | 普 | にぶい赤褐 | 10% | |
| 65 | H | 甕 | | | 4.8 | A C E F H | 普 | 橙 | 5% | |
| 66 | H | 台付甕 | | | | A B C E H I | 普 | 橙 | 35% | |
| 67 | H | 台付甕 | | | (11.0) | A B C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 68 | | 土鍤 | 長 3.9 | 幅 0.9 | 厚 0.7 | | | | | 重さ 2.37g |
| 69 | | 土鍤 | 長 4.1 | 幅 0.8 | 厚 0.7 | | | | | 重さ 2.23g |
| 70 | | 土鍤 | 長 3.7 | 幅 0.9 | 厚 0.9 | | | | | 重さ 2.70g |
| 71 | | 土鍤 | 長 3.0 | 幅 0.7 | 厚 0.6 | | | | | 重さ 1.31g |
| 72 | | 土鍤 | 長 3.2 | 幅 0.8 | 厚 0.8 | | | | | 重さ 2.25g |
| 73 | | 土鍤 | 長(3.0) | 幅 0.9 | 厚 0.9 | | | | | 重さ 2.41g |
| 74 | | 土鍤 | 長 2.7 | 幅 0.6 | 厚 0.7 | | | | | 重さ 1.27g |
| 75 | | 石製紡錘車 | 長(4.1) | 幅 4.4 | 厚 1.6 | 石材: 紅麻片岩 | | | | 重さ 40.62g |
| 76 | | 毛拔形鉄器 | | 幅 2.2 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 5.06g |
| 77 | | 鉄鎌 | | 幅 2.3 | 厚 0.3 | | | | | 重さ 4.61g |

第9表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表(4)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|--------|--------|-------|-------|--------|----|----|----|-----------|----|
| 78 | 棒状鉄製品 | | | 幅 0.5 | 厚 0.5 | | | | 重さ 7.13g | |
| 79 | 棒状鉄製品 | | | 幅 0.5 | 厚 0.5 | | | | 重さ 3.73g | |
| 80 | 延板状鉄製品 | 長 8.0 | | 幅 2.0 | 厚 0.6 | | | | 重さ 28.21g | |
| 81 | 鉄製蛇尾 | 長 4.0 | | 幅 2.4 | 厚 0.5 | | | | 重さ 16.91g | |
| 82 | 延板状鉄製品 | | | 幅 2.1 | 厚 0.3 | | | | 重さ 4.01g | |
| 83 | 延板状鉄製品 | | | 幅 2.3 | 厚 0.3 | | | | 重さ 4.06g | |
| 84 | 磨痕石 | 長 5.6 | 幅 4.6 | 厚 2.6 | 石材：安山岩 | | | | 重さ 35g | |
| 85 | 磨痕石 | 長 5.5 | 幅 3.8 | 厚 3.3 | 石材：安山岩 | | | | 重さ 45g | |
| 86 | 編物石 | 長 8.3 | 幅 3.5 | 厚 1.7 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 70g | |
| 87 | 編物石 | 長 8.5 | 幅 3.0 | 厚 1.6 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 60g | |
| 88 | 編物石 | 長 7.1 | 幅 3.3 | 厚 2.6 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 90g | |
| 89 | 編物石 | 長 6.9 | 幅 4.7 | 厚 2.5 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 115g | |
| 90 | 編物石 | 長 7.6 | 幅 4.0 | 厚 2.1 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 95g | |
| 91 | 編物石 | 長 7.6 | 幅 4.3 | 厚 2.7 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 105g | |
| 92 | 編物石 | 長 7.5 | 幅 3.1 | 厚 2.4 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 80g | |
| 93 | 編物石 | 長 7.9 | 幅 4.1 | 厚 3.2 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 115g | |
| 94 | 編物石 | 長 9.1 | 幅 4.0 | 厚 1.5 | 石材：片岩 | | | | 重さ 90g | |
| 95 | 編物石 | 長 11.2 | 幅 4.9 | 厚 2.8 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 230g | |
| 96 | 編物石 | 長 11.4 | 幅 5.1 | 厚 3.0 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 195g | |
| 97 | 編物石 | 長 11.5 | 幅 5.1 | 厚 3.9 | 石材：片岩 | | | | 重さ 310g | |
| 98 | 編物石 | 長 15.9 | 幅 8.1 | 厚 3.3 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 775g | |

第10表 第4号竪穴建物跡出土遺物観察表(5)

中央付近に掘り込まれる。壁溝の部分では、工具痕が確認された。

図示できた遺物は、第44図1～第50図179である。1～110は土師器で、1～78は壺、79～96は暗文壺、97～110は皿である。4は内面に「×」の線刻、63は内面に記号状の線刻と墨痕が認められる。111～129は須恵器で、111～114は蓋、115～118は壺、119～121・122は瓶、120・123～129は甕である。130～144・146・148～152は土師器甕、145は土師器台付甕、147は土師器甕、153は土錘、154・155は鉄釘、156は鎌、157は刀子、158は鉄斧、159～179は編物石、180は砥石である。

遺構の時期は、8世紀初頭と推定される。

第10号竪穴建物跡（第51～53図、第20表）

調査区東部に位置し、第9号竪穴建物跡、第1・5号掘立柱建物跡に切られる。平面形態は方形で、長軸4.6m、短軸3.9mを測る。主軸方位はN-24°-Wである。

床面はほぼ平坦で、確認面からの深さ50cmを測る。中央付近が特に硬く締まる。ビット、壁溝は確認されなかった。

カマドは北西壁ほぼ中央に構築される。袖は粘土で造られる。燃焼部の幅は50cmで、煙道先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より20cm張り出す。

図示できた遺物は、第53図1～6である。1～5は土師器で、1～3は暗文壺、4は暗文皿、5は甕、6は編物石である。

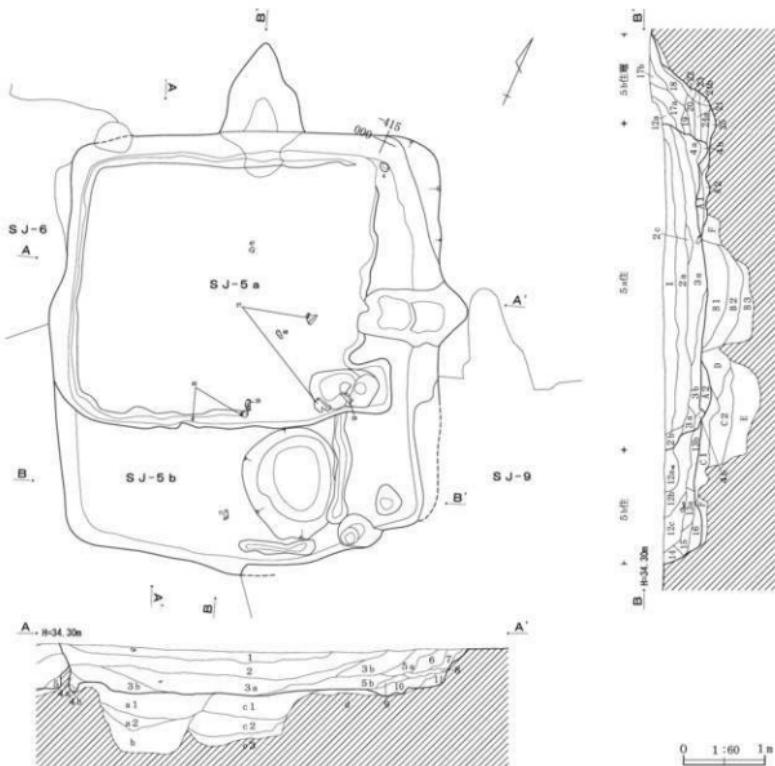
遺構の時期は、7世紀後半と推定される。

第11号竪穴建物跡（第54～58図、第21・22表）

調査区東部に位置し、第50号土坑に切られ、第1号堀跡と切り合う。平面形態は方形で、長軸4.9m、短軸4.6mを測り、主軸方位はN-24°-Wである。

床面はほぼ平坦で、確認面からの深さ50cmを測る。カマド前と南東壁際は特に硬く締まる。

カマドは北西壁ほぼ中央に構築される。袖は粘土で



- A-A'
- 1 黒褐色土 地上・泥化物。土層片を多く含む。粘・しまりや中弱い。
 - 2層 墓塚褐色土 粘土・崩壊物。土層片を多く含む。粘・しまりや中弱い。
 - 3層 黑茶褐色土 粘土・崩壊物。土層片・ローム粒を含む。a-bの間に細分可。
 - 4層 黑褐色土 粘土・崩壊物。土層片を多く含む。a-bの間に細分可。粘・しまりや中弱い。
 - 5層 黑褐色土 粘土・崩壊物。土層片を多く含む。a-bの間に細分可。粘・しまりや中弱い。
 - 6層 黑褐色土 黒色粘質ブロック主体で、ローム・地土・泥化物を含む。a-bの間に細分可。粘・しまりや中弱い。
 - 7層 黑褐色土 黒褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 8層 黑褐色土 黒褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 9層 黑褐色土 黑褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 10層 黑褐色土 黑褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 11層 黑褐色土 黑褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 12層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-cの間に細分可。粘普通。しまり強い。
 - 13層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-bの間に細分可。粘普通。しまりや中弱い。
 - 14層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-cの間に細分可。粘普通。しまりや中弱い。
 - 15層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-cの間に細分可。粘普通。しまりや中弱い。
 - 16層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-cの間に細分可。粘普通。しまりや中弱い。
- B-B'
- 1 黒褐色土 ローム・地土・泥化物。土層片を多く含む。粘・しまりや中弱い。
 - 2層 墓塚褐色土 粘土・崩壊物。土層片を多く含む。a-cの間に細分可。粘・しまりや中弱い。
 - 3層 黑茶褐色土 粘土・崩壊物。土層片・ローム粒を含む。a-bの間に細分可。
 - 4層 黑褐色土 粘土・崩壊物。土層片を多く含む。a-bの間に細分可。粘・しまりや中弱い。
 - 5層 黑褐色土 黒褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 6層 黑褐色土 黑褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 7層 黑褐色土 黑褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 8層 黑褐色土 黑褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 9層 黑褐色土 黑褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 10層 黑褐色土 黑褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 11層 黑褐色土 黑褐色土で、崩壊土層を多く含む。カットの機械痕。粘・しまり弱い。
 - 12層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-cの間に細分可。粘普通。しまり強い。
 - 13層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-bの間に細分可。粘普通。しまりや中弱い。
 - 14層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-cの間に細分可。粘普通。しまりや中弱い。
 - 15層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-cの間に細分可。粘普通。しまりや中弱い。
 - 16層 黑褐色土 ローム・地土・泥化物を多く含む。a-cの間に細分可。粘普通。しまりや中弱い。

注 下

- 1層 墓塚褐色土 ローム・ブロックを多く含む。黑褐色土を含む。

- 2層 黑褐色土 ローム・ブロックを多く含む。

- 3層 黑褐色土 ローム・ブロックを多く含む。黑褐色土を含む。

- 4層 墓塚褐色土 ロームを主体とする。

注 下

- 1層 黑褐色土 ローム・ブロックを多く含む。地土を含む。1-2の間に細分可。

- 2層 墓塚褐色土 ローム・ブロックを主体で、地土をわずかに含む。1-2の間に細分可。

- 3層 黑褐色土 ローム・ブロックを多く含む。黑褐色土を含む。1-2の間に細分可。

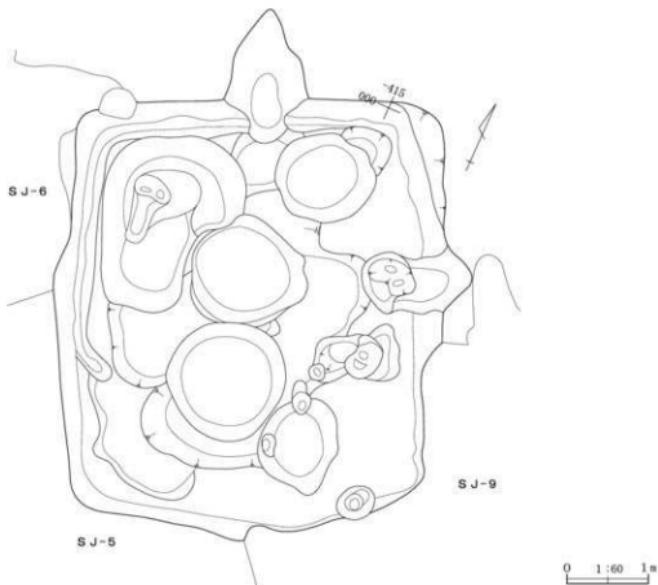
- 4層 黑褐色土 ローム・ブロックを多く含む。地土を含む。1-2の間に細分可。

- 5層 黑褐色土 ローム・ブロックを多く含む。地土を含む。1-2の間に細分可。

- 6層 墓塚褐色土 ローム・ブロック・ローム粒子を含む。

注 17-25番は、土層記述が失ったため不詳。

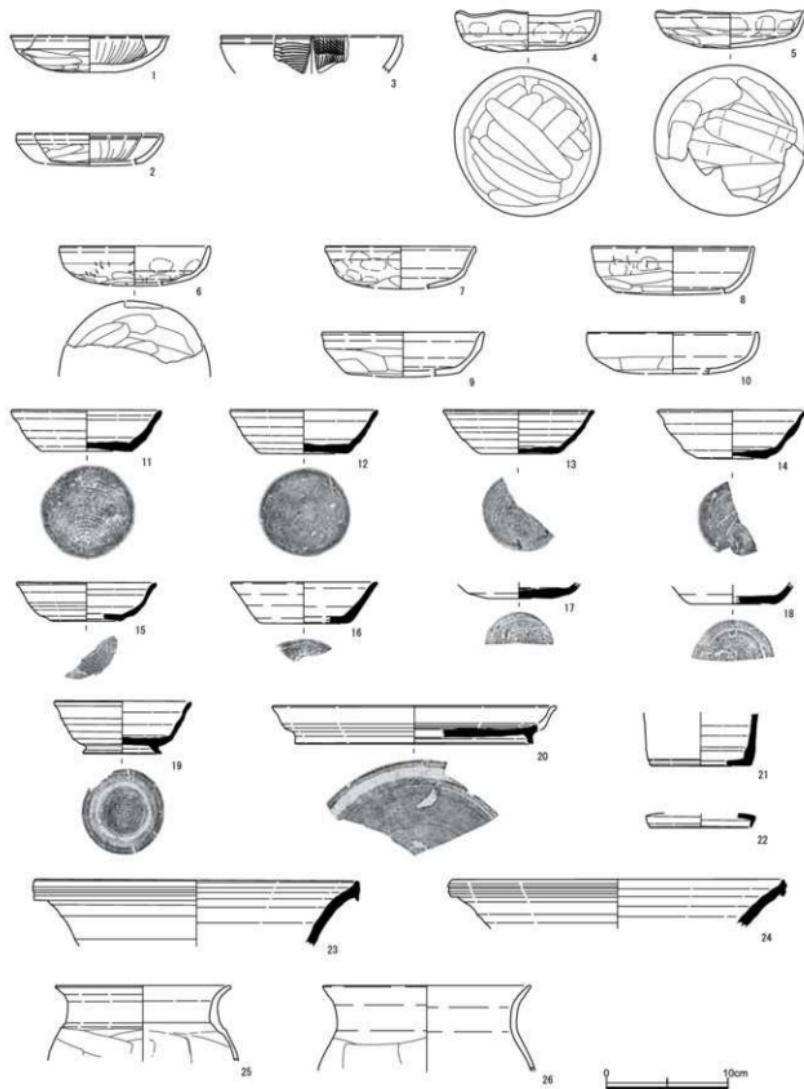
第27図 第5号竪穴建物跡



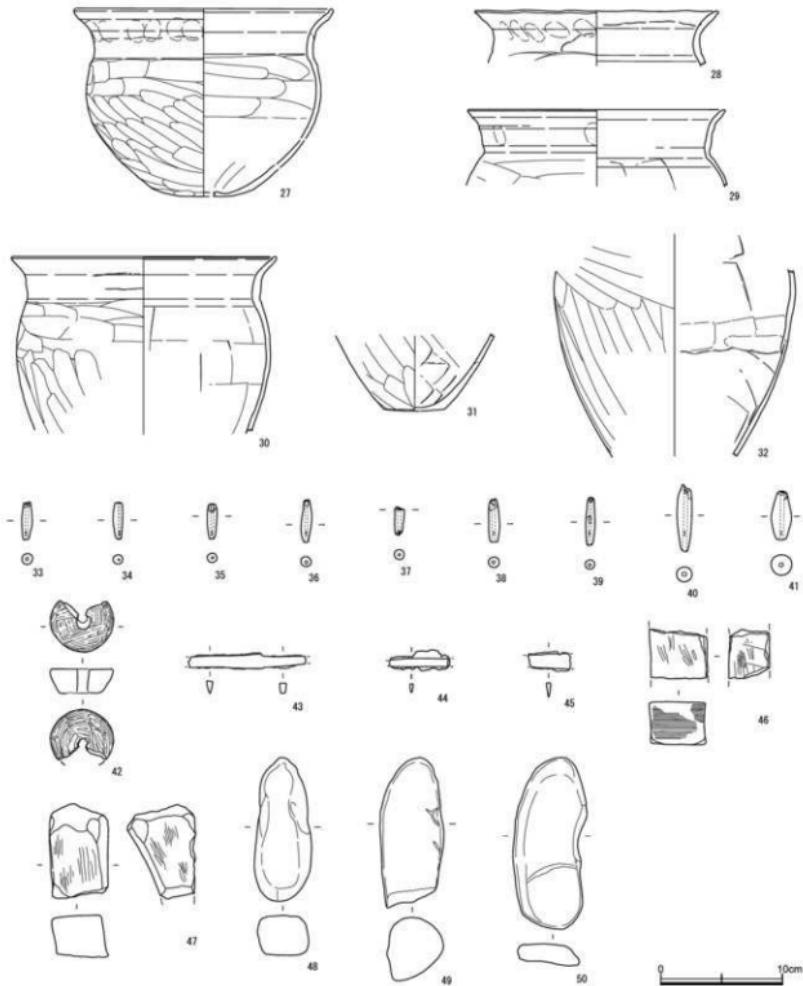
第28図 第5号竪穴建物跡掘方

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-----|--------|-------|--------|-------------|----|------|------|-----|
| 1 | H | 壺 | (13.0) | 3.0 | | A B C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 2 | H | 壺 | (12.0) | (2.5) | | A C | 普 | 橙 | 10% | |
| 3 | H | 壺 | (15.0) | | | A B C E | 良 | 橙 | 5% | |
| 4 | H | 壺 | 11.9 | 3.4 | | A C E I | 普 | 橙 | 100% | |
| 5 | H | 壺 | 12.4 | 3.1 | | A C E I | 普 | 橙 | 75% | |
| 6 | H | 壺 | (12.3) | (3.2) | | A C E I | 普 | にぶい橙 | 25% | |
| 7 | H | 壺 | (12.3) | (3.5) | | A C E H | 普 | 橙 | 25% | |
| 8 | H | 壺 | (13.0) | (3.9) | | A C E I | 普 | にぶい橙 | 20% | |
| 9 | H | 壺 | (13.0) | (3.6) | | A C D E H | 普 | 橙 | 20% | |
| 10 | H | 壺 | (13.8) | (3.4) | | A B C | 普 | 橙 | 20% | |
| 11 | S | 壺 | (12.4) | 3.4 | 7.2 | A C F H | 不良 | 灰 | 70% | |
| 12 | S | 壺 | (12.2) | 3.7 | 7.5 | A B C D F H | 不良 | 灰褐 | 50% | |
| 13 | S | 壺 | (12.4) | 3.6 | 6.4 | A B C G H | 不良 | 灰褐 | 45% | |
| 14 | S | 壺 | (12.3) | 4.0 | 5.9 | A C G H | 不良 | 灰 | 40% | |
| 15 | S | 壺 | 11.5 | 3.2 | (6.2) | A C G H | 良 | 灰 | 40% | |
| 16 | S | 壺 | (12.0) | 3.4 | (7.0) | A C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 17 | S | 壺 | | | 4.9 | A C D H | 普 | 灰 | 20% | |
| 18 | S | 壺 | | | 6.6 | A C G H | 良 | 青灰 | 20% | |
| 19 | S | 高台壺 | (11.3) | 4.3 | 6.5 | A C G H | 良 | 青灰 | 60% | |
| 20 | S | 高台盤 | | | (19.5) | A C G H | 普 | 灰 | 20% | |

第11表 第5号竪穴建物跡出土遺物観察表(1)



第29図 第5号竪穴建物跡出土遺物 (1)



第30図 第5号竪穴建物跡出土遺物（2）

造られる。燃焼部の幅は50cmで、煙道先端に向かって斜めに立ち上がる。先端部はピットに切られる。煙道残存部は壁より50cm張り出す。

貯蔵穴はカマド右脇で確認された。長軸90cm、短

軸80cmの隅丸方形で、床面からの深さ40cmである。主柱穴、壁溝は確認されなかった。

掘方は、中央付近と北隅が床面より10～35cm掘り込まれる。

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|--------|--------|-------|-------|-------------|----|-------|-----|------------|
| 21 | S | コップ形土器 | | | (8.5) | A C G H | 良 | 灰 | 20% | 外面に自然釉 |
| 22 | S | 蓋 | (8.3) | | | A C | 普 | 灰 | 5% | 外面に自然釉 |
| 23 | S | 甕 | (26.5) | | | A C F H | 良 | 青灰 | | 内面に自然釉 |
| 24 | S | 甕 | (27.1) | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |
| 25 | H | 甕 | (14.4) | | | A C E | 普 | にぶい赤褐 | 15% | |
| 26 | H | 甕 | (17.0) | | | A C E | 良 | 橙 | 15% | |
| 27 | H | 甕 | 21.2 | 15.4 | | A B C D E H | 普 | 橙 | 80% | |
| 28 | H | 甕 | (20.0) | | | A C E | 普 | にぶい橙 | 5% | |
| 29 | H | 甕 | (21.2) | | | A C E I | 良 | 橙 | 10% | |
| 30 | H | 甕 | 21.7 | | | A B C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 31 | H | 甕 | | | 5.0 | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 32 | H | 甕 | | | | A B C E H | 普 | にぶい橙 | 20% | |
| 33 | | 土錘 | 長(3.1) | 幅0.9 | 厚0.9 | | | | | 重さ 1.93g |
| 34 | | 土錘 | 長 3.0 | 幅 0.8 | 厚 0.8 | | | | | 重さ 1.91g |
| 35 | | 土錘 | 長(2.9) | 幅 0.8 | 厚 0.8 | | | | | 重さ 1.60g |
| 36 | | 土錘 | 長 3.5 | 幅 0.9 | 厚 0.8 | | | | | 重さ 1.86g |
| 37 | | 土錘 | 長(2.3) | 幅 0.8 | 厚 0.8 | | | | | 重さ 1.40g |
| 38 | | 土錘 | 長(3.6) | 幅 0.9 | 厚 0.9 | | | | | 重さ 2.35g |
| 39 | | 土錘 | 長(3.9) | 幅 0.8 | 厚 0.8 | | | | | 重さ 1.96g |
| 40 | | 土錘 | 長(5.5) | 幅 1.2 | 厚 1.2 | | | | | 重さ 7.27g |
| 41 | | 土錘 | 長 4.0 | 幅 1.7 | 厚 1.7 | | | | | 重さ 10.20g |
| 42 | | 土製紡錘車 | | 幅 5.2 | 厚 2.0 | | | | | 重さ 42.33g |
| 43 | | 刀子 | | 幅 1.0 | 厚 0.6 | | | | | 重さ 12.47g |
| 44 | | 刀子 | | 幅 0.7 | 厚 0.3 | | | | | 重さ 5.42g |
| 45 | | 刀子 | | 幅 1.2 | 厚 0.4 | | | | | 重さ 3.70g |
| 46 | | 砥石 | 長(4.0) | 幅 4.9 | 厚 3.5 | 石材：凝灰岩 | | | | 重さ 118.03g |
| 47 | | 砥石 | 長(7.8) | 幅 4.7 | 厚 5.5 | 石材：凝灰岩 | | | | 重さ 268.37g |
| 48 | | 編物石 | 長 11.6 | 幅 4.7 | 厚 3.2 | 石材：石英片岩 | | | | 重さ 275g |
| 49 | | 編物石 | 長 11.5 | 幅 5.3 | 厚 4.9 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 360g |
| 50 | | 編物石 | 長 13.8 | 幅 5.8 | 厚 1.6 | 石材：石英片岩 | | | | 重さ 300g |

第12表 第5号竪穴建物跡出土遺物観察表(2)

図示できた遺物は、第57図1～第58図39である。1～17・20・21は土師器で、1は模倣壺、2～5は有段口縁壺、6は北武藏型壺、7～11は暗文壺である。12は暗文の高台壺、13・14は皿、15は暗文の脚付皿である。16は鉢、17は壺、20は甕、18・19は須恵器壺、22・24は棒状鉄製品、23は錐と思われる。25・26は砥石、27は磨痕石、28～39は編物石である。

遺構の時期は、7世紀後半と推定される。

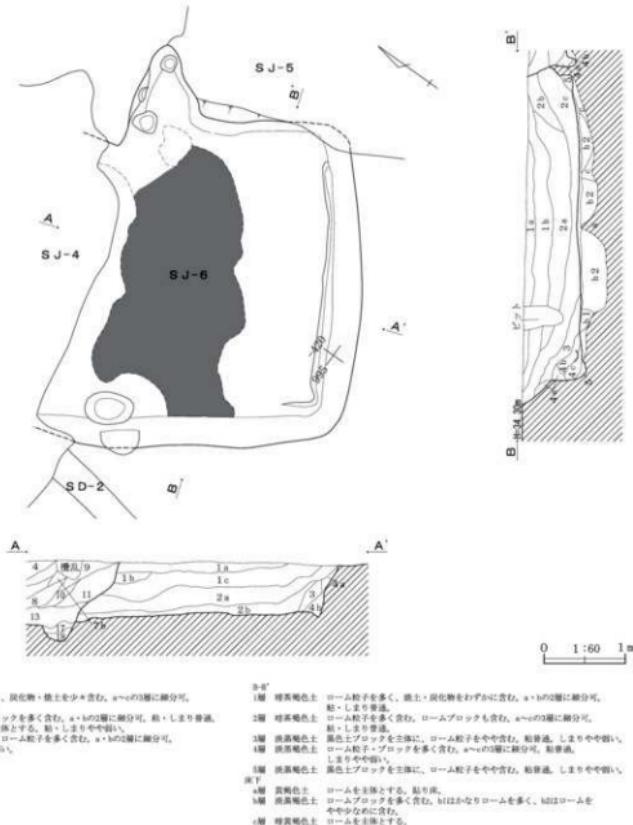
第12号竪穴建物跡(第59～64図、第23・24表)

調査区東部に位置し、第1号掘立柱建物跡を切り、第2号掘立柱建物跡、第30・32号土坑に切られる。2棟重複しており、第12a号竪穴建物跡が新しい。

第12a号竪穴建物跡は、長軸5.9m、短軸5.3mを測り、主軸方位はN-62°-Eである。床面はほぼ平坦で、確認面からの深さは50cmである。壁はほぼ垂直に立ち上がり、上半が広がる。

カマドは北東壁ほぼ中央に構築される。袖は倒立した土師器甕を補強材とし、粘土により造られる。燃焼部は幅50cmを測り、底面は床面よりわずかに低い。煙道は先端に向かって斜めに立ち上がる。

東隅に、長径120cm、短径80cm、床面からの深さ45cmの掘り込みが確認された。貯蔵穴の可能性がある。主柱穴は4基確認された。床面からの深さは、35～50cmである。掘方は、床面からの深さ20～40cmの床下土坑が多数掘り込まれる。



第31図 第6号竪穴建物跡（1）

第12b号竪穴建物跡は、確認面から床面までの深さ30cm、主軸方位はN-62°-Eである。

図示できた遺物は、第62図1～第64図45である。1～23・25～34は土器で、1は模倣壺、2～6は有段口環壺、7～12は北武藏型壺、13～19は暗文壺、20・21は暗文皿、22は皿、23は鉢、25～33は甕、34は瓶である。24は須恵器壺、35～43は繊物石、44・45は磨痕石である。

遺構の時期は、7世紀後半と推定される。

第13号竪穴建物跡（第65・66図、第25表）

調査区東部に位置し、第19号竪穴建物跡を切り、第25号土坑に切られる。長軸3.4m以上、短軸2.6mを測り、主軸方位はN-65°-Eである。

床面はやや凸凹があり、掘り込み面からの深さ60cmを測る。中央付近は特に硬く締まる。

北隅に土坑が認められる。堆積状態から、竪穴建物廃絶後間もなく掘り込まれたものと思われ、遺物は一括して扱った。掘方は、中央に床面からの深さ20cm



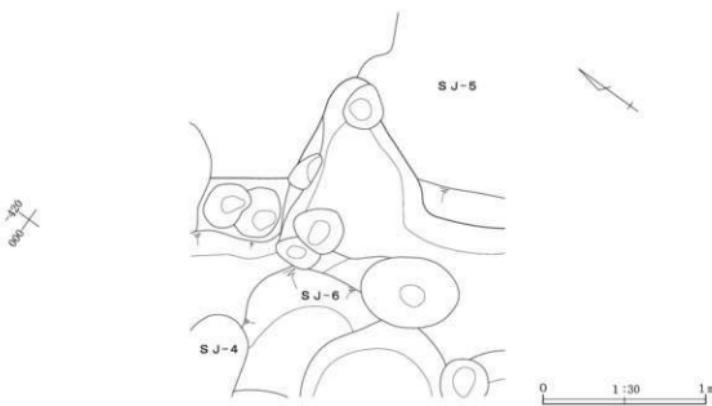
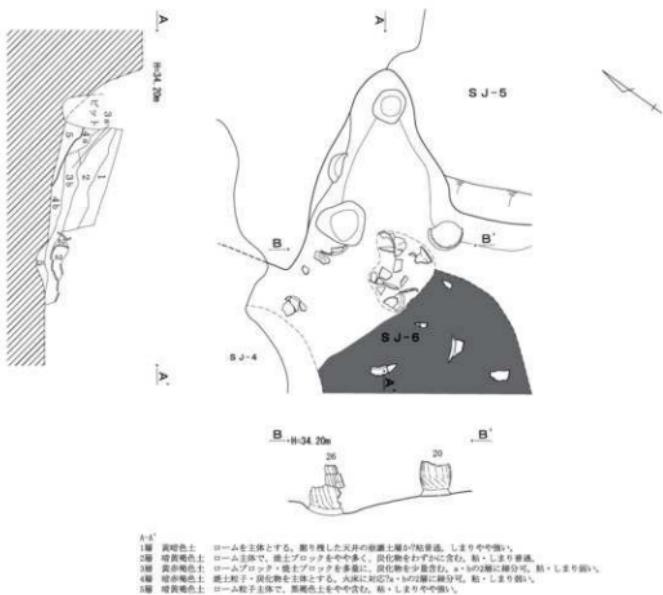
第32図 第6号竪穴建物跡（2）

の床下土坑が認められる。

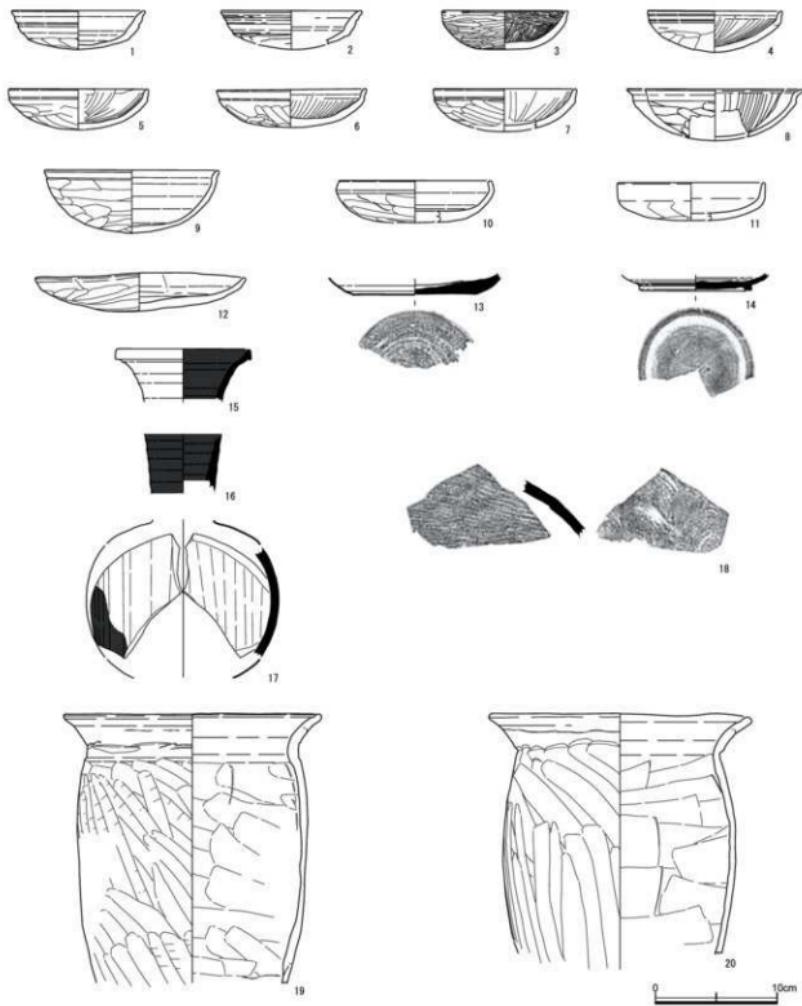
図示できた遺物は、第66図1～7である。1～4は須恵器で、1・2は壺、3・4は高台壺である。5は

ロクロ土師器高台壺、6は土師器甕、7は刀子である。

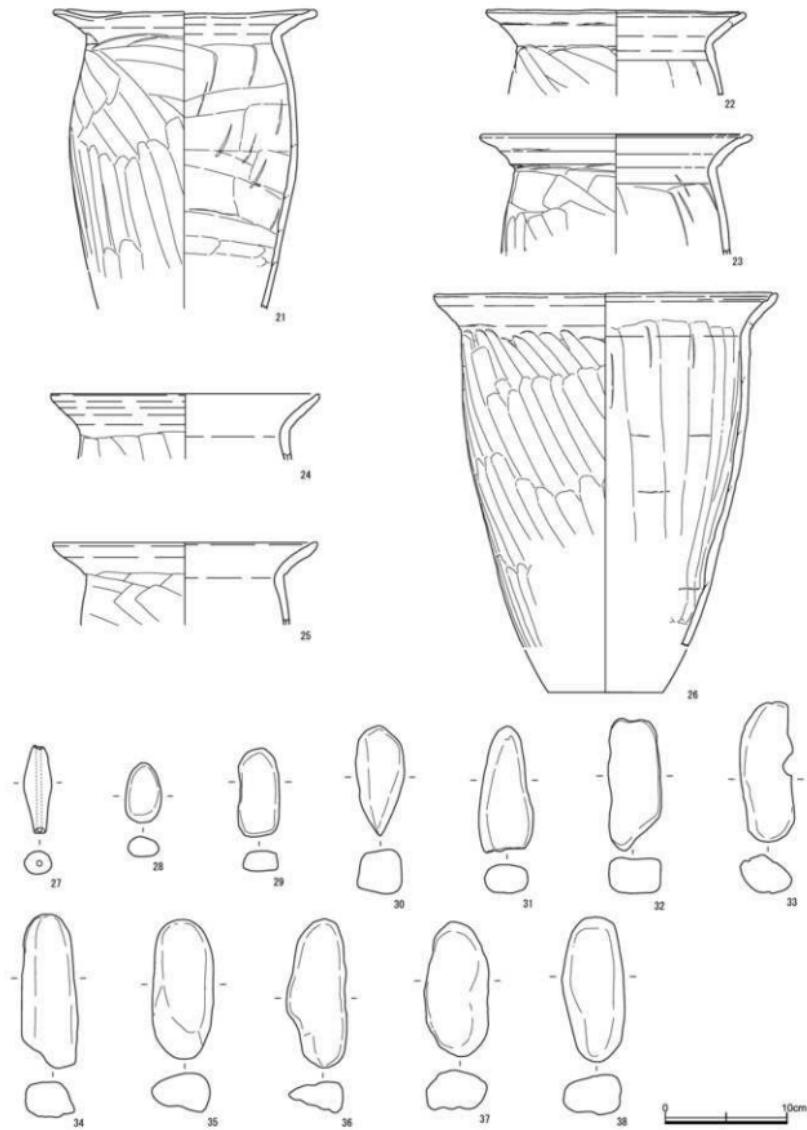
遺構の時期は、9世紀前半と推定される。



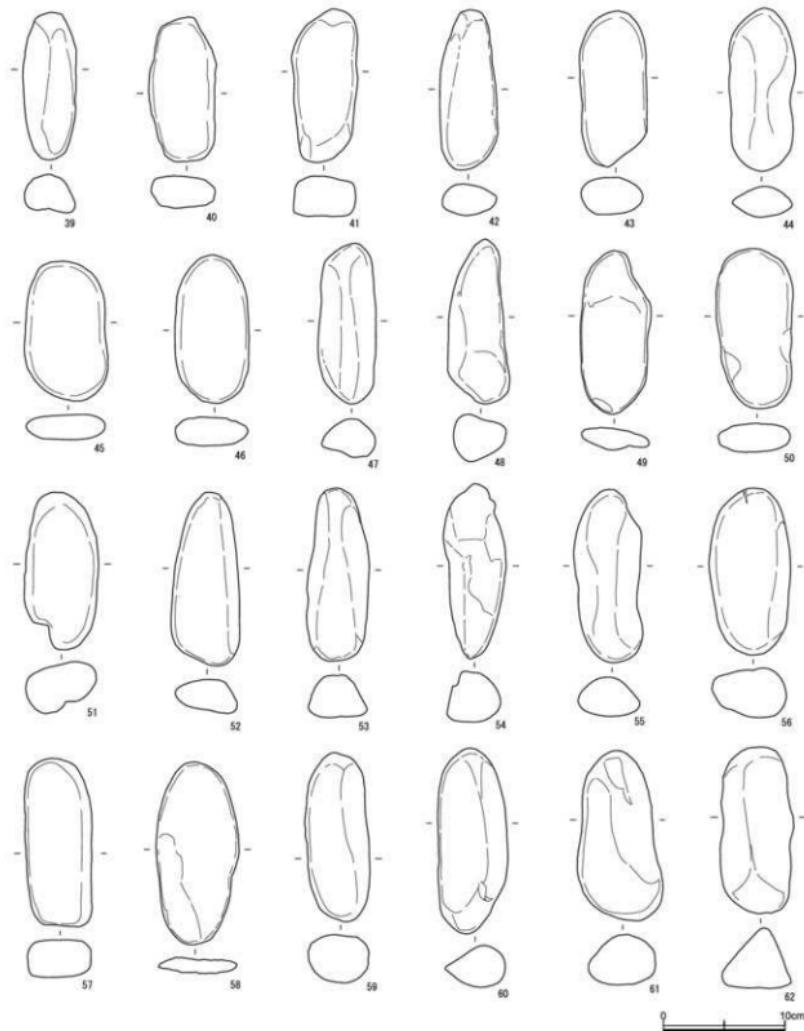
第33図 第6号竪穴建物跡 (3)



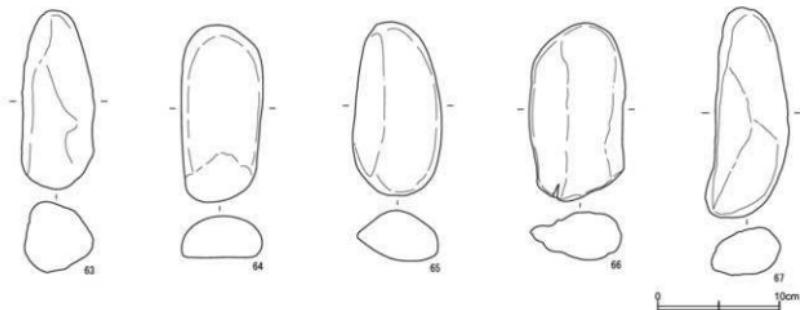
第34図 第6号竪穴建物跡出土遺物（1）



第35図 第6号竪穴建物跡出土遺物（2）



第36図 第6号竪穴建物跡出土遺物（3）



第37図 第6号竪穴建物跡出土遺物(4)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 | |
|----|----|-------|--------|-------|------|----------|-------------|----|------|-----------|--------|
| 1 | H | 壺 | (11.0) | 3.2 | | A C E H | 良 | 橙 | 25% | | |
| 2 | H | 壺 | (11.4) | (3.2) | | A C E | 普 | 橙 | 15% | | |
| 3 | H | 壺 | 10.4 | 3.2 | | A C | 良 | 黒 | 100% | 全面黑色磨研 | |
| 4 | H | 壺 | 11.0 | 3.4 | | A C E | 良 | 橙 | 100% | | |
| 5 | H | 壺 | (11.5) | 3.4 | | A C E | 良 | 橙 | 25% | | |
| 6 | H | 壺 | 12.2 | 3.2 | | A B C E | 普 | 橙 | 100% | | |
| 7 | H | 壺 | (11.4) | (3.5) | | A C E | 良 | 橙 | 25% | | |
| 8 | H | 壺 | (14.0) | (4.2) | | A B C E | 普 | 橙 | 15% | | |
| 9 | H | 壺 | 14.2 | 5.2 | | A B C E | 良 | 橙 | 80% | | |
| 10 | H | 壺 | (12.5) | 3.4 | | A C H I | 普 | 橙 | 35% | | |
| 11 | H | 壺 | (12.1) | (3.1) | | A C E | 普 | 橙 | 15% | | |
| 12 | H | 皿 | 17.2 | 3.2 | | A C E H | 良 | 橙 | 100% | | |
| 13 | S | 壺 | | | | (10.0) | A C D F H | 普 | 灰 | 15% | |
| 14 | S | 高台壺 | | | | 9.2 | A C H | 普 | 灰 | 25% | |
| 15 | S | プラスコ瓶 | (10.7) | | | | A C | 良 | 灰 | 5% | 外面に自然釉 |
| 16 | S | プラスコ瓶 | | | | | A C | 良 | 灰 | 5% | 外面に自然釉 |
| 17 | S | プラスコ瓶 | | | | | A C | 良 | 灰 | 10% | 外面に自然釉 |
| 18 | S | 甕 | | | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |
| 19 | H | 甕 | 21.0 | | | | A B C E H | 普 | 橙 | 60% | |
| 20 | H | 甕 | 21.6 | | | | A B C E H | 良 | 橙 | 70% | |
| 21 | H | 甕 | 21.5 | | | | A B C E H | 普 | 橙 | 70% | |
| 22 | H | 甕 | 21.4 | | | | A B C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 23 | H | 甕 | 22.4 | | | | A B C D E H | 普 | 橙 | 25% | |
| 24 | H | 甕 | (22.0) | | | | A B C E | 普 | 暗褐 | 10% | |
| 25 | H | 甕 | (21.6) | | | | A B C D E | 普 | 橙 | 10% | |
| 26 | H | 甕 | (28.2) | | | | A B C E H | 普 | 橙 | 25% | |
| 27 | | 土鍤 | 長7.2 | 幅2.3 | 厚1.9 | | | | | 重さ 28.78g | |
| 28 | | 編物石 | 長4.8 | 幅3.0 | 厚1.6 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 25g | |
| 29 | | 編物石 | 長7.0 | 幅3.4 | 厚1.6 | 石材: チャート | | | | 重さ 70g | |
| 30 | | 編物石 | 長8.9 | 幅4.0 | 厚3.5 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 165g | |
| 31 | | 編物石 | 長9.9 | 幅4.6 | 厚2.3 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 145g | |
| 32 | | 編物石 | 長10.7 | 幅4.4 | 厚2.8 | 石材: チャート | | | | 重さ 210g | |

第13表 第6号竪穴建物跡出土遺物観察表(1)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|-----|--------|-------|-------|----------|----|----|----|---------|
| 33 | | 縞物石 | 長 11.2 | 幅 4.5 | 厚 3.1 | 石材：凝灰岩 | | | | 重さ 230g |
| 34 | | 縞物石 | 長 12.2 | 幅 4.7 | 厚 2.8 | 石材：片岩 | | | | 重さ 240g |
| 35 | | 縞物石 | 長 11.2 | 幅 5.1 | 厚 3.0 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 290g |
| 36 | | 縞物石 | 長 11.9 | 幅 4.9 | 厚 2.5 | 石材：片岩 | | | | 重さ 185g |
| 37 | | 縞物石 | 長 10.7 | 幅 5.3 | 厚 3.1 | 石材：片岩 | | | | 重さ 260g |
| 38 | | 縞物石 | 長 11.7 | 幅 5.2 | 厚 3.2 | 石材：チャート | | | | 重さ 360g |
| 39 | | 縞物石 | 長 11.9 | 幅 4.5 | 厚 2.8 | 石材：片岩 | | | | 重さ 270g |
| 40 | | 縞物石 | 長 11.6 | 幅 5.5 | 厚 2.6 | 石材：片岩 | | | | 重さ 260g |
| 41 | | 縞物石 | 長 12.0 | 幅 5.4 | 厚 3.2 | 石材：チャート | | | | 重さ 410g |
| 42 | | 縞物石 | 長 12.8 | 幅 4.8 | 厚 2.5 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 230g |
| 43 | | 縞物石 | 長 12.4 | 幅 5.5 | 厚 3.0 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 400g |
| 44 | | 縞物石 | 長 13.1 | 幅 5.5 | 厚 2.5 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 220g |
| 45 | | 縞物石 | 長 11.1 | 幅 7.0 | 厚 2.0 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 270g |
| 46 | | 縞物石 | 長 11.9 | 幅 6.2 | 厚 2.3 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 280g |
| 47 | | 縞物石 | 長 12.9 | 幅 4.8 | 厚 3.1 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 300g |
| 48 | | 縞物石 | 長 13.3 | 幅 5.1 | 厚 3.8 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 300g |
| 49 | | 縞物石 | 長 13.1 | 幅 5.8 | 厚 1.7 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 270g |
| 50 | | 縞物石 | 長 12.8 | 幅 6.4 | 厚 2.3 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 270g |
| 51 | | 縞物石 | 長 12.6 | 幅 6.0 | 厚 3.7 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 535g |
| 52 | | 縞物石 | 長 13.9 | 幅 5.7 | 厚 2.6 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 310g |
| 53 | | 縞物石 | 長 13.8 | 幅 5.1 | 厚 3.4 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 325g |
| 54 | | 縞物石 | 長 14.7 | 幅 5.0 | 厚 4.1 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 315g |
| 55 | | 縞物石 | 長 13.9 | 幅 5.5 | 厚 3.2 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 370g |
| 56 | | 縞物石 | 長 13.5 | 幅 6.8 | 厚 4.0 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 550g |
| 57 | | 縞物石 | 長 13.4 | 幅 5.1 | 厚 3.0 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 360g |
| 58 | | 縞物石 | 長 14.7 | 幅 6.9 | 厚 1.2 | 石材：網雲母片岩 | | | | 重さ 260g |
| 59 | | 縞物石 | 長 13.4 | 幅 5.2 | 厚 3.8 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 450g |
| 60 | | 縞物石 | 長 14.9 | 幅 5.7 | 厚 3.4 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 410g |
| 61 | | 縞物石 | 長 13.4 | 幅 7.0 | 厚 4.0 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 505g |
| 62 | | 縞物石 | 長 13.4 | 幅 5.9 | 厚 4.8 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 525g |
| 63 | | 縞物石 | 長 14.4 | 幅 6.0 | 厚 5.7 | 石材：チャート | | | | 重さ 620g |
| 64 | | 縞物石 | 長 14.3 | 幅 6.7 | 厚 3.3 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 530g |
| 65 | | 縞物石 | 長 14.0 | 幅 7.4 | 厚 4.0 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 510g |
| 66 | | 縞物石 | 長 14.0 | 幅 8.0 | 厚 3.8 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 610g |
| 67 | | 縞物石 | 長 16.8 | 幅 6.1 | 厚 3.6 | 石材：片岩 | | | | 重さ 570g |

第14表 第6号竪穴建物跡出土遺物観察表 (2)

第14号竪穴建物跡 (第67 ~ 72図、第26 ~ 29表)

調査区東部に位置し、第1号掘立柱建物跡、第25・29号土坑に切られる。平面形態は方形で、長軸4.7m、短軸3.6mを測る。主軸方位はN-62°-Eである。

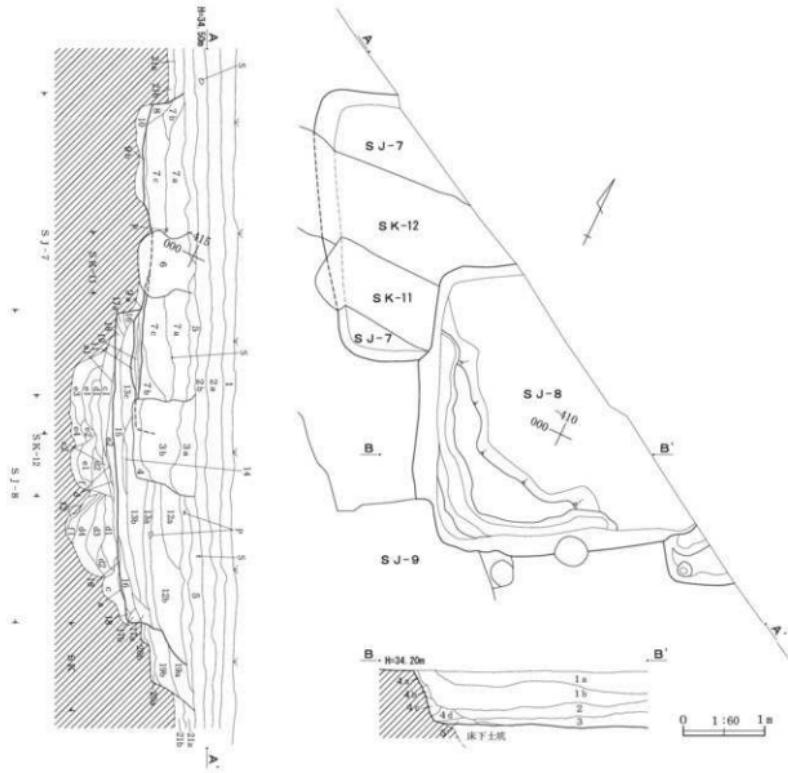
床面はやや凹凸があり、確認面からの深さは75cmを測る。カマドの周囲と南東壁付近に粘土が認められた。壁はほぼ垂直に立ち上がる。

カマドは北東壁ほぼ中央に構築される。袖は粘土で造られ、内側が硬化する。燃焼部の幅は50cm、底面

は床面より10cm深くなる。煙道は先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より60cm張り出す。

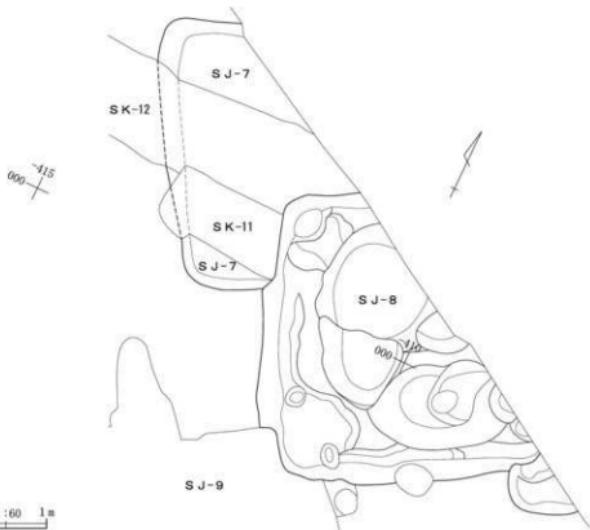
掘方は、床面からの深さ10~55cmの床下土坑がほぼ全面に掘り込まれる。

図示できた遺物は、第70図1~第72図57である。1~6は土師器で、1~5は壺、6は楕である。7~41は須恵器で、7~8は蓋、9~38は壺、39は高台壺、40は小壺、41は甕である。42~52は土師器甕、53は石製紡錘車、54は土製紡錘車、55~56は鉄釘、57は用



- A-A'
- 1層 黄灰褐色土 稕表土。
 - 2層 灰褐色土 残土を含む。a~hの4層に細分可。微弱な土層。
 - 3層 黑褐色土 黑褐色土ブロックを含む。a~hの4層に細分可。SK12の覆土層。
 - 4層 黑褐色土 黑褐色土ブロックを含む。a~hの4層に細分可。
 - 5層 灰褐色土 灰褐色土粒子多く含む。
 - 6層 黑褐色土 ローム・褐化物・小土斑層。ロームブロックを含む。a~hの4層に細分可。
 - 7層 深灰褐色土 地上。地化物・ローム・ロームブロックを含む。a~hの4層に細分可。
- B-B'
- 1層 黄灰褐色土 地上。微弱なローム・ロームブロック・土脚面繊片を含む。a~hの3層に細分可。粘・しまり普通。
 - 2層 黄褐色土 地上。凹凸物を多く含む。粘・しまり普通。
 - 3層 黑褐色土 地上。凹凸物を多く含む。粘・しまり普通。
 - 4層 黑褐色土 ロームを主体とする。a~hの3層に細分可。堅・しまり普通。
 - 5層 灰褐色土 ロームを多く含む。粘・しまりやや強め。
- 8層 開発褐色土 ローム・砂子を主体に含む。SK7の覆土層。
- 9層 真褐色土 ローム・フロットを主体に、明褐褐色土・地上粒子を含む。ラミナ状をなして傾く。
- 10層 地下褐色土 地下。ローム・フロットを主体に、明褐褐色土・地上粒子を含む。ラミナ状をなして傾く。
- 11層 黑褐色土 地下。SK7。
- 12層 地下褐色土 地下。ローム・フロット・地上。a~hの4層に細分可。SK8。
- 13層 地下褐色土 地下。ローム・フロット・地上。a~hの4層に細分可。SK8。
- 14層 地下褐色土 地下。ローム・フロットを主体に、砂子を含む。a~hの3層に細分可。SK8。
- 15層 地下褐色土 ローム・フロット・地上を多く含む。SK8。
- 16層 地下褐色土 ローム・地下を多く含む。SK8。
- 17層 地下褐色土 地下。ローム・地下を多く含む。a~hの3層に細分可。SK8。
- 18層 地下褐色土 ローム・地上を多く含む。SK8。
- 19層 地下褐色土 ローム・残土を含む。SK8の83.8~7.7+a~hの3層に細分可。SK8。
- 20層 地下褐色土 ロームを多く含む。SK8の83.8~7.7+a~hの3層に細分可。
- 21層 地下褐色土 ロームを含む。a~hの3層に細分可。
- 22層 地下褐色土 ローム・砂子を含む。a~hの3層に細分可。
- 23層 地下褐色土 ローム・褐色粘土を主体とする。1~6の4層に細分可。
- 24層 地下褐色土 褐色粘土を主体とする。残土を含む。1~2の2層に細分可。

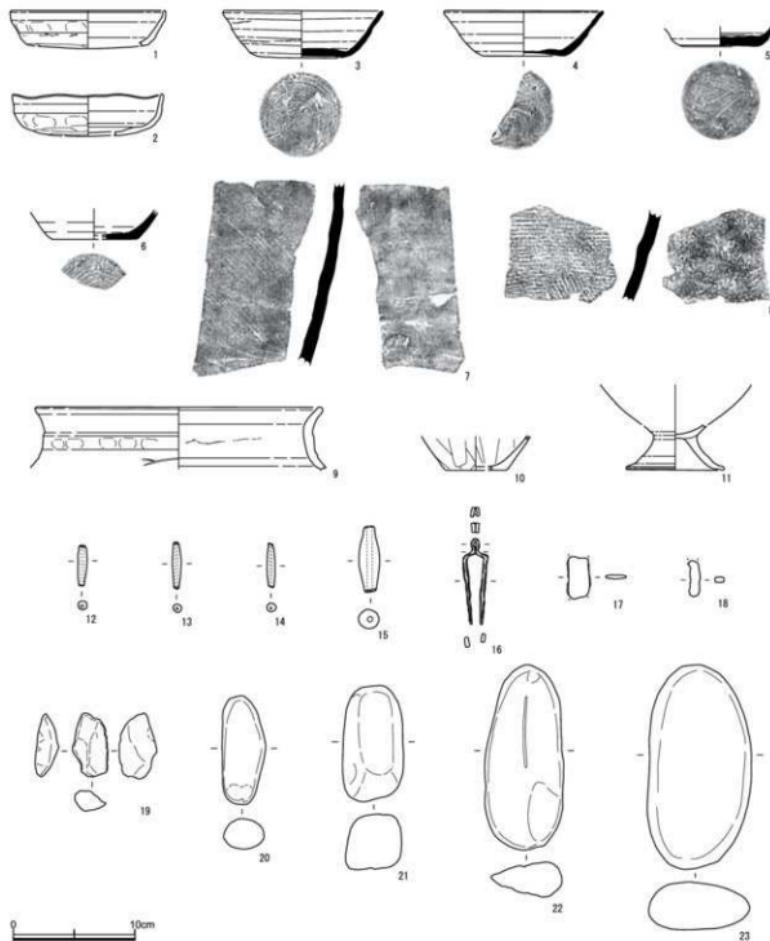
第38図 第7・8号竪穴建物跡



第39図 第7・8号竖穴建物跡掘方

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|--------|--------|-------|-------|-----------|----|-----|-----|-----------|
| 1 | H | 壺 | (12.5) | (3.1) | | A C I | 良 | 赤褐色 | 20% | |
| 2 | H | 壺 | (12.4) | (3.4) | | A C E I | 普 | 赤褐色 | 20% | |
| 3 | S | 壺 | 13.0 | 3.9 | 7.1 | A C G H | 不良 | 灰褐色 | 90% | |
| 4 | S | 壺 | (13.2) | 3.7 | 6.6 | A C D F H | 不良 | 灰 | 35% | |
| 5 | S | 壺 | | | 6.5 | A C G | 普 | 灰 | 30% | |
| 6 | S | 壺 | | | (6.8) | A C F H | 普 | 灰 | 15% | |
| 7 | S | 甕 | | | | A C G H | 普 | 灰 | | |
| 8 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 灰 | | |
| 9 | H | 甕 | (23.6) | | | A B C I | 普 | 橙 | 10% | |
| 10 | H | 甕 | | | 5.0 | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 11 | H | 台付甕 | | | (7.9) | A B C E | 普 | 橙 | 10% | |
| 12 | | 土鍤 | 長3.4 | 幅0.7 | 厚0.7 | | | | | 重さ 1.85g |
| 13 | | 土鍤 | 長3.9 | 幅0.7 | 厚0.7 | | | | | 重さ 2.03g |
| 14 | | 土鍤 | 長3.7 | 幅0.7 | 厚0.7 | | | | | 重さ 1.92g |
| 15 | | 土鍤 | 長5.5 | 幅1.8 | 厚1.6 | | | | | 重さ 13.08g |
| 16 | | 毛抜形鉄器 | 長7.1 | 幅2.1 | 厚0.8 | | | | | 重さ 5.69g |
| 17 | | 延板状鉄製品 | | 幅1.7 | 厚0.4 | | | | | 重さ 5.03g |
| 18 | | 棒状鉄製品 | | 幅0.8 | 厚0.4 | | | | | 重さ 2.76g |
| 19 | | 砥石 | 長5.1 | 幅3.0 | 厚1.6 | 石材:凝灰岩 | | | | 重さ 20g |
| 20 | | 編物石 | 長8.8 | 幅3.7 | 厚2.5 | 石材:砂岩 | | | | 重さ 90g |
| 21 | | 編物石 | 長9.2 | 幅5.1 | 厚4.4 | 石材:砂岩 | | | | 重さ 340g |
| 22 | | 編物石 | 長14.9 | 幅6.6 | 厚2.8 | 石材:片岩 | | | | 重さ 420g |
| 23 | | 編物石 | 長16.3 | 幅8.5 | 厚3.9 | 石材:安山岩 | | | | 重さ 910g |

第15表 第8号竖穴建物跡出土遺物観察表



第40図 第8号竖穴建物跡出土遺物

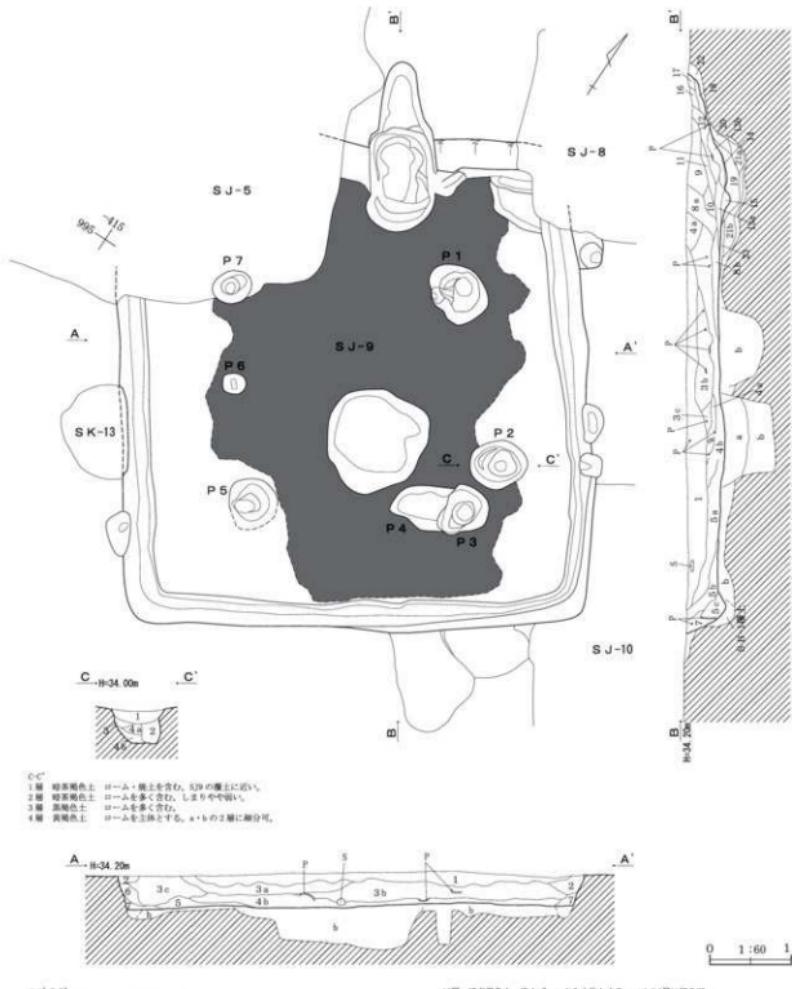
途不明の鉄製品である。また、内面に糸切り痕のある須恵器坏がみられた（写真図版35）。

遺構の時期は、8世紀中葉と推定される。

第15号竖穴建物跡（第73～77図、第30～32表）

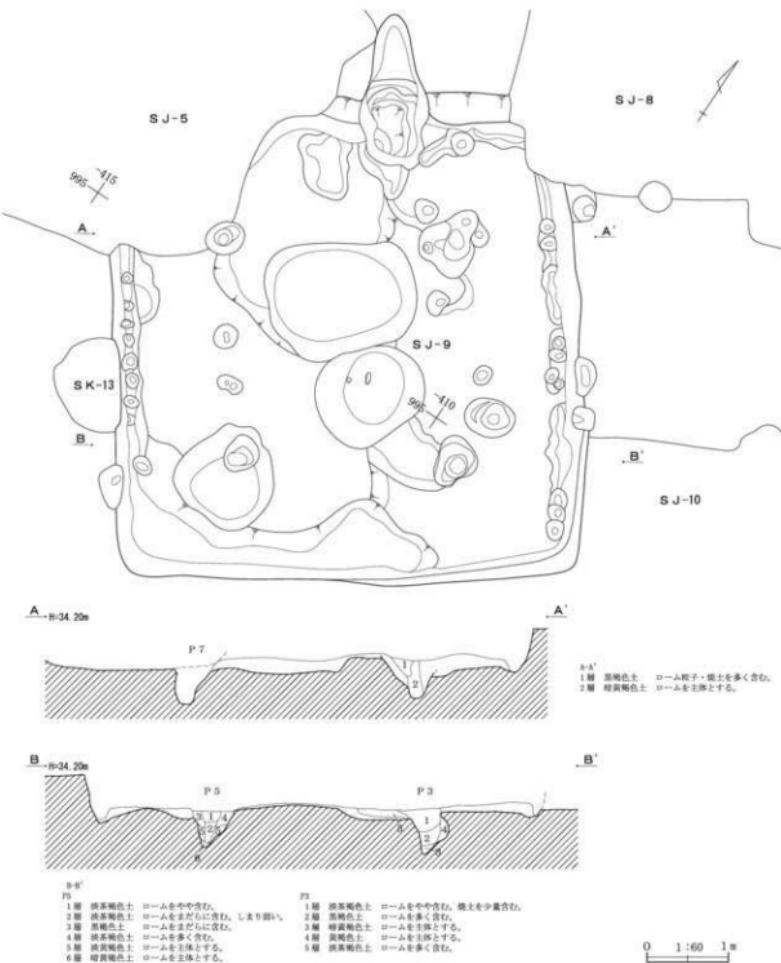
調査区南東部に位置し、第16号竖穴建物跡に切られる。平面形態は方形で、一边5.6mを測る。主軸方位はN-14°-Wである。

床面はやや凹凸があり、掘り込み面からの深さは



- A-A' B-B'**
- 1層 塗赤褐色土** ローム、機土粒子を含む。しまり弱い。
2層 塗赤褐色土 ロームを多く含む。機土・機化物を含む。しまり弱い。
3層 塗赤褐色土 ローム・機化物・機土・褐色土を多く含む。a-cの3層に細分可。しまり弱い。
4層 塗赤褐色土 ローム粘土・強土。機化物を少く含む。a・bの2層に細分可。しまり弱い。
5層 塗赤褐色土 ローム粘土・強土。機化物を少く含む。a・bの2層に細分可。しまり弱い。
6層 塗赤褐色土 ロームブロックを中心とする。現状底土層。
7層 塗黄褐色土 ローム粘土を多く含む。埋蔵底土。
8層 黄褐色土 ローム粘土・ブロックを中心とする。機土粒子を含む。a・bの2層に細分可。
9層 塗黄褐色土 機土・機化物をやや含む。ローム・褐色土ブロックを含む。
10層 塗黄褐色土 強土・機化物。褐色土粒子を含む。
11層 塗黄褐色土 褐色粘土ブロックを多く含む。
- 13層 塗赤褐色土** ロームブロックを主張とする。a・bの2層に細分可。
14層 塗赤褐色土 機土・機化物を含む。aの層面。
15層 塗赤褐色土 強土ブロックを主張とする。
16層 塗赤褐色土 機土粒子・ブロックを含む。
17層 塗赤褐色土 機土粒子・ロームブロックを含む。
- 0 1:60 1m

第41図 第9号豊穴建物跡



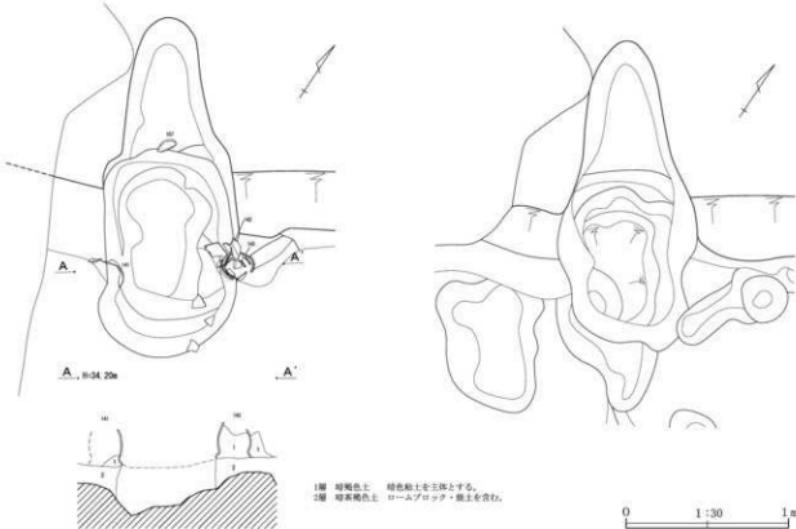
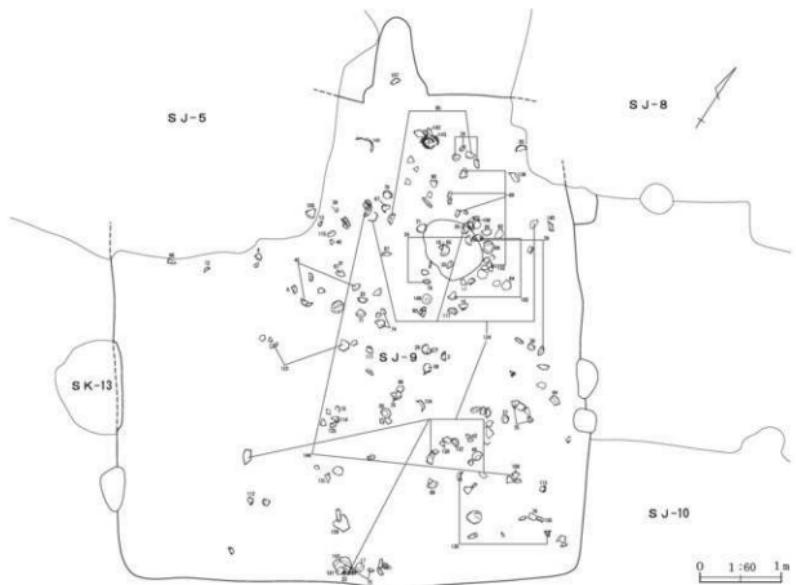
第42図 第9号竪穴建物跡掘方

55cmである。壁は斜めに立ち上がる。壁溝やピットは確認されなかった。

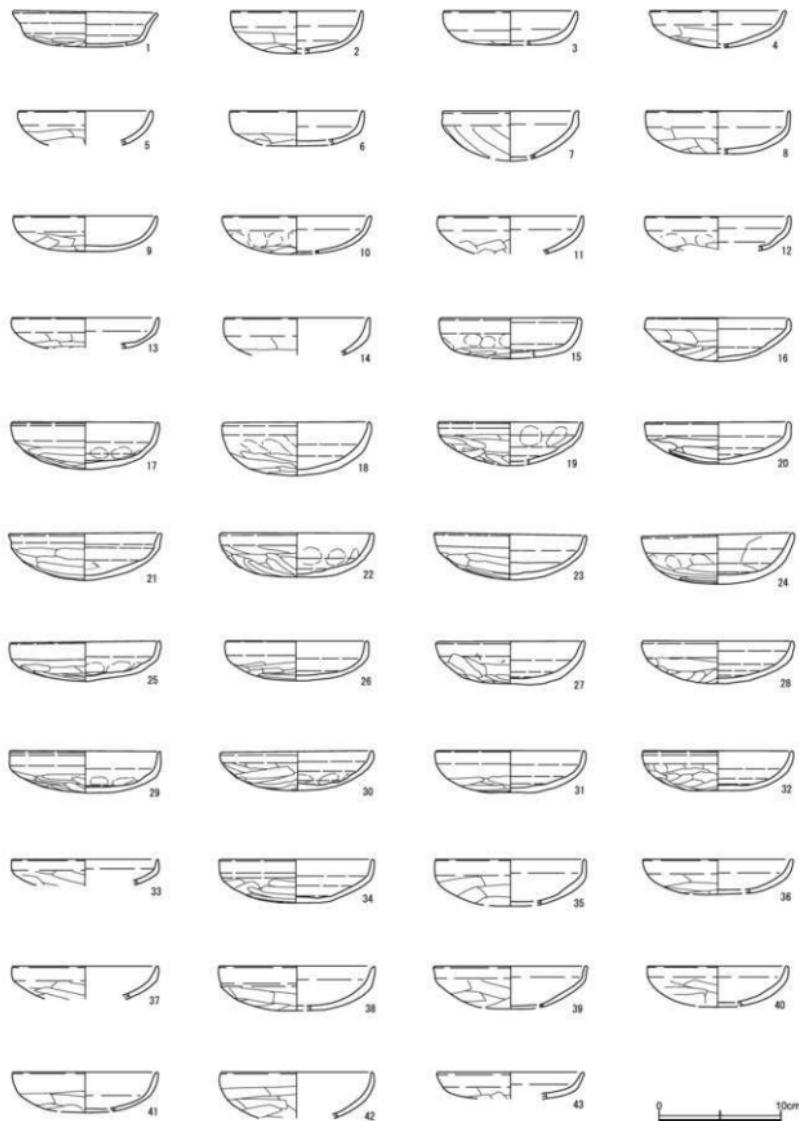
カマドは北壁に構築される。袖は確認できなかった。燃焼部の幅は60cmで、底面が床面より20cm深くなる。

煙道は先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より70cm張り出す。

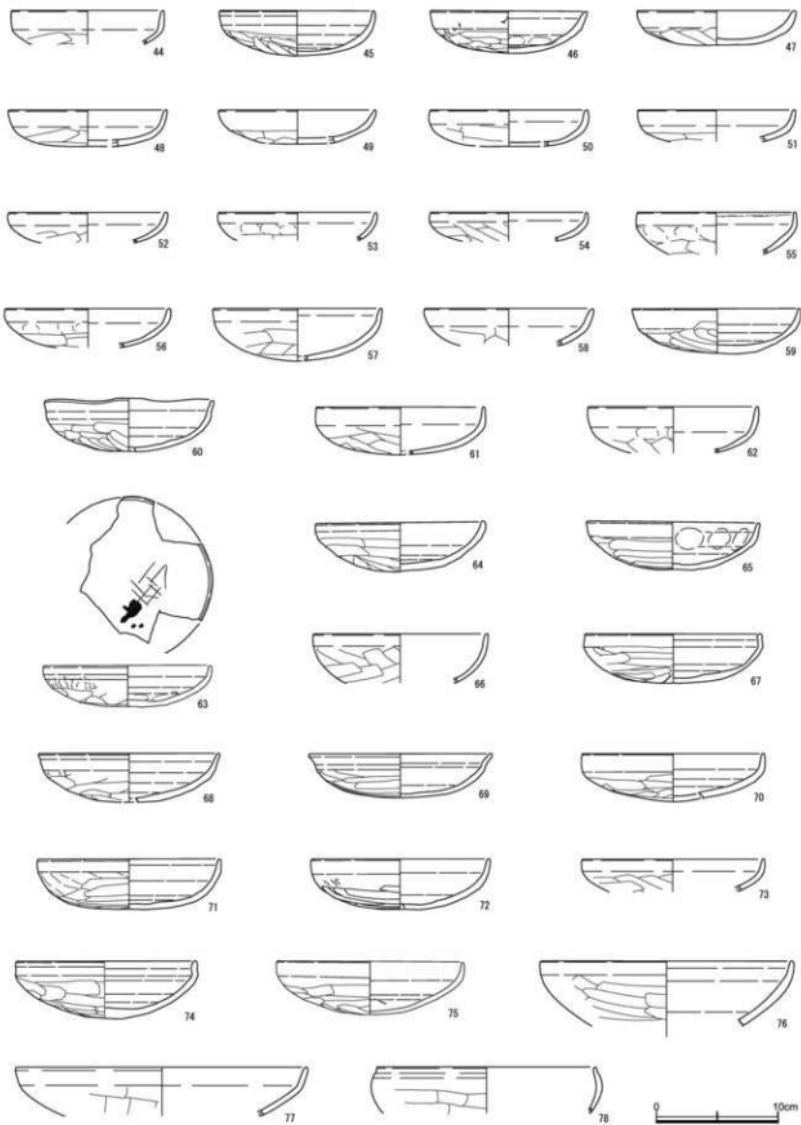
掘方は、床面からの深さ50cmの床下土坑が確認された。



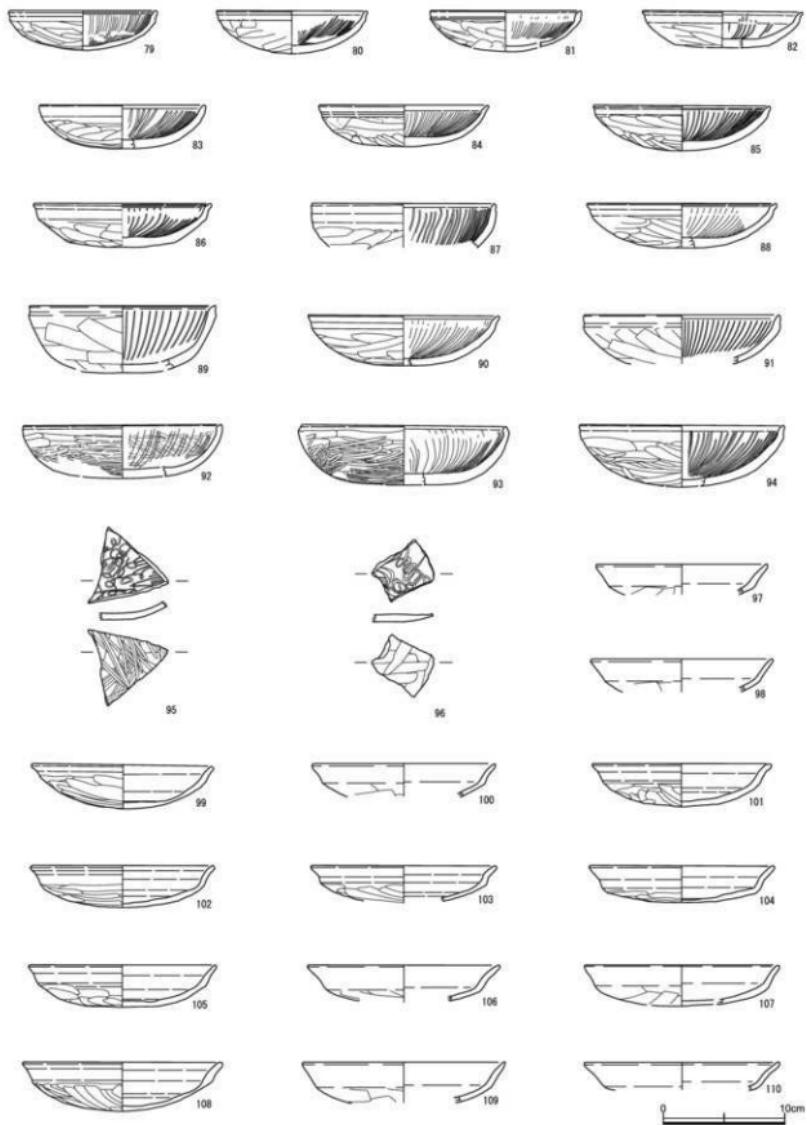
第43図 第9号竪穴建物跡遺物出土状況、カマド



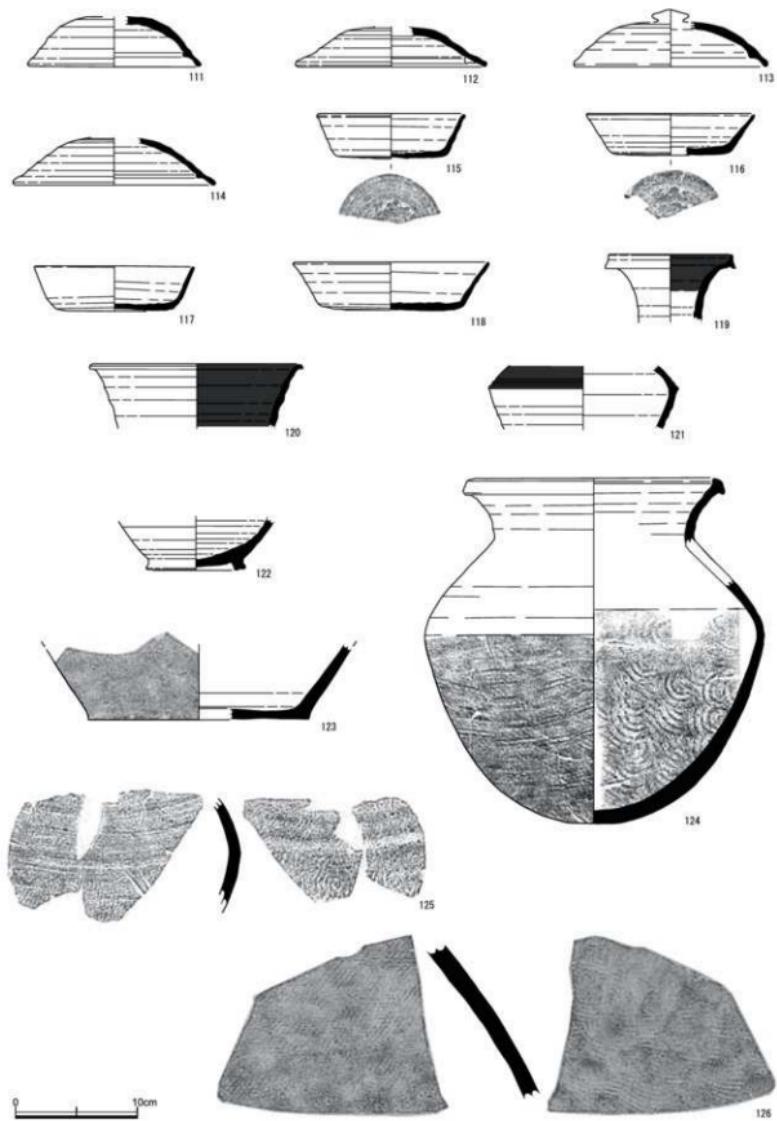
第44図 第9号竪穴建物跡出土遺物（1）



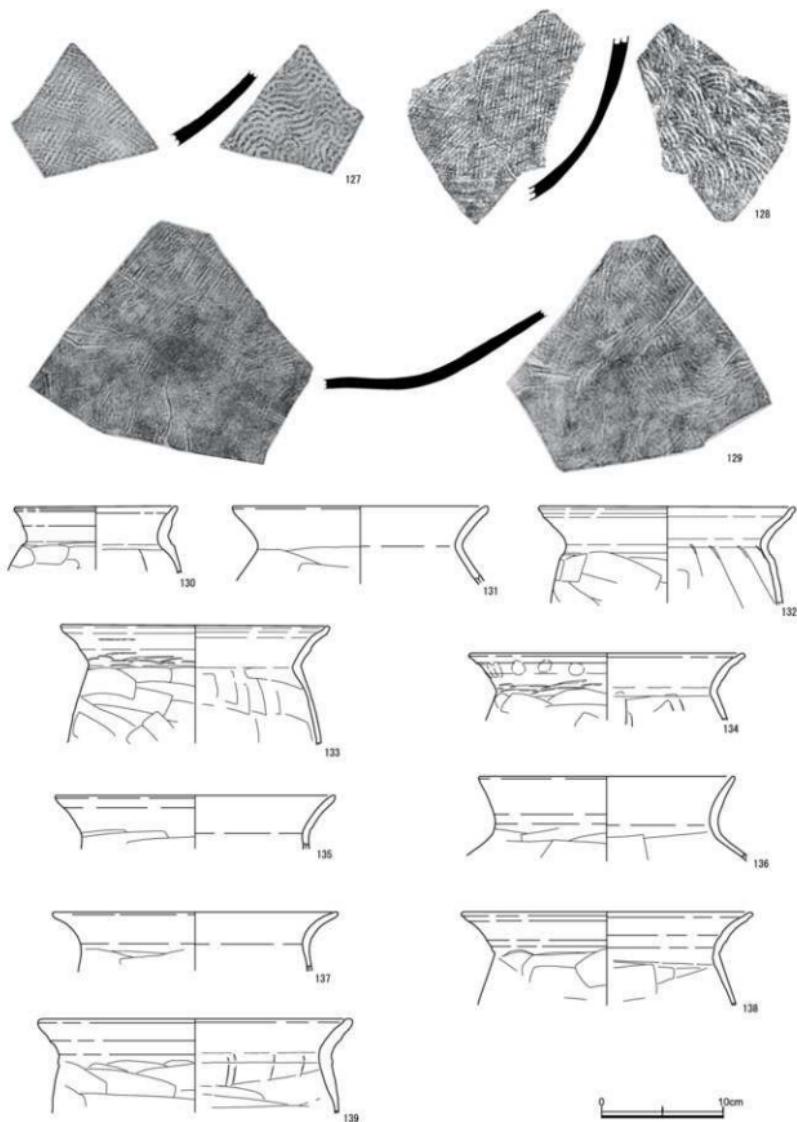
第45図 第9号竪穴建物跡出土遺物（2）



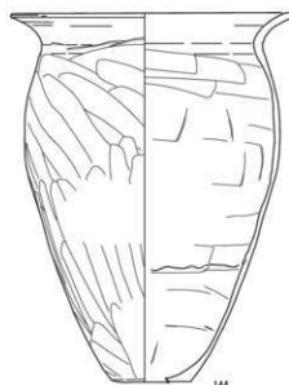
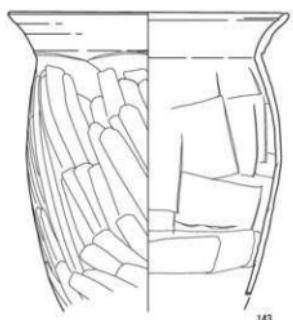
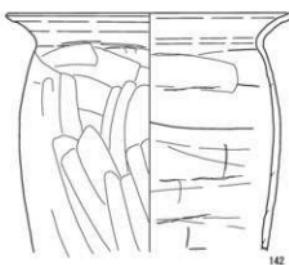
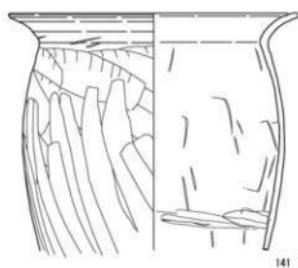
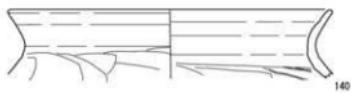
第46図 第9号竪穴建物跡出土遺物（3）



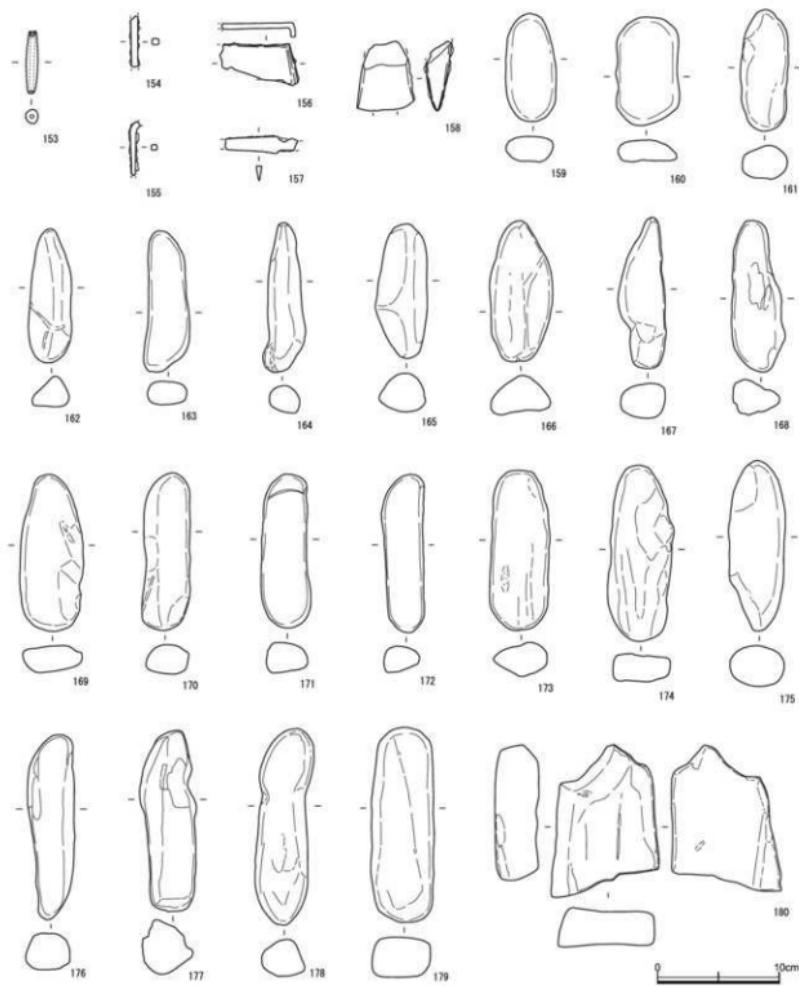
第47図 第9号竪穴建物跡出土遺物（4）



第48図 第9号竪穴建物跡出土遺物（5）



第49図 第9号竪穴建物跡出土遺物（6）



第50図 第9号竪穴建物跡出土遺物 (7)

図示できた遺物は、第75図1～第77図64である。1～3は土師器で、1・2は壺、3は皿である。4～35・42・43は須恵器で、4・5は蓋、6～21は壺、22～30・32～35は高台壺、42・43は甕である。31・

41は灰釉陶器高台皿である。36～40はロクロ土師器で、36は皿、37は壺、38～40は高台壺である。44～51は土師器で、44～48は甕、49～51は台付甕である。52～54は土錘、55は磨痕石、56・57は編物石で

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-------|----|-----------|----|------|------|-----------|
| 1 | H | 壺 | 11.9 | (3.2) | | A C D E H | 普 | 橙 | 60% | |
| 2 | H | 壺 | (11.0) | 3.4 | | A C E | 普 | 橙 | 35% | |
| 3 | H | 壺 | (10.8) | 2.8 | | A C I | 普 | 橙 | 20% | |
| 4 | H | 壺 | (11.0) | 3.0 | | A B C E | 普 | 橙 | 25% | 内面に「×」の線刻 |
| 5 | H | 壺 | (11.0) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 6 | H | 壺 | (10.8) | (2.9) | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 7 | H | 壺 | (11.1) | (4.0) | | A C E H | 普 | 橙 | 25% | |
| 8 | H | 壺 | (12.1) | 3.4 | | A B C E | 普 | 橙 | 30% | |
| 9 | H | 壺 | (11.7) | 2.9 | | A C E H I | 普 | 橙 | 25% | |
| 10 | H | 壺 | (12.2) | (3.1) | | A C E I | 普 | 橙 | 25% | |
| 11 | H | 壺 | (11.8) | | | A C E | 普 | にぶい橙 | 20% | |
| 12 | H | 壺 | (11.9) | | | A C E I | 普 | にぶい橙 | 20% | |
| 13 | H | 壺 | (11.8) | | | A C E | 普 | にぶい橙 | 20% | |
| 14 | H | 壺 | (11.8) | | | A B C E I | 普 | 橙 | 15% | |
| 15 | H | 壺 | (11.4) | (3.3) | | A C E I | 普 | 橙 | 45% | |
| 16 | H | 壺 | (11.8) | 3.6 | | A C E | 普 | 橙 | 45% | |
| 17 | H | 壺 | 12.2 | 3.9 | | A C E | 普 | 暗褐 | 75% | |
| 18 | H | 壺 | 12.2 | 4.4 | | A C E I | 普 | 橙 | 55% | |
| 19 | H | 壺 | (11.7) | (4.0) | | A C E | 普 | 橙 | 45% | |
| 20 | H | 壺 | 12.0 | 3.4 | | A C E | 普 | にぶい橙 | 60% | |
| 21 | H | 壺 | 12.5 | 4.0 | | A C E I | 良 | 橙 | 75% | |
| 22 | H | 壺 | (12.3) | 3.5 | | A C E | 普 | 橙 | 45% | |
| 23 | H | 壺 | 12.3 | 3.9 | | A C E I | 普 | 橙 | 100% | |
| 24 | H | 壺 | 12.6 | 4.2 | | A C E I | 普 | 暗褐 | 100% | |
| 25 | H | 壺 | 12.3 | 3.3 | | A C E I | 普 | 橙 | 100% | |
| 26 | H | 壺 | 11.7 | 3.3 | | A C E | 普 | 橙 | 60% | |
| 27 | H | 壺 | 12.2 | 3.6 | | A C E I | 普 | 橙 | 75% | |
| 28 | H | 壺 | 12.5 | 3.5 | | A C E | 普 | 橙 | 95% | |
| 29 | H | 壺 | 12.4 | 3.4 | | A C E H | 普 | 橙 | 80% | |
| 30 | H | 壺 | 12.5 | 3.2 | | A C E I | 普 | 橙 | 80% | |
| 31 | H | 壺 | (12.3) | 3.4 | | A C E | 普 | 橙 | 55% | |
| 32 | H | 壺 | 12.3 | 3.3 | | A B C E H | 良 | 橙 | 50% | |
| 33 | H | 壺 | (11.8) | | | A C E H | 普 | 橙 | 15% | |
| 34 | H | 壺 | 12.7 | 3.6 | | A B C E | 良 | 橙 | 85% | |
| 35 | H | 壺 | (12.5) | (3.8) | | A C E H | 普 | 橙 | 30% | |
| 36 | H | 壺 | (12.3) | (2.9) | | A B C E I | 良 | 橙 | 30% | |
| 37 | H | 壺 | (11.8) | | | A C I | 普 | 橙 | 20% | |
| 38 | H | 壺 | (13.0) | 3.6 | | A C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 39 | H | 壺 | (12.6) | (3.5) | | A C E | 良 | 橙 | 30% | |
| 40 | H | 壺 | (11.4) | (3.3) | | A C I | 良 | 橙 | 20% | |
| 41 | H | 壺 | (11.8) | (3.3) | | A C I | 普 | 橙 | 20% | |
| 42 | H | 壺 | (12.3) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 43 | H | 壺 | (11.8) | | | A C I | 普 | 橙 | 20% | |
| 44 | H | 壺 | (12.4) | | | A C I | 良 | 橙 | 20% | |
| 45 | H | 壺 | 12.8 | 3.7 | | A C E | 普 | 橙 | 100% | |
| 46 | H | 壺 | 12.9 | 3.5 | | A B C E | 普 | 橙 | 75% | |
| 47 | H | 壺 | 13.0 | 2.8 | | A B C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 48 | H | 壺 | (13.0) | (3.0) | | A C E I | 普 | 橙 | 25% | |
| 49 | H | 壺 | (12.8) | (2.8) | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |

第16表 第9号竪穴建物跡出土遺物観察表(1)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-------|----|-------------|----|------|-----|--------------|
| 50 | H | 壺 | (12.8) | (3.0) | | A B C E H | 普 | 橙 | 20% | |
| 51 | H | 壺 | (12.8) | | | A B C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 52 | H | 壺 | (12.8) | | | A C I | 普 | にぶい橙 | 15% | |
| 53 | H | 壺 | (12.8) | | | A B C E I | 普 | 橙 | 10% | |
| 54 | H | 壺 | (12.7) | | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 55 | H | 壺 | (13.0) | | | A C I | 普 | にぶい橙 | 40% | |
| 56 | H | 壺 | (13.5) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 57 | H | 壺 | (13.8) | 4.3 | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 58 | H | 壺 | (13.8) | | | A C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 59 | H | 壺 | (13.8) | 3.7 | | A C I | 普 | 橙 | 60% | |
| 60 | H | 壺 | 13.7 | 4.2 | | A B C E H I | 普 | 橙 | 50% | |
| 61 | H | 壺 | 14.0 | 3.8 | | A C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 62 | H | 壺 | (14.0) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 63 | H | 壺 | (13.8) | 3.3 | | A C E H | 普 | 橙 | 50% | 内面に記号状の線刻、墨痕 |
| 64 | H | 壺 | 13.9 | 4.2 | | A C E | 普 | 橙 | 95% | |
| 65 | H | 壺 | 14.2 | 4.0 | | A C E H | 普 | 橙 | 55% | |
| 66 | H | 壺 | (14.3) | | | A C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 67 | H | 壺 | (14.4) | 4.0 | | A C I | 良 | 橙 | 25% | |
| 68 | H | 壺 | (14.9) | 4.0 | | A C E I | 普 | 橙 | 25% | |
| 69 | H | 壺 | (15.0) | 3.6 | | A C E | 普 | 橙 | 50% | |
| 70 | H | 壺 | 14.7 | (4.0) | | A C E I | 普 | にぶい橙 | 50% | |
| 71 | H | 壺 | (15.0) | 4.0 | | A C E I | 普 | 橙 | 30% | |
| 72 | H | 壺 | 14.6 | 4.1 | | A C E H | 普 | 橙 | 80% | |
| 73 | H | 壺 | (15.0) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 74 | H | 壺 | 14.6 | 4.7 | | A C E I | 普 | にぶい橙 | 75% | |
| 75 | H | 壺 | 15.1 | 4.4 | | A C E | 普 | 橙 | 70% | |
| 76 | H | 壺 | (21.0) | | | A B C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 77 | H | 壺 | (24.0) | | | A B C E | 普 | 橙 | 10% | |
| 78 | H | 壺 | (18.0) | | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 79 | H | 壺 | 12.2 | 3.3 | | A B C E | 良 | 橙 | 55% | |
| 80 | H | 壺 | (12.4) | 3.6 | | A C E | 普 | 橙 | 40% | |
| 81 | H | 壺 | 12.4 | (3.3) | | A B C E | 普 | 橙 | 40% | |
| 82 | H | 壺 | (13.1) | (2.9) | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 83 | H | 壺 | (13.6) | 3.7 | | A B C E | 普 | 橙 | 50% | |
| 84 | H | 壺 | 14.0 | 3.4 | | A B C E H | 普 | 橙 | 90% | |
| 85 | H | 壺 | 14.6 | 3.7 | | A B C E I | 普 | 橙 | 90% | |
| 86 | H | 壺 | 14.6 | 3.6 | | A C E | 普 | 橙 | 50% | |
| 87 | H | 壺 | (15.1) | | | A C E H | 普 | 橙 | 15% | |
| 88 | H | 壺 | (15.6) | 3.7 | | A C E | 良 | 橙 | 20% | |
| 89 | H | 壺 | (15.3) | (5.5) | | A B C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 90 | H | 壺 | (15.6) | 4.1 | | A B C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 91 | H | 壺 | (16.1) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 92 | H | 壺 | (16.4) | (4.2) | | A C E | 良 | 橙 | 25% | |
| 93 | H | 壺 | (16.0) | 4.9 | | A C E | 良 | 橙 | 35% | |
| 94 | H | 壺 | (16.8) | (5.0) | | A B C E | 良 | 橙 | 50% | |
| 95 | H | 壺 | | | | A C E | 良 | 橙 | 5% | |
| 96 | H | 壺 | | | | A B C E | 普 | 暗褐 | 5% | |
| 97 | H | 皿 | (14.0) | | | A C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 98 | H | 皿 | (14.8) | | | A C E H | 普 | 橙 | 10% | |

第17表 第9号竪穴建物跡出土遺物観察表(2)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|-----|----|-----|--------|--------|--------|-------------|----|------|-----|--------|
| 99 | H | 皿 | 14.9 | 3.7 | | A B C E | 普 | 橙 | 75% | |
| 100 | H | 皿 | (14.8) | | | A C E | 普 | 橙 | 10% | |
| 101 | H | 皿 | (14.7) | 3.6 | | A C E I | 普 | 橙 | 35% | |
| 102 | H | 皿 | 14.8 | 3.4 | | A C E H | 良 | 橙 | 50% | |
| 103 | H | 皿 | (15.3) | | | A C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 104 | H | 皿 | (15.2) | (3.0) | | A B C E I | 普 | 橙 | 30% | |
| 105 | H | 皿 | (15.4) | 3.5 | | A C E H | 普 | 橙 | 40% | |
| 106 | H | 皿 | (16.0) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 107 | H | 皿 | (16.0) | (3.4) | | A C E I | 普 | 橙 | 25% | |
| 108 | H | 皿 | 16.5 | 4.0 | | A C E I | 普 | にぶい橙 | 80% | |
| 109 | H | 皿 | (16.6) | | | A C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 110 | H | 皿 | (15.8) | | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 111 | S | 蓋 | (14.3) | | | A C F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 112 | S | 蓋 | (15.8) | | | A C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 113 | S | 蓋 | (15.6) | | | A B C F H | 不良 | にぶい橙 | 20% | |
| 114 | S | 蓋 | (16.4) | | | A C F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 115 | S | 坏 | (12.0) | 3.7 | (8.8) | A C F H | 普 | 灰 | 45% | |
| 116 | S | 坏 | (13.8) | 3.4 | (9.4) | A C F H | 不良 | 灰 | 25% | |
| 117 | S | 坏 | (13.1) | 3.6 | 9.6 | A C | 普 | 灰 | 50% | |
| 118 | S | 坏 | 16.1 | 4.0 | 11.3 | A C G H | 良 | 青灰 | 70% | |
| 119 | S | 瓶 | (10.2) | | | A C | 良 | 灰褐 | 5% | 内面に自然釉 |
| 120 | S | 甕 | (17.0) | | | A C | 良 | 灰 | | 内面に自然釉 |
| 121 | S | 瓶 | | | | A C H | 良 | 灰 | 5% | 外面に自然釉 |
| 122 | S | 瓶 | | | 8.2 | A C | 良 | 灰褐 | 10% | 内面に自然釉 |
| 123 | S | 甕 | | | (18.2) | A C D H | 良 | 灰 | 10% | |
| 124 | S | 甕 | | (20.8) | | A C F H | 良 | 青灰 | 30% | |
| 125 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 灰 | | |
| 126 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | 5% | |
| 127 | S | 甕 | | | | A C F H | 普 | にぶい橙 | | |
| 128 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |
| 129 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | 5% | |
| 130 | H | 甕 | 13.4 | | | A B C D E I | 普 | 橙 | 25% | |
| 131 | H | 甕 | (21.1) | | | A B C E I | 普 | 橙 | 5% | |
| 132 | H | 甕 | (21.1) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 133 | H | 甕 | (22.1) | | | A C E H | 良 | 橙 | 15% | |
| 134 | H | 甕 | (22.0) | | | A B C E I | 普 | 赤褐 | 10% | |
| 135 | H | 甕 | (23.0) | | | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 136 | H | 甕 | (21.0) | | | A C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 137 | H | 甕 | (23.4) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 5% | |
| 138 | H | 甕 | (24.0) | | | A B C E | 普 | 橙 | 10% | |
| 139 | H | 甕 | (24.9) | | | A B C E | 良 | 橙 | 5% | |
| 140 | H | 甕 | (26.2) | | | A B C E | 良 | 橙 | 10% | |
| 141 | H | 甕 | 23.7 | | | A C E H | 普 | 橙 | 30% | |
| 142 | H | 甕 | 23.3 | | | A B C E H | 普 | 橙 | 30% | |
| 143 | H | 甕 | 22.9 | | | A B C H I | 普 | 橙 | 60% | |
| 144 | H | 甕 | 22.4 | 30.1 | (6.4) | A B C D E | 普 | 橙 | 40% | |
| 145 | H | 台付甕 | | | | A B C E I | 普 | 橙 | 5% | |
| 146 | H | 甕 | | | 6.1 | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 147 | H | 甕 | | | (6.7) | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |

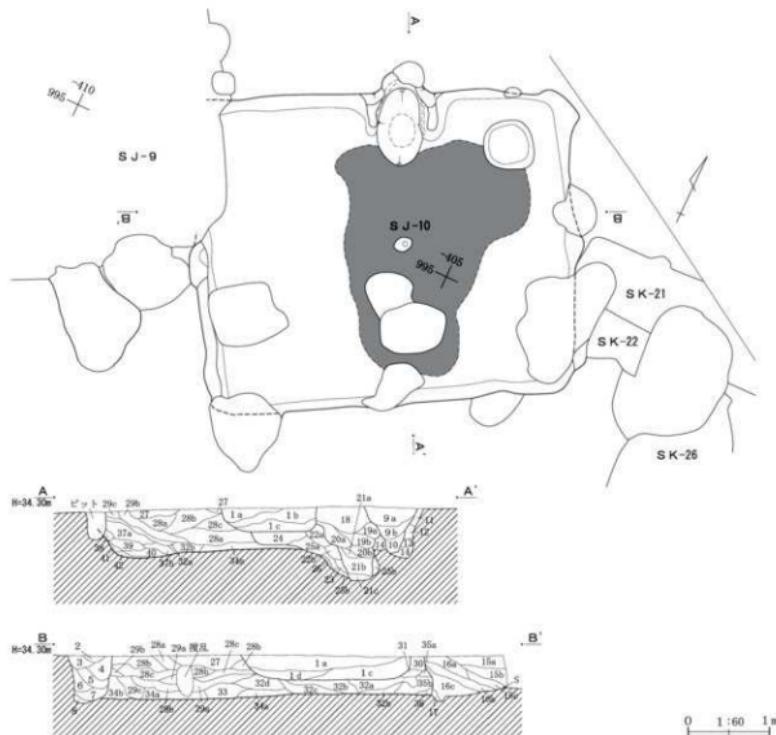
第18表 第9号竪穴建物跡出土遺物観察表(3)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|-----|----|-----|---------|-------|--------|---------|----|-----|-----|------------|
| 148 | H | 甕 | | | 5.6 | A B C E | 普 | 暗褐 | 5% | |
| 149 | H | 甕 | | | 4.8 | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 150 | H | 甕 | | | 5.0 | A C E I | 普 | 暗褐 | 10% | |
| 151 | H | 甕 | | | (11.2) | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 152 | H | 甕 | | | | A B C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 153 | | 土鍤 | 長 (5.1) | 幅 1.0 | 厚 1.2 | | | | | 重さ 5.19g |
| 154 | | 鉄釘 | | 幅 0.6 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 2.86g |
| 155 | | 鉄釘 | | 幅 0.5 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 3.01g |
| 156 | | 鎌 | | | 厚 0.4 | | | | | 重さ 24.65g |
| 157 | | 刀子 | | 幅 1.2 | 厚 0.4 | | | | | 重さ 6.75g |
| 158 | | 鉄斧 | | 幅 4.8 | 厚 2.2 | | | | | 重さ 112.52g |
| 159 | | 編物石 | 長 8.7 | 幅 4.2 | 厚 2.0 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 135g |
| 160 | | 編物石 | 長 8.7 | 幅 5.3 | 厚 1.7 | 石材：安山岩 | | | | 重さ 130g |
| 161 | | 編物石 | 長 9.8 | 幅 4.0 | 厚 2.7 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 140g |
| 162 | | 編物石 | 長 10.9 | 幅 3.6 | 厚 2.5 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 140g |
| 163 | | 編物石 | 長 11.3 | 幅 3.7 | 厚 1.9 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 150g |
| 164 | | 編物石 | 長 12.0 | 幅 3.0 | 厚 2.2 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 125g |
| 165 | | 編物石 | 長 10.9 | 幅 4.4 | 厚 3.1 | 石材：安山岩 | | | | 重さ 200g |
| 166 | | 編物石 | 長 11.3 | 幅 5.3 | 厚 2.9 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 235g |
| 167 | | 編物石 | 長 12.1 | 幅 3.9 | 厚 2.8 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 180g |
| 168 | | 編物石 | 長 12.2 | 幅 4.4 | 厚 2.8 | 石材：片岩 | | | | 重さ 150g |
| 169 | | 編物石 | 長 12.6 | 幅 5.3 | 厚 2.1 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 195g |
| 170 | | 編物石 | 長 12.6 | 幅 3.9 | 厚 2.4 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 180g |
| 171 | | 編物石 | 長 12.4 | 幅 4.1 | 厚 2.4 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 285g |
| 172 | | 編物石 | 長 12.7 | 幅 3.5 | 厚 2.1 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 215g |
| 173 | | 編物石 | 長 12.9 | 幅 4.9 | 厚 2.6 | 石材：片岩 | | | | 重さ 260g |
| 174 | | 編物石 | 長 14.2 | 幅 5.2 | 厚 2.2 | 石材：片岩 | | | | 重さ 270g |
| 175 | | 編物石 | 長 13.7 | 幅 4.7 | 厚 3.3 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 300g |
| 176 | | 編物石 | 長 14.6 | 幅 3.9 | 厚 2.9 | 石材：片岩 | | | | 重さ 250g |
| 177 | | 編物石 | 長 14.5 | 幅 4.5 | 厚 4.4 | 石材：片岩 | | | | 重さ 275g |
| 178 | | 編物石 | 長 15.6 | 幅 4.4 | 厚 3.0 | 石材：片岩 | | | | 重さ 300g |
| 179 | | 編物石 | 長 15.6 | 幅 5.3 | 厚 3.2 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 525g |
| 180 | | 砾石 | 長 10.8 | 幅 8.9 | 厚 3.2 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 450g |

第19表 第9号竪穴建物跡出土遺物觀察表(4)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-----|--------|-------|-------|---------|----|-----|-----|---------|
| 1 | H | 壺 | (16.0) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 2 | H | 壺 | (20.3) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 3 | H | 壺 | (12.2) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 4 | H | 皿 | (22.4) | 2.9 | | A C E | 普 | 橙 | 40% | |
| 5 | H | 甕 | (22.0) | | | A C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 6 | | 編物石 | 長 13.6 | 幅 4.8 | 厚 1.9 | 石材：片岩 | | | | 重さ 185g |

第20表 第10号竪穴建物跡出土遺物觀察表



- 1層 黒褐色土 ロームを多く含む。a-eの層に黒色土塊、31の層土壤。
 2層 緑黄褐色土 ロームを多く含む。黒土をわずかに含む。29の柱穴。
 3層 緑黄褐色土 ロームを主として、黒色土粒子をまだらに含む。30の柱穴。(不明)
 4層 黒褐色土 ロームを多く含む。黒色土を多く含む。30の柱穴。
 5層 黑褐色土 ロームを主として、黒色土粒子をまだらに含む。30の柱穴。
 6層 黑褐色土 ロームを主として、黒色土粒子をまだらに含む。30の柱穴。
 7層 黑褐色土 ロームを多く含む。しまり強い。30の柱穴。
 8層 黑褐色土 ロームを多く含む。しまり強い。30の柱穴。
 9層 黑褐色土 ロームを多く含む。しまり強い。30の柱穴。
 10層 黑褐色土 ロームを多く含む。しまり強い。30の柱穴。
 11層 黑褐色土 ロームを多く含む。しまり強い。30の柱穴。
 12層 黑褐色土 ロームを多く含む。しまり強い。30の柱穴。
 13層 黑褐色土 ロームを多く含む。しまり強い。30の柱穴。
 14層 黑褐色土 ロームを主体に、黒色土を含む。30の柱穴。
 15層 黑褐色土 柱上、柱下物。ロームを多く含む。a-eの層に細分可。31の層土壤。
 16層 黑褐色土 柱上、柱下物。ロームを多く含む。a-eの層に細分可。31の層土壤。
 17層 黑褐色土 柱上、柱下物。ロームを多く含む。30の柱穴。
 18層 黑褐色土 ロームを多く含む。しまり強い。柱穴。30-PIR。
 19層 黑褐色土 ローム・ロームブロックを多く含む。a-hの層に細分可。柱穴。30-PIR。
 20層 黑褐色土 ロームを多く含む。しまり強い。柱穴。30-PIR。
 21層 黑褐色土 ロームを多く含む。a-hの層に細分可。柱穴。30-PIR。
 22層 緑黄褐色土 ロームを主体に。黒色土ブロックを含む。a-hの層に細分可。30-PIR。
- 23層 緑黄褐色土 ローム・黒色土粒子を多く含む。31の層土壤。
 24層 緑黄褐色土 ロームブロック、黒色土粒子を少々含む。31の層土壤。
 25層 緑黄褐色土 ローム粒子・ローム小ブロック、黒色土を多く含む。a-hの層に細分可。31の層土壤。
 26層 黑褐色土 ロームを多く含む。31の層土壤。
 27層 緑黄褐色土 ロームを多く含む。31の層土壤。
 28層 緑黄褐色土 ロームブロックを多く含む。黒色土ブロックを含む。a-eの3層に細分可。
 29層 緑黄褐色土 ロームを多く含む。a-eの3層に細分可。31の層土壤。
 30層 緑黄褐色土 ローム粒子含む。31の層土壤。
 31層 黑褐色土 ロームを多く含む。31の層土壤。
 32層 緑黄褐色土 ロームを多く含む。a-hの4層に細分可。31の層土壤。
 33層 黑褐色土 ロームを多く含む。31の層土壤。
 34層 黑褐色土 ローム・黒色土粒子を含む。a-hの4層に細分可。31の層土壤。
 35層 緑黄褐色土 ロームをどちらも含む。31の層土壤。
 36層 黑褐色土 ローム粒子を多く含む。31の層土壤。
 37層 黑褐色土 ローム粒子を多く含む。31の層土壤。
 38層 黑褐色土 ロームを多く含む。31の層土壤。
 39層 黑褐色土 ローム・黒色土粒子を含む。31の層土壤。
 40層 黑褐色土 ロームを多く含む。31の層土壤。
 41層 黑褐色土 ローム・黒色土粒子を含む。31の層土壤。

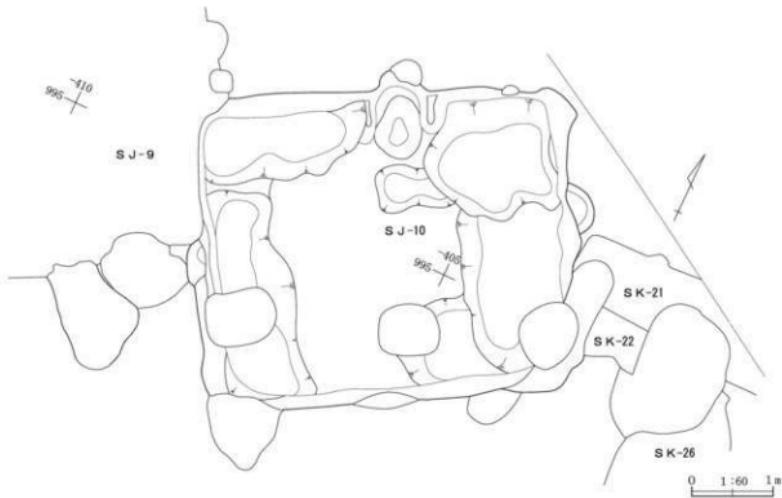
第5図 第10号竪穴建物跡

ある。58は石製鋸鉄車、59は鉄釘、60・61は棒状鉄製品、62・63は刀子である。64は中世陶器の壺で、混入品である。第83図65と同様、第15・16号竪穴建物跡層断面で確認された土坑に伴うものと思われる。

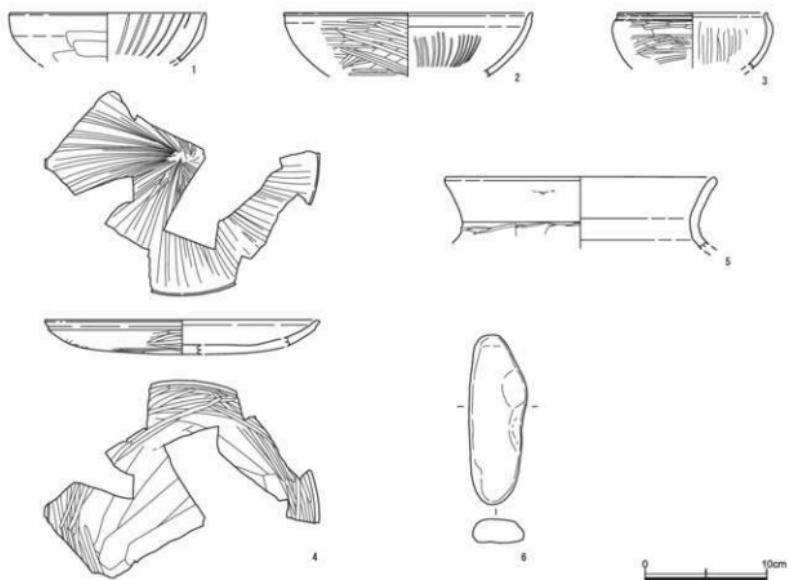
造構の時期は、9世紀後半と推定される。

第16号竪穴建物跡 (第78-79-81 ~ 83図、第33 ~ 36表)

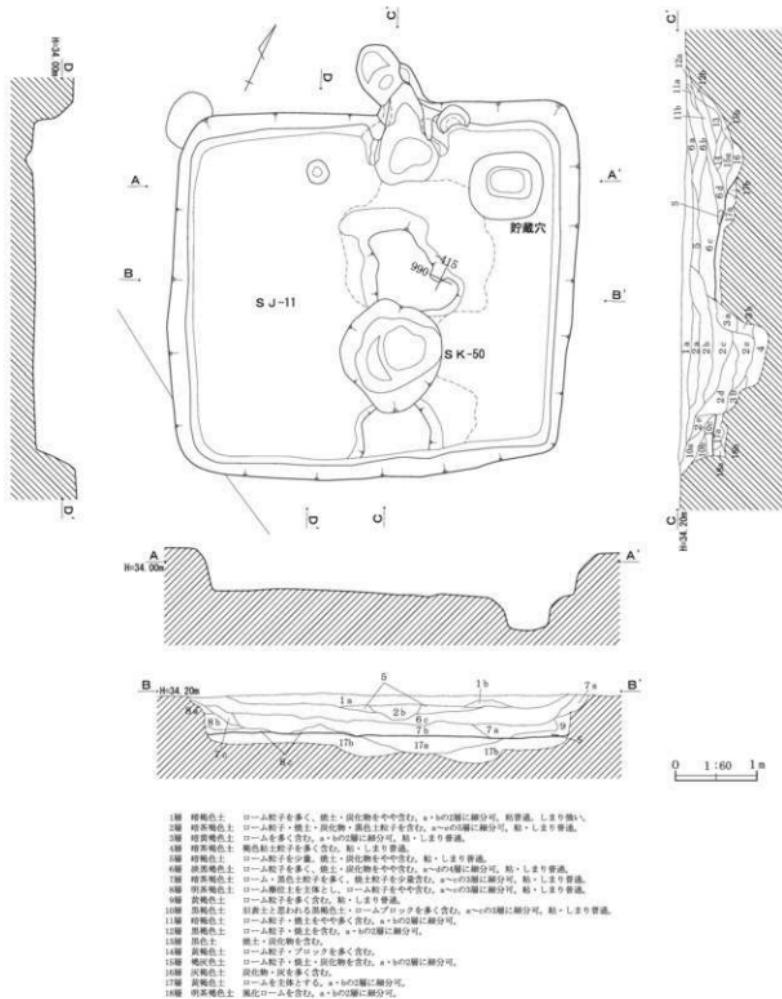
調査区南東部に位置し、第15・17・18号竪穴建物跡



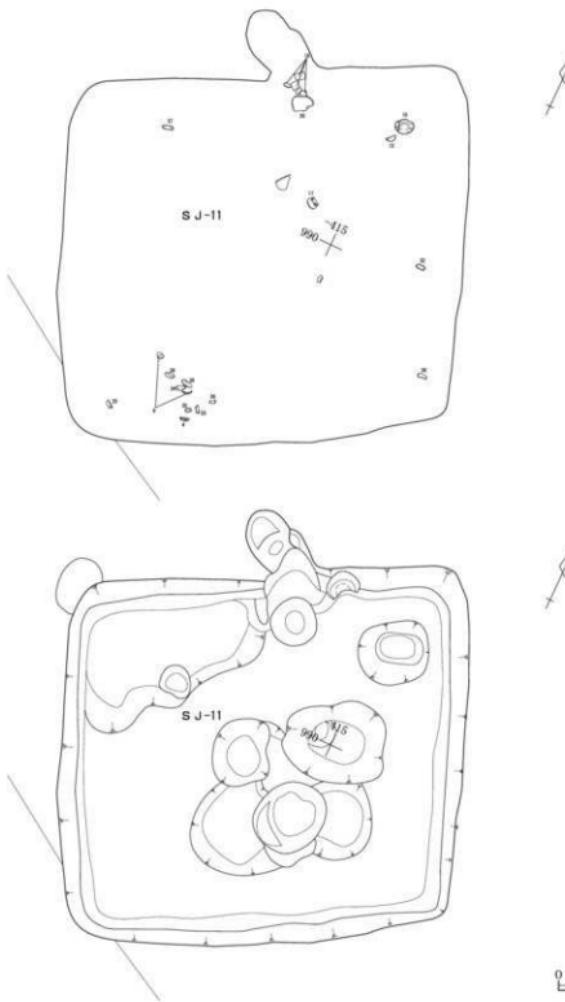
第52図 第10号竪穴建物跡掘方



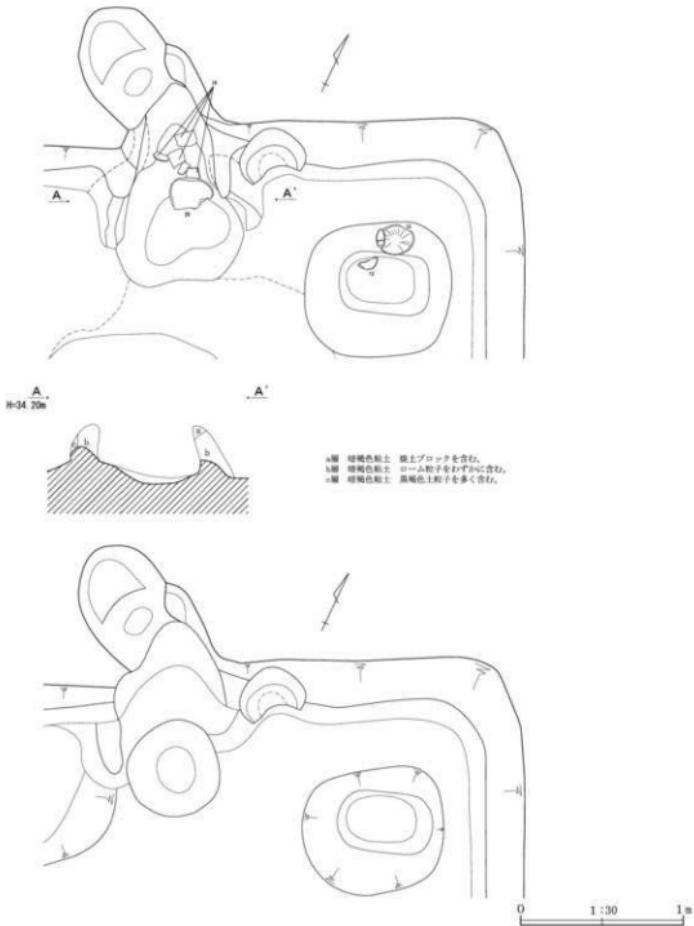
第53図 第10号竪穴建物跡出土遺物



第54図 第11号竪穴建物跡 (1)



第55図 第11号竪穴建物跡 (2)



第56図 第11号竪穴建物跡カマド

を切る。平面形態は方形で、長軸4.6m以上、短軸3.2mを測る。主軸方位はN-63°-Eである。

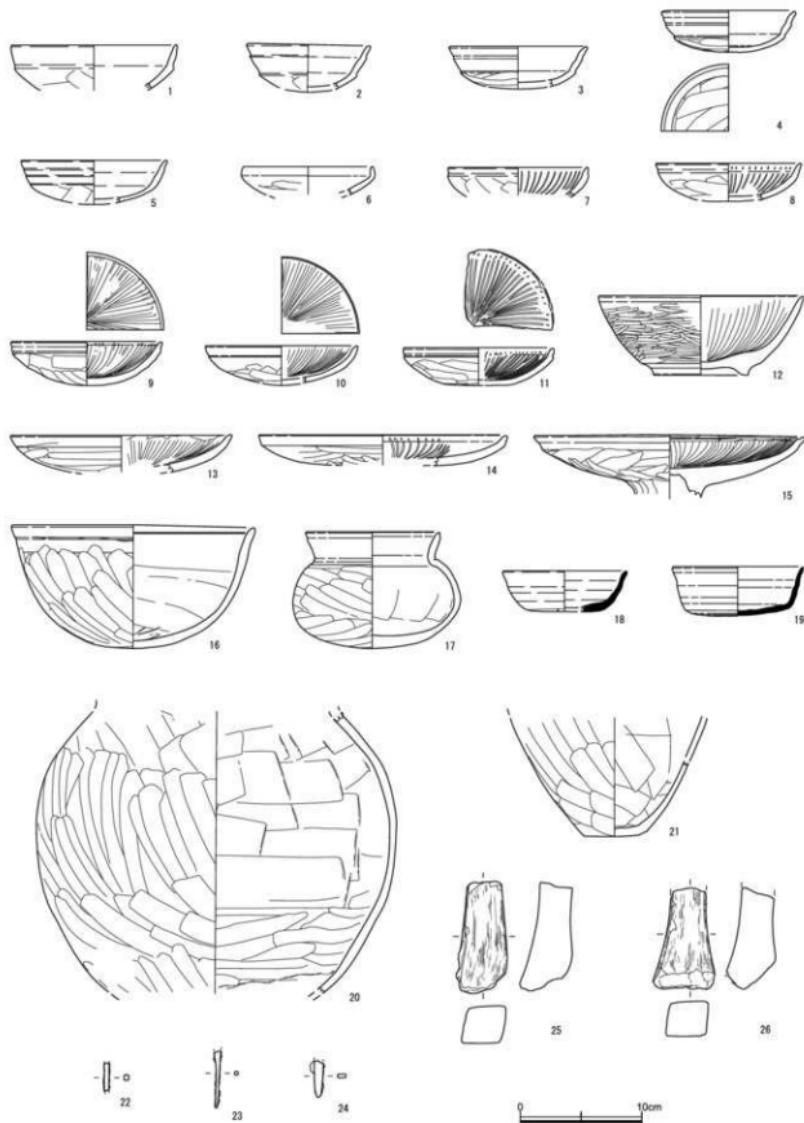
床面は凹凸があり、掘り込み面からの深さは60cmである。壁は斜めに立ち上がる。壁溝、ピットは確認されなかった。

カマドは北東壁ほぼ中央に構築される。袖は確認で

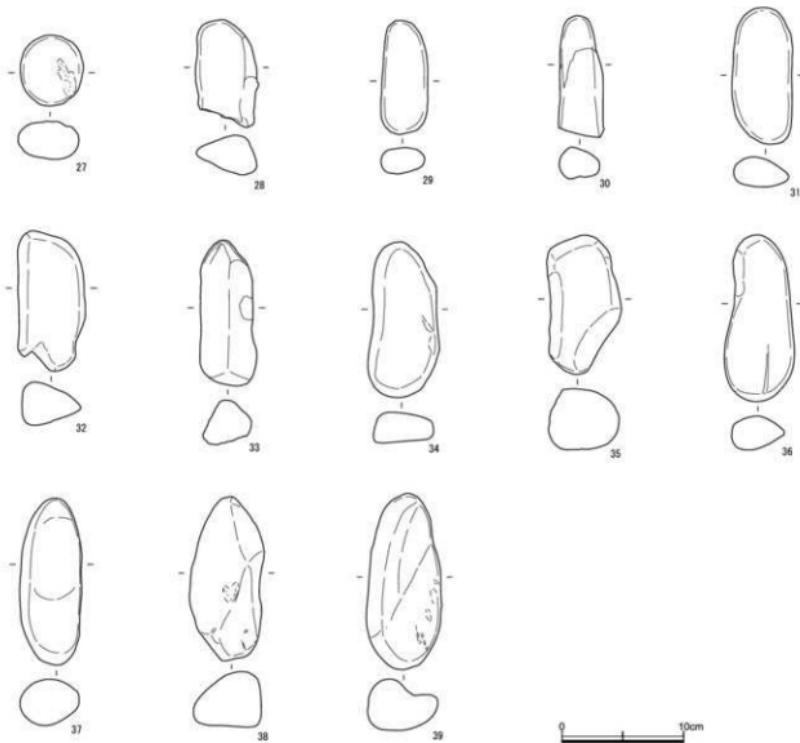
きなかった。燃焼部は幅60cmで、底面は床面よりわずかに深くなる。煙道は先端に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より40cm張り出す。

掘方は、床面からの深さ20~60cmの床下土坑が、ほぼ全面に掘り込まれる。

図示できた遺物は、第81図1~第83図65である。



第57図 第11号竪穴建物跡出土遺物 (1)



第58図 第11号竪穴建物跡出土遺物 (2)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-----|--------|-------|-------|---------|----|-------|------|------|
| 1 | H | 壺 | (13.5) | | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 2 | H | 壺 | (10.0) | (3.9) | | A B C E | 普 | にぶい橙 | 20% | |
| 3 | H | 壺 | (11.1) | (3.5) | | A C E | 良 | 橙 | 20% | |
| 4 | H | 壺 | 11.0 | 3.4 | | A B C E | 普 | 橙 | 100% | |
| 5 | H | 壺 | (11.8) | (3.6) | | A C E | 普 | 黒褐 | 20% | |
| 6 | H | 壺 | (10.6) | | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 7 | H | 壺 | (11.4) | | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 8 | H | 壺 | (11.8) | (3.1) | | A C E | 普 | 赤褐 | 20% | |
| 9 | H | 壺 | 12.3 | 3.6 | | A C E | 普 | にぶい橙 | 95% | |
| 10 | H | 壺 | (12.2) | (3.2) | | A C E | 普 | にぶい橙 | 40% | |
| 11 | H | 壺 | (12.0) | 3.1 | | A C E | 普 | にぶい赤褐 | 25% | |
| 12 | H | 高台壺 | (16.7) | 6.5 | (7.8) | A C E | 良 | 橙 | 40% | 内面に煤 |
| 13 | H | 皿 | (18.1) | | | A C E | 普 | 橙 | 35% | |

第21表 第11号竪穴建物跡出土遺物観察表 (1)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|-------|--------|-------|-------|---------|----|------|-----|------------|
| 14 | H | 皿 | (20.3) | | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 15 | H | 脚付皿 | 22.1 | | | A C E | 普 | 橙 | 70% | |
| 16 | H | 鉢 | 19.8 | 10.1 | | A B C E | 普 | 橙 | 75% | |
| 17 | H | 壺 | 10.9 | 9.6 | | A B C E | 不良 | にぶい橙 | 90% | |
| 18 | S | 壺 | (9.8) | 3.4 | (6.1) | A C F H | 良 | 灰 | 20% | |
| 19 | S | 壺 | (10.7) | 4.1 | (8.5) | A C F H | 良 | 灰 | 45% | |
| 20 | H | 甕 | | | | A C E H | 普 | 橙 | 30% | |
| 21 | H | 甕 | | | 4.5 | A C E H | 普 | 暗褐色 | 20% | |
| 22 | | 棒状鉄製品 | | 幅 0.4 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 1.01g |
| 23 | | 錐 | | 幅 0.3 | 厚 0.3 | | | | | 重さ 1.03g |
| 24 | | 棒状鉄製品 | | 幅 0.7 | 厚 0.3 | | | | | 重さ 1.81g |
| 25 | | 砥石 | 長 9.2 | 幅 4.2 | 厚 3.0 | 石材: 滅灰岩 | | | | 重さ 172.53g |
| 26 | | 砥石 | 長(8.3) | 幅 5.1 | 厚 2.8 | 石材: 滅灰岩 | | | | 重さ 173.84g |
| 27 | | 磨痕石 | 長 5.7 | 幅 5.3 | 厚 3.1 | 石材: 安山岩 | | | | 重さ 60g |
| 28 | | 編物石 | 長 7.9 | 幅 5.3 | 厚 3.1 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 165g |
| 29 | | 編物石 | 長 9.1 | 幅 3.9 | 厚 2.1 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 120g |
| 30 | | 編物石 | 長 9.5 | 幅 3.7 | 厚 2.5 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 210g |
| 31 | | 編物石 | 長 11.0 | 幅 5.1 | 厚 2.4 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 230g |
| 32 | | 編物石 | 長 10.8 | 幅 5.5 | 厚 3.5 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 295g |
| 33 | | 編物石 | 長 11.5 | 幅 4.7 | 厚 3.4 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 345g |
| 34 | | 編物石 | 長 12.5 | 幅 5.9 | 厚 2.5 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 290g |
| 35 | | 編物石 | 長 11.1 | 幅 5.9 | 厚 4.9 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 405g |
| 36 | | 編物石 | 長 13.4 | 幅 5.8 | 厚 2.7 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 335g |
| 37 | | 編物石 | 長 13.4 | 幅 5.1 | 厚 3.7 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 365g |
| 38 | | 編物石 | 長 13.1 | 幅 5.9 | 厚 4.5 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 430g |
| 39 | | 編物石 | 長 14.2 | 幅 6.2 | 厚 4.1 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 410g |

第22表 第11号竪穴建物跡出土遺物観察表 (2)

1～4は土師器壺、5～26は須恵器で、5は蓋、6～16は壺、17～24は高台壺、25は皿、26は高台皿である。27～30はロクロ土師器で、27・28は壺、29～30は高台楕である。31は白磁高台楕、32は灰釉陶器高台楕である。33～46は須恵器で、33・34・37・38は瓶、35・36・39～46は甕である。47～54は土師器で、47～50は甕、51～54は台付甕である。55・56は土錐、57は石製紡錘車、58は砥石、59は編物石、60は棒状鉄製品、61～64は刀子である。65は山茶碗高台楕と思われる。第77図64と同様、第15・16号竪穴建物跡土層断面で確認された土坑に伴うものと思われる。

遺構の時期は、9世紀後半と推定される。

第17号竪穴建物跡 (第78・79・84図、第37・38表)

調査区南東部に位置し、第15号竪穴建物跡に切られ

る。平面形態は方形で、主軸方位はN-65°-Eである。底面はほぼ平坦で、確認面からの深さは70cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、上半が広がる。

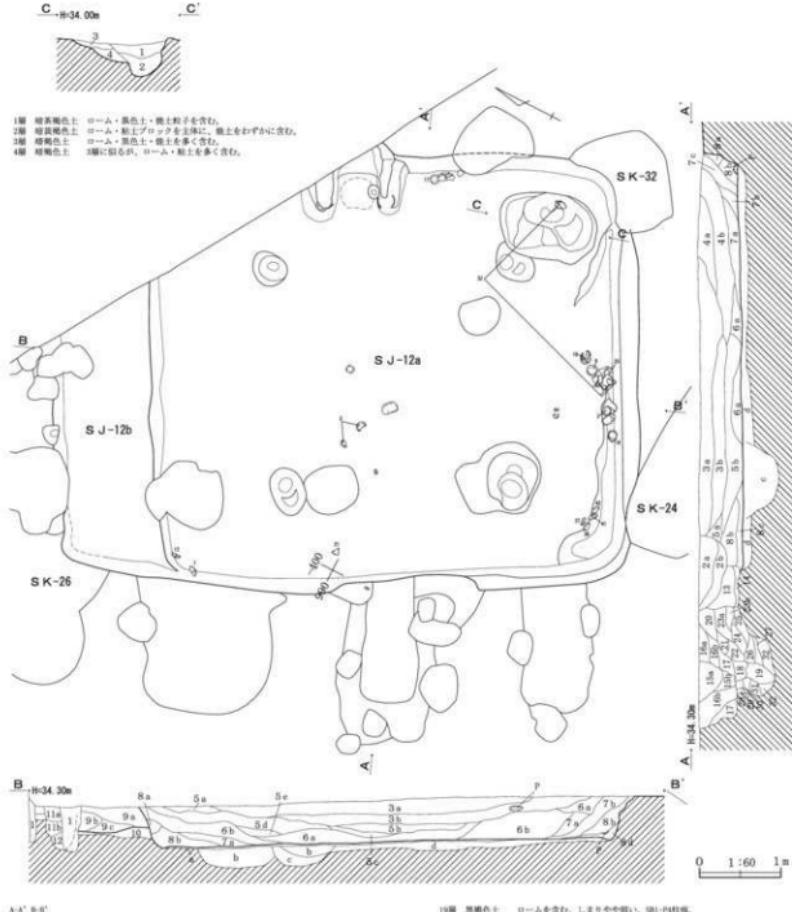
図示できた遺物は、第84図1～12である。1～9・11は土師器で、1～9は壺、11は甕である。10は須恵器壺、12は刀子である。

遺構の時期は、8世紀後半と推定される。

第18号竪穴建物跡 (第80・84図、第38表)

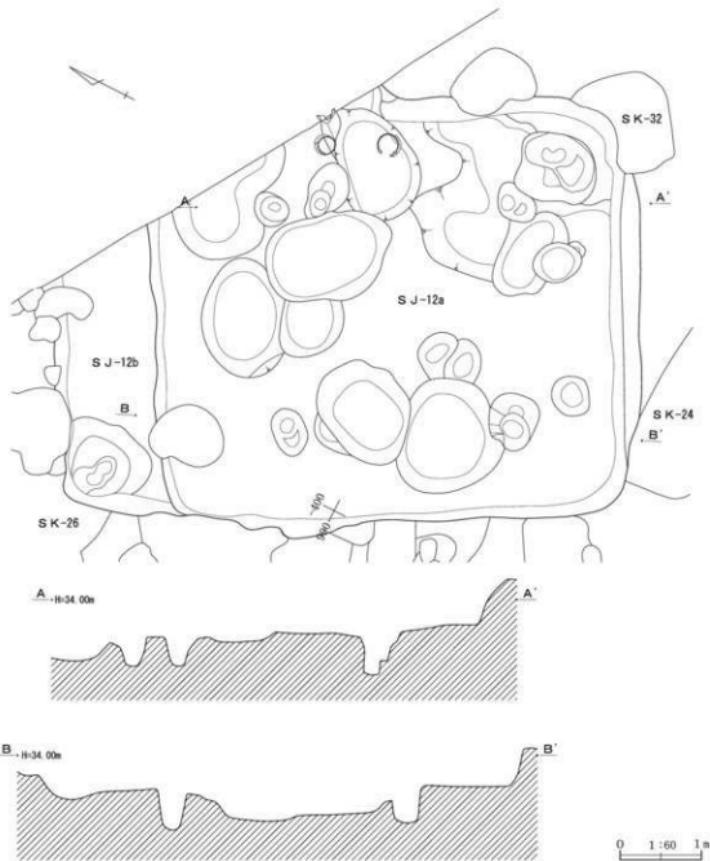
調査区南東部に位置し、第14～16号竪穴建物跡に切られる。平面形態は方形で、一辺3.5mを測る。主軸方位はN-39°-Eである。

床面はほぼ平坦で、確認面からの深さ10cmである。壁は斜めに立ち上がる。カマドは、北西壁に構築される。燃焼部はわずかに掘り下げられ、煙道残存部は壁



- A-A' H-34.00m
- 1層 黒褐色土 ロームを多く含む。SJ1層土層。
 2層 黒褐色土 ロームを多く含む。SJ2層土層。
 3層 黒褐色土 ロームを多く含む。SJ3層土層。
 4層 黒褐色土 ローム、褐色粘土。土を多く含む。a~bの間に部分可。SJ12a層土層。しまり強い。
 5層 黒褐色土 ローム、褐色粘土。土を多く含む。a~bの間に部分可。SJ12b層土層。
 6層 黒褐色土 ローム。土を含む。a~bの間に部分可。SJ12c層土層。
 7層 黒褐色土 ローム。土を含む。a~bの間に部分可。SJ12d層土層。
 8層 黒褐色土 ローム。褐色土を含む。a~bの間に部分可。SJ12e層土層。
 9層 黒褐色土 ローム。褐色土を含む。a~bの間に部分可。SJ12f層土層。
 10層 黒褐色土 ロームブロック。ロームを含む。a~bの間に部分可。壁根土層。SJ12g層土層。
 11層 黑褐色土 ロームブロック。ロームを含む。a~bの間に部分可。壁根土層。SJ12h層土層。
 12層 黑褐色土 ローム。土を多く含む。不明H-34.00m。
 13層 黑褐色土 ローム。土を含む。不明H-34.00m。
 14層 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。不明H-34.00m。
 15層 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。a~bの間に部分可。紅底。5b。
 16層 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。a~bの間に部分可。5b。
 17層 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。a~bの間に部分可。5b。
 18層 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。不明H-34.00m。
- B-B' H-34.00m
- 19層 黑褐色土 ロームを含む。しまりやや弱い。SJ1-p柱地盤。
 20層 黑褐色土 ロームを多く含む。SJ1-p層土層。
 21層 黑褐色土 ロームブロックを含む。不明H-34.00m。
 22層 黑褐色土 ロームを含む。しまりやや弱い。SJ1-p層土層。
 23層 黑褐色土 ロームを少量。土をわずかに含む。a~bの間に部分可。SJ1-p層土層。
 24層 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。SJ1-p層土層。
 25層 黑褐色土 ロームを含む。不明H-34.00m。
 26層 黑褐色土 ロームを含む。a~bの間に部分可。SJ1-p層土層。
 27層 黑褐色土 ローム層土層。SJ1-p層土層。
 28層 黑褐色土 ロームを主とする。黒色土をわずかに含む。SJ1-p層土層。
 29層 黑褐色土 ロームを主とする。不明H-34.00m。
 30層 黑褐色土 ロームを主とする。不明H-34.00m。
 31層 黑褐色土 ロームを主とする。不明H-34.00m。
 32層 黑褐色土 前述由來の基岩土層。不明H-34.00m。
- 基岩
- 1層 黑褐色土 ロームを主とする。弱り弱い。
 2層 黑褐色土 ロームブロックを多く含む。
 3層 黑褐色土 ローム、褐色粘土ブロックを主体とする。
 4層 黑褐色土 ロームブロックをやや含む。しまりやや弱い。

第59図 第12号竪穴建物跡



第60図 第12号竪穴建物跡掘方

より50cm張り出す。袖は確認できなかった。

図示できた遺物は、第84図1の土師器甕である。

図示できた遺物は、第86図1・2である。1は土師器皿、2は土錘である。

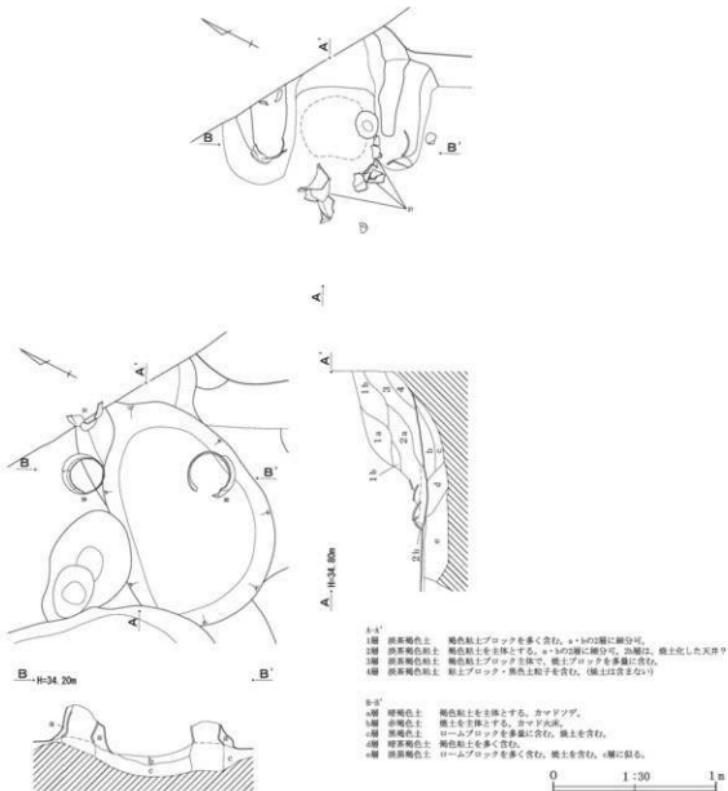
遺構の時期は、8世紀前葉と推定される。

第19号竪穴建物跡（第9・86図、第39表）

調査区南東部に位置し、第13～15号竪穴建物跡、第25号土坑に切られる。掘り込み面からの深さは60cmを測る。

第20号竪穴建物跡（第85・86図、第39表）

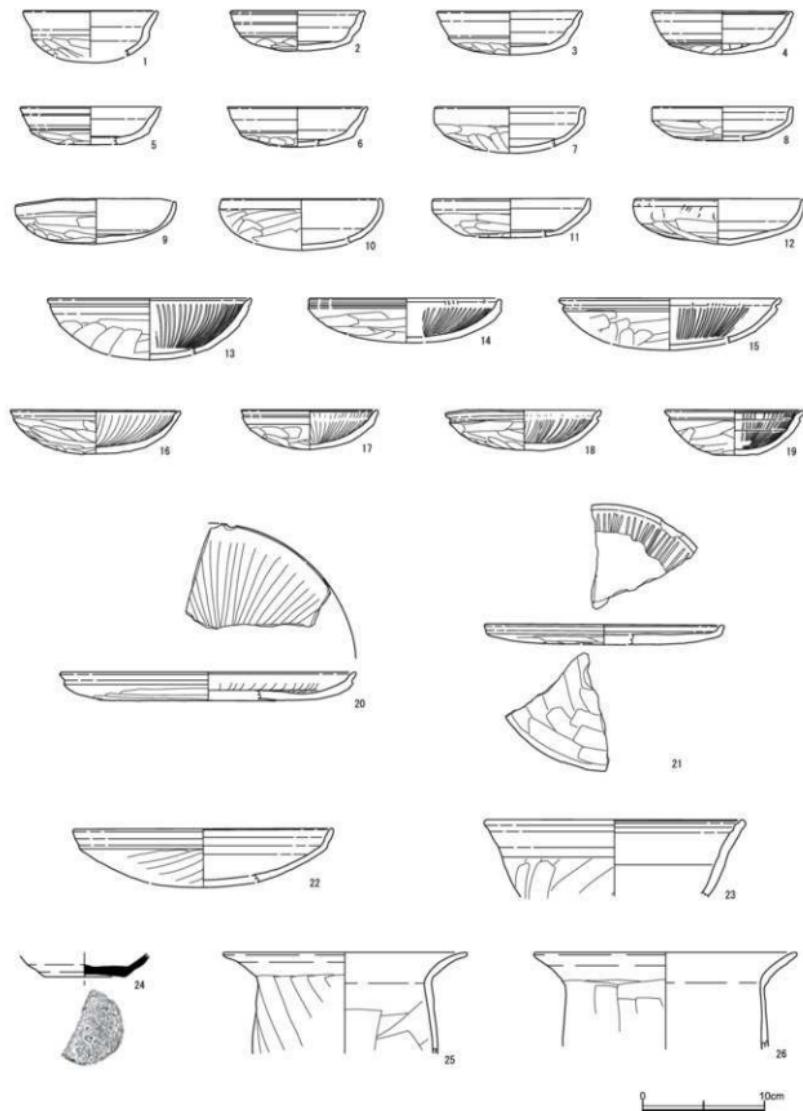
調査区南東部に位置する。北隅部とカマド先端部のみ確認された。掘り込み面から床面までの深さは



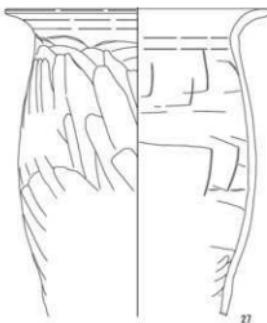
第61図 第12号堅穴建物跡カマド

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-------|----|-----------|----|------|------|----|
| 1 | H | 壺 | (10.7) | (4.2) | | A C E | 良 | 橙 | 20% | |
| 2 | H | 壺 | 11.2 | 3.2 | | A C E I | 普 | 橙 | 100% | |
| 3 | H | 壺 | 11.9 | 3.6 | | A B C E | 普 | 灰褐 | 95% | |
| 4 | H | 壺 | (11.6) | 3.6 | | A B C E | 普 | 橙 | 50% | |
| 5 | H | 壺 | (11.6) | (3.1) | | A B C E | 普 | 橙 | 40% | |
| 6 | H | 壺 | (11.5) | (3.2) | | A B C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 7 | H | 壺 | 11.9 | (3.7) | | A C E | 普 | 橙 | 85% | |
| 8 | H | 壺 | (11.6) | (2.8) | | A B C E H | 普 | 橙 | 40% | |
| 9 | H | 壺 | 13.2 | 3.7 | | A B C E | 良 | 橙 | 100% | |
| 10 | H | 壺 | (12.7) | (4.2) | | A C E I | 普 | にぶい橙 | 15% | |

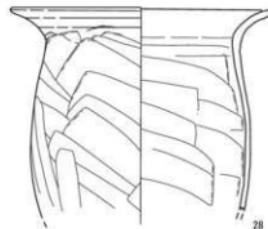
第23表 第12号堅穴建物跡出土遺物観察表 (1)



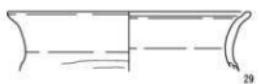
第62図 第12号竪穴建物跡出土遺物（1）



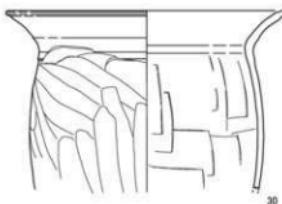
27



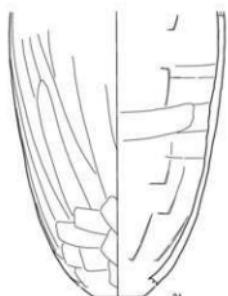
28



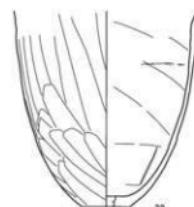
29



30



31



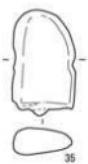
32



33



34



35



36



37



38



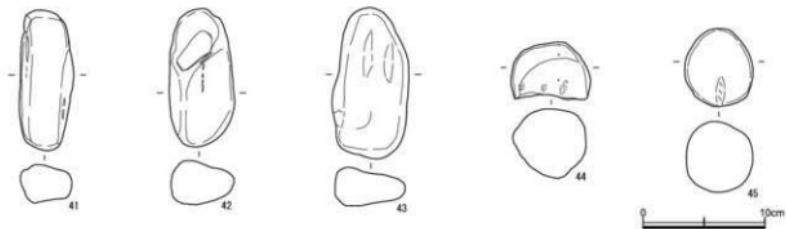
39



40

0 10cm

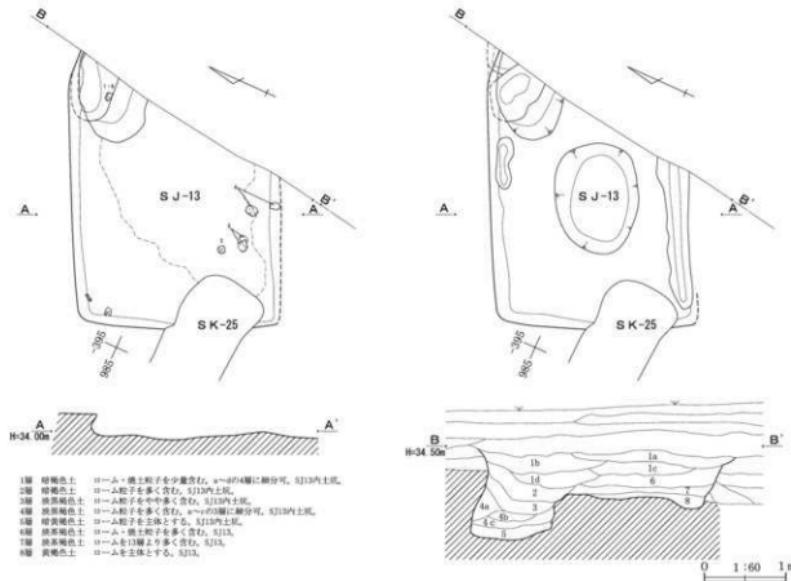
第63図 第12号竪穴建物跡出土遺物（2）



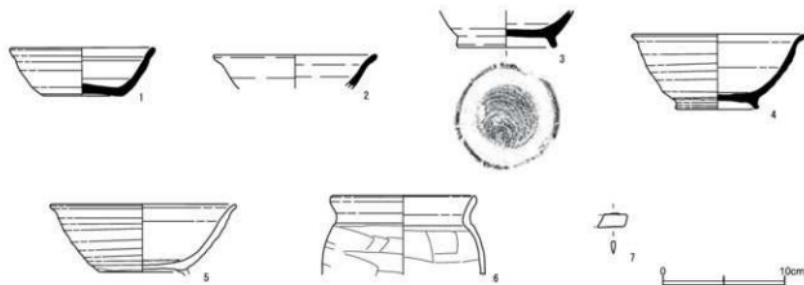
第64図 第12号竪穴建物跡出土遺物 (3)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|-----|--------|-------|-------|-----------|---------|-------|------|---------|
| 11 | H | 壺 | (12.9) | (3.1) | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 12 | H | 壺 | 14.0 | 3.7 | | A C E | 普 | にぶい橙 | 50% | |
| 13 | H | 壺 | (16.5) | (5.1) | | A C E | 普 | 橙 | 40% | |
| 14 | H | 壺 | 15.5 | (3.6) | | A C E | 普 | 黒褐 | 50% | |
| 15 | H | 壺 | (18.0) | (4.2) | | A C E | 普 | にぶい赤褐 | 15% | |
| 16 | H | 壺 | 14.0 | 3.6 | | A C E | 良 | 橙 | 75% | |
| 17 | H | 壺 | 11.2 | 3.3 | | A C E | 良 | 橙 | 100% | |
| 18 | H | 壺 | 12.8 | 3.3 | | A C E H | 普 | 橙 | 95% | |
| 19 | H | 壺 | (11.5) | 3.7 | | A B C E | 良 | 橙 | 45% | |
| 20 | H | 皿 | (24.3) | 2.4 | | A B C E | 不良 | にぶい橙 | 20% | |
| 21 | H | 皿 | (19.7) | 1.7 | | A C E I | 普 | にぶい赤褐 | 15% | |
| 22 | H | 皿 | (21.0) | (4.8) | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 23 | H | 鉢 | (20.9) | | | A B C E | 普 | 暗褐 | 10% | |
| 24 | S | 壺 | | | 6.5 | A C G | 普 | 灰 | 20% | |
| 25 | H | 甕 | (20.0) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 26 | H | 甕 | (21.3) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 15% | |
| 27 | H | 甕 | 21.6 | | | A B C E H | 普 | 橙 | 50% | |
| 28 | H | 甕 | 21.3 | | | A B C E | 普 | 橙 | 50% | |
| 29 | H | 甕 | (19.8) | | | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 30 | H | 甕 | (22.7) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 45% | |
| 31 | H | 甕 | | | | A B C E H | 普 | 橙 | 40% | |
| 32 | H | 甕 | | | | A B C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 33 | H | 甕 | | | | 4.2 | A C E H | 普 | 暗褐 | 10% |
| 34 | H | 甕 | | | | (9.9) | A C E H | 普 | にぶい橙 | 5% |
| 35 | | 編物石 | 長 8.5 | 幅 5.2 | 厚 2.2 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 135g |
| 36 | | 編物石 | 長 9.5 | 幅 3.8 | 厚 3.2 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 150g |
| 37 | | 編物石 | 長 9.7 | 幅 4.0 | 厚 3.6 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 225g |
| 38 | | 編物石 | 長 10.2 | 幅 5.2 | 厚 3.7 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 355g |
| 39 | | 編物石 | 長 11.8 | 幅 3.0 | 厚 2.0 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 100g |
| 40 | | 編物石 | 長 11.5 | 幅 4.1 | 厚 2.7 | 石材: 片岩 | | | | 重さ 195g |
| 41 | | 編物石 | 長 11.3 | 幅 4.5 | 厚 3.1 | 石材: チャート | | | | 重さ 275g |
| 42 | | 編物石 | 長 11.1 | 幅 5.5 | 厚 3.5 | 石材: 砂岩 | | | | 重さ 355g |
| 43 | | 編物石 | 長 12.4 | 幅 6.2 | 厚 3.2 | 石材: 片岩 | | | | 重さ 300g |
| 44 | | 磨痕石 | 長 4.5 | 幅 6.7 | 厚 5.5 | 石材: 安山岩 | | | | 重さ 115g |
| 45 | | 磨痕石 | 長 6.3 | 幅 5.7 | 厚 5.7 | 石材: 安山岩 | | | | 重さ 145g |

第24表 第12号竪穴建物跡出土遺物観察表 (2)



第65図 第13号竪穴建物跡



第66図 第13号竪穴建物跡出土遺物

50cm、掘方はそれより15cm深い。主軸方位はN-65°-Eである。

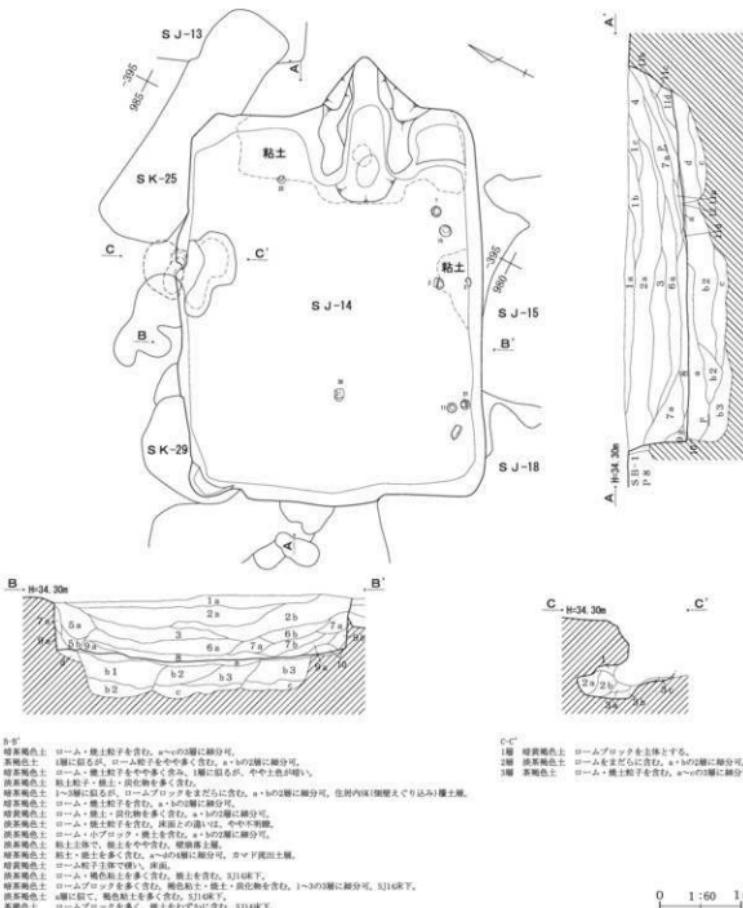
図示できた遺物は、第86図1の刀子である。

第21号竪穴建物跡（第87～89、91・92・94図、第40・41・43表）

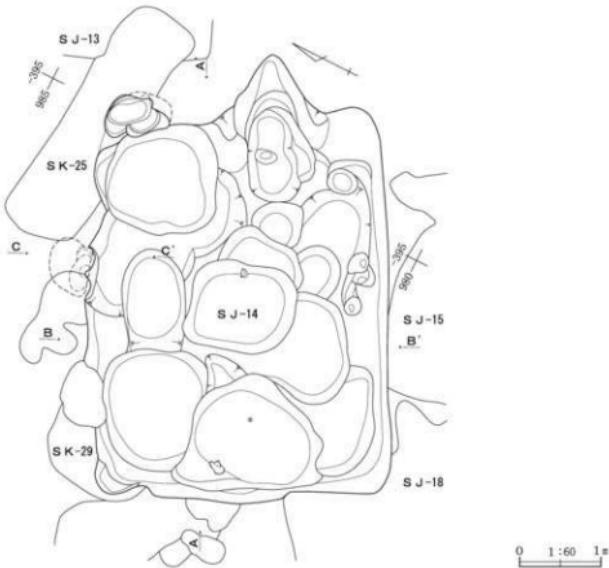
調査区中央部に位置し、第22号竪穴建物跡を切る。平面形態は方形で、長軸3.6m、短軸3mを測る。主軸方位はN-67°-Eである。

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|-----|--------|-------|-------|-----------|----|----|-----|----------|
| 1 | S | 壺 | (12.0) | 3.9 | 6.5 | A C G H | 普 | 灰 | 55% | |
| 2 | S | 壺 | (13.0) | | 7.9 | A C F H | 普 | 灰 | 15% | |
| 3 | S | 高台壺 | | | 6.2 | A C D F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 4 | S | 高台壺 | 14.3 | | 6.9 | A C F H | 良 | 青灰 | 95% | |
| 5 | R | 高台壺 | 15.3 | | | A C D F H | 普 | 橙 | 60% | |
| 6 | H | 甕 | 12.0 | | | A B C E | 普 | 橙 | 40% | |
| 7 | | 刀子 | | 幅 1.0 | 厚 0.4 | | | | | 重さ 1.85g |

第25表 第13号竪穴建物跡出土遺物観察表



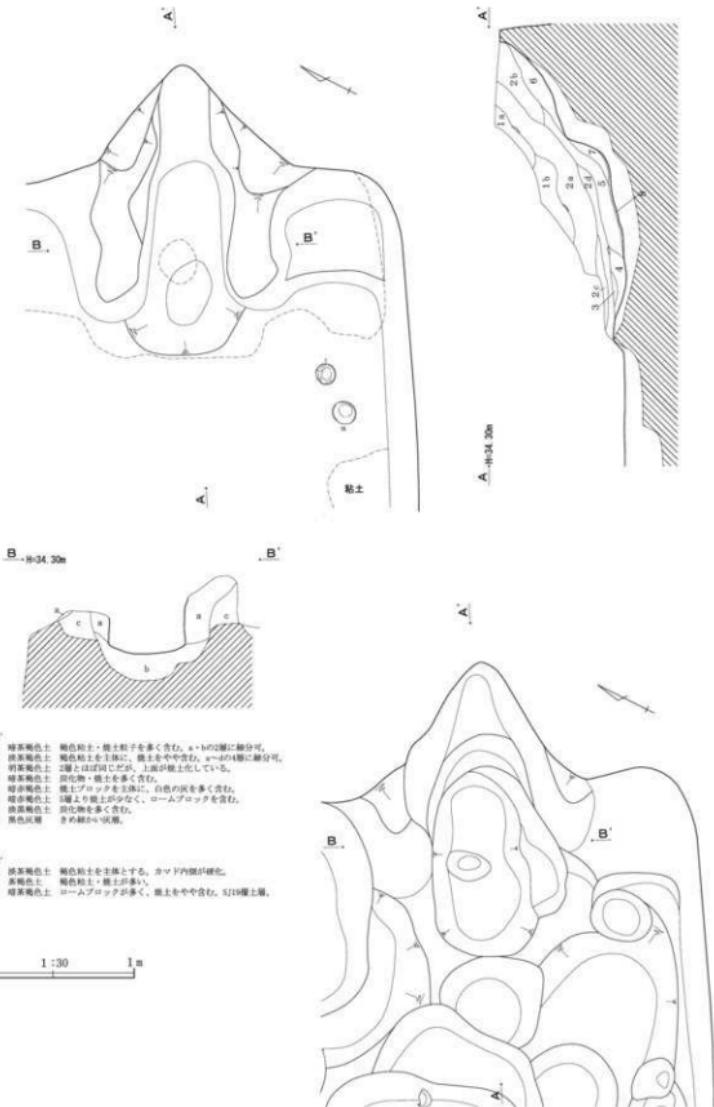
第67図 第14号竪穴建物跡



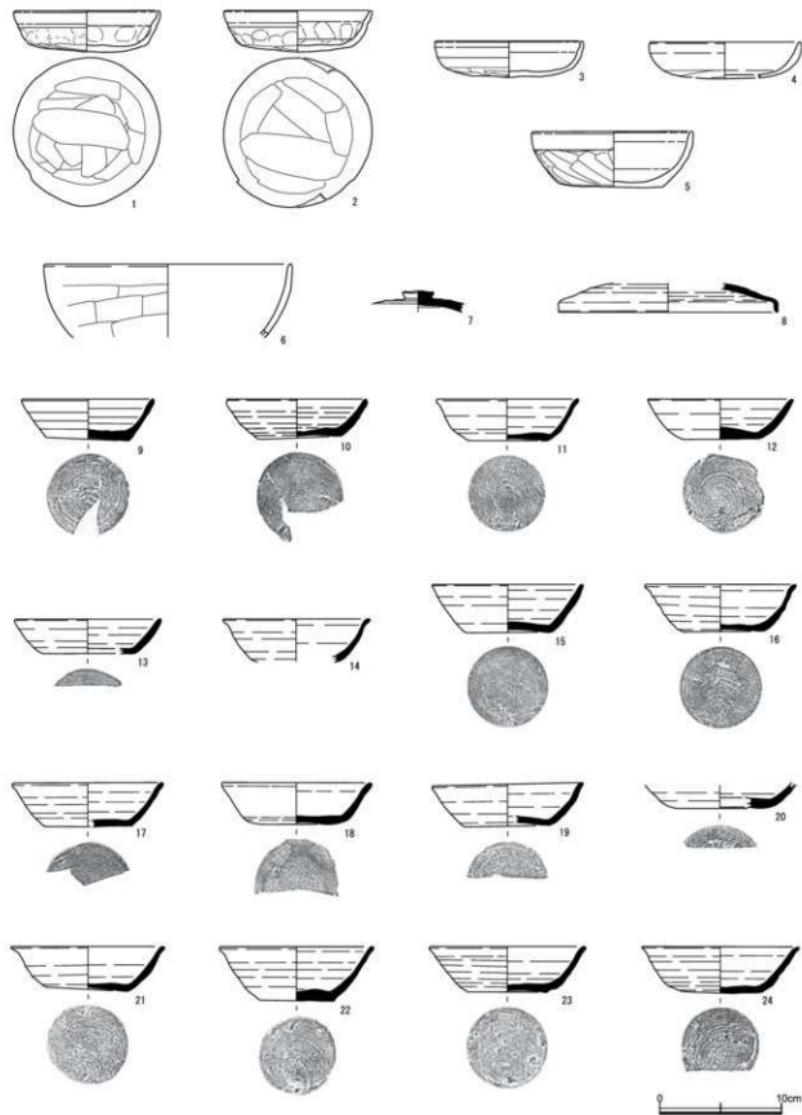
第68図 第14号竪穴建物跡掘方

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-------|-------|-----------|----|----|------|-------|
| 1 | H | 壺 | 12.1 | 3.4 | | A B C I | 普 | 橙 | 100% | |
| 2 | H | 壺 | 12.2 | 3.4 | | A B C E I | 普 | 橙 | 95% | |
| 3 | H | 壺 | (12.2) | 3.0 | | A C E I | 普 | 橙 | 50% | |
| 4 | H | 壺 | 12.2 | (3.0) | | A B C E I | 普 | 橙 | 45% | |
| 5 | H | 壺 | 13.3 | 4.6 | 8.5 | A B C E H | 普 | 橙 | 75% | |
| 6 | H | 椀 | (20.2) | | | A C E I | 普 | 橙 | 10% | |
| 7 | S | 蓋 | | | | A C G H | 普 | 灰 | 10% | |
| 8 | S | 蓋 | (17.7) | | | A C G H | 良 | 灰 | 10% | |
| 9 | S | 壺 | 10.6 | 3.3 | 6.7 | A C G H | 良 | 青灰 | 55% | |
| 10 | S | 壺 | 11.2 | 3.2 | 6.6 | A B C H | 普 | 灰 | 55% | 底面に線刻 |
| 11 | S | 壺 | 11.5 | 3.4 | 6.2 | A C G H | 良 | 青灰 | 100% | |
| 12 | S | 壺 | (12.0) | 3.3 | 6.1 | A C G H | 普 | 灰 | 30% | |
| 13 | S | 壺 | (11.7) | 2.8 | (7.3) | A C G H | 普 | 灰 | 20% | |
| 14 | S | 壺 | (11.8) | | | A C G H | 良 | 青灰 | 20% | |
| 15 | S | 壺 | 12.2 | 3.9 | 6.7 | A C G H | 良 | 青灰 | 100% | |
| 16 | S | 壺 | 12.1 | 3.8 | 6.5 | A C F H | 良 | 青灰 | 75% | |
| 17 | S | 壺 | (12.1) | 3.6 | (7.1) | A C G H | 良 | 青灰 | 45% | |
| 18 | S | 壺 | (12.0) | 3.4 | 6.5 | A C F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 19 | S | 壺 | 12.1 | 3.4 | 6.8 | A C G H | 良 | 青灰 | 80% | |
| 20 | S | 壺 | | | (7.0) | A C G H | 良 | 青灰 | 10% | |

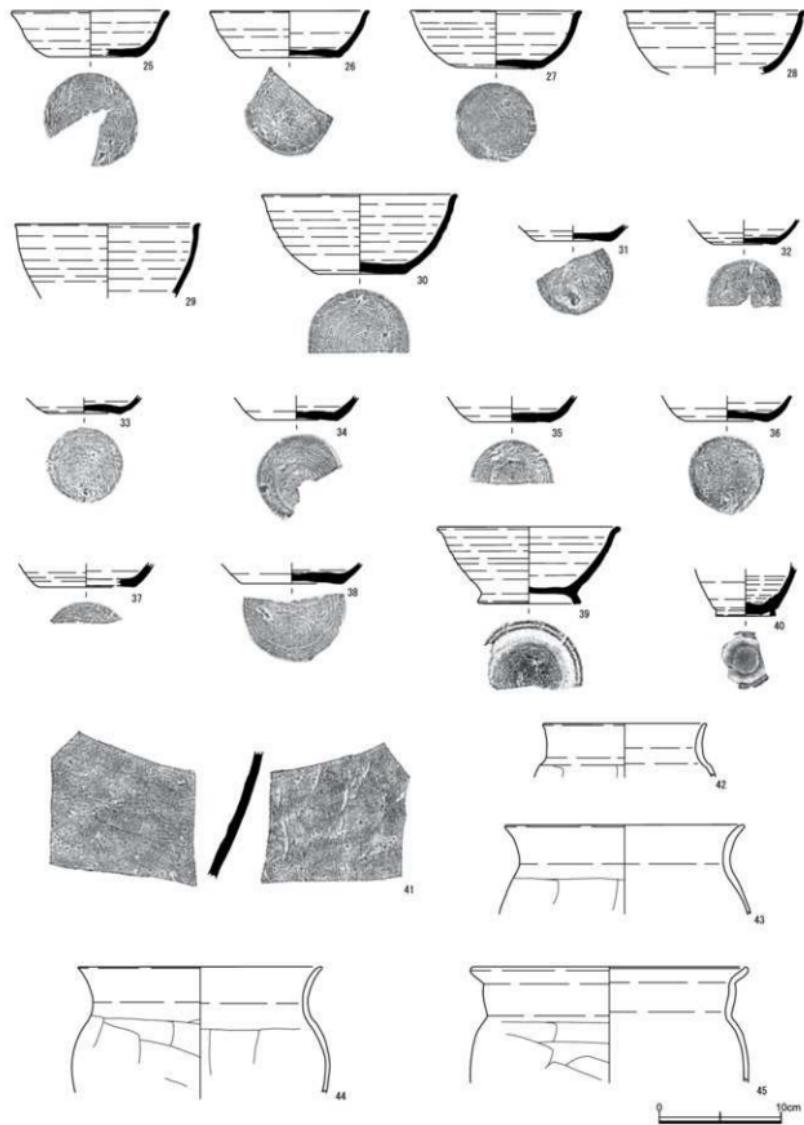
第26表 第14号竪穴建物跡出土遺物観察表(1)



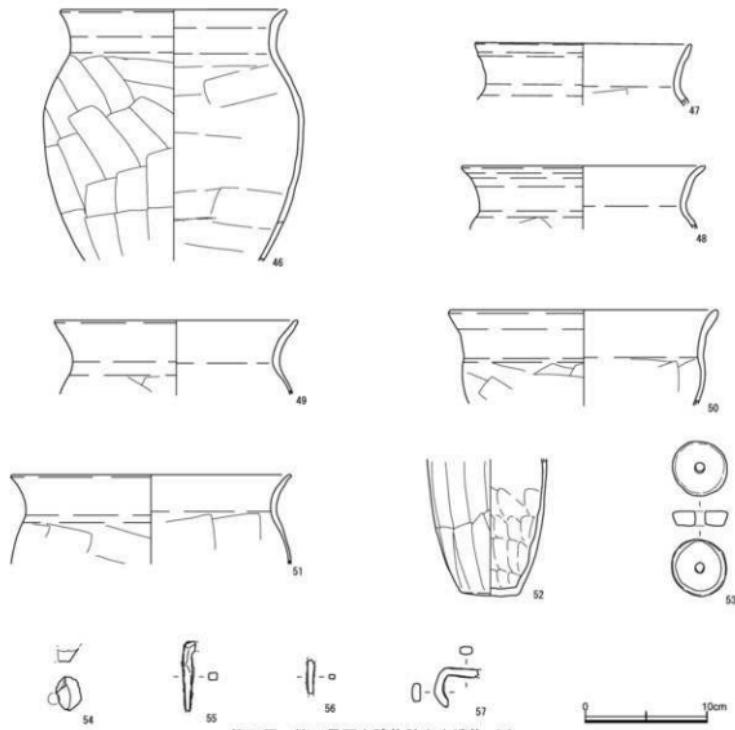
第69図 第14号竪穴建物跡カマド



第70図 第14号竪穴建物跡出土遺物（1）



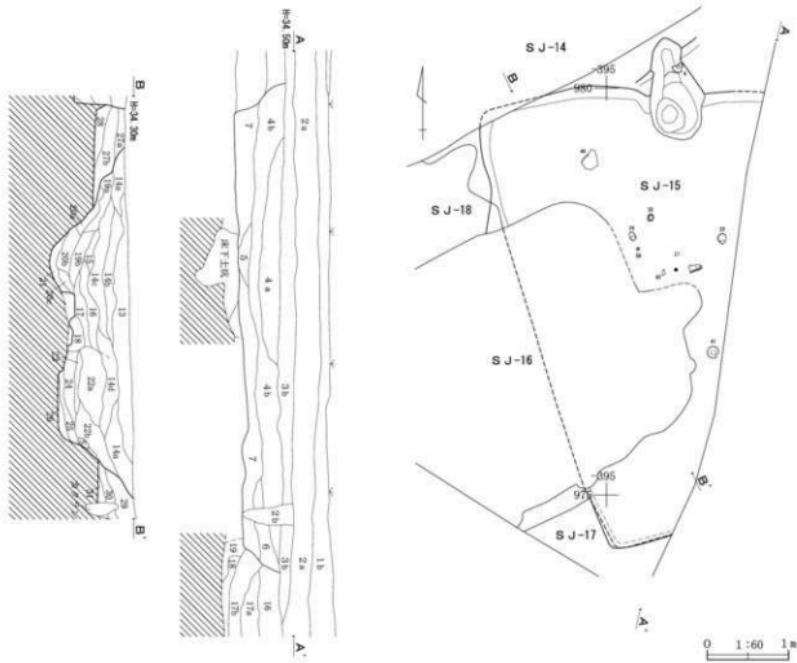
第71図 第14号竪穴建物跡出土遺物（2）



第72図 第14号竪穴建物跡出土遺物 (3)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|----|--------|-----|-----|---------|----|-----|-----|-----|
| 21 | S | 壺 | 12.5 | 3.5 | 6.4 | A C G H | 良 | 灰 | 90% | |
| 22 | S | 壺 | 12.4 | 4.4 | 6.0 | A C F H | 良 | 青灰 | 90% | |
| 23 | S | 壺 | 12.6 | 3.7 | 6.4 | A C F H | 普 | 灰 | 80% | |
| 24 | S | 壺 | (12.7) | 3.8 | 5.8 | A C F H | 良 | 青灰 | 45% | |
| 25 | S | 壺 | (12.7) | 3.8 | 7.2 | A C F H | 普 | 灰 | 40% | |
| 26 | S | 壺 | (12.8) | 3.8 | 8.0 | A C G H | 良 | 青灰 | 30% | |
| 27 | S | 壺 | 13.8 | 4.7 | 6.3 | A C G H | 普 | 灰 | 80% | |
| 28 | S | 壺 | (14.8) | | | A C G H | 良 | 灰 | 20% | |
| 29 | S | 壺 | (15.1) | | | A C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 30 | S | 壺 | (15.8) | 6.2 | 7.3 | A C G H | 良 | 灰 | 50% | |
| 31 | S | 壺 | | | 5.9 | A C F H | 良 | 青灰 | 20% | |
| 32 | S | 壺 | | | 4.9 | A C F H | 良 | 青灰 | 20% | |
| 33 | S | 壺 | | | 5.9 | A C G H | 良 | 灰 | 25% | |
| 34 | S | 壺 | | | 6.5 | A C G H | 普 | 灰 | 25% | |

第27表 第14号竪穴建物跡出土遺物観察表 (2)



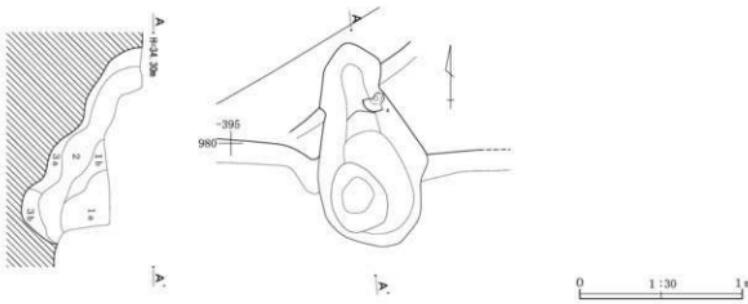
A-A'
1層 岩褐色土 a-bにバックスを含む。a-bの2層に細分可。耕作土層。
2層 線状褐紫色土 ローム・鐵土を多く含む。a-bに細分可。耕作土層。
3層 褐紫色土 鐵土・炭化物を多く含む。a-bに細分可。耕作土層。
4層 褐紫色土 鐵土・炭化物を多く含む。a-bに細分可。耕作土層。
5層 褐紫色土 鐵土・ローム粒子を含む。炭化物を少數含む。a-bに細分可。耕作土層。
6層 褐紫色土 鐵土・ローム粒子。炭化物を多く含む。SJ15。
7層 褐黃褐色土 ローム粒子主体で、鐵土をわずかに含む。SJ16。
8層 褐黃褐色土 ローム・鐵土を含む。炭化物を多く含む。SJ16。
9層 褐黃褐色土 ローム・鐵土を多く含む。SJ16。
10層 褐黃褐色土 ローム・鐵土を多く含む。a-bの間に細分可。
11層 黑褐色土 鐵土上・炭化物を多く含む。a-bの間に細分可。
12層 黑褐色土 鐵土上・炭化物を多く含む。ローム・鐵土を含む。
13層 黑褐色土 ローム・ブロックを含む。

B-B'
13層 褐黃褐色土 ローム・鐵土粒子・土層片を多く含む。住居内土層。
14層 褐黃褐色土 ローム・鐵土粒子・土層片を多く含む。a-bの間に細分可。住居内土層。
15層 褐黃褐色土 ローム・鐵土粒子・土層片を多く含む。住居内土層。
16層 褐黃褐色土 ローム・鐵土粒子・土層片を多く含む。住居内土層。
17層 褐黃褐色土 ローム・鐵土粒子を含む。住居内土層。
18層 褐黃褐色土 ローム・鐵土粒子を含む。土壁上?・炭化物を多量に含む。カマド。住居内土層。
19層 褐黃褐色土 ローム・鐵土粒子を多く含む。a-bの間に細分可。住居内土層。
20層 褐黃褐色土 ローム・鐵土粒子をまだ多く含む。a-bの間に細分可。住居内土層。
21層 褐黃褐色土 鐵色粘土を多く含む。住居内土層。
22層 褐黃褐色土 鐵色粘土・鐵土・ローム・炭化物を含む。a-bの間に細分可。住居内土層。
23層 褐黃褐色土 鐵色粘土・鐵土・ローム・炭化物を含む。a-bの間に細分可。住居内土層。
24層 褐黃褐色土 ローム・ブロックをまだ多く含む。住居内土層。
25層 褐黃褐色土 ローム・ブロックをまだ多く含む。a-bの間に細分可。住居内土層。
26層 褐黃褐色土 ローム・鐵土をわずかに含む。住居内土層。
27層 褐黃褐色土 ローム・鐵土を多く含む。a-bの間に細分可。住居内土層。
28層 褐黃褐色土 ロームを多く含む。鐵土をわずかに含む。SJ15の覆土層。
29層 黑褐色土 鐵土を多く含む。ローム・ブロックをまだ多く含む。SJ15の覆土層。
30層 褐黃褐色土 ローム・ブロックを主体に。鐵土・炭化物を含む。SJ15の覆土層。
31層 褐黃褐色土 ローム・鐵土粒子をわずかに含む。SJ16の覆土層。

第73図 第15号竪穴建物跡

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|-----|--------|-----|-------|-------------|----|----|-----|----|
| 35 | S | 壺 | | | 6.2 | A C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 36 | S | 壺 | | | 6.6 | A B C D F H | 普 | 灰褐 | 45% | |
| 37 | S | 壺 | | | (7.7) | A C G H | 良 | 青灰 | 10% | |
| 38 | S | 壺 | | | 8.0 | A C G H | 良 | 灰 | 20% | |
| 39 | S | 高台壺 | (14.8) | 6.3 | 8.2 | A C F H | 普 | 黑褐 | 60% | |
| 40 | S | 小壺 | | | 4.8 | A C F H | 良 | 灰 | 25% | |
| 41 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |

第28表 第14号竪穴建物跡出土遺物観察表(3)



A-A'
1層 黄茶褐色土 ローム粒子・焼土粒子を多量に、炭化物を少量含む。
aにロームブロックに部分可。
2層 緑褐色土 烧土粒子を主体とする。ローム粒子を多量に。ロームブロック。炭化物ブロックを少含む。
3層 可褐色土 ローム粒子・焼土粒子を多量に、炭化物を微量含む。a・bの間に部分分可。bには焼土を微量含む。
A-A' 层

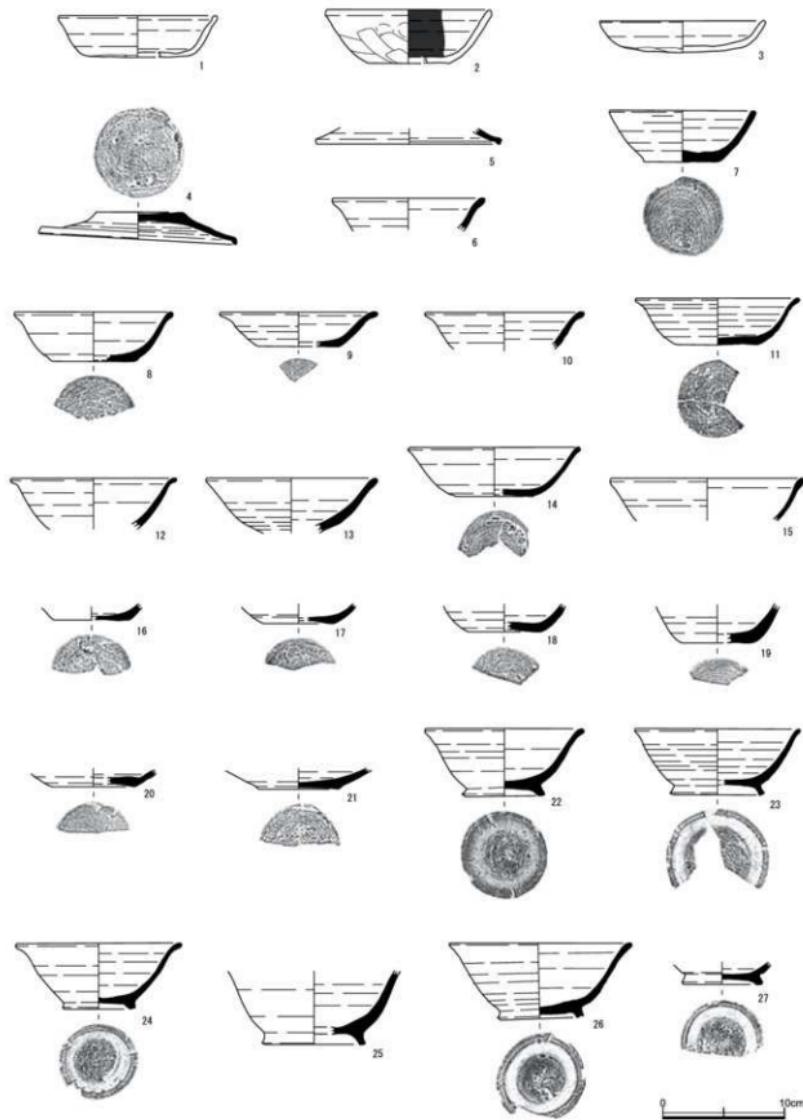
第74図 第15号竪穴建物跡カマド

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----------------|----|--------|-------|-------|-----------|----|------|-----|-----------|
| 42 | H | 甕 | (13.3) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 5% | |
| 43 | H | 甕 | 19.5 | | | A B C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 44 | H | 甕 | 20.0 | | | A B C E H | 普 | 橙 | 20% | |
| 45 | H | 甕 | (22.3) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 46 | H | 甕 | 18.3 | | | A B C E H | 普 | 橙 | 30% | |
| 47 | H | 甕 | (17.7) | | | A C E H I | 普 | にぶい橙 | 5% | |
| 48 | H | 甕 | (19.9) | | | A C D E | 普 | 橙 | 5% | |
| 49 | H | 甕 | (19.9) | | | A C E I | 普 | 橙 | 5% | |
| 50 | H | 甕 | (21.9) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 51 | H | 甕 | (22.7) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 52 | H | 甕 | | | 4.8 | A B C E H | 普 | 橙 | 15% | |
| 53 | 石製筋鉤車 土製筋鉤車 | | 長 4.5 | 幅 4.5 | 厚 1.2 | 石材：凝灰岩 | | | | 重さ 37.49g |
| 54 | 鉄釘 | | | | | | | | | 重さ 8.21g |
| 55 | 鉄釘 | | | 幅 0.7 | 厚 0.6 | | | | | 重さ 1.09g |
| 56 | 不明鉄製品 | | | 幅 0.5 | 厚 0.4 | | | | | 重さ 9.88g |

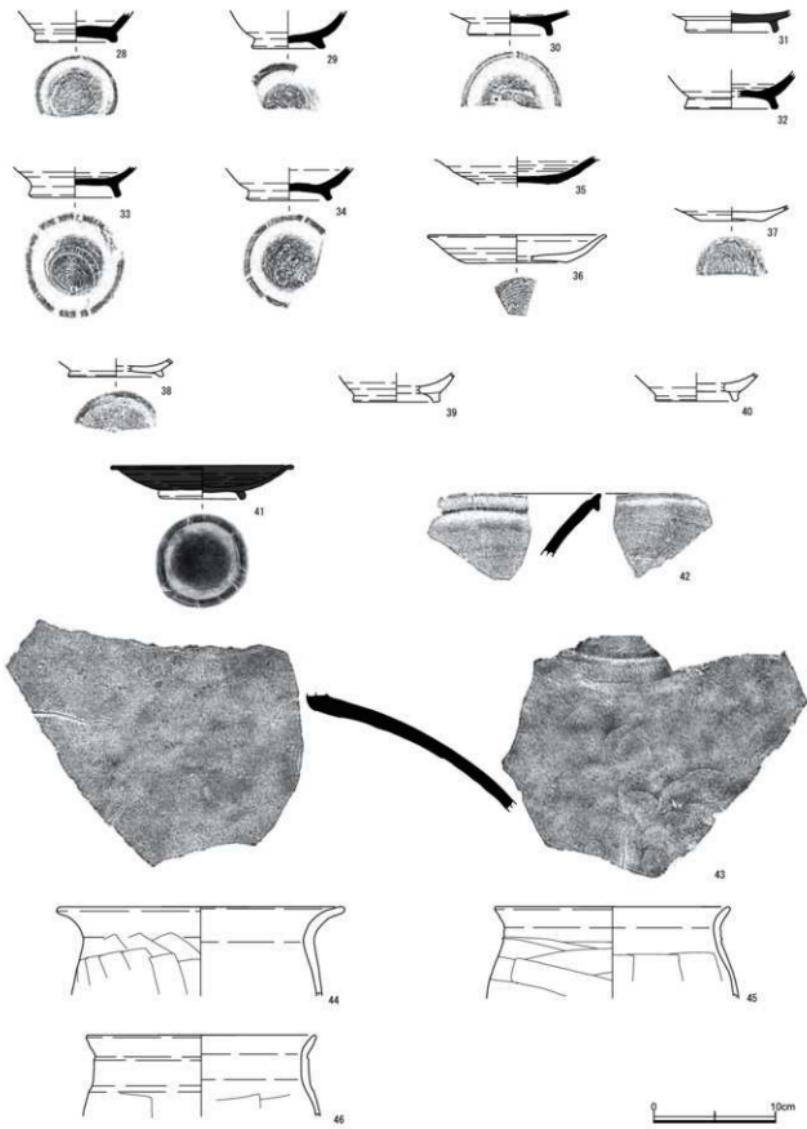
第29表 第14号竪穴建物跡出土遺物観察表 (4)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|----|--------|-----|-------|-----------|----|-----|-----|-----|
| 1 | H | 坏 | (12.8) | 3.4 | | A C I | 普 | 橙 | 30% | |
| 2 | H | 坏 | 13.3 | 4.4 | 6.6 | A B C E | 普 | 橙 | 80% | |
| 3 | H | 皿 | (13.3) | 2.6 | | A B C E I | 普 | 橙 | 25% | |
| 4 | S | 蓋 | 16.0 | 2.2 | 7.2 | A C F H | 良 | 灰 | 70% | |
| 5 | S | 蓋 | (15.0) | | | A C F H | 良 | 青灰 | 10% | |
| 6 | S | 坏 | (12.3) | | | A C F H | 良 | 青灰 | 10% | |
| 7 | S | 坏 | (11.8) | 4.2 | 6.0 | A C | 不良 | 灰 | 50% | |
| 8 | S | 坏 | (12.7) | 4.0 | (6.5) | A C F H | 良 | 青灰 | 25% | |
| 9 | S | 坏 | (12.8) | 2.8 | (6.6) | A C F H | 良 | 青灰 | 20% | |
| 10 | S | 坏 | (12.7) | | | A C F H | 普 | 灰 | 20% | |

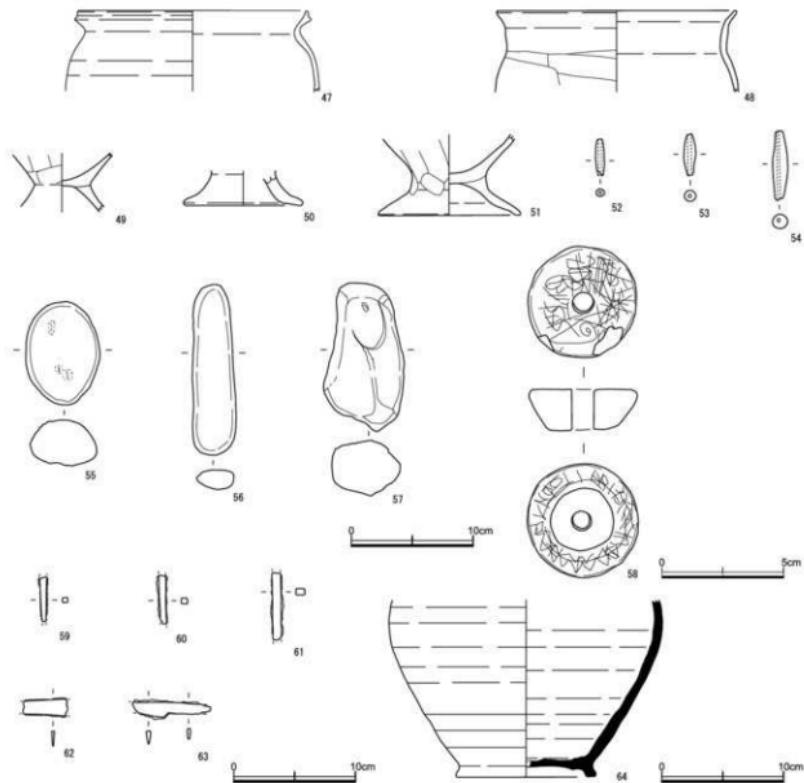
第30表 第15号竪穴建物跡出土遺物観察表 (1)



第75図 第15号竪穴建物跡出土遺物 (1)



第76図 第15号竪穴建物跡出土遺物（2）



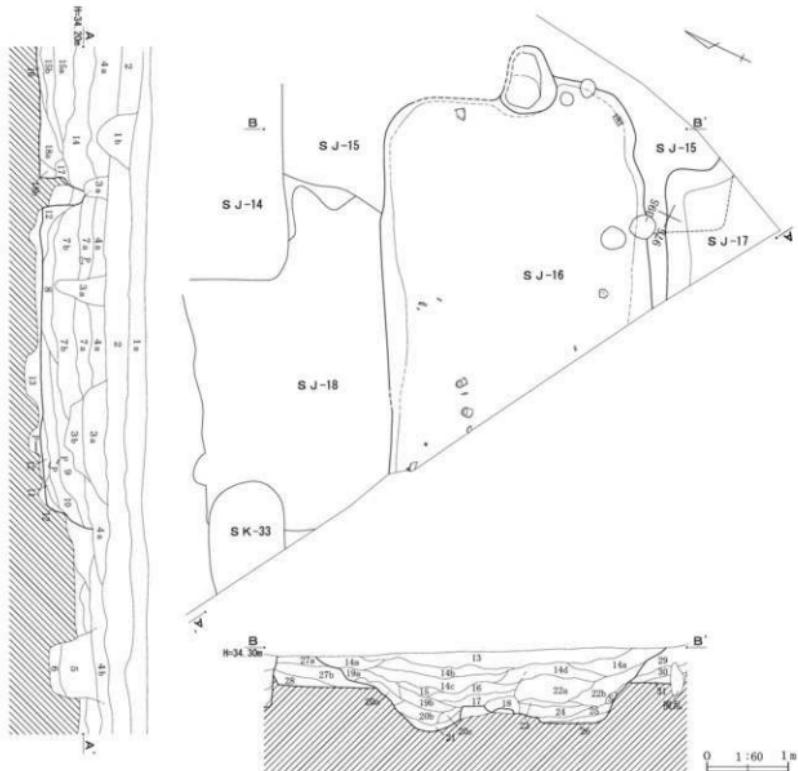
第77図 第15号竪穴建物跡出土遺物 (3)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-----|-------|-----------|----|------|-----|----|
| 11 | S | 壺 | (13.2) | 3.8 | 6.6 | A B C F H | 不良 | にぶい橙 | 35% | |
| 12 | S | 壺 | (13.5) | | | A C I | 不良 | 灰 | 20% | |
| 13 | S | 壺 | (13.8) | | | A C D F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 14 | S | 壺 | (13.7) | | | A C F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 15 | S | 壺 | (15.7) | | | A B C F H | 普 | 灰 | 15% | |
| 16 | S | 壺 | | | 6.3 | A B C F H | 不良 | 灰褐 | 15% | |
| 17 | S | 壺 | | | (6.0) | A B F H I | 不良 | にぶい橙 | 15% | |
| 18 | S | 壺 | | | (6.0) | A B C F H | 不良 | 灰 | 15% | |
| 19 | S | 壺 | | | (6.0) | A C E | 普 | 灰 | 15% | |
| 20 | S | 壺 | | | (6.8) | A C G | 普 | 灰 | 15% | |
| 21 | S | 壺 | | | 6.7 | A B C F H | 普 | 灰 | 20% | |

第31表 第15号竪穴建物跡出土遺物観察表 (2)

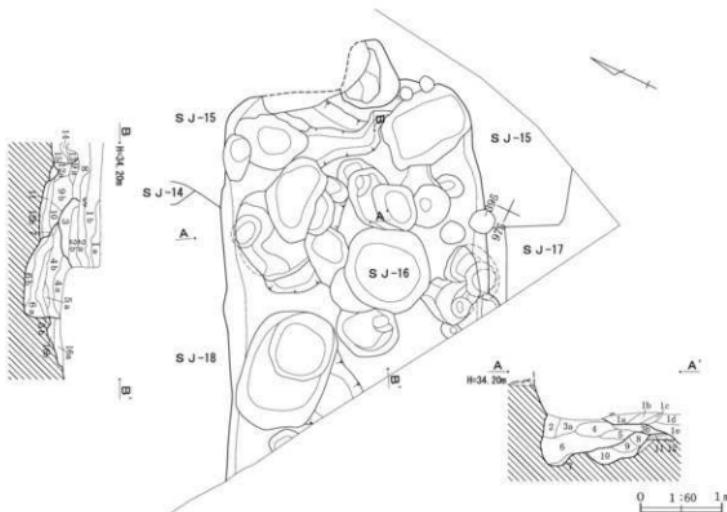
| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-------|--------|-------|--------|-------------|----|------|-----|-----------|
| 22 | S | 高台坏 | 12.6 | 5.5 | 5.8 | A C F H | 良 | 青灰 | 95% | |
| 23 | S | 高台坏 | 13.3 | 5.4 | (7.0) | A C F H | 良 | 灰 | 60% | |
| 24 | S | 高台坏 | 13.3 | 5.4 | 5.5 | A C F H | 良 | 灰 | 80% | |
| 25 | S | 高台坏 | | | (8.0) | A C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 26 | S | 高台坏 | 14.7 | 6.2 | 6.1 | A C F H | 良 | 青灰 | 75% | |
| 27 | S | 高台坏 | | | 6.4 | A C F H | 良 | 青灰 | 20% | |
| 28 | S | 高台坏 | | | 6.3 | A C G H | 普 | 灰 | 25% | |
| 29 | S | 高台坏 | | | (5.0) | A C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 30 | S | 高台坏 | | | 6.6 | A C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 31 | K | 高台皿 | | | 7.0 | A C | 良 | 灰 | 25% | |
| 32 | S | 高台坏 | | | (7.4) | A B C F H I | 不良 | にぶい橙 | 20% | |
| 33 | S | 高台坏 | | | 6.9 | A C F H | 良 | 灰 | 25% | |
| 34 | S | 高台坏 | | | 6.3 | A C F H | 良 | 青灰 | 25% | |
| 35 | S | 高台坏 | | | | A B C F H | 普 | にぶい橙 | 20% | |
| 36 | R | 皿 | (14.5) | 2.2 | (8.0) | A C I | 普 | 橙 | 40% | |
| 37 | R | 坏 | | | 5.0 | A B C | 良 | 橙 | 20% | |
| 38 | R | 高台坏 | | | (7.7) | A B C F H | 普 | 赤褐 | 15% | |
| 39 | R | 高台坏 | | | (7.0) | A B C I | 普 | にぶい橙 | 10% | |
| 40 | R | 高台坏 | | | (6.6) | A B C F H | 普 | にぶい橙 | 10% | |
| 41 | K | 高台皿 | 15.0 | 2.8 | 6.6 | A C | 良 | 灰 | 95% | |
| 42 | S | 甕 | | | | A C | 良 | 黑褐 | | |
| 43 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | 10% | |
| 44 | H | 甕 | 23.2 | | | A B C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 45 | H | 甕 | 19.1 | | | A B C D E | 普 | 橙 | 15% | |
| 46 | H | 甕 | (18.6) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 5% | |
| 47 | H | 甕 | (18.7) | | | A C F H | 普 | 橙 | 10% | |
| 48 | H | 甕 | (19.6) | | | A C E H | 普 | 橙 | 5% | |
| 49 | H | 台付甕 | | | | A C E H | 普 | 橙 | 10% | |
| 50 | H | 台付甕 | | | (9.2) | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 51 | H | 台付甕 | | | (11.6) | A B C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 52 | | 土鍤 | 長(3.0) | 幅 0.7 | 厚 0.7 | | | | | 重さ 1.23g |
| 53 | | 土鍤 | 長 3.4 | 幅 1.0 | 厚 0.9 | | | | | 重さ 2.90g |
| 54 | | 土鍤 | 長 5.8 | 幅 1.3 | 厚 1.2 | | | | | 重さ 7.27g |
| 55 | | 磨痕石 | 長 8.5 | 幅 6.1 | 厚 3.7 | 石材：安山岩 | | | | 重さ 150g |
| 56 | | 編物石 | 長 14.0 | 幅 3.6 | 厚 1.6 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 130g |
| 57 | | 編物石 | 長 11.9 | 幅 6.5 | 厚 4.6 | 石材：砂岩 | | | | 重さ 550g |
| 58 | | 石製紡錘車 | 長 4.6 | 幅 4.5 | 厚 1.7 | 石材：濃緑玉 | | | | 重さ 51.24g |
| 59 | | 鉄釘 | | 幅 0.5 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 1.72g |
| 60 | | 棒状鉄製品 | | 幅 0.6 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 3.10g |
| 61 | | 棒状鉄製品 | | 幅 0.8 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 6.36g |
| 62 | | 刀子 | | 幅 1.3 | 厚 0.2 | | | | | 重さ 3.32g |
| 63 | | 刀子 | | 幅 1.1 | 厚 0.4 | | | | | 重さ 9.90g |
| 64 | 陶器 | 壺 | | | 11.2 | A C H | 良 | 赤褐 | 40% | 外面に自然縫 |

第32表 第15号竪穴建物跡出土遺物観察表 (3)



- 1層 基岩
2層 植生地帯上 地下水面
3層 植生地帯上 45-1とおおむね同じ土質を多く含む。しまり重い。
4層 植生地帯上 45-1とおおむね同じ土質を多く含む。しまり重い。
5層 植生地帯上 地下水面
6層 植生地帯上 地下水面
7層 植生地帯上 地下水面
8層 植生地帯上 ローム・粘土・砂質土・礫土を含む。a・bの間に細分可。
9層 植生地帯上 ローム・粘土子を多く含む。
10層 植生地帯上 ローム・粘土子を多く含む。
11層 植生地帯上 ローム・粘土子を多く含む。
12層 植生地帯上 ローム・粘土・ブロックをやや多く含む。
13層 植生地帯上 ローム・褐色粘土ブロックを多く含む。地土をやや含む。
14層 植生地帯上 ローム・粘土・砂質土を多く含む。70cmに近い感。
15層 植生地帯上 地下水面
16層 植生地帯上 地下水面
17層 植生地帯上 ローム・ブロック・ローム粘土を含む。
18層 植生地帯上 ローム粘土を含む。
- 13層 基岩褐色土 ローム・粘土粘子・土壌片を多く含む。住居内土灰。
14層 基岩褐色土 ローム・粘土粘子・土壌片を多く含む。a=6.0mに細分可。住居内土灰。
15層 基岩褐色土 ローム・粘土粘子・土壌片を多く含む。住居内土灰。
16層 可塑性褐色土 ローム・ブロックを多く含む。地土をやや多く含む。住居内土灰。
17層 基岩褐色土 ローム・粘土粘子を含む。住居内土灰。
18層 混合褐色土 地土粘子・固形物を多く含む。カット面は白色。
19層 混合褐色土 ローム・粘土粘子を多く含む。カット面は白色。住居内土灰。
20層 基岩褐色土 ローム・褐色粘土をまだらに含む。e=6.0mの間に細分可。住居内土灰。
21層 基岩褐色土 粘土粘子を多く含む。住居内土灰。
22層 混合褐色土 地土・粘土粘子・ローム・固形物を含む。a=6.0mの間に細分可。住居内土灰。
23層 混合褐色土 地土・粘土粘子・ローム・固形物を含む。住居内土灰。
24層 基岩褐色土 ローム・ブロックをまだらに含む。住居内土灰。
25層 基岩褐色土 ローム・ブロックを主に含む。24層を含む。住居内土灰。
26層 基岩褐色土 地土・粘土粘子・ローム・固形物を含む。住居内土灰。
27層 基岩褐色土 地土・粘土粘子・ローム・固形物を含む。a=6.0mの間に細分可。8.0mの覆土層。
28層 基岩褐色土 ロームを多く含む。地土をわずかに含む。3.0mの覆土層。
29層 基岩褐色土 ローム・ブロックをまだらに少量含む。3.0mの覆土層。
30層 基岩褐色土 ローム・ブロックを主に含む。地土・固形物を含む。3.0mの覆土層。
31層 基岩褐色土 ローム・粘土粘子をわずかに含む。8.0mの覆土層。

第78図 第16・17号堅穴建物跡

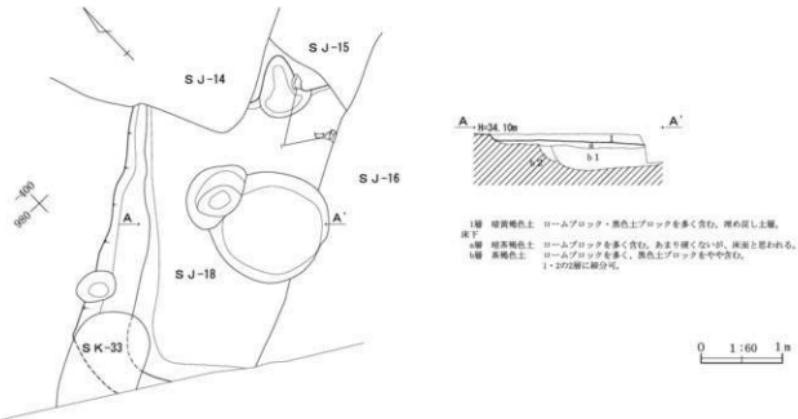


- A~F
- 1番 暗赤褐色土 ローム・粘土質で、根糸が多く含む。a~eの層に細分可。
 - 2番 砂質褐色土 ローム・砂質土で、基礎土を含む。
 - 3番 基礎土 ローム・砂質土を多く含む。地盤を支える。
 - 4番 暗赤褐色土 ローム・褐色粘土を多く含む。地盤を支える。
 - 5番 褐色土 ローム・褐色粘土を多く含む。
 - 6番 褐色土 ローム・褐色粘土を多く含む。
 - 7番 暗赤褐色土 ローム・褐色粘土を多く含む。ロームブロックをまだらに少量含む。しまり無い。
 - 8番 暗赤褐色土 ローム・褐色粘土を多く含む。
 - 9番 暗赤褐色土 ローム・褐色粘土を多く含む。
 - 10番 暗赤褐色土 ローム・褐色粘土を多く含む。地盤を支える。
 - 11番 暗赤褐色土 ローム・褐色粘土を多く含む。地盤を支える。
 - 12番 暗赤褐色土 ローム・褐色粘土を多く含む。地盤を支える。
- F
- 1番 明黄色土 ローム・粘土質で、根糸が多く含む。a~hの層に細分可。
 - 2番 明黄色土 ローム・粘土・砂化物を含む。層をうねり構成。
 - 3番 明黄色土 ロームを多く、地盤を支える。
 - 4番 明黄色土 ローム・ブロックを多く、地盤を支える。
 - 5番 明黄色土 ローム・ブロックを多く、地盤を支える。
 - 6番 明黄色土 ローム・ブロックを多く、地盤を支える。
 - 7番 暗赤褐色土 地盤を支える。
 - 8番 暗赤褐色土 ローム・地盤を支える。
 - 9番 暗赤褐色土 ローム・地盤を支える。
 - 10番 暗赤褐色土 ローム・地盤を支える。
 - 11番 暗赤褐色土 ローム・地盤を支える。
 - 12番 暗赤褐色土 ローム・地盤を支える。
 - 13番 暗赤褐色土 ローム・地盤を支える。
 - 14番 暗赤褐色土 ローム・地盤を支える。
 - 15番 暗赤褐色土 ローム・地盤を支える。

第79図 第16・17号竪穴建物跡断面

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|----|--------|-------|-------|-----------|----|-----|-----|-----|
| 1 | H | 壺 | (11.8) | (3.3) | | A B C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 2 | H | 壺 | (12.0) | (3.3) | | A C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 3 | H | 壺 | (11.8) | 2.9 | | A C E | 良 | 橙 | 20% | |
| 4 | H | 壺 | (10.9) | 3.1 | | A C I | 普 | 橙 | 20% | |
| 5 | S | 蓋 | (15.4) | 2.4 | (6.8) | A C F H | 良 | 青灰 | 20% | |
| 6 | S | 壺 | (13.8) | 3.5 | (7.2) | A B C D | 普 | 灰 | 25% | |
| 7 | S | 壺 | (13.5) | | | A B C H I | 不良 | 灰褐 | 15% | |
| 8 | S | 壺 | (14.8) | | | A C H | 普 | 灰 | 15% | |
| 9 | S | 壺 | | 6.0 | | A C G H | 普 | 灰 | 20% | |
| 10 | S | 壺 | | (6.3) | | A C F H | 良 | 青灰 | 15% | |
| 11 | S | 壺 | | 6.2 | | A C F H | 良 | 青灰 | 25% | |
| 12 | S | 壺 | | 6.5 | | A B C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 13 | S | 壺 | | 6.0 | | A C H | 普 | 灰 | 20% | |
| 14 | S | 壺 | | 6.4 | | A B C F H | 普 | 橙 | 30% | |

第33表 第16号竪穴建物跡出土遺物観察表(1)



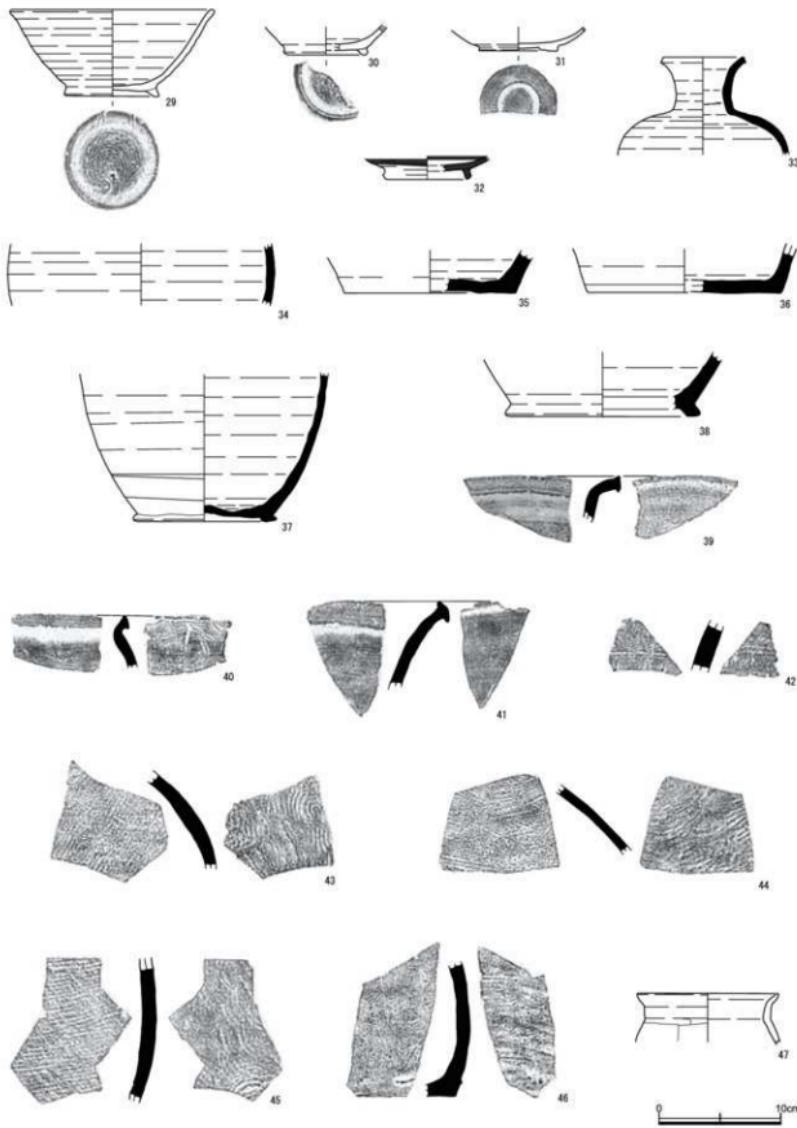
第80図 第18号竪穴建物跡

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|-----|--------|-----|--------|-------------|----|-------|-----|--------|
| 15 | S | 壺 | | | (7.9) | A C H | 普 | 灰 | 20% | |
| 16 | S | 壺 | | | 7.6 | A B C H | 普 | にぶい橙 | 25% | |
| 17 | S | 高台壺 | (13.7) | 5.4 | 7.1 | A C F H | 良 | 青灰 | 45% | |
| 18 | S | 高台壺 | | | 6.3 | A C F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 19 | S | 高台壺 | | | 6.8 | A C F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 20 | S | 高台壺 | | | 6.0 | A C F H | 良 | 青灰 | 25% | |
| 21 | S | 高台壺 | | | 7.4 | A C F H | 普 | 灰 | 25% | |
| 22 | S | 高台壺 | | | (7.2) | A C F H | 普 | 灰 | 15% | |
| 23 | S | 高台壺 | | | (7.3) | A B C H | 普 | 灰 | 15% | |
| 24 | S | 高台壺 | | | 6.5 | A C F H | 普 | 灰 | 50% | |
| 25 | S | 皿 | (14.8) | 2.8 | 6.8 | A B C H | 普 | 灰褐 | 60% | |
| 26 | S | 高台皿 | (13.0) | 2.8 | 6.8 | A B C H | 普 | 灰 | 75% | |
| 27 | R | 壺 | (15.9) | | | A B C F H | 普 | にぶい橙 | 15% | |
| 28 | R | 壺 | | | (6.0) | A C E | 普 | 暗褐 | 15% | |
| 29 | R | 高台椀 | (16.5) | 7.1 | 7.7 | A B C E F H | 良 | 橙 | 50% | |
| 30 | R | 高台椀 | | | (6.4) | A B C H | 普 | にぶい赤褐 | 15% | |
| 31 | 白磁 | 高台椀 | | | 6.5 | C | 良 | 白 | 25% | |
| 32 | K | 高台皿 | | | (6.8) | A C | 良 | 灰 | 10% | |
| 33 | S | 瓶 | (6.7) | | | A C H | 普 | 灰 | 20% | |
| 34 | S | 瓶 | | | | A C | 良 | 灰褐 | | |
| 35 | S | 甕 | | | (14.0) | A C G H | 普 | 灰 | | |
| 36 | S | 甕 | | | (15.8) | A C F H | 良 | 青灰 | | |
| 37 | S | 甕 | | | 11.0 | A C H | 良 | 灰 | | |
| 38 | S | 甕 | | | (15.5) | A C H | 良 | 青灰 | | |
| 39 | S | 甕 | | | | A C F H | 普 | 灰 | | |
| 40 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |
| 41 | S | 甕 | | | | A C G H | 良 | 灰 | | |
| | | | | | | | | | | 外面に自然釉 |

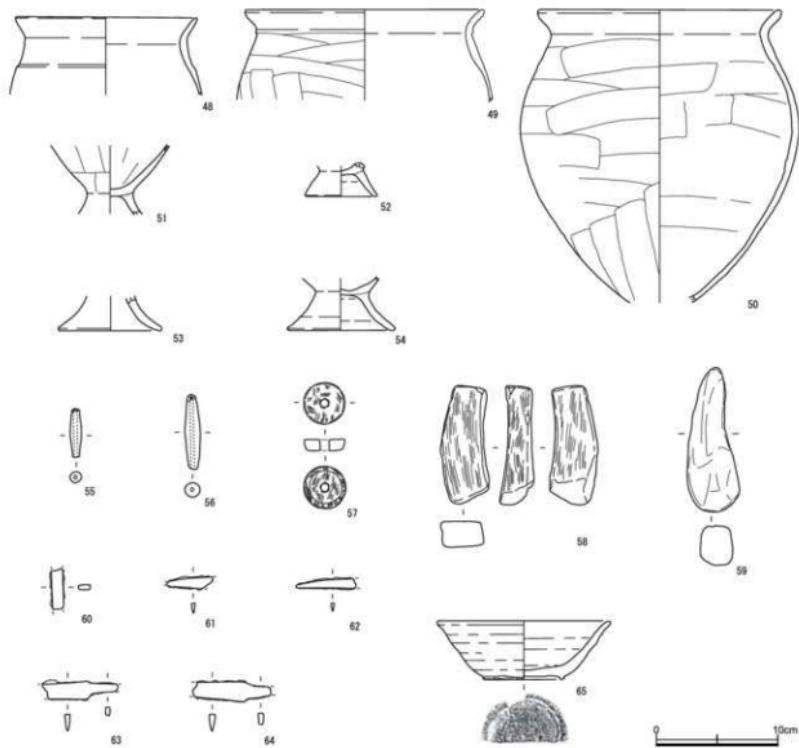
第34表 第16号竪穴建物跡出土遺物観察表 (2)



第81図 第16号竪穴建物跡出土遺物（1）



第82図 第16号竪穴建物跡出土遺物（2）



第83図 第16号堅穴建物跡出土遺物 (3)

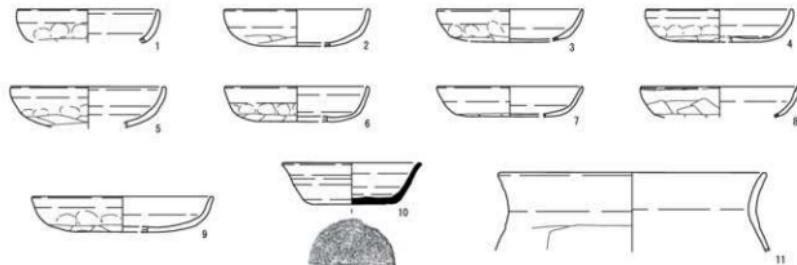
| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-----|--------|----|-----|-----------|----|-----|-----|-----|
| 42 | S | 甕 | | | | A C H | 普 | 青灰 | | |
| 43 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |
| 44 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |
| 45 | S | 甕 | | | | A C F H | 普 | 青灰 | | |
| 46 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 黑褐 | | |
| 47 | H | 甕 | (11.4) | | | A B C E I | 普 | 橙 | 5% | |
| 48 | H | 甕 | (14.8) | | | A B C E I | 普 | 橙 | 5% | |
| 49 | H | 甕 | 19.4 | | | A B C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 50 | H | 甕 | (19.6) | | | A B C E | 普 | 橙 | 30% | |
| 51 | H | 台付甕 | | | | A B C E | 普 | 赤褐 | 10% | |
| 52 | H | 台付甕 | | | 5.8 | A B C E | 普 | 赤褐 | 5% | |
| 53 | H | 台付甕 | | | 8.6 | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 54 | H | 台付甕 | | | 8.5 | A B C E H | 普 | 橙 | 10% | |

第35表 第16号堅穴建物跡出土遺物観察表 (3)

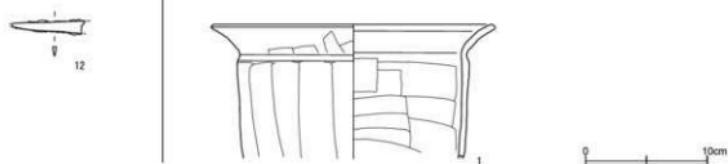
| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|-----|-------|--------|-------|-------|--------|----|-----|-----|------------|
| 55 | | 土錘 | 長 3.9 | 幅 0.9 | 厚 0.9 | | | | | 重さ 2.91g |
| 56 | | 土錘 | 長 6.1 | 幅 1.3 | 厚 1.2 | | | | | 重さ 8.06g |
| 57 | | 石製筋鍤車 | 長 3.4 | 幅 3.4 | 厚 0.9 | 石材：滑石 | | | | 重さ 18.03g |
| 58 | | 砥石 | 長 9.6 | 幅 3.6 | 厚 2.1 | 石材：凝灰岩 | | | | 重さ 132.70g |
| 59 | | 礪物石 | 長 11.8 | 幅 4.2 | 厚 3.3 | 石材：片岩 | | | | 重さ 195g |
| 60 | | 棒状鉄製品 | | 幅 1.0 | 厚 0.4 | | | | | 重さ 3.41g |
| 61 | | 刀子 | | 幅 0.8 | 厚 0.3 | | | | | 重さ 2.41g |
| 62 | | 刀子 | | 幅 0.6 | 厚 0.3 | | | | | 重さ 3.21g |
| 63 | | 刀子 | | 幅 1.4 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 9.74g |
| 64 | | 刀子 | | 幅 1.4 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 12.51g |
| 65 | 山茶碗 | 高台椀 | (14.2) | 4.8 | 6.6 | A C | 良 | 灰 | 40% | 内面に自然釉 |

第36表 第16号竪穴建物跡出土遺物観察表(4)

第17号竪穴建物跡



第18号竪穴建物跡



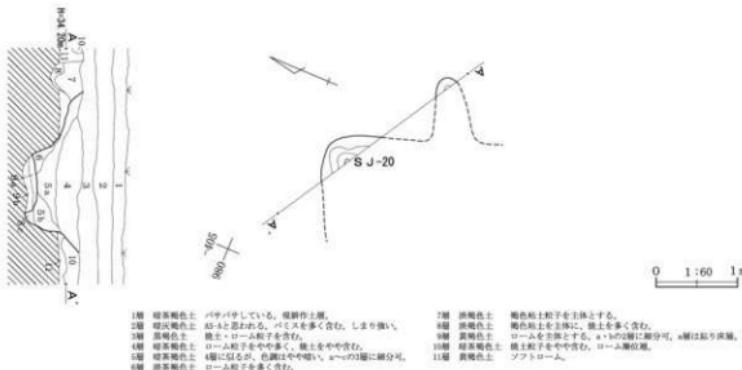
第84図 第17・18号竪穴建物跡出土遺物

| 番号 | 造構 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|------|----|----|--------|-------|----|-----------|----|-----|-----|-----|
| 1 | SJ17 | H | 坪 | (11.4) | | | A C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 2 | | H | 坪 | (11.8) | (3.0) | | A C E I | 普 | 橙 | 15% | |
| 3 | | H | 坪 | (11.9) | (2.7) | | A B C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 4 | | H | 坪 | (11.9) | 2.6 | | A C E I | 普 | 橙 | 25% | |
| 5 | | H | 坪 | (12.5) | | | A C E I | 普 | 橙 | 30% | |
| 6 | | H | 坪 | (11.7) | (2.9) | | A C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 7 | | H | 坪 | (12.0) | (2.5) | | A B C E I | 普 | 橙 | 20% | |

第37表 第17・18号竪穴建物跡出土遺物観察表(1)

| 番号 | 遺構 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|------|----|----|--------|-------------|----|-----------|----|-----|-----|----------|
| 8 | SJ17 | H | 坪 | (12.8) | | | A C E I | 普 | 橙 | 15% | |
| 9 | | H | 坪 | (14.8) | 2.9 | | A B C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 10 | | S | 坪 | (11.2) | 3.4 | | A C G | 良 | 灰 | 45% | |
| 11 | | H | 甕 | (21.7) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 5% | |
| 12 | | | 刀子 | | 幅 0.8 厚 0.3 | | | | | | 重さ 4.42g |
| 1 | SJ18 | H | 甕 | (22.8) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 20% | |

第38表 第17・18号竪穴建物跡出土遺物観察表(2)



第85図 第20号竪穴建物跡

第19号竪穴建物跡



第86図 第19・20号竪穴建物跡出土遺物

第20号竪穴建物跡



| 番号 | 遺構 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|------|----|----|--------|-------|-------|-------|----|-----|-----|----------|
| 1 | SJ19 | H | 坪 | (14.8) | (3.6) | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 2 | | | 土錐 | 長 4.7 | 幅 1.0 | 厚 1.0 | | | | | 重さ 3.97g |
| 1 | SJ20 | | 刀子 | | 幅 1.0 | 厚 0.4 | | | | | 重さ 2.96g |

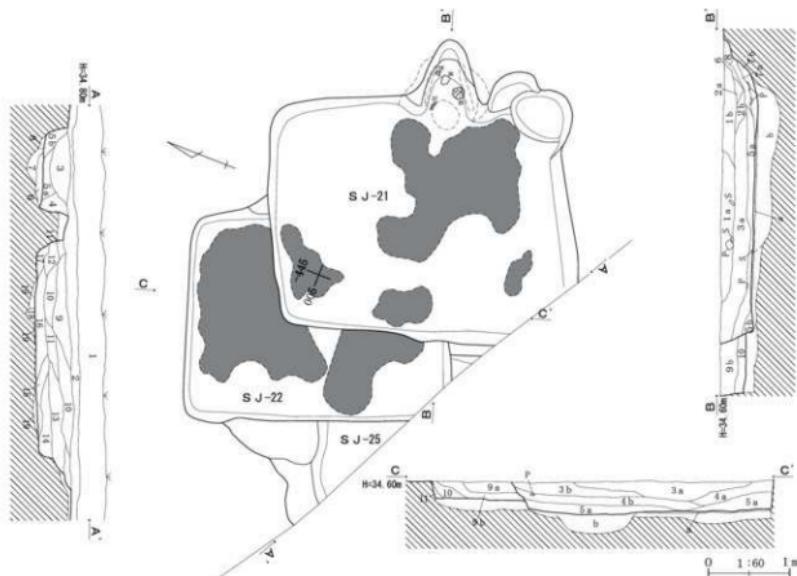
第39表 第19・20号竪穴建物跡出土遺物観察表

床面はやや凹凸があり、確認面からの深さは40cmである。カマド前面を中心に、特に硬く締まっていた。壁は斜めに立ち上がる。壁溝、ピットは確認されなかった。カマドは東壁や南寄りに構築される。袖は石と粘土で構築される。燃焼部は幅50cmを測り、煙道先端

に向かって斜めに立ち上がる。煙道残存部は、壁より60cm張り出す。

掘方は、床面からの深さ20～30cmの床下土坑が多数掘り込まれる。

図示できた遺物は、第91図1～第92図37である。



1層 細黑褐色土 ローム粒子、小礫を多く、鐵土をやや含む。a・bの2層に細分可。
2層 黒褐色土 ローム、鐵土を少許含む。a・bの2層に細分可。
3層 細黑褐色土 ロームを多く、小礫、鐵土をやや多く含む。a・bの2層に細分可。
4層 黒褐色土 ロームを多く含む。a・bの2層に細分可。
5層 黑褐色土 ロームに鉄土が、ロームをやや多く含む。a・bの2層に細分可。
6層 黑褐色土 鉄土をやや多く含む。
7層 細黑褐色土 鐵土・灰化鐵土を多く含む。a・bの2層に細分可。
8層 黑褐色土 ローム・灰化鐵土を多く含む。a・bの2層に細分可。
9層 黑褐色土 ロームの粒子を多く含む。a・bの2層に細分可。
10層 細黑褐色土 ロームを少許含む。a・bの2層に細分可。
11層 黑褐色土 ロームを多く含む。

a層 細黃褐色土 ロームを主体とする。鈎状土。

b層 細黑褐色土 ローム・褐色鐵土・小礫・鐵土を含む。

1層 黑褐色土 a5-a7層を含む。耕作上層。
2層 黑褐色土 a5-a7層・鐵土・ロームを含む。耕作に關係する層。しまり強い。
3層 細黑褐色土 ローム粒子・鐵土を含む。S221。
4層 黑褐色土 ロームを多く含む。S222。
5層 細黑褐色土 ローム粒子を多く含む。鐵土を含む。a・bの2層に細分可。S223。
6層 黑褐色土 a・b・c層を多く含む。鐵土を含む。S224。
7層 細黑褐色土 鐵土・ロームを含む。S225。
8層 黑褐色土 ローム・鐵土を多く含む。S226。
9層 黑褐色土 a・b・c層を少許含む。S227。
10層 黑褐色土 ロームをやや含む。
11層 細黑褐色土 ロームを多く含む。
12層 黑褐色土 ロームを多く含む。
13層 黑褐色土 ロームを主としてやや含む。
14層 黑褐色土 ロームをわずかに含む。
15層 黑褐色土 ロームを多く含む。
16層 黑褐色土 ロームをわずかに含む。
17層 細黑褐色土 ロームをわずかに含む。
18層 黑褐色土 ローム・鐵土を含む。
19層 黑褐色土 ロームを主層とする。

第87図 第21・22・25号竪穴建物跡(1)

1・2は土師器壺、3~11は須恵器で、5は壺、3・4・6~11は高台壺、12・13は灰釉陶器高台壺である。14~23は口クロ土師器で、14・15は壺、16~23は高台壺である。24・25は須恵器壺、26・27は須恵器壺、28~31・33・34は土師器壺、32は土師器台付壺、35は土錘、36・37は編物石である。他に、第94図1~19が第21・22号竪穴建物跡出土遺物として取り上げられている。

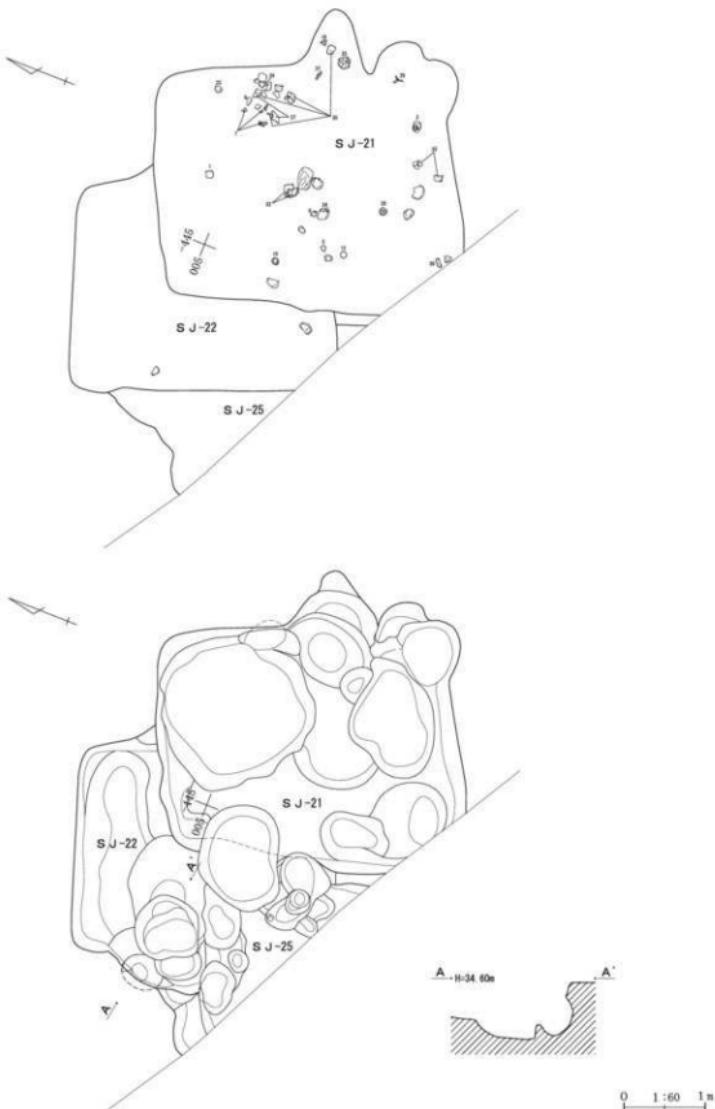
遺構の時期は、9世紀後半と推定される。

第22号竪穴建物跡(第87・88・93・94図、第42・43表)

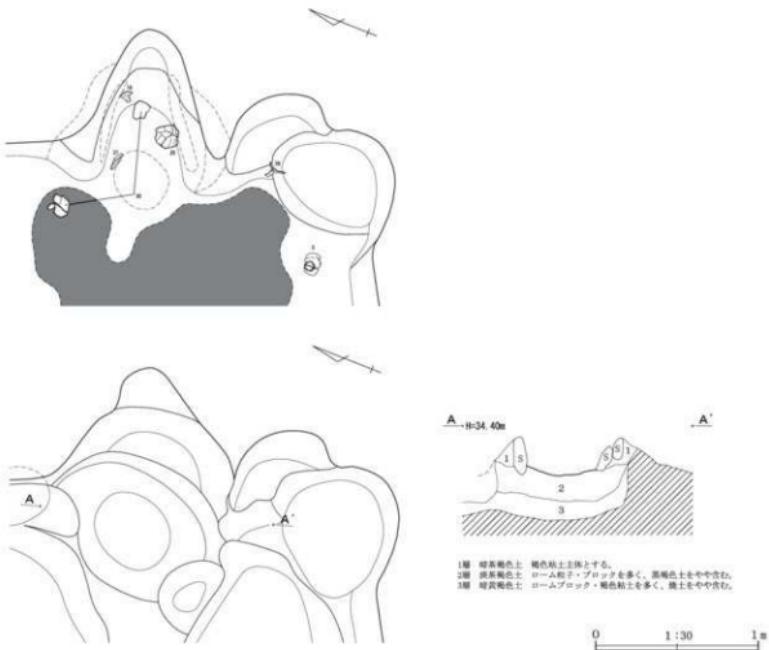
調査区中央部に位置し、第25号竪穴建物跡を切り、第21号竪穴建物跡に切られる。平面形態は方形で、長軸3.3m、短軸2.6mを測る。主軸方位はN-67°-Eである。

床面はほぼ平坦で、確認面からの深さは20cmを測る。全体的に硬く締まる。壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁溝、ピットは確認されなかった。

掘方では、床面からの深さ20~30cmの床下土坑が多



第88図 第21・22・25号竪穴建物跡 (2)



第89図 第21号竪穴建物跡カマド

数据り込まれる。

図示できた遺物は、第93図1～6である。1～4は須恵器高台壺、5・6はロクロ土師器壺である。他に第94図1～19が第21・22号竪穴建物跡出土遺物として取り上げられている。

造構の時期は、9世紀後半と推定される。

第23号竪穴建物跡（第90・95図、第44表）

調査区中央部に位置し、第35号土坑に切られる。平面形態は方形と思われ、主軸方位はN-71°-Eである。床面はやや凹凸があり、確認面からの深さは50cmである。北隅床面上に、焼土が堆積していた。壁はほぼ垂直に立ち上がり、上部が広がる。カマドは東壁に構築される。袖は粘土により造られる。

掘方は、床面から30cmの深さの床下土坑が確認された。

図示できた遺物は、第95図1～4である。1・2は土師器壺、3は鉄釘、4は刀子である。

造構の時期は、9世紀前半と推定される。

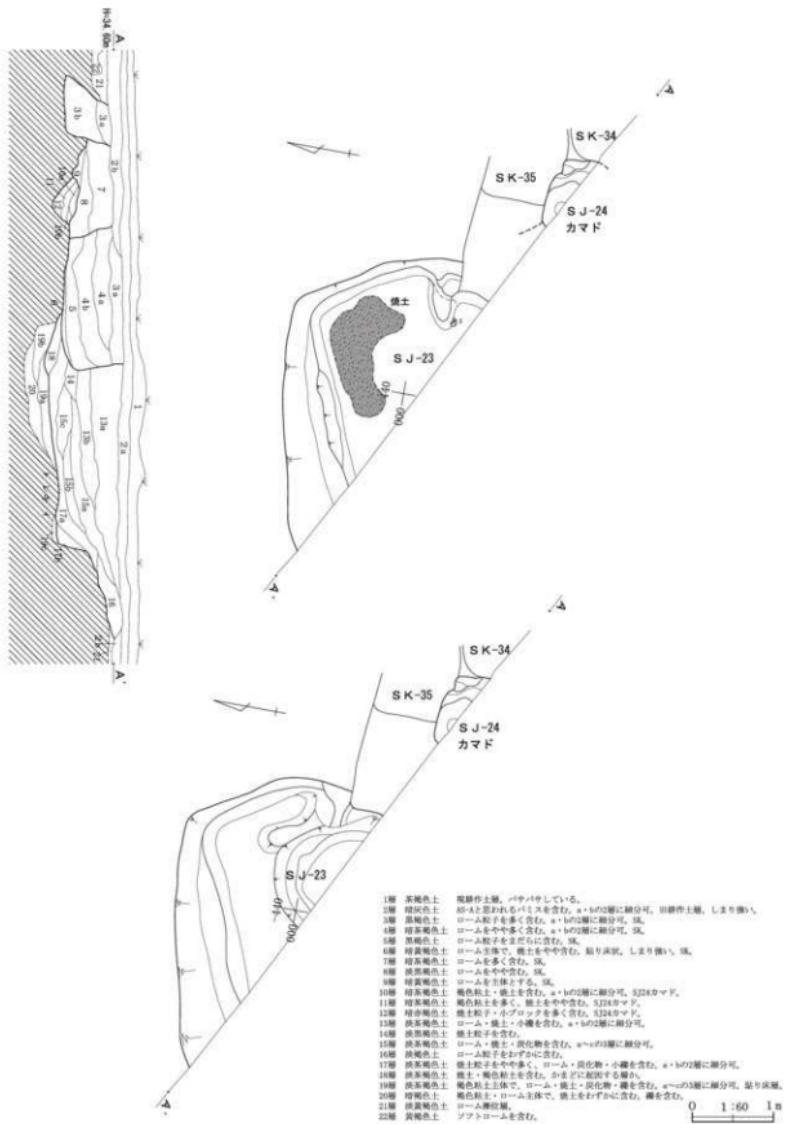
第24号竪穴建物跡（第90図）

調査区中央部に位置する。カマド先端部のみ確認された。

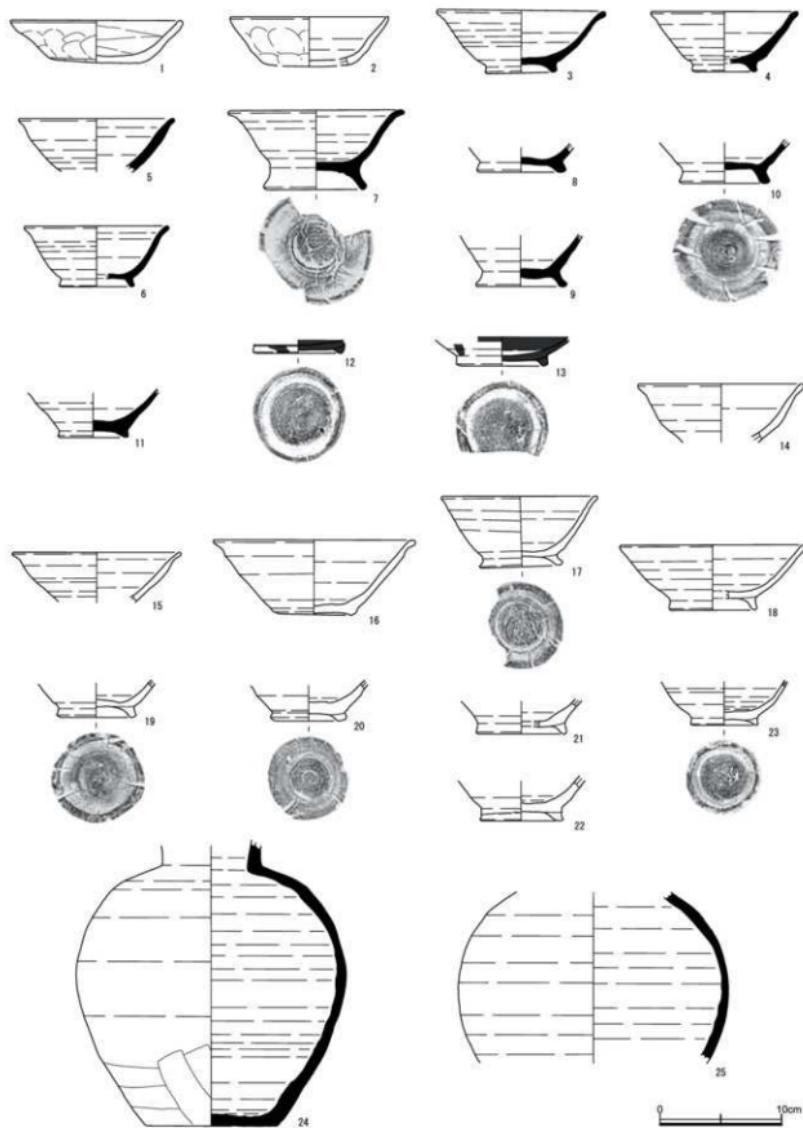
図示できる遺物は出土しなかった。

第25号竪穴建物跡（第87・88図）

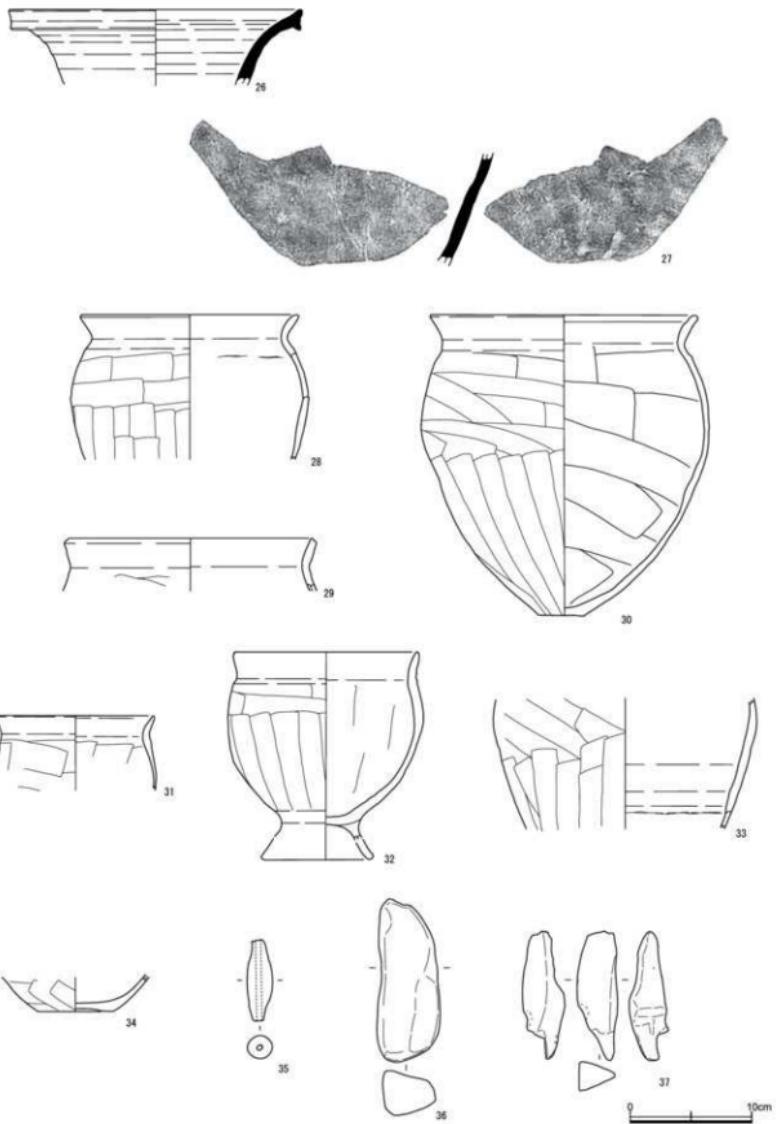
調査区中央部に位置し、第22号竪穴建物跡に切られる。主軸方位はN-67°-Eである。



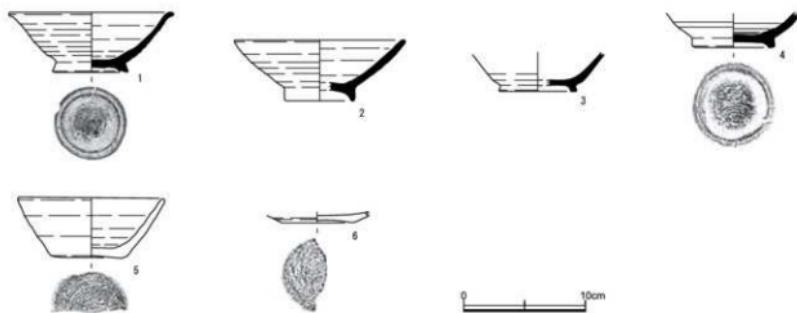
第90図 第23・24号竪穴建物跡



第91図 第21号竪穴建物跡出土遺物（1）



第92図 第21号竪穴建物跡出土遺物（2）



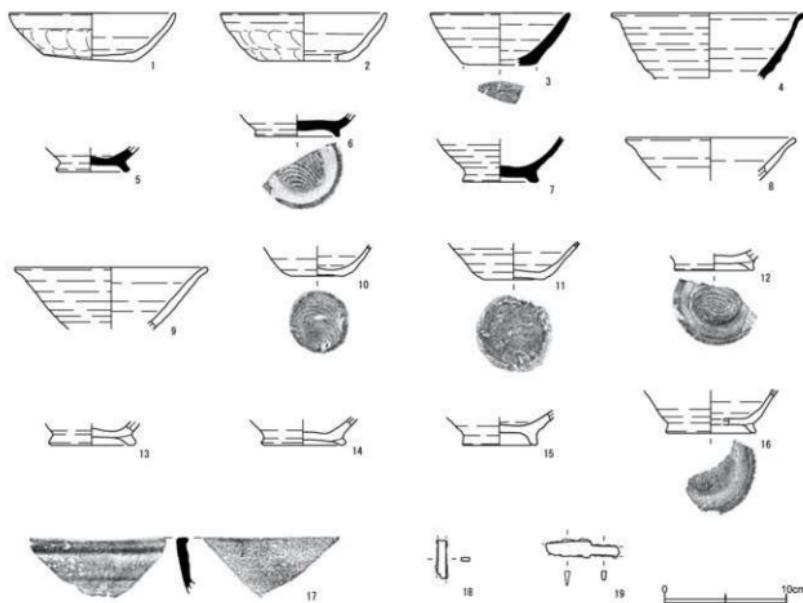
第93図 第22号竪穴建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|-----|--------|-------|-------|-----------|----|------|-----|----|
| 1 | H | 环 | (13.9) | 3.5 | 7.6 | A B C E | 良 | 橙 | 60% | |
| 2 | H | 环 | (12.8) | (4.1) | | A B C E H | 普 | にぶい橙 | 15% | |
| 3 | S | 高台环 | 13.6 | 5.1 | 5.6 | A C F H I | 不良 | 灰褐 | 90% | |
| 4 | S | 高台环 | (11.9) | 4.9 | (4.9) | A C F H I | 不良 | 灰褐 | 20% | |
| 5 | S | 环 | (12.6) | | | A C E H | 不良 | 灰 | 15% | |
| 6 | S | 高台环 | (11.6) | 5.0 | (5.8) | A C | 普 | 灰 | 20% | |
| 7 | S | 高台环 | (14.1) | 6.5 | 7.9 | A B C H | 不良 | 灰褐 | 60% | |
| 8 | S | 高台环 | | | 6.8 | A C E I | 不良 | 灰褐 | 20% | |
| 9 | S | 高台环 | | | 7.2 | A C E | 不良 | 灰 | 20% | |
| 10 | S | 高台环 | | | 7.0 | A C E | 不良 | 灰褐 | 25% | |
| 11 | S | 高台环 | | | 5.5 | A C E H | 不良 | 灰 | 25% | |
| 12 | K | 高台椀 | | | 6.7 | A C | 良 | 灰 | 25% | |
| 13 | K | 高台椀 | | | 6.7 | A C | 良 | 灰 | 30% | |
| 14 | R | 环 | (13.4) | | | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 15 | R | 环 | (13.8) | | | A B C E | 不良 | にぶい橙 | 20% | |
| 16 | R | 高台环 | 16.4 | 6.1 | (5.9) | A B C E | 普 | 橙 | 95% | |
| 17 | R | 高台环 | 12.7 | 5.8 | 6.4 | A B C E | 不良 | 橙 | 80% | |
| 18 | R | 高台环 | (15.0) | 5.7 | (6.7) | A B C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 19 | R | 高台环 | | | 5.8 | A B C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 20 | R | 高台环 | | | 5.2 | A B C E I | 良 | 橙 | 40% | |
| 21 | R | 高台环 | | | 7.0 | A B C E | 不良 | にぶい橙 | 25% | |
| 22 | R | 高台环 | | | 6.4 | A B C H I | 普 | 橙 | 40% | |
| 23 | R | 高台环 | | | 5.1 | A C H | 良 | 赤褐 | 40% | |
| 24 | S | 瓶 | | | 10.8 | A C D H | 普 | 灰褐 | 45% | |
| 25 | S | 瓶 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | 20% | |
| 26 | S | 甕 | (24.0) | | | A C F H | 普 | 青灰 | 5% | |
| 27 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | 5% | |
| 28 | H | 甕 | (17.8) | | | A B C E I | 普 | 橙 | 20% | |
| 29 | H | 甕 | (20.1) | | | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 30 | H | 甕 | 21.5 | 24.7 | 3.8 | A B C E | 普 | 橙 | 90% | |
| 31 | H | 甕 | 12.7 | | | A B C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 32 | H | 台付甕 | 15.0 | | | A B C E I | 普 | にぶい橙 | 55% | |

第40表 第21号竪穴建物跡出土遺物観察表(1)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-----|--------|-------|-------|-----------|----|-----|-----|-----------|
| 33 | H | 甕 | | | 6.0 | A B C E I | 普 | 橙 | 15% | |
| 34 | H | 甕 | 長 6.7 | 幅 2.1 | 厚 1.9 | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 35 | | 土鍤 | | | | | | | | 重さ 21.29g |
| 36 | | 編物石 | 長 13.2 | 幅 5.2 | 厚 3.6 | 石材: 紗岩 | | | | 重さ 370g |
| 37 | | 編物石 | 長 10.4 | 幅 3.3 | 厚 2.4 | 石材: 凝灰岩 | | | | 重さ 70g |

第41表 第21号竪穴建物跡出土遺物観察表 (2)



第94図 第21・22号竪穴建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-----|--------|-----|-------|-----------|----|------|-----|-----|
| 1 | S | 高台环 | 13.2 | 4.9 | 6.0 | A B C H | 不良 | 灰 | 80% | |
| 2 | S | 高台环 | (13.8) | 5.0 | (5.4) | A B C E | 不良 | 灰 | 30% | |
| 3 | S | 高台环 | | | (5.9) | A B C H | 不良 | 灰 | 20% | |
| 4 | S | 高台环 | | | 5.8 | A C F H | 普 | 黑褐 | 25% | |
| 5 | R | 环 | 11.8 | 4.9 | 5.8 | A B C E | 不良 | にぶい橙 | 75% | |
| 6 | R | 环 | | | 5.8 | A B C E H | 普 | 橙 | 15% | |

第42表 第22号竪穴建物跡出土遺物観察表



第95図 第23号竪穴建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|-------|--------|-------|-------|-----------|----|------|-----|----------|
| 1 | H | 壺 | 13.5 | 3.8 | 7.2 | A B C E | 普 | 橙 | 75% | |
| 2 | H | 壺 | (13.5) | 3.9 | (7.1) | A C D E I | 普 | 橙 | 25% | |
| 3 | S | 壺 | (11.2) | 4.3 | (6.0) | A C E | 不良 | 灰 | 15% | |
| 4 | S | 壺 | (15.6) | | | A C F H | 不良 | 灰 | 15% | |
| 5 | S | 高台壺 | | | 5.6 | A B C E | 不良 | 灰 | 15% | |
| 6 | S | 高台壺 | | | 6.7 | A C H | 不良 | 灰 | 15% | |
| 7 | S | 高台壺 | | | 5.7 | A B C E I | 不良 | 灰 | 25% | |
| 8 | R | 壺 | (13.6) | | | A B C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 9 | R | 壺 | (15.8) | | | A B C E | 普 | にぶい橙 | 15% | |
| 10 | R | 壺 | | | 4.3 | A C E | 普 | にぶい橙 | 40% | |
| 11 | R | 壺 | | | 4.8 | A B C E H | 普 | 橙 | 40% | |
| 12 | R | 高台壺 | | | 6.2 | A B C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 13 | R | 高台壺 | | | 6.3 | A C E I | 普 | にぶい橙 | 15% | |
| 14 | R | 高台壺 | | | 6.2 | A B C D E | 普 | 橙 | 25% | |
| 15 | R | 高台壺 | | | 5.8 | A B C E | 不良 | 橙 | 25% | |
| 16 | R | 高台壺 | | | (7.2) | A C E | 普 | 橙 | 20% | |
| 17 | S | 羽釜 | | | | A C H | 良 | 青灰 | | |
| 18 | | 棒状鉄製品 | 幅 0.7 | 厚 0.3 | | | | | | 重さ 1.76g |
| 19 | | 刀子 | 幅 1.2 | 厚 0.4 | | | | | | 重さ 8.13g |

第43表 第21・22号竪穴建物跡出土遺物観察表

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|----|--------|-------|-------|---------|----|-----|-----|----------|
| 1 | H | 壺 | 12.0 | 3.2 | | A C E | 普 | 橙 | 50% | |
| 2 | H | 壺 | (11.9) | 3.1 | 8.9 | A C E I | 普 | 橙 | 45% | |
| 3 | | 鉄釘 | | 幅 0.8 | 厚 0.5 | | | | | 重さ 7.56g |
| 4 | | 刀子 | | 幅 1.6 | 厚 0.2 | | | | | 重さ 5.70g |

第44表 第23号竪穴建物跡出土遺物観察表

床面はほぼ平坦で、確認面からの深さは35cmである。壁は急角度で立ち上がる。

図示できる遺物は出土しなかった。

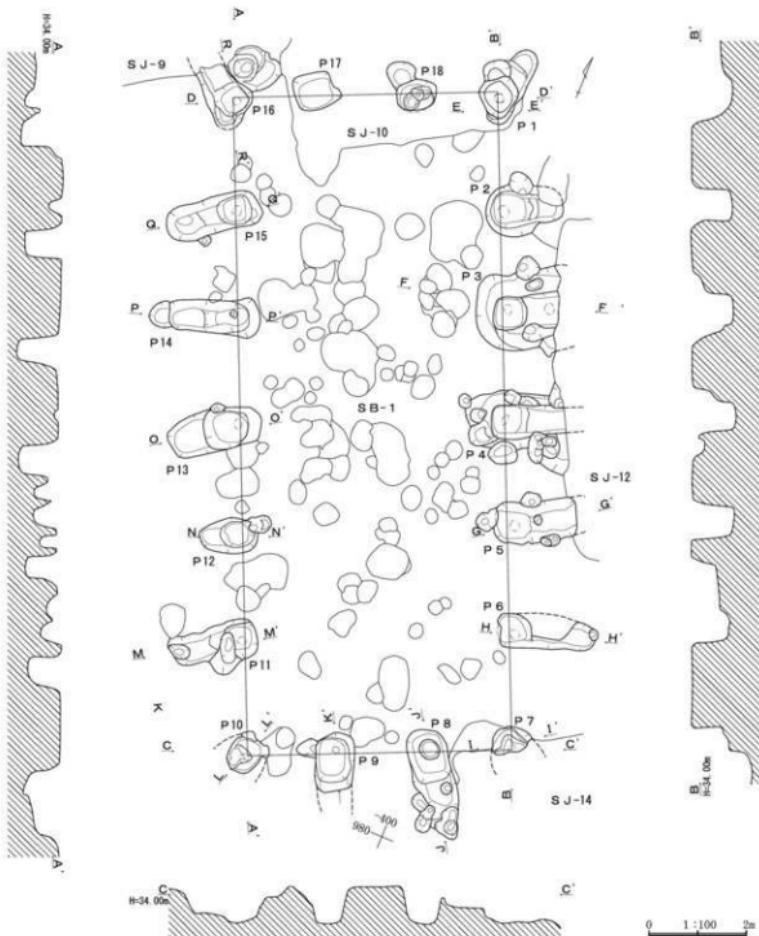
3 掘立柱建物跡

第1号掘立柱建物跡（第96～99・108図、第45表）

調査区東部に位置し、第10号竪穴建物跡を切り、第9・12・14号竪穴建物跡に切られる。側柱式掘立柱建

物跡で、桁行6間（13.5m）×梁行3間（5.4m）、柱間は桁行が2.25m、梁行が1.8mを測る。主軸方位はN-22°-Wである。

柱の掘方は、長軸1.2～1.9m、短軸0.7～0.8mの隅丸長方形を基本とする。P17・18は第10号竪穴建物跡と重複するため、長軸が確認できなかった。柱は掘方の中で、建物の中心寄りに掘えられる。掘方は、建物の中心寄りに向かって斜め、もしくは段をもって掘られる。確認面からの深さは65～95cmを測る。外側



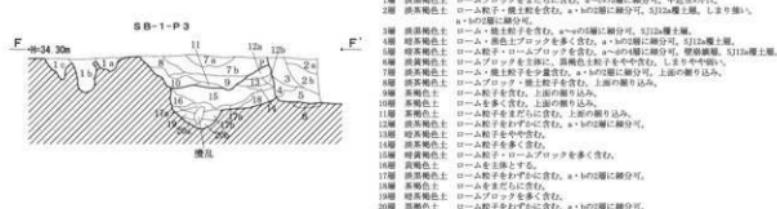
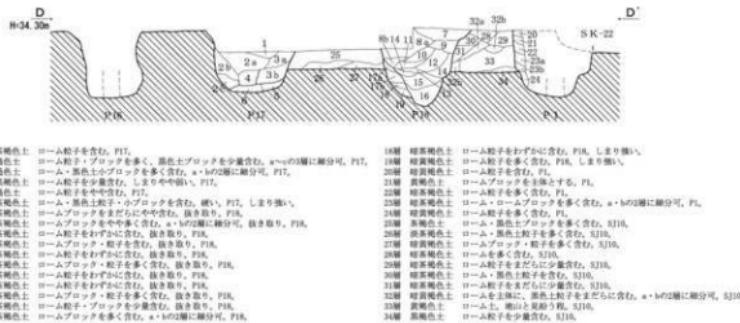
第96図 第1号掘立柱建物跡

から落とし込むように柱が据えられた可能性を考えられる。柱は柱痕跡を残し、柱の直径は20～30cmと推定される。

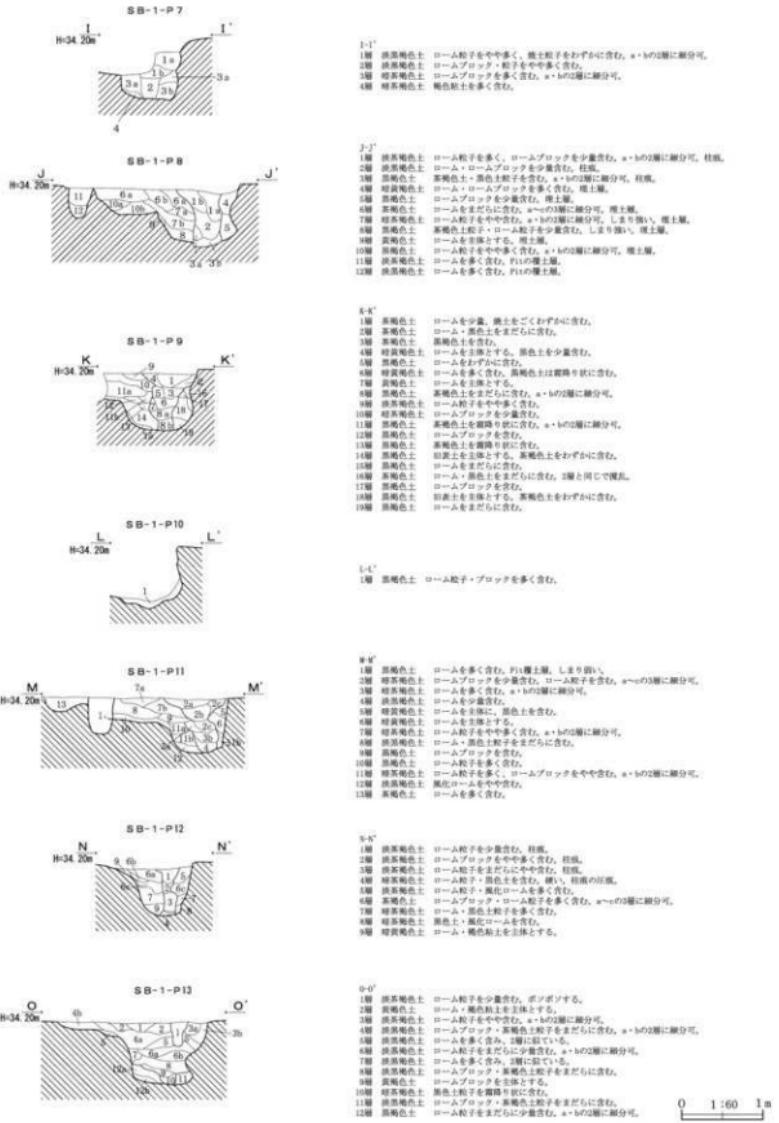
図示できた遺物は、第108図1～9である。1～3・7は土師器で、1は模倣壺、2・3は暗文壺、7は甕

である。4～6は須恵器で、4は蓋、5・6は甕、8は羽口、9は砥石である。6・7はP7、1・3・8はP4、2はP5、5はP8、4・9はP15から出土した。

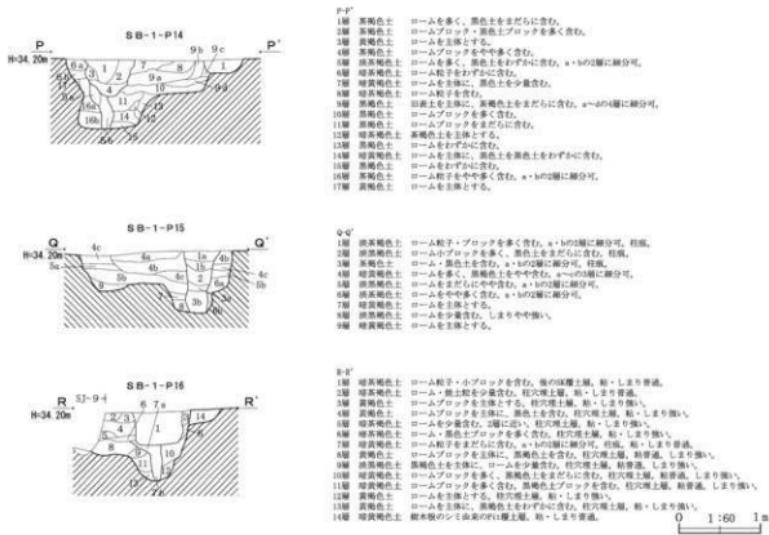
遺構の時期は、7世紀後半と推定される。



第97図 第1号掘立柱建物跡土層断面(1)



第98図 第1号掘立柱建物跡土層断面 (2)



第99図 第1号掘立柱建物跡断面 (3)

第2号掘立柱建物跡 (第100・101・109図、第46表)

調査区東部に位置し、第12号竪穴建物跡を切り、第26号土坑に切られる。側柱式掘立柱建物跡で、桁行3間 (5.4m) × 梁行2間 (3.9m) と推定される。柱間は桁行が1.8m、梁行が1.95mを測る。主軸方位はN-28°-Wである。

柱の掘方は、一辺45～95cmの隅丸方形を基本とする。確認面からの深さは60～80cmを測る。柱は一部で柱痕跡を残し、柱の直径は10～20cmと推定される。

図示できた遺物は、第109図1～5である。1は土師器壺、2～4は須恵器壺、5は須恵器甕である。2は外端と底部内面にそれぞれ「×」の墨書きがある。1・4・5はP1、3はP4、2はP6から出土した。

造構の時期は、8世紀後半～9世紀前半と推定される。

第3号掘立柱建物跡 (第102・110図、第47表)

調査区東部に位置する。側柱式掘立柱建物跡で、桁

行3間 (6.75m) 以上×梁行2間 (5.0m)、柱間は桁行が2.25m、梁行が2.5mを測る。主軸方位はN-60°-Eである。

柱の掘方は、直徑40～90cmの不整円形を基本とする。確認面からの深さは30～50cmを測る。柱は一部で柱痕跡を残し、柱の直徑は15～20cmと推定される。

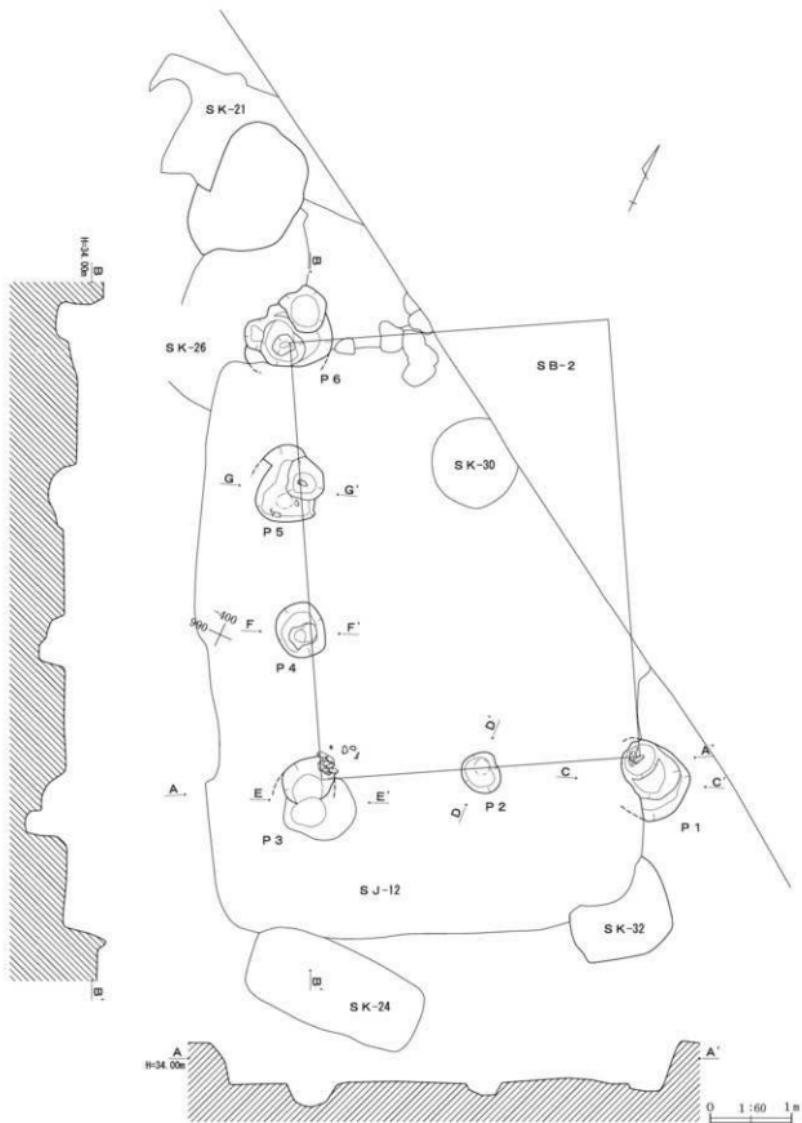
図示できた遺物は、第110図1～5である。1は土師器暗文壺、2～4は須恵器壺、5は須恵器甕である。2は外端と底部内面にそれぞれ「×」の墨書きがある。1・4・5はP1、3はP4、2はP6から出土した。

造構の時期は、8世紀後半～9世紀前半と推定される。

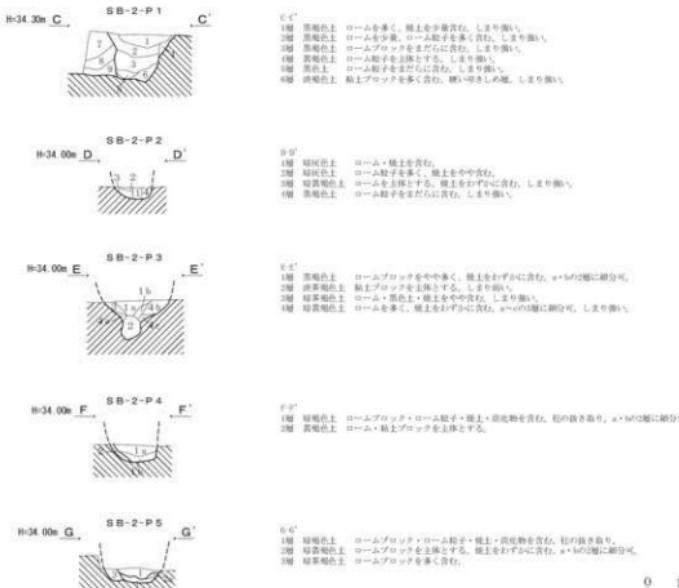
第4号掘立柱建物跡 (第103・104図)

調査区東部に位置する。側柱式掘立柱建物跡で、桁行2間 (4.8m) × 梁行2間 (4.5m)、柱間は桁行が2.4m、梁行が2.25mを測る。主軸方位はN-67°-Eである。

柱の掘方は、長径110cm前後、短径60cm前後の楕円形を基本とする。確認面からの深さは40～60cm



第100図 第2号掘立柱建物跡



第101図 第2号掘立柱建物跡層断面

0 1:60 1m

を測る。柱は一部で柱痕跡を残し、柱の直径は15～20cmと推定される。

図示できる遺物は出土しなかった。

第5号掘立柱建物跡（第105・106・111図、第48表）

調査区東部に位置し、第10・12号竪穴建物跡、第1号掘立柱建物跡を切る。側柱式掘立柱建物跡で、桁行3間（6.0m）×梁行2間（4.0m）、柱間は桁行、梁行共2.0mを測る。主軸方位はN-35°-Wである。

柱の掘方は、一辺60～80cm程度の隅丸方形を基本とする。確認面からの深さは50～60cmを測る。柱は一部で柱痕跡を残し、柱の直径は20cm程度と推定される。

図示できた遺物は、第111図1～3である。全て須恵器で、1は蓋、2は壺、3は甕である。2はP3.1・3はP6から出土した。

造構の時期は、8世紀後半～9世紀前半と推定される。

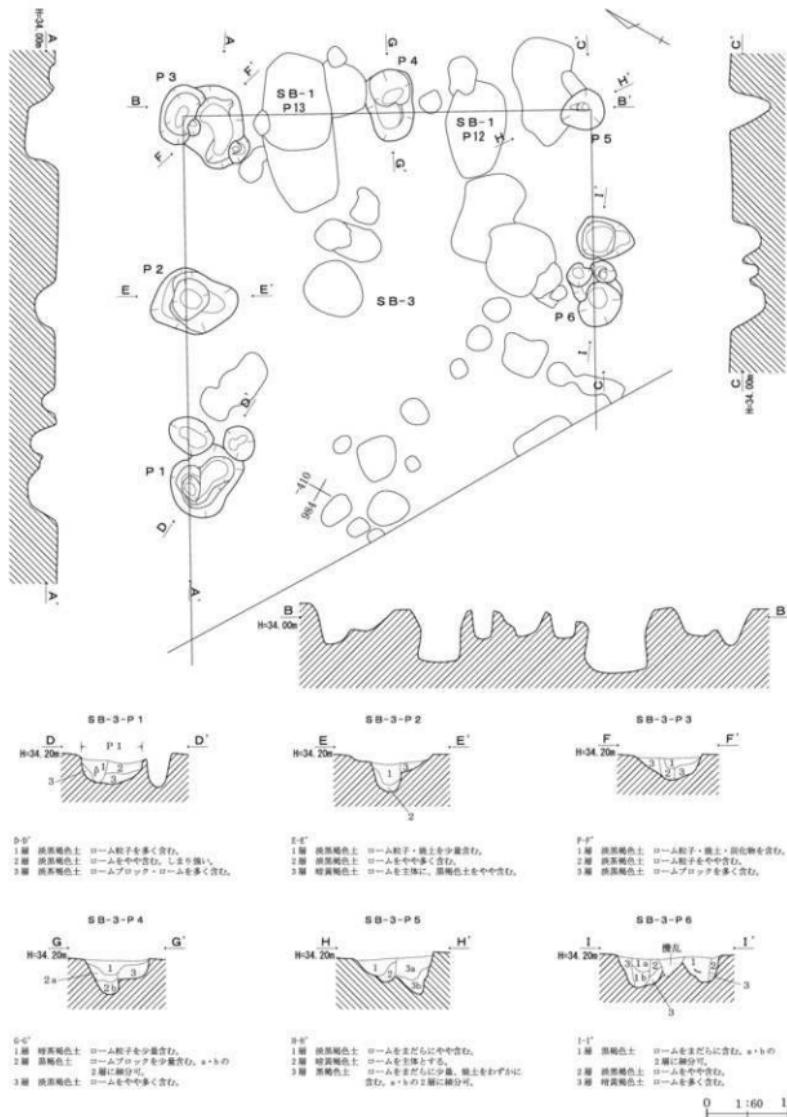
第6号掘立柱建物跡（第107・112図、第49表）

調査区東部に位置し、第1号掘立柱建物跡と重複する。側柱式掘立柱建物跡で、桁行2間（6.0m）×梁行2間（3.35m）、柱間は桁行が北から3.15m-2.85m、梁行が西から1.8m-1.55mを測る。主軸方位はN-30°-Wである。

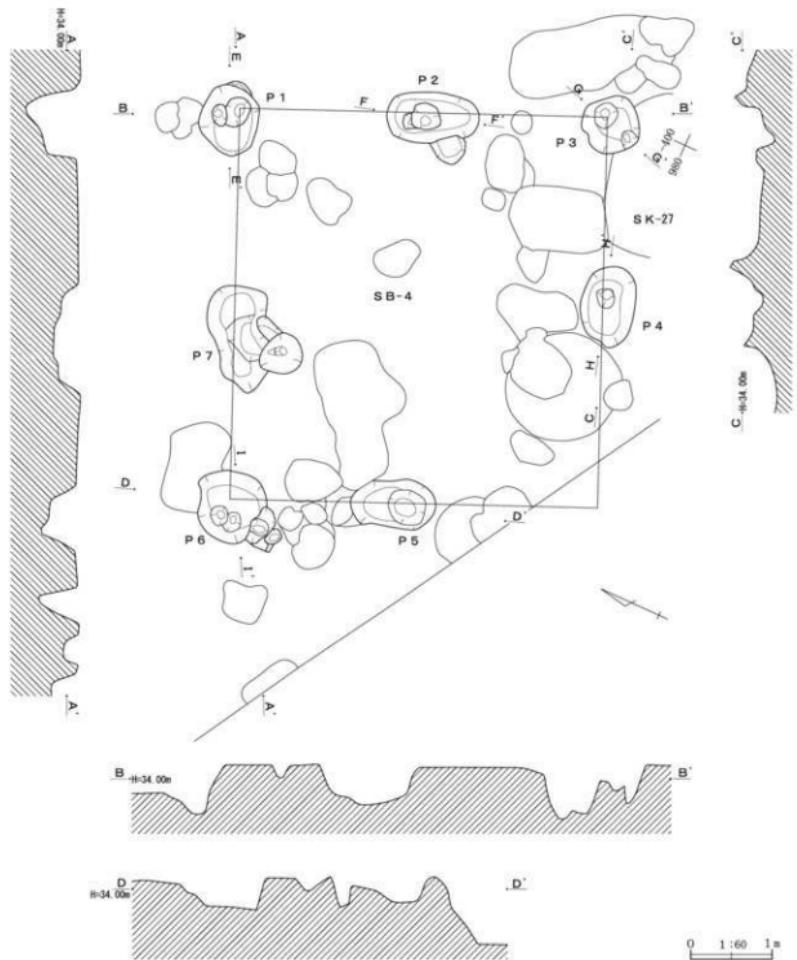
柱の掘方は、直径40～50cmの円形を基本とする。確認面からの深さは25～50cmを測る。

図示できた遺物は、第112図1～5である。1は土師器暗文壺、2～5は須恵器で、2は瓶、3～5は甕である。4・5はP1.2・3はP3.1はP4から出土した。

造構の時期は、8世紀と推定される。



第102図 第3号掘立柱建物跡



第103図 第4号掘立柱建物跡

4 土坑

第1号土坑（第113図）

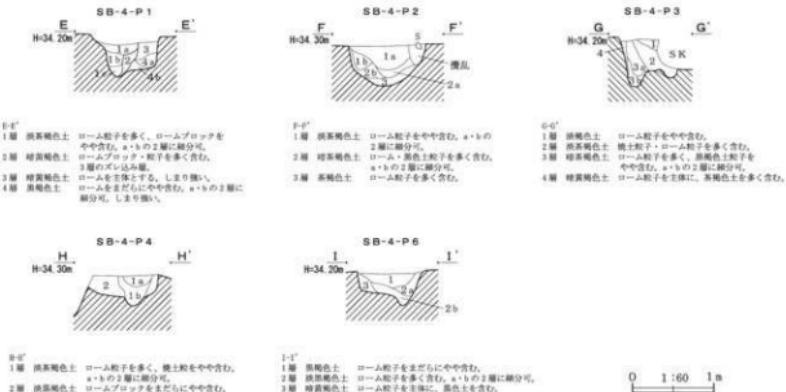
調査区中央部に位置する。平面形態は円形で、直径1.85mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上

がる。確認面からの深さは50cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

第2号土坑（第113・126図、第50表）

調査区中央部に位置する。平面形態は長方形で、長



第104図 第4号掘立柱建物跡層断面

軸2.85m、短軸1.6mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは45cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できた遺物は、第126図1～4である。1は内面が磨かれたロクロ土器高台椀、2は鉄製紡錘車、3・4は棒状鉄製品で、2と同一個体の可能性がある。

第3号土坑（第113図）

調査区中央部に位置する。平面形態は長方形で、長軸2.5m、短軸1.7mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは35cmを測る。主軸方位は真北を向く。

図示できる遺物は出土しなかった。

第4号土坑（第113図）

調査区中央部に位置し、第4号竪穴建物跡を切り、第3号溝に切られる。平面形態は長方形で、長軸4.65m、短軸1.35mを測る。底面はやや凸凹があり、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは55cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できる遺物は出土しなかった。

第5号土坑（第114・126図、第50表）

調査区中央部に位置する。平面形態は長方形で、長軸4.65m、短軸1.35mを測る。底面は凹凸があり、壁は急角度で立ち上がる。確認面からの深さは70cmを測る。主軸方位は真北を向く。

図示できた遺物は、第126図5の須恵器甕である。

第6号土坑（第114・126図、第50表）

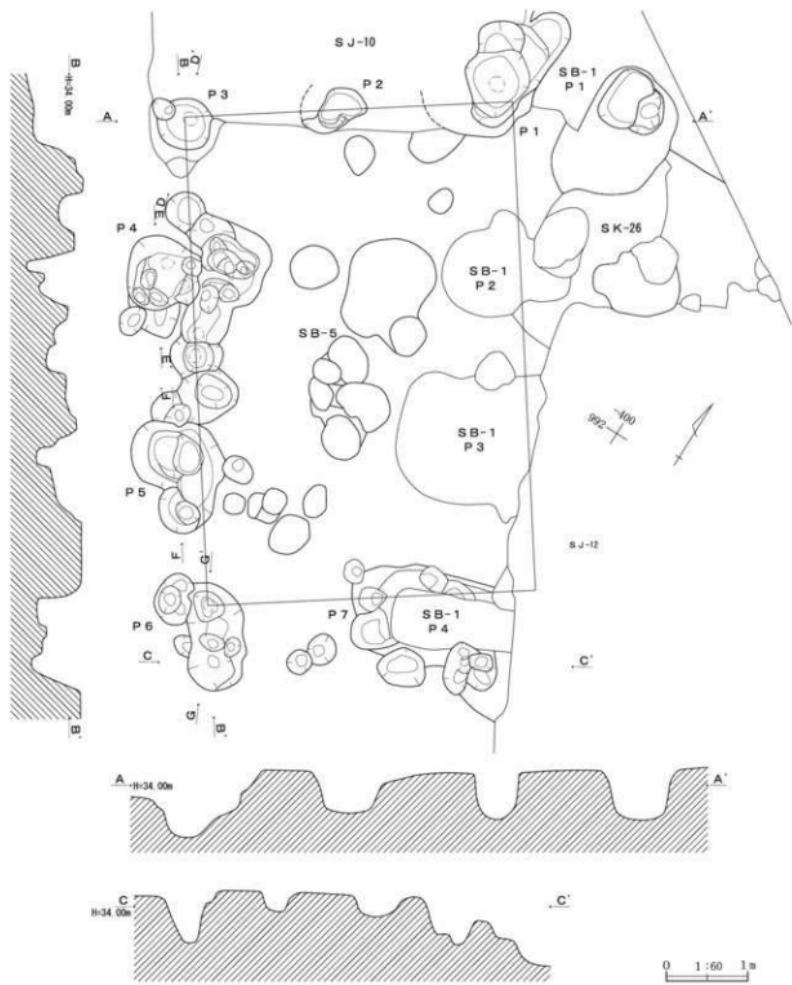
調査区中央部に位置し、第3号溝に切られる。平面形態は楕円形で、長径1.45m、短径1.2mを測る。底面は中央が深く、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは55cmを測る。主軸方位はN-70°-Eである。

図示できた遺物は、第126図6の灰釉陶器高台皿である。

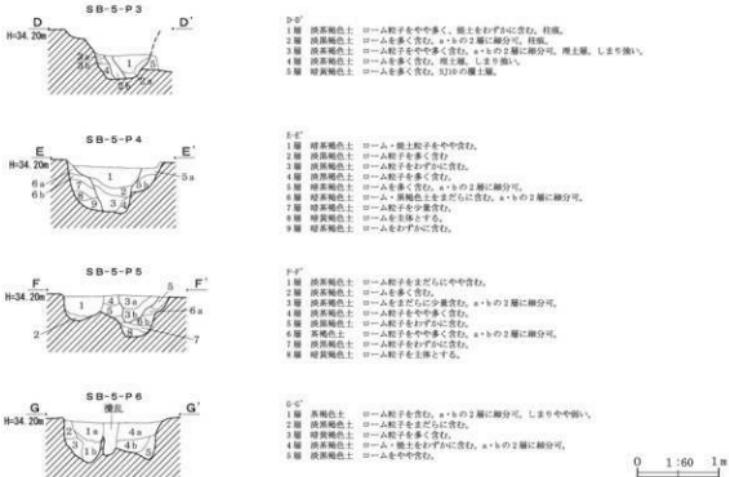
第7号土坑（第115図）

調査区中央部に位置し、第8号土坑を切る。平面形態は長方形で、長軸2.7m、短軸0.9mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できる遺物は出土しなかった。



第105図 第5号掘立柱建物跡



第106図 第5号掘立柱建物跡層断面

第8号土坑（第115図）

調査区中央部に位置し、第7号土坑に切られる。平面形態は長方形で、長軸3.45m、短軸0.7mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは40cmを測る。主軸方位は真北を向く。

図示できる遺物は出土しなかった。

第9号土坑（第115・120図、第50表）

調査区中央部に位置し、第6号竪穴建物跡を切る。平面形態は長方形で、長軸1.85m、短軸1mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは25cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できた遺物は、第126図7の常滑焼の甕である。

第10号土坑（第116図）

調査区中央部に位置する。平面形態は長方形で、長軸2.9m、短軸1.2mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは15cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できる遺物は出土しなかった。

第11号土坑（第116・126図、第50表）

調査区中央部に位置し、第7・8号竪穴建物跡を切る。平面形態は長方形で、長軸4.2m、短軸0.9mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは50cmを測る。主軸方位は東西方向である。

第12号土坑と区分できなかったが、図示できた遺物は、第126図8の灰釉陶器高台壺である。

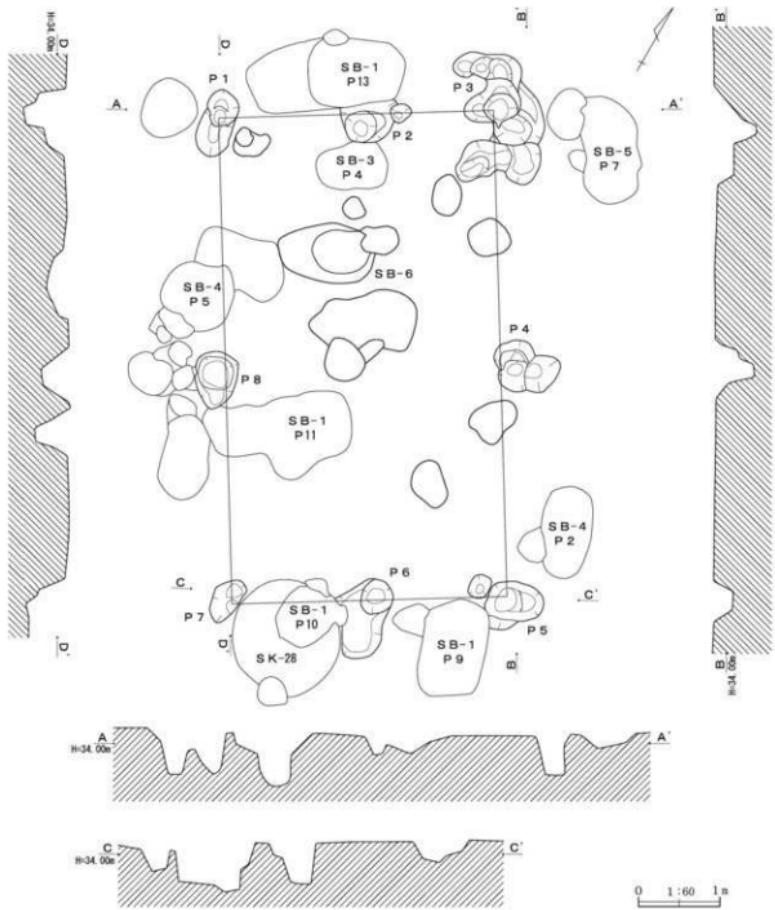
第12号土坑（第116・126図、第50表）

調査区東部に位置し、第7・8号竪穴建物跡を切る。平面形態は長方形で、長軸4.4m、短軸1.1mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは45cmを測る。主軸方位は東西方向である。

第12号土坑と区分できなかったが、図示できた遺物は、第126図8の灰釉陶器高台壺である。

第13号土坑（第113図）

調査区東部に位置し、第9号竪穴建物跡を切る。平面形態は円形で、直径1.1mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は急角度で立ち上がる。確認面からの深さは20cm



第107図 第6号掘立柱建物跡

を測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

第14号土坑（第117図）

調査区東部に位置し、第1・5・16号土坑を切り、第1号溝と重複する。平面形態は円形で、直径1.1m

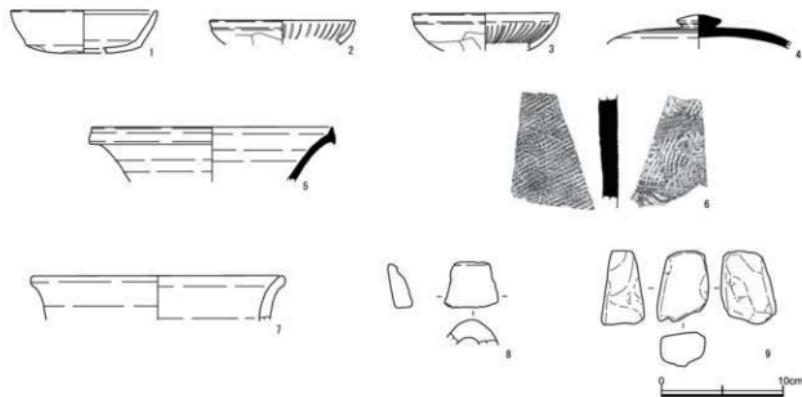
を測る。底面はほぼ平坦で、壁は斜めに立ち上がる。

確認面からの深さは10cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

第15号土坑（第117図）

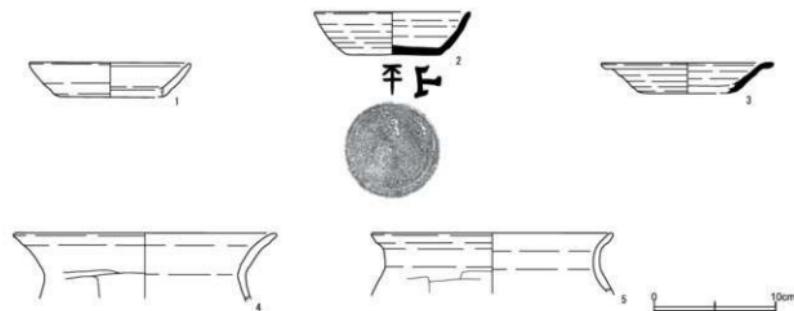
調査区東部に位置し、第14号土坑、第1号溝に切ら



第108図 第1号掘立柱建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎 土 | 焼成 | 色 調 | 残存 | 備 考 |
|----|----|----|--------|-------|----|---------|----|-----|-----|---------|
| 1 | H | 坏 | (12.0) | (3.5) | | A B C E | 良 | 橙 | 25% | |
| 2 | H | 坏 | (11.8) | | | A B C E | 良 | 橙 | 10% | |
| 3 | H | 坏 | (11.9) | | | A C E | 良 | 橙 | 15% | |
| 4 | S | 蓋 | | | | A C F H | 普 | 灰 | 15% | |
| 5 | S | 甕 | (19.8) | | | A C | 良 | 青灰 | | 内外面に自然釉 |
| 6 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |
| 7 | H | 甕 | (20.4) | | | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |
| 8 | | | | | | | | | | 重さ 85g |
| 9 | | | | | | | | | | |

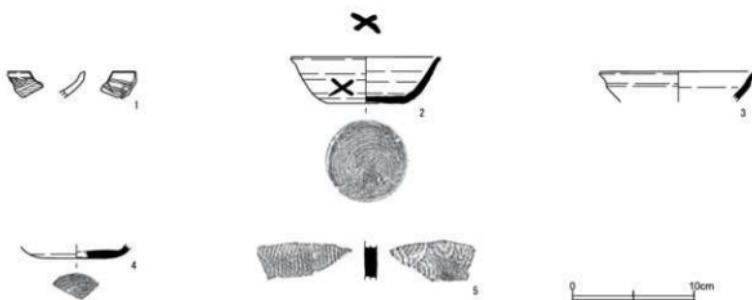
第45表 第1号掘立柱建物跡出土遺物観察表



第109図 第2号掘立柱建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-------|-------|-----------|----|----|-----|----|
| 1 | H | 壺 | (13.2) | (2.9) | | A B C E | 普 | 橙 | 15% | |
| 2 | S | 壺 | 12.8 | 3.5 | 7.6 | A C G H | 良 | 灰 | 60% | |
| 3 | S | 壺 | (14.0) | (2.5) | (7.8) | A C F H | 良 | 青灰 | 10% | |
| 4 | H | 甕 | (21.3) | | | A B C E H | 普 | 橙 | 5% | |
| 5 | H | 甕 | (19.6) | | | A B C E | 普 | 橙 | 5% | |

第46表 第2号掘立柱建物跡出土遺物観察表



第110図 第3号掘立柱建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-----|-------|---------|----|----|-----|------------|
| 1 | H | 壺 | | | | A B C E | 良 | 橙 | 5% | |
| 2 | S | 壺 | (12.2) | 3.8 | 6.3 | A C G H | 普 | 灰 | 50% | 外外面に「X」の墨書 |
| 3 | S | 壺 | (12.8) | | | A C H | 普 | 灰 | 10% | |
| 4 | S | 壺 | | | (5.9) | A C G H | 普 | 灰 | 10% | |
| 5 | S | 甕 | | | | A C F H | 普 | 灰 | | |

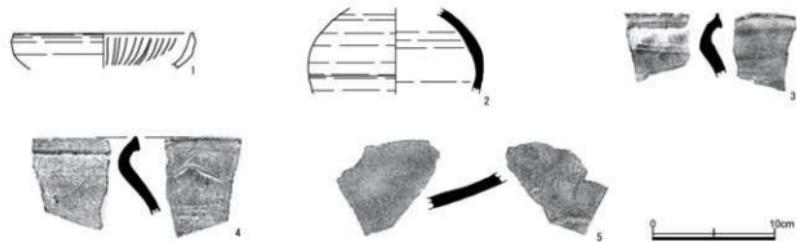
第47表 第3号掘立柱建物跡出土遺物観察表



第111図 第5号掘立柱建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|-----|-------|-------------|----|----|-----|----|
| 1 | S | 蓋 | (15.4) | | | A B C F H I | 不良 | 灰 | 10% | |
| 2 | S | 壺 | (11.6) | 3.6 | (6.3) | A C F H | 不良 | 灰 | 25% | |
| 3 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |

第48表 第5号掘立柱建物跡出土遺物観察表



第112図 第6号掘立柱建物跡出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|----|----|--------|----|----|---------|----|----|-----|----|
| 1 | H | 壺 | (14.8) | | | A C I | 普 | 橙 | 15% | |
| 2 | S | 瓶 | | | | A C H | 普 | 灰 | 5% | |
| 3 | S | 甕 | | | | A C F H | 普 | 灰 | | |
| 4 | S | 甕 | | | | A C F H | 良 | 青灰 | | |
| 5 | S | 甕 | | | | A C F H | 普 | 灰 | | |

第49表 第6号掘立柱建物跡出土遺物観察表

れる。平面形態は円形で、直径1.2mを測る。底面はほぼ平坦で、壁はオーバーハングする。確認面からの深さは50cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

第16号土坑（第117図）

調査区東部に位置し、第14号土坑に切られる。平面形態は円形で、直径1.5mを測る。底面は皿状で、壁はオーバーハングする。確認面からの深さは50cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

第17号土坑（第117図）

調査区中央部に位置し、第2号溝と重複する。平面形態は円形で、直径1mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

第18号土坑（第118図）

調査区東部に位置し、第19号土坑を切る。平面形態は楕円形で、長径1.4m、短径1mを測る。底面は皿状で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは15cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できる遺物は出土しなかった。

第19号土坑（第118図）

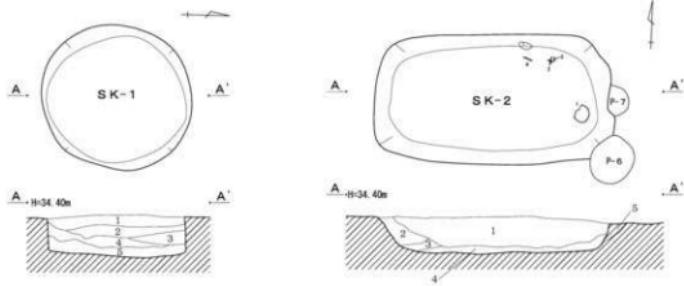
調査区東部に位置し、第18号土坑に切られる。平面形態は楕円形で、長径1.9m、短径1.15mを測る。底面は皿状で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。主軸方位は真北を向く。

図示できる遺物は出土しなかった。

第20号土坑（第118図）

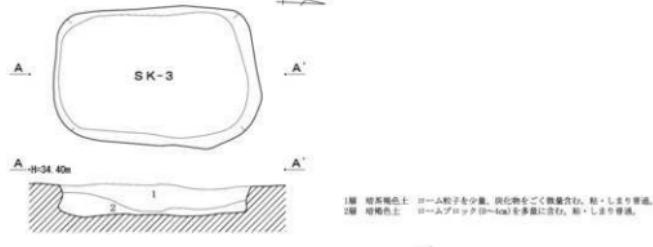
調査区東部に位置する。平面形態は楕円形で、長径1.1m、短径0.6mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは10cmを測る。主軸方位はN-9°-Eである。

図示できる遺物は出土しなかった。

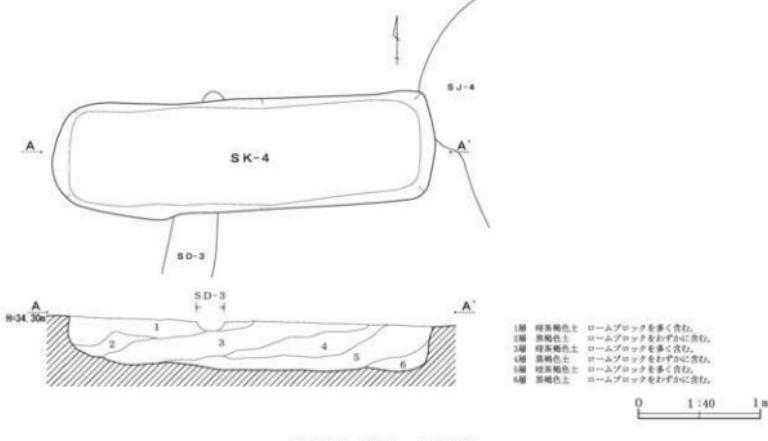


1層 明褐色土 ローム粒子を少量含む。粘・しまり普通。
2層 明褐色土 ローム粒子を少量含む。ロームブロックを含む。粘・しまり普通。
3層 明褐色土 ローム粒子を少量含む。粘・しまり普通。
4層 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロックを多量に含む。粘・しまり普通。
5層 黄褐色土 ローム粒子・ロームブロックを多量に含む。粘・しまり普通。

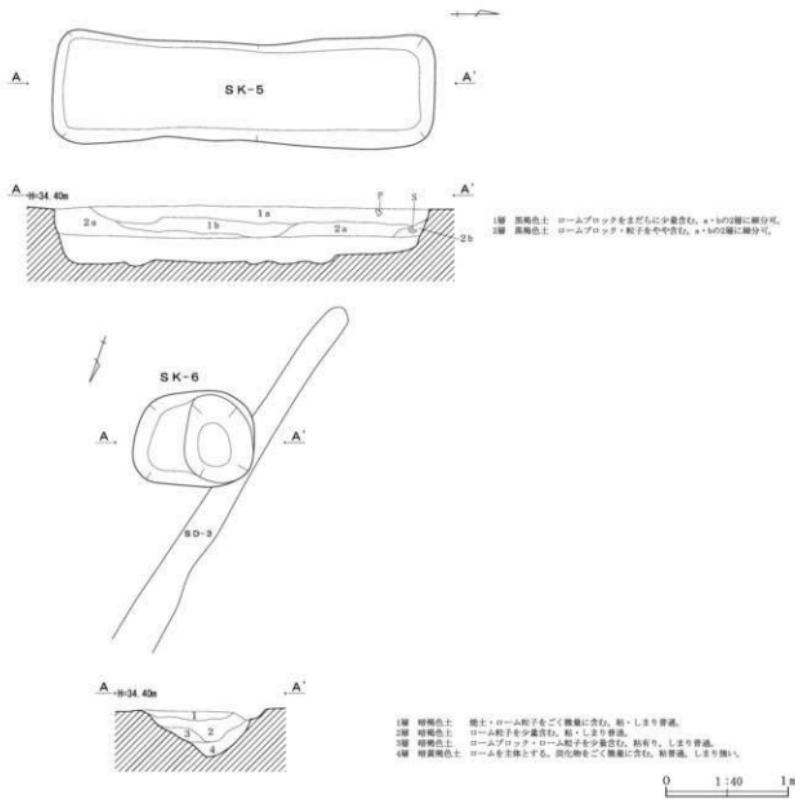
1層 明褐色土 粘土・炭化物・ローム粒子を少量含む。粘・しまり普通。
2層 明褐色土 ローム粒子を少量。炭化物をごく微量含む。粘・しまり普通。
3層 明褐色土 粘土・炭化物・ローム粒子を微量含む。粘・しまり普通。
4層 明褐色土 ロームブロックを多量含む。粘土・炭化物をごく微量含む。粘・しまり普通。
5層 明褐色土 ロームブロックを少量に含む。粘・しまり普通。



1層 墓系褐色土 ローム粒子を少量。炭化物をごく微量含む。粘・しまり普通。
2層 明褐色土 ロームブロック (0~1cm) を多量に含む。粘・しまり普通。



第113図 第1～4号土坑



第114図 第5・6号土坑

第21号土坑（第119・126図、第50表）

調査区東部に位置し、第10号竪穴建物跡を切り、第22号土坑と重複する。平面形態は長方形で、短軸約0.9mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは30cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できた遺物は、第126図9のロクロ土師器高台壺である。

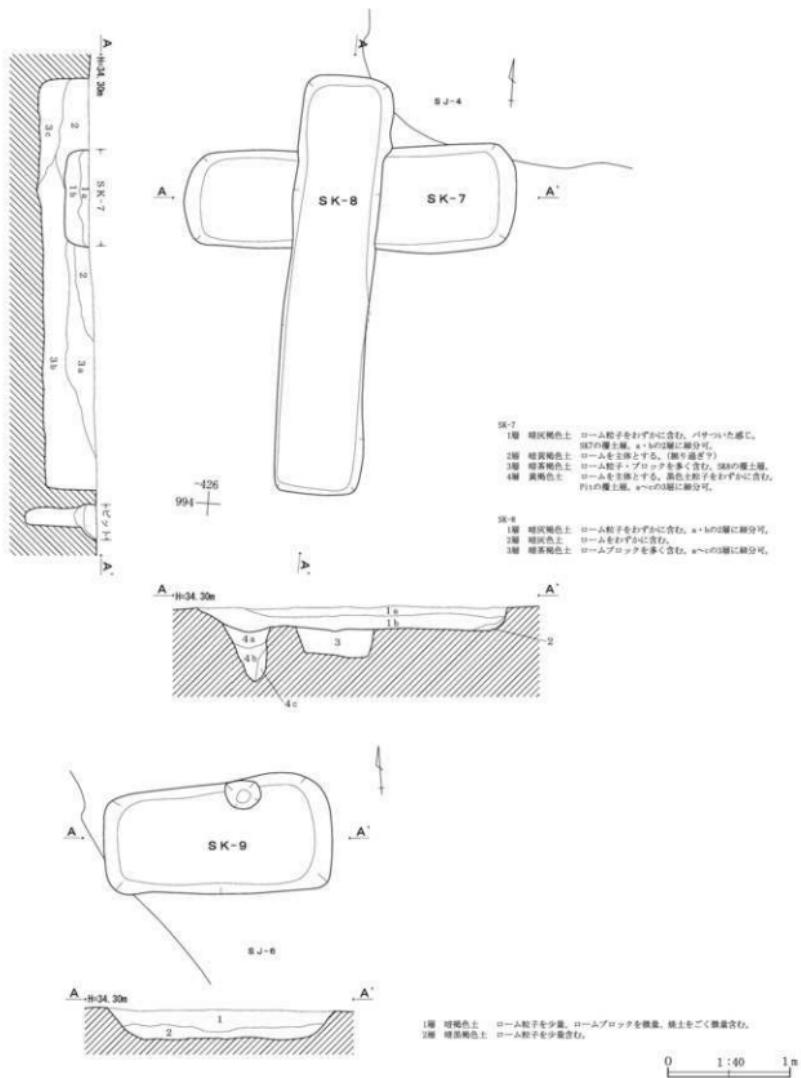
第22号土坑（第119図）

調査区東部に位置し、第10号竪穴建物跡を切り、第21号土坑と重複する。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは25cmを測る。主軸方位は東西方向である。

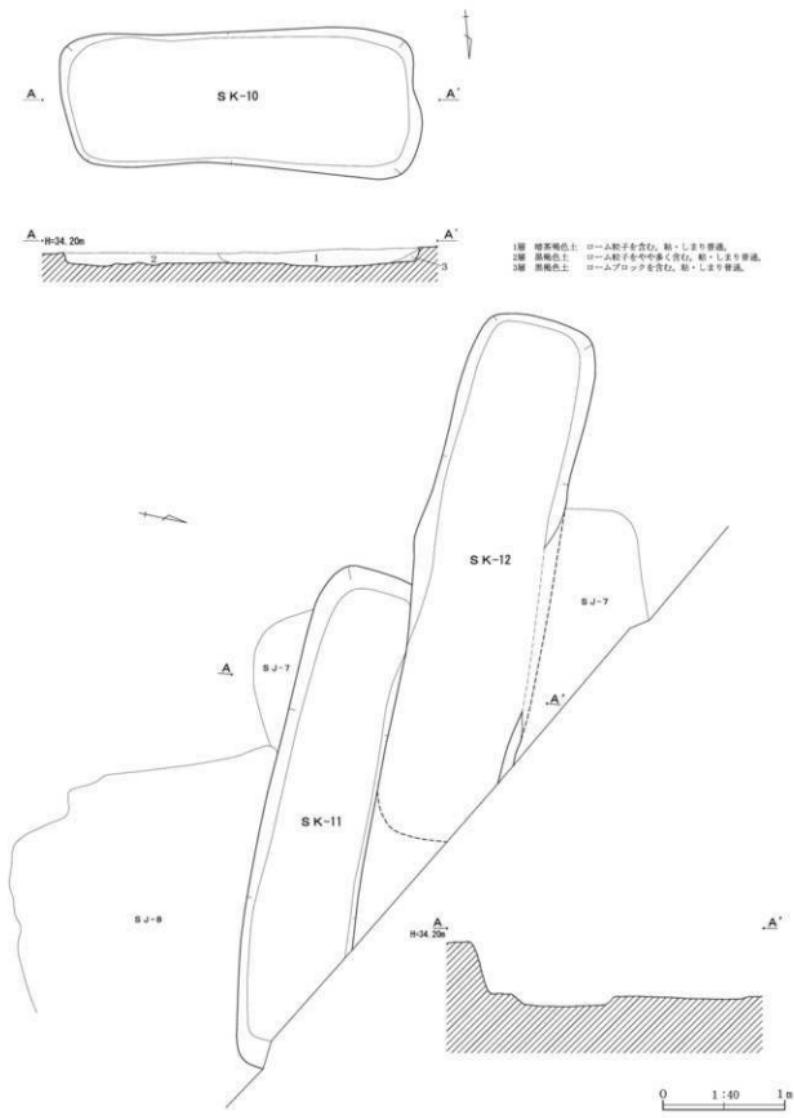
図示できる遺物は出土しなかった。

第23号土坑（第120・126図、第50表）

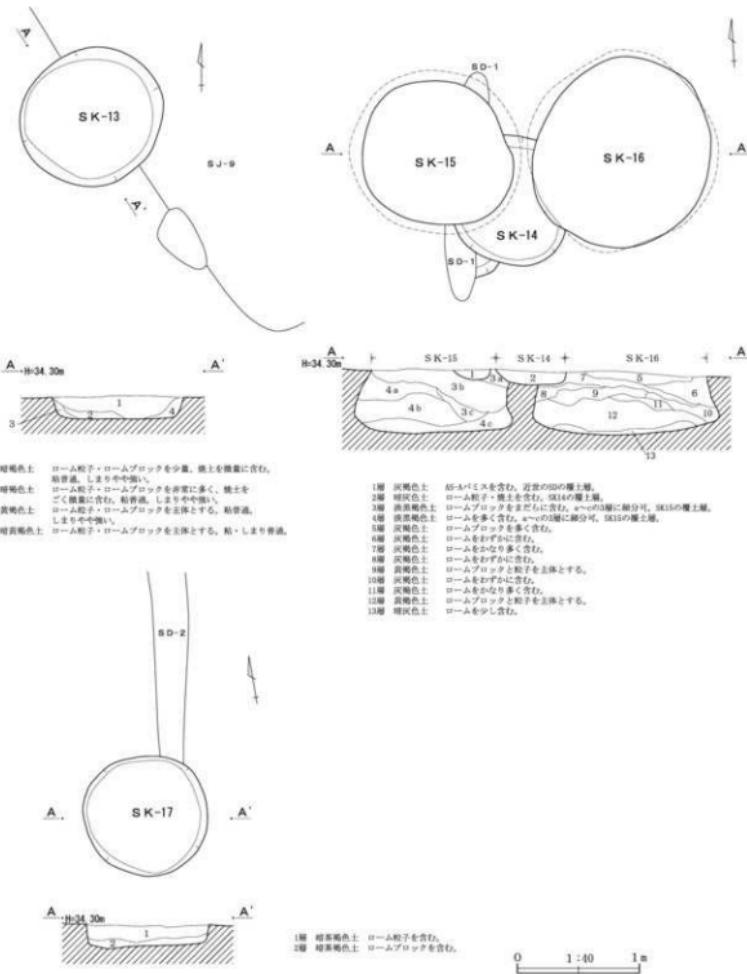
調査区東部に位置する。平面形態は長方形で、長軸



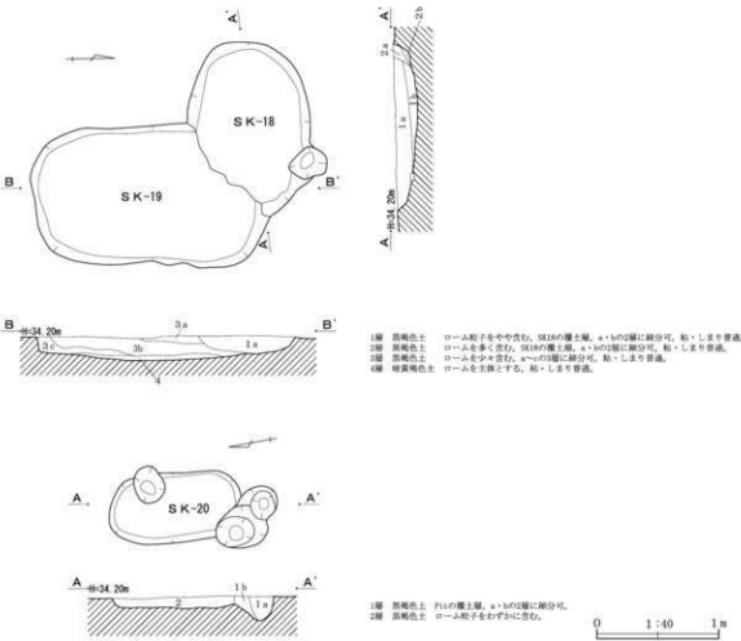
第115図 第7～9号土坑



第116図 第10～12号土坑



第117図 第13～17号土坑



第118図 第18～20号土坑

2.2m、短軸1.35mを測る。底面は東側が深く、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは70cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できた遺物は、第126図10～12である。10は土師器壺、11はクロコ土師器高台壺、12は土師質の鉢である。

平面形態は長方形で、長軸3.15m、短軸0.9mを測る。底面はやや凸があり、壁は急角度で立ち上がる。確認面からの深さは40cmを測る。主軸方位はN-84°-Wである。

図示できる遺物は出土しなかった。

第24号土坑（第120図）

調査区東部に位置し、第12号竪穴建物跡を切る。平面形態は長方形で、長軸2.2m、短軸1.05mを測る。底面は皿状で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できる遺物は出土しなかった。

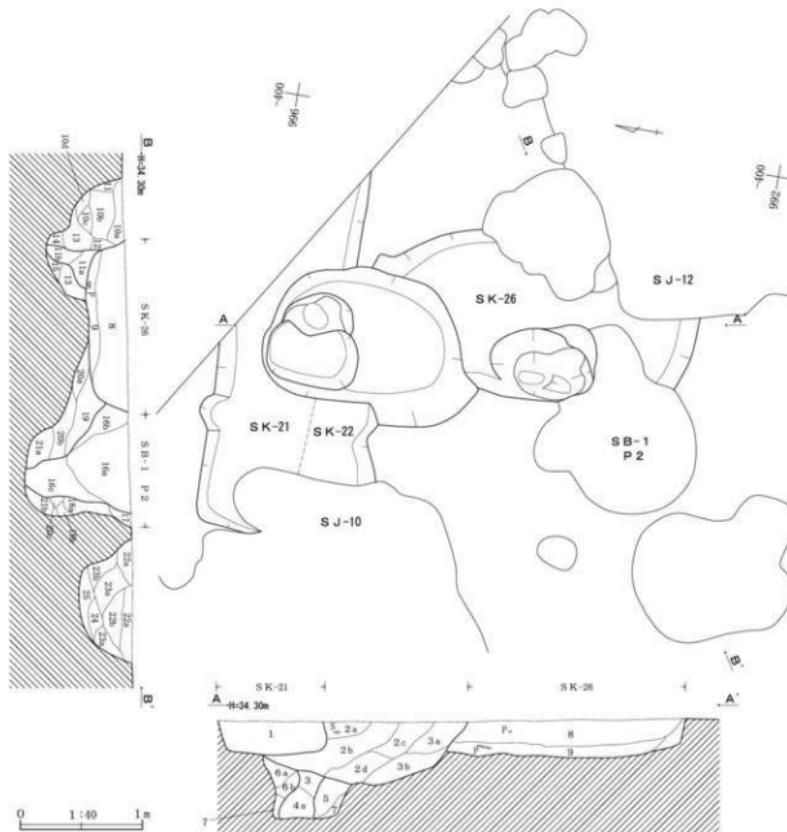
第26号土坑（第119図）

調査区東部に位置し、第12号竪穴建物跡、第1号掘立柱建物跡を切る。平面形態は楕円形で、長径約2.7m、短径1.3mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは30cmを測る。主軸方位は真北を向く。

図示できる遺物は出土しなかった。

第25号土坑（第120図）

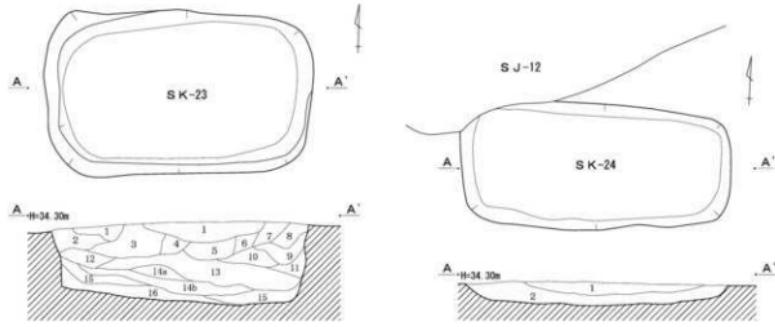
調査区東部に位置し、第13・14号竪穴建物跡を切る。



1層 緩衝褐色土 ロームブロック・鐵土をまばらに含む。SK21の壁土層。
 2層 緩衝褐色土 ロームブロック・鐵土を含む。SB2-P1 抜き取り坑。SB2の柱穴。
 3層 緩衝褐色土
 0-1m粒子を少含む。鐵土粒子を含む。SB2-P1 抜き取り坑。
 SB2柱穴。a'-b'の2層に細分可。
 4層 緩衝褐色土
 0-1m粒子を含む。鐵土粒子を含む。柱穴。しまり弱い。
 5層 緩衝褐色土
 0-1m粒子を含む。柱穴。柱穴上層。SB2-P1 抜き取り坑。
 6層 緩衝褐色土
 0-1m粒子を含む。ロームブロックを主として、黑色褐色土を含む。柱穴上層。
 SB2柱穴。a'-b'の2層に細分可。
 7層 緩衝褐色土
 0-1m粒子を含む。柱穴。柱穴上層。SB2の柱穴。
 8層 緩衝褐色土
 0-1m粒子を含む。ロームブロックを主として、黑色褐色土を含む。柱穴上層。SB2の柱穴。
 9層 緩衝褐色土
 0-1m粒子を含む。ロームブロックを主として、黑色褐色土を含む。柱穴上層。SB2の柱穴。
 10層 緩衝褐色土
 0-1m粒子を含む。ロームブロックを主として、黑色褐色土を含む。柱穴上層。SB2の柱穴。
 11層 緩衝褐色土
 0-1m粒子を含む。SB2-P2の柱隙。SB2の柱穴。a'-b'の2層に細分可。

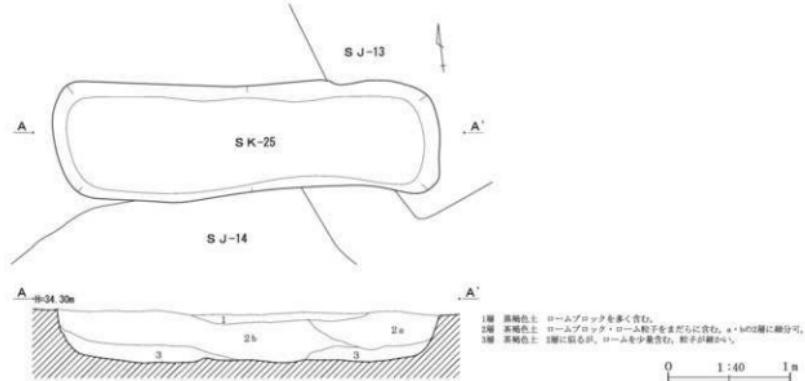
12層 可塑褐色土 ローム粒子を多く含む。SB2の柱隙。SB2の柱穴。
 13層 可塑褐色土
 ロームを含む多量含む。SB2の柱隙。SB2-P2の柱隙。柱子を含む。
 14層 黑褐色土
 ローム粒子をわずかに含む。SB2の柱穴。
 15層 黑褐色土
 ローム粒子を含む。鐵土をわずかに含む。SB1-P2柱隙強き取り。
 a'-b'の2層に細分可。
 16層 黑褐色土
 ロームを含む。柱穴。柱穴上層。SB2-P1 抜き取り坑。
 17層 可塑褐色土
 ロームを含む。SB2-P2, a'-b'の2層に細分可。
 18層 黑褐色土
 ロームを含む。SB2-P2, a'-b'の2層に細分可。
 19層 可塑褐色土
 ローム粒子を含む。SB1-P2。
 20層 黑褐色土
 ロームを含む。SB2-P2, a'-b'の2層に細分可。
 21層 可塑褐色土
 ロームを含む。黑色褐色土を含む。SB2-P2, a'-b'の2層に細分可。
 22層 黑褐色土
 ローム粒子を多く含む。別P1a, a'-b'の2層に細分可。
 23層 可塑褐色土
 ロームブロック・黑褐色土。鐵土粒子を含む。別P1a, a'-b'の2層に細分可。
 24層 可塑褐色土
 ローム粒子を多く含む。別P1a, a'-b'の2層に細分可。
 25層 黑褐色土
 ロームを主層とする。別P1a,

第119図 第21・22・26号土坑



- | | |
|-----------|-------------------------|
| 1層 黒褐色土 | ローム・黒色土を含む。 |
| 2層 黄褐色土 | ロームをやや多く含む。 |
| 3層 緑褐色土 | ロームをやや多く含む。 |
| (4) | ロームを主とする。 |
| 5層 黒褐色土 | ロームを主とする。 |
| 6層 黒褐色土 | ローム・黒色土を含む。 |
| 7層 緑褐色土 | ロームをやや多く含む。 |
| 8層 黃褐色土 | ロームを主とする。 |
| 9層 黒褐色土 | ロームブロックを多く含む。 |
| 10層 黒褐色土 | ロームを主体とする。 |
| 11層 黄褐色土 | ロームのみ。 |
| 12層 黒褐色土 | ロームを主体とする。 |
| 13層 緑褐色土 | ローム・黒色土ブロックを含む。 |
| 14層 緑褐色土 | ローム・黒色土を織紋状に含む。 |
| 15層 黒褐色土 | ローム・黒色土を含む。 |
| 16層 黒褐色土 | ローム・黒色土を量多く含む。サラサクしている。 |
| 17層 黒褐色土 | ローム・黒色土を量多く含む。 |
| 18層 塗抹褐色土 | ローム・黒色土ブロックを含む。 |

- | | |
|----------|---------------|
| 1層 黒黒褐色土 | ローム粒子を少量含む。 |
| 2層 黑褐色土 | ローム粒子をやや多く含む。 |



第120図 第23～25号土坑

第27号土坑（第121図）

調査区東部に位置する。平面形態は長方形で、長軸2m、短軸1.4mを測る。2基が重複したものと思われる。底面は皿状で、壁は一部オーバーハングする。確認面からの深さは50cmを測る。主軸方位はN-84°-Eである。

図示できる遺物は出土しなかった。

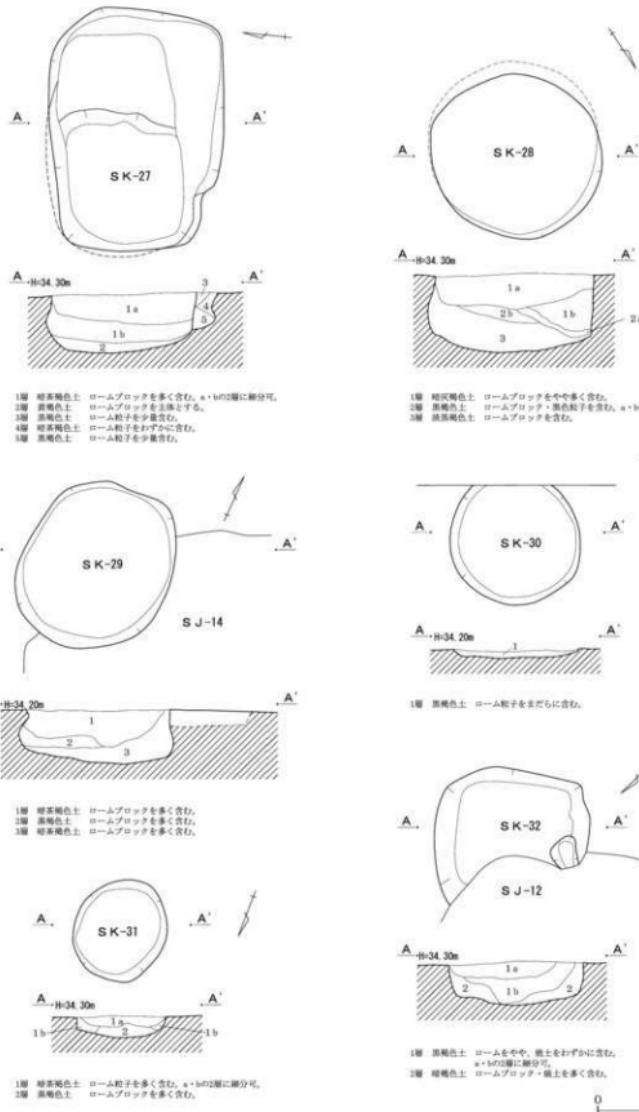
第28号土坑（第121・126図、第50表）

調査区東部に位置する。平面形態は円形で、直径1.4mを測る。底面は皿状で、壁は一部オーバーハングする。確認面からの深さは65cmを測る。

図示できた遺物は、第126図13の須恵器高台壺である。

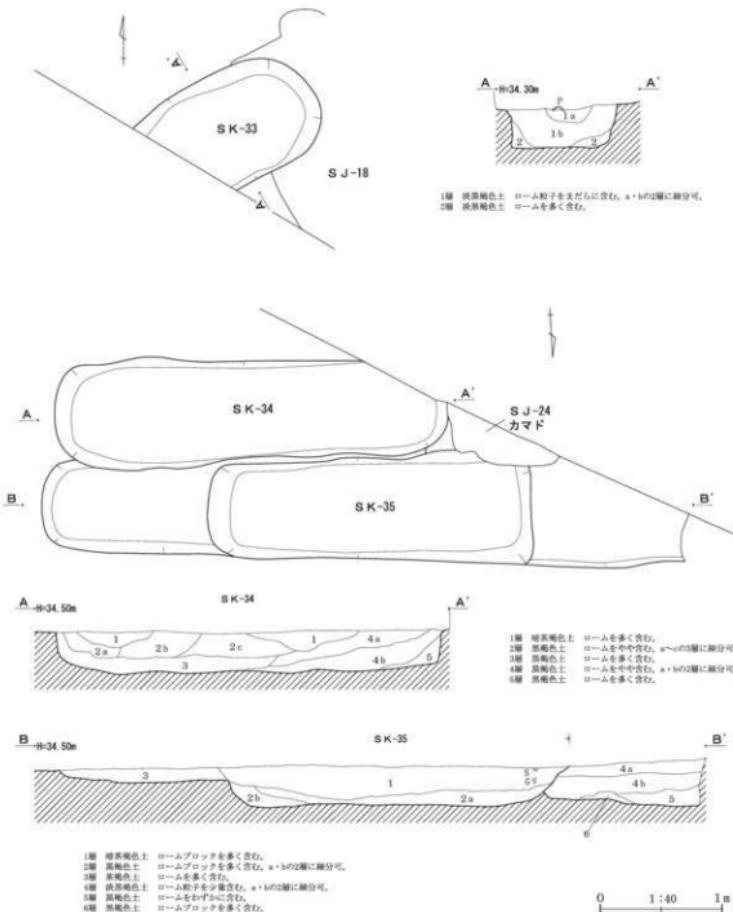
第29号土坑（第121図）

調査区東部に位置し、第14号竪穴建物跡を切る。平



0 1:40 1m

第121図 第27～32号土坑



第122図 第33～35号土坑

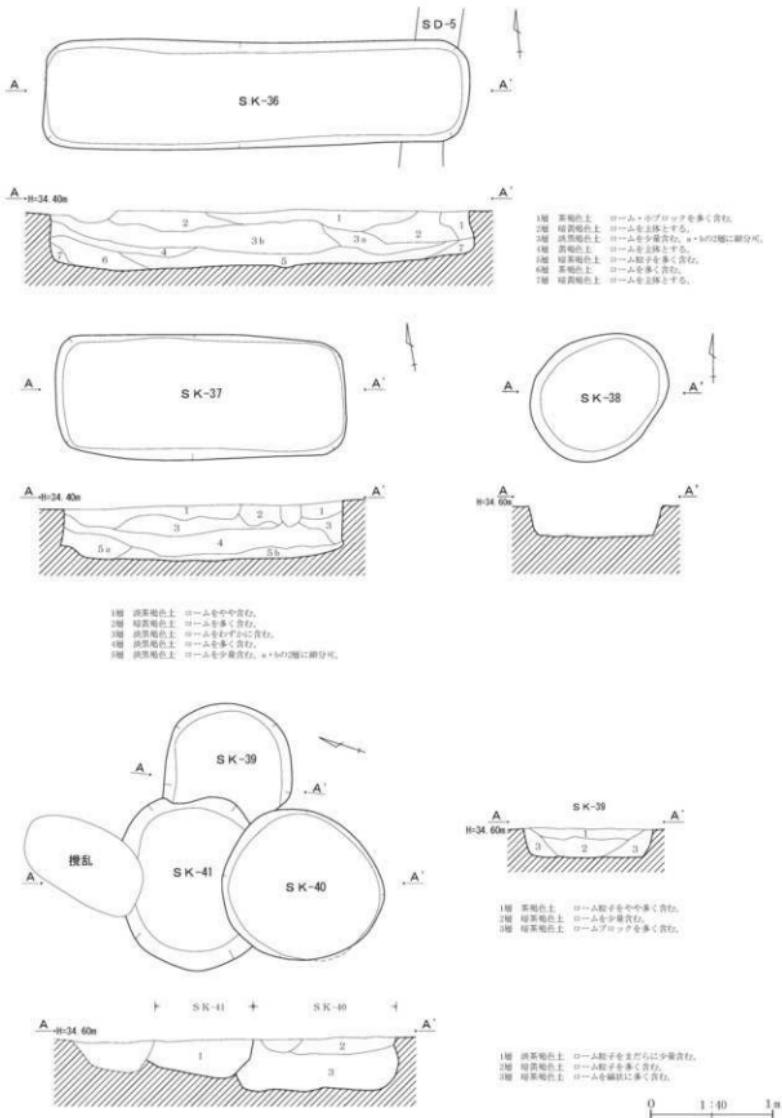
面形態は梢円形で、長径1.4m、短径1.2mを測る。底面は皿状で、壁はオーバーハングする。確認面からの深さは40cmを測る。主軸方位は真北を向く。

図示できる遺物は出土しなかった。

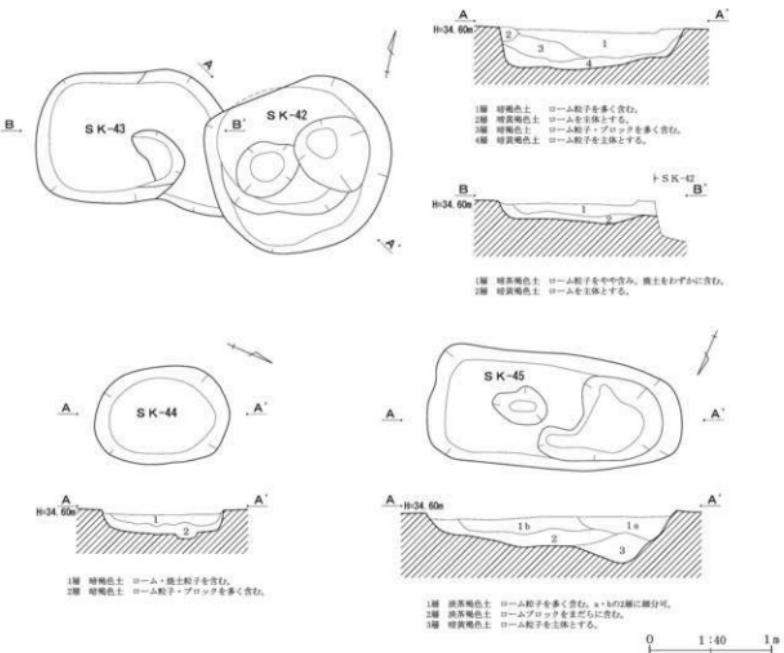
第30号土坑（第121図）

調査区東部に位置し、第12号竪穴建物跡を切る。平面形態は円形で、直径1.05mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは5cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。



第123図 第36～41号土坑



第124図 第42～45号土坑

第31号土坑（第121図）

調査区東部に位置する。平面形態は楕円形で、長径0.75m、短径0.85mを測る。底面は皿状で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。主軸方位は真北を向く。

図示できる遺物は出土しなかった。

第32号土坑（第121図）

調査区東部に位置し、第12号竪穴建物跡を切る。平面形態は方形で、一边1.25mを測る。底面は皿状で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは35cmを測る。主軸方位はN-42°-Eである。

図示できる遺物は出土しなかった。

第33号土坑（第122・126図、第50表）

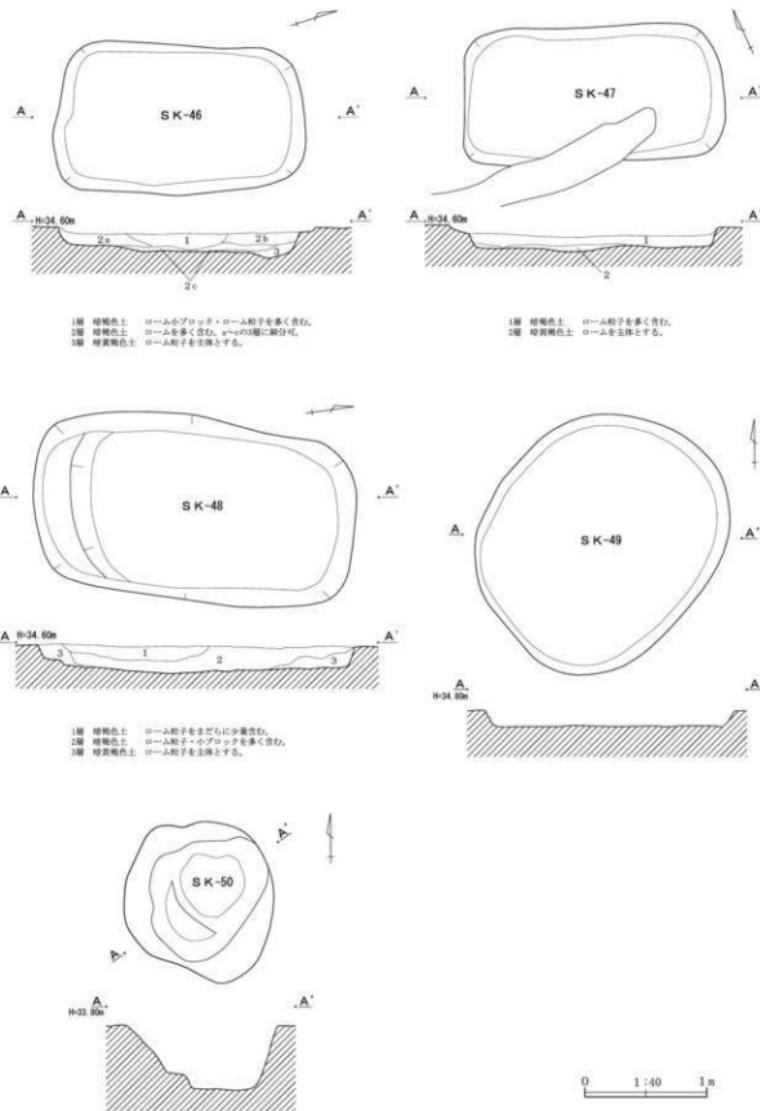
調査区東部に位置し、第18号竪穴建物跡を切る。平面形態は楕円形で、短径0.9mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは35cmを測る。主軸方位はN-59°-Eである。

図示できた遺物は、第126図14の須恵器壺である。

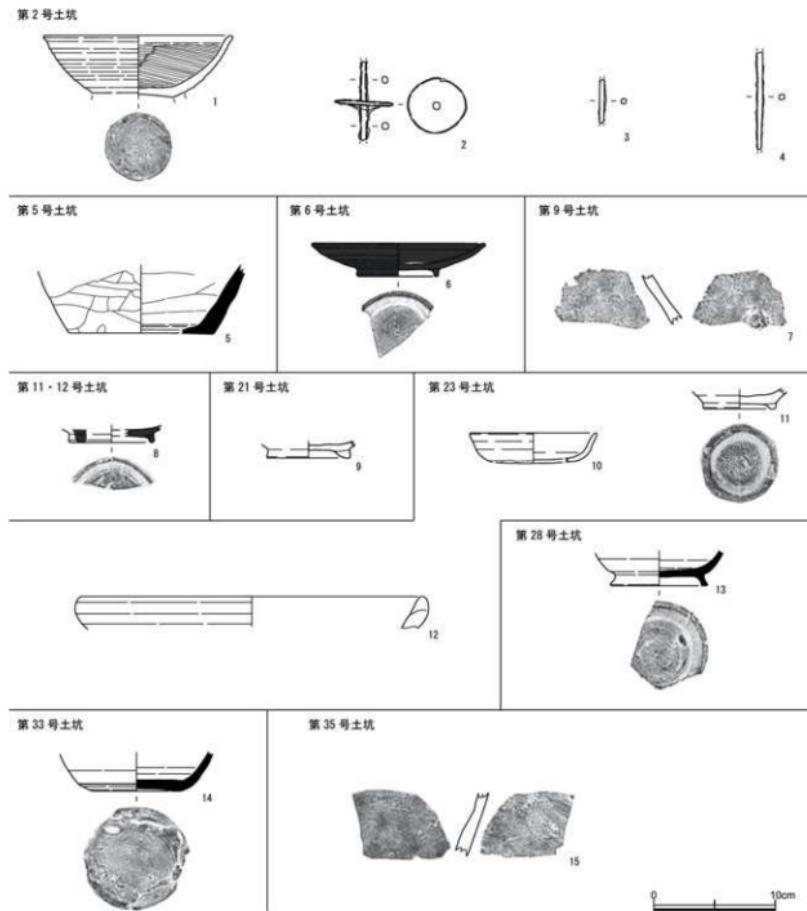
第34号土坑（第122図）

調査区中央部に位置する。平面形態は長方形で、長軸3.2m、短軸0.8mを測る。底面はやや凹凸があり、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは30cmを測る。主軸方位は東西方向である。

図示できる遺物は出土しなかった。



第125図 第46～50号土坑



第126図 土坑出土遺物

第35号土坑（第122・126図、第50表）

調査区中央部に位置し、第23号竪穴建物跡を切る。平面形態は長方形で、長軸5.3m、短軸0.9mを測る。3基の土坑が重複したものと思われる。底面はそれぞれほぼ平坦で、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは東から、10cm、30cm、35cmを測る。主軸方位

は東西方向である。

図示できた遺物は、第126図15の常滑焼の甕である。

第36号土坑（第123図）

調査区中央部に位置し、第5号溝に切られる。平面形態は長方形で、長軸3.45m、短軸0.9mを測る。底

| 番号 | 遺構 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|---------|-------|------|--------|--------|-------|-----------|----|------|-----|-----------------------------------|
| 1 | SK 2 | R | 高台輪 | (15.2) | | | A B C H I | 普 | にぶい橙 | 75% | 重さ 18.90g 重さ 2.12g 重さ 5.09g |
| 2 | | 鉄製紡錘車 | | 幅4.8 | | | | | | | |
| 3 | | 棒状鉄製品 | 長0.4 | 幅0.4 | | | | | | | |
| 4 | | 棒状鉄製品 | 長0.5 | 幅0.4 | | | | | | | |
| 5 | SK 5 | S | 甕 | | (11.8) | | A C F H | 良 | 青灰 | 5% | |
| 6 | SK 6 | K | 高台皿 | (14.1) | 2.8 | (6.5) | A C | 良 | 灰 | 25% | |
| 7 | SK 9 | 常滑 | 甕 | | | | A C H | 良 | 茶褐 | | |
| 8 | SK11・12 | K | 高台坏 | | | (6.8) | A C | 良 | 灰 | 15% | |
| 9 | SK21 | R | 高台坏 | | | 6.8 | A B C E | 良 | 赤褐 | 15% | |
| 10 | SK23 | H | 坏 | (10.3) | | | A C E I | 普 | にぶい橙 | 20% | |
| 11 | | R | 高台坏 | | | 5.6 | A B C E | 普 | 橙 | 25% | |
| 12 | | 土師質 | 鉢 | (28.1) | | | A B C H | 普 | 黒褐 | 5% | |
| 13 | SK28 | S | 高台坏 | | | (7.8) | A B C F H | 普 | 灰 | 20% | |
| 14 | SK33 | S | 坏 | | | 6.5 | A C H | 普 | 灰褐 | 25% | |
| 15 | SK35 | 常滑 | 甕 | | | | A C H | 良 | 赤褐 | | |

第50表 土坑出土遺物観察表

面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは50cmを測る。主軸方位はN-86°-Wである。
図示できる遺物は出土しなかった。

第37号土坑（第123図）

調査区中央部に位置する。平面形態は長方形で、長軸2.35m、短軸1mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは45cmを測る。主軸方位はN-80°-Wである。

図示できる遺物は出土しなかった。

第38号土坑（第123図）

調査区中央部に位置する。平面形態は楕円形で、長径1.2m、短径1mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は急角度で立ち上がる。確認面からの深さは25cmを測る。主軸方位はN-54°-Eである。

図示できる遺物は出土しなかった。

第39号土坑（第123図）

調査区中央部に位置し、第41号土坑と重複する。平面形態は円形で、直径1mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは25cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

第40号土坑（第123図）

調査区中央部に位置し、第41号土坑に切られる。平面形態は円形で、直径1.2mを測る。底面はやや凹凸があり、壁は一部オーバーハングする。確認面からの深さは40cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

第41号土坑（第123図）

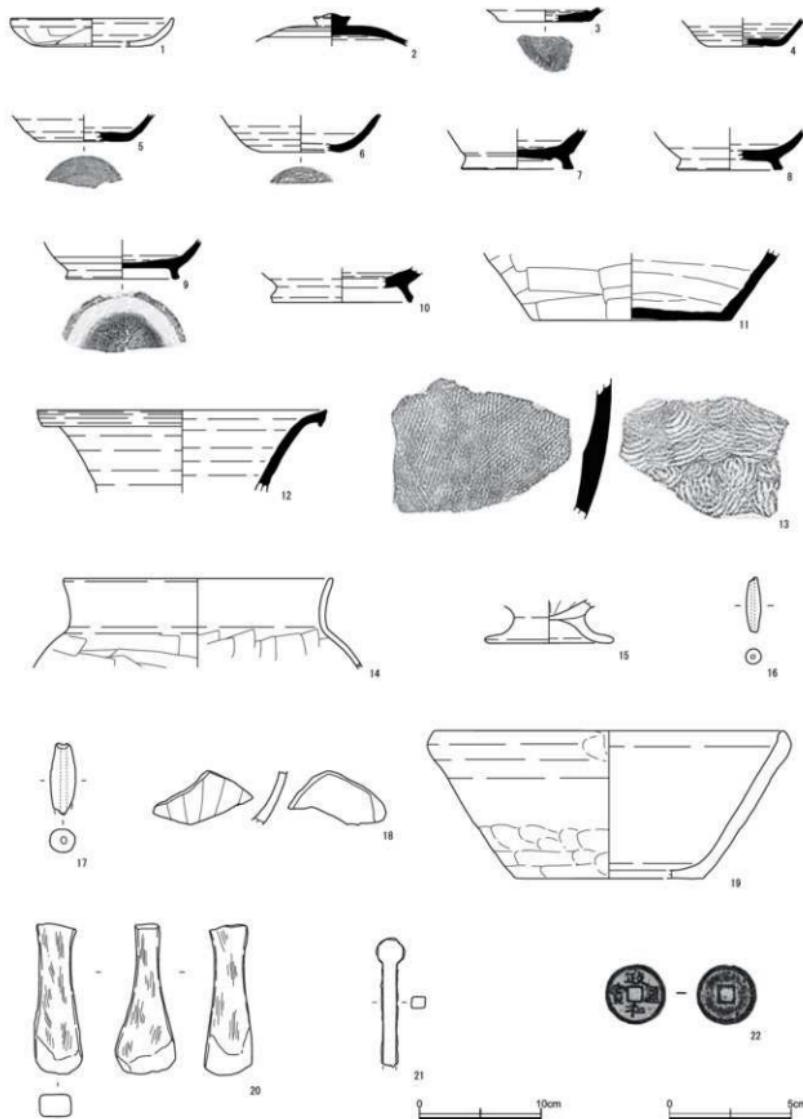
調査区中央部に位置し、第40号土坑を切り、第39号土坑と重複する。平面形態は円形で、直径1.4mを測る。底面は南側が深く、壁は急角度で立ち上がる。確認面からの深さは30cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

第42号土坑（第124図）

調査区中央部に位置し、第43号土坑を切る。平面形態は不整円形で、直径1.5mを測る。底面は凹凸があり、壁は急角度で立ち上がる。確認面からの深さは30cmを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。



第127図 調査区出土遺物

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|----|-----|--------|--------|------|--------|-----------|----|------|-----|------------|
| 1 | H | 壺 | (13.3) | 2.3 | (9.9) | A C | 普 | 橙 | 20% | |
| 2 | S | 蓋 | | | | A C G H | 良 | 灰 | 40% | |
| 3 | S | 壺 | | | (7.1) | A C G | 良 | 青灰 | 10% | |
| 4 | S | 壺 | | | (5.8) | A C G H | 良 | 青灰 | 15% | |
| 5 | S | 壺 | | | (7.1) | A C G H | 普 | 灰 | 15% | |
| 6 | S | 壺 | | | (6.0) | A C F H | 良 | 灰 | 15% | |
| 7 | S | 瓶 | | | (9.0) | A B C H | 不良 | 灰 | 5% | |
| 8 | S | 高台壺 | | | (8.4) | A C F H | 良 | 青灰 | 10% | |
| 9 | S | 高台壺 | | | (8.7) | A C F H | 良 | 灰 | 20% | |
| 10 | S | 瓶 | | | (11.3) | A C H | 良 | 青灰 | 5% | |
| 11 | S | 甕 | | | (16.2) | A C F H | 良 | 青灰 | 10% | |
| 12 | S | 甕 | (23.6) | | | A C F H | 良 | 青灰 | 5% | |
| 13 | S | 甕 | | | | A B C H | 普 | 灰 | 5% | |
| 14 | H | 甕 | (21.8) | | | A C E H I | 良 | 橙 | 10% | |
| 15 | H | 台付甕 | | | (10.0) | A B C E | 普 | 橙 | 10% | |
| 16 | | 土錘 | 長(4.5) | 幅1.2 | 厚1.3 | | | | | 重さ 4.92g |
| 17 | | 土錘 | 長5.9 | 幅2.1 | 厚1.9 | | | | | 重さ 24.68g |
| 18 | 青磁 | 椀 | | | | A C | 良 | 綠青 | 10% | |
| 19 | 土師質 | 片口鉢 | (28.7) | 12.2 | (15.4) | A B C F H | 普 | にぶい橙 | 25% | |
| 20 | | 砥石 | | | | 石材：凝灰岩 | | | | 重さ 244.49g |
| 21 | | 棒状鉄製品 | | | | | | | | 重さ 45.32g |
| 22 | 銭 | 〔政和通宝〕 | 長2.4 | 幅2.4 | 厚0.2 | | | | | 重さ 2.95g |

第51表 調査区出土遺物観察表

第43号土坑（第124図）

調査区中央部に位置し、第42号土坑に切られる。平面形態は楕円形で、長径1.5m、短径1.1mを測る。底面はやや凸凹があり、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。主軸方位はN-80°-Eである。

図示できる遺物は出土しなかった。

第44号土坑（第124図）

調査区中央部に位置する。平面形態は楕円形で、長径1.1m、短径0.8mを測る。底面はわずかに凸凹があり、壁は急角度で立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。主軸方位はN-23°-Wである。

図示できる遺物は出土しなかった。

第45号土坑（第124図）

調査区中央部に位置する。平面形態は長方形で、長軸2.1m、短軸0.95mを測る。底面は西側が深く、壁

は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは40cmを測る。主軸方位はN-73°-Eである。

図示できる遺物は出土しなかった。

第46号土坑（第125図）

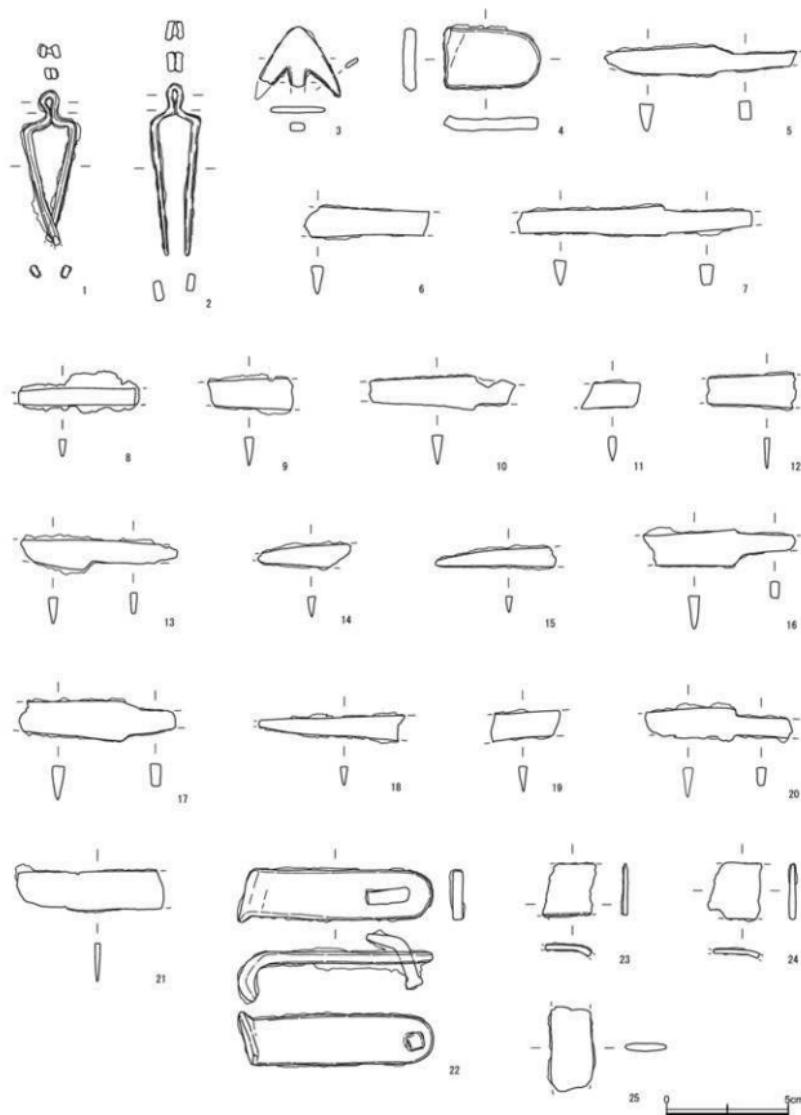
調査区西部に位置する。平面形態は長方形で、長軸2m、短軸1.2mを測る。底面は北側が深く、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。主軸方位はN-17°-Eである。

図示できる遺物は出土しなかった。

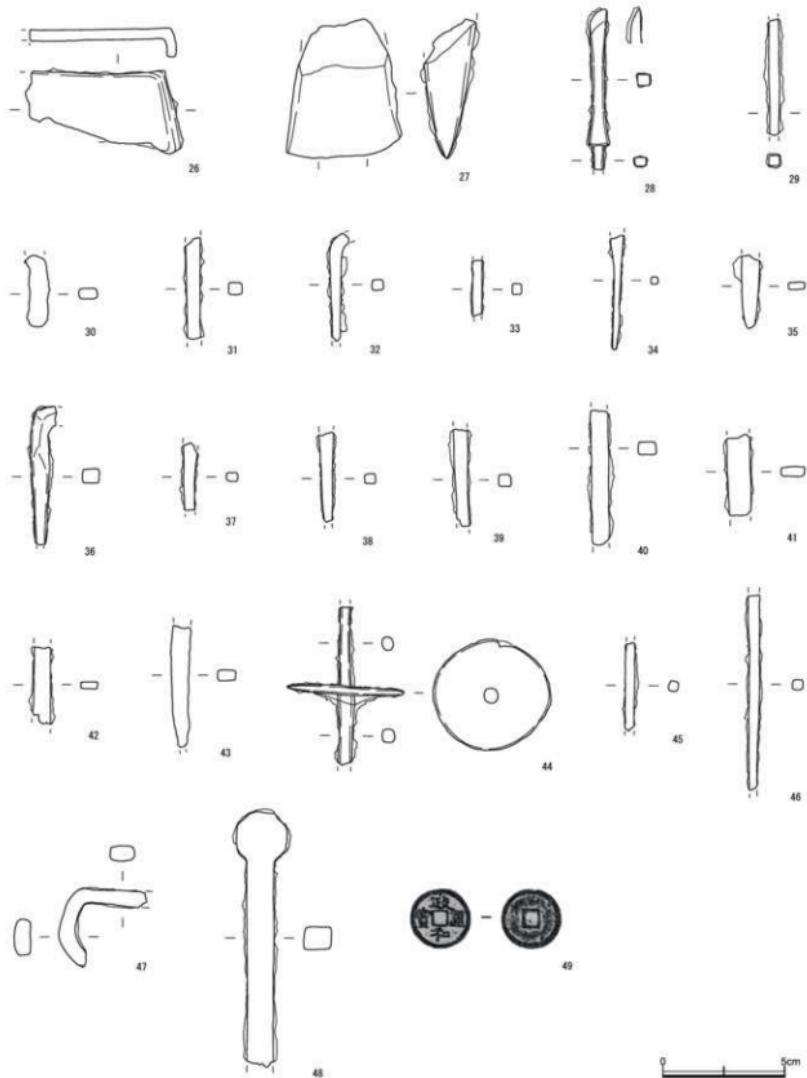
第47号土坑（第125図）

調査区西部に位置する。平面形態は長方形で、長軸2.1m、短軸1.1mを測る。底面はやや凸凹があり、壁は急角度で立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。主軸方位はN-66°-Wである。

図示できる遺物は出土しなかった。



第128図 金属製品集成 (1)

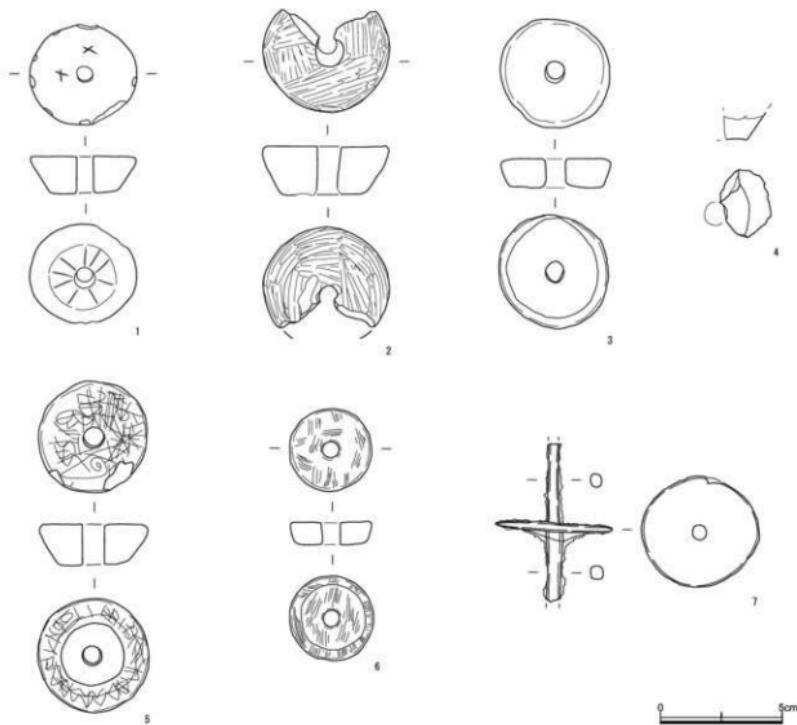


第129図 金属製品集成 (2)

0 5cm

| 番号 | 種類 | 出土遺構 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 挿図番号 |
|----|--------|---------|-----|-----|-----|---------|----------|
| 1 | 毛抜形鉄器 | SJ4 | | 2.2 | 0.5 | 5.06g | 第26図 76 |
| 2 | 毛抜形鉄器 | SJ8 | 7.1 | 2.1 | 0.8 | 5.69g | 第40図 16 |
| 3 | 鉄鏃 | SJ4 | | 2.3 | 0.3 | 4.61g | 第26図 77 |
| 4 | 鉄製蛇尾 | SJ4 | 4.0 | 2.4 | 0.5 | 16.91g | 第26図 81 |
| 5 | 刀子 | SJ1 | | 1.1 | 0.6 | 6.91g | 第11図 7 |
| 6 | 刀子 | SJ2 | | 1.3 | 0.5 | 5.38g | 第13図 11 |
| 7 | 刀子 | SJ5 | | 1.0 | 0.6 | 12.47g | 第30図 43 |
| 8 | 刀子 | SJ5 | | 0.7 | 0.3 | 5.42g | 第30図 44 |
| 9 | 刀子 | SJ5 | | 1.2 | 0.4 | 3.70g | 第30図 45 |
| 10 | 刀子 | SJ9 | | 1.2 | 0.4 | 6.75g | 第50図 157 |
| 11 | 刀子 | SJ13 | | 1.0 | 0.4 | 1.85g | 第66図 7 |
| 12 | 刀子 | SJ15 | | 1.3 | 0.2 | 3.32g | 第77図 62 |
| 13 | 刀子 | SJ15 | | 1.1 | 0.4 | 9.90g | 第77図 63 |
| 14 | 刀子 | SJ16 | | 0.8 | 0.3 | 2.41g | 第83図 61 |
| 15 | 刀子 | SJ16 | | 0.6 | 0.3 | 3.21g | 第83図 62 |
| 16 | 刀子 | SJ16 | | 1.4 | 0.5 | 9.74g | 第83図 63 |
| 17 | 刀子 | SJ16 | | 1.4 | 0.5 | 12.51g | 第83図 64 |
| 18 | 刀子 | SJ17・18 | | 0.8 | 0.3 | 4.42g | 第84図 12 |
| 19 | 刀子 | SJ19・20 | | 1.0 | 0.4 | 2.96g | 第86図 1 |
| 20 | 刀子 | SJ21・22 | | 1.2 | 0.4 | 8.13g | 第94図 19 |
| 21 | 刀子 | SJ23 | | 1.6 | 0.2 | 5.70g | 第95図 4 |
| 22 | 延板状鉄製品 | SJ4 | 8.0 | 2.0 | 0.6 | 28.21g | 第26図 80 |
| 23 | 延板状鉄製品 | SJ4 | | 2.1 | 0.3 | 4.01g | 第26図 82 |
| 24 | 延板状鉄製品 | SJ4 | | 2.3 | 0.3 | 4.06g | 第26図 83 |
| 25 | 延板状鉄製品 | SJ8 | | 1.7 | 0.4 | 5.03g | 第40図 17 |
| 26 | 鍤 | SJ9 | | | 0.4 | 24.65g | 第50図 156 |
| 27 | 鉄斧 | SJ9 | | 4.8 | 2.2 | 112.52g | 第50図 158 |
| 28 | 棒状鉄製品 | SJ4 | | 0.5 | 0.5 | 7.13g | 第26図 78 |
| 29 | 棒状鉄製品 | SJ4 | | 0.5 | 0.5 | 3.73g | 第26図 79 |
| 30 | 棒状鉄製品 | SJ8 | | 0.8 | 0.4 | 2.76g | 第40図 18 |
| 31 | 鉄釘 | SJ9 | | 0.6 | 0.5 | 2.86g | 第50図 154 |
| 32 | 鉄釘 | SJ9 | | 0.5 | 0.5 | 3.01g | 第50図 155 |
| 33 | 棒状鉄製品 | SJ11 | | 0.4 | 0.5 | 1.01g | 第57図 22 |
| 34 | 錐 | SJ11 | | 0.3 | 0.3 | 1.03g | 第57図 23 |
| 35 | 棒状鉄製品 | SJ11 | | 0.7 | 0.3 | 1.81g | 第57図 24 |
| 36 | 鉄釘 | SJ14 | | 0.7 | 0.6 | 8.21g | 第72図 55 |
| 37 | 鉄釘 | SJ14 | | 0.5 | 0.4 | 1.09g | 第72図 56 |
| 38 | 鉄釘 | SJ15 | | 0.5 | 0.5 | 1.72g | 第77図 59 |
| 39 | 棒状鉄製品 | SJ15 | | 0.6 | 0.5 | 3.10g | 第77図 60 |
| 40 | 棒状鉄製品 | SJ15 | | 0.8 | 0.5 | 6.36g | 第77図 61 |
| 41 | 棒状鉄製品 | SJ16 | | 1.0 | 0.4 | 3.41g | 第83図 60 |
| 42 | 棒状鉄製品 | SJ21・22 | | 0.7 | 0.3 | 1.76g | 第94図 18 |
| 43 | 鉄釘 | SJ23 | | 0.8 | 0.5 | 7.56g | 第95図 3 |
| 44 | 鉄製紡錘車 | SK2 | | 4.8 | 0.4 | 18.90g | 第126図 2 |
| 45 | 棒状鉄製品 | SK2 | 0.4 | 0.4 | | 2.12g | 第126図 3 |
| 46 | 棒状鉄製品 | SK2 | 0.5 | 0.4 | | 5.09g | 第126図 4 |
| 47 | 不明鉄製品 | SJ14 | | 0.7 | 1.0 | 9.88g | 第72図 57 |
| 48 | 棒状鉄製品 | 調査区一括 | | 1.1 | 1.0 | 45.32g | 第127図 21 |
| 49 | 「政和通宝」 | 調査区一括 | 2.4 | 2.4 | 0.2 | 2.95g | 第127図 22 |

第52表 金属製品一覧表



第130図 紡錘車集成

| 番号 | 種類 | 出土遺構 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 挿図番号 |
|----|-------|------|-------|-----|-----|--------|---------|
| 1 | 石製紡錘車 | SJ4 | (4.1) | 4.4 | 1.6 | 40.62g | 第25図 75 |
| 2 | 土製紡錘車 | SJ5 | | 5.2 | 2.0 | 42.33g | 第30図 42 |
| 3 | 石製紡錘車 | SJ14 | 4.5 | 4.5 | 1.2 | 37.49g | 第72図 53 |
| 4 | 土製紡錘車 | SJ14 | | | | | 第72図 54 |
| 5 | 石製紡錘車 | SJ15 | 4.6 | 4.5 | 1.7 | 51.24g | 第77図 58 |
| 6 | 石製紡錘車 | SJ16 | 3.4 | 3.4 | 0.9 | 18.03g | 第83図 57 |
| 7 | 鉄製紡錘車 | SK2 | | | 0.4 | 18.90g | 第126図 2 |

第53表 紡錘車一覧表

第48号土坑（第125図）

調査区西部に位置する。平面形態は長方形で、長軸2.6m、短軸1.5mを測る。底面は南側が一段浅くなり、壁は急角度で立ち上がる。確認面からの深さは20cmを測る。主軸方位はN-12°-Eである。

図示できる遺物は出土しなかった。

第49号土坑（第125図）

調査区西部に位置する。平面形態は梢円形で、長径2.1m、短径1.8mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は

斜めに立ち上がる。確認面からの深さは15cmを測る。

主軸方位はN-35°-Eである。

図示できる遺物は出土しなかった。

第50号土坑（第125図）

調査区東部に位置し、第11号竪穴建物跡を切る。平面形態は不整円形で、直径1.2mを測る。底面は北東が一段深くなり、壁は斜めに立ち上がる。確認面からの深さは1mを測る。

図示できる遺物は出土しなかった。

IV 調査のまとめ

前章まで述べてきた通り、今回は、第6次調査のうち、既に報告した伊丹1区の全て、北下郷1区の道路跡、溝を除く、北下郷1区の竪穴建物跡、掘立柱建物跡、土坑、調査区出土遺物について報告した。

遺構は、7世紀後半から9世紀後半にかけてのものと、中世のものを主とし、古代及び中世の道路跡周辺では、建物跡や土坑が少ない。この場所が長期間道路として利用されていたためと思われる。旧地形は道路付近が高く、遺構が最も密集する調査区東部はそれより40cm程低くなる。

次にここでは、各時期における遺構分布と主軸方位について述べたい（第131～134図）。

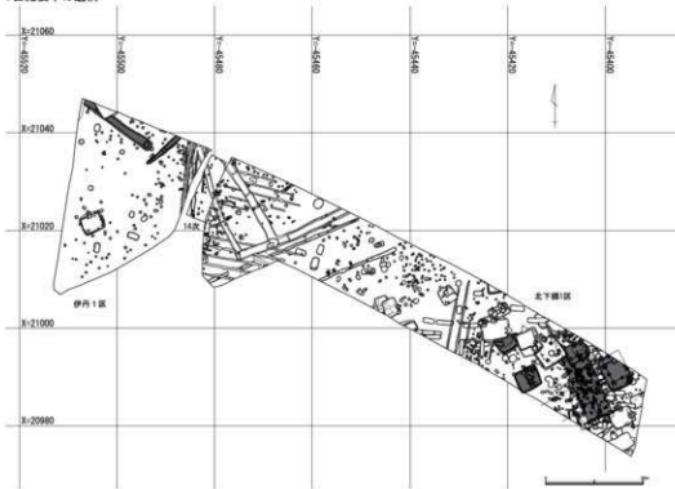
まず、集落の開始時期である7世紀後半の遺構分布を見ると、調査区東部に竪穴建物跡、掘立柱建物跡が集中し、西部に区画溝が確認されている。西部の区画溝の主軸方位はN-40°～50°前後-W、東部の竪穴建物跡、掘立柱建物跡の主軸方位はN-20°前後-Wと、主軸方位が西と東とで大きく異なるのが特徴的である。カマドは北東に向くものが多く、北西を向くものもある。また、今回の調査で最大規模の第1号掘立柱建物跡は、7世紀後半の第10号竪穴建物跡を切り、同じく7世紀後半の第12号竪穴建物跡に切られしており、存続が極めて短期間であったと推定される。

7×3間で床束をもつ大型建物の、櫛沢評の初期評家主要施設と考えられる熊野遺跡第1次第4号掘立柱建物跡の床面積が113.4m²なのに対し、本建物跡は72.9m²と一回り小さい。桁行も7間と6間という差がある。また、時期は若干下郷遺跡のほうが新しい可能性があるが、幡羅評家初期の主要施設の一つであることは推定される。

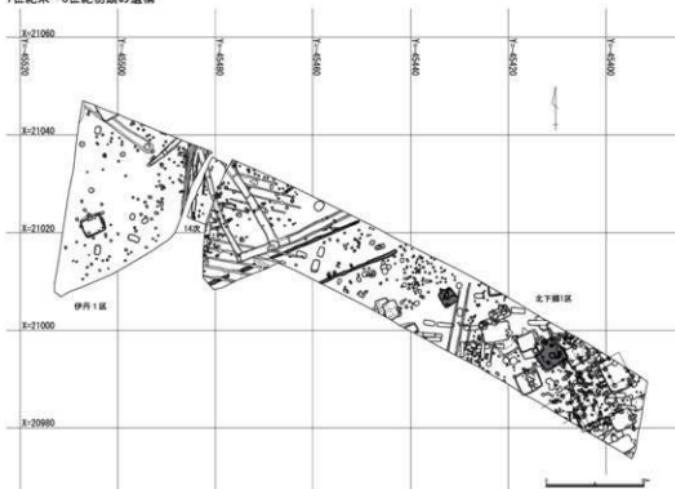
建設前ではあるが、道路跡周辺にはこの時期にも遺構が存在せず、また東部の遺構群の主軸方位が道路跡とほぼ同じであるため、道路の建設をこの段階まで遷らせることや、遺構に現れない道路が既にあったこと、或いは道路の建設予定地となっていたことも考えうる。しかし、より北東に位置する幡羅遺跡第21次調査区では、7世紀後半～末頃の竪穴建物跡が道路跡と重複している。2地点の道路を連続するものとするなら、本調査区にて道路と竪穴建物跡や掘立柱建物跡とが重複しないことの理由は特に見出しづらい。

次に、道路が建設される7世紀末～8世紀初頭における最も大きな変化は、西部の区画溝が消失することである。この段階に、構造の大きな変化があることを示唆しており、すぐ後の段階の道路に沿う区画溝の成立を促すものである。東部の竪穴建物跡は2棟で、主軸方位はN-35°-Wと道路とは若干異なる。

7世紀後半の遺構

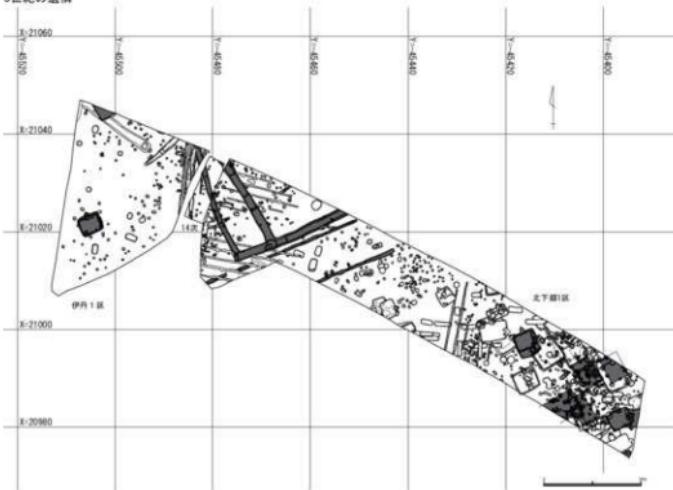


7世紀末～8世紀初頭の遺構

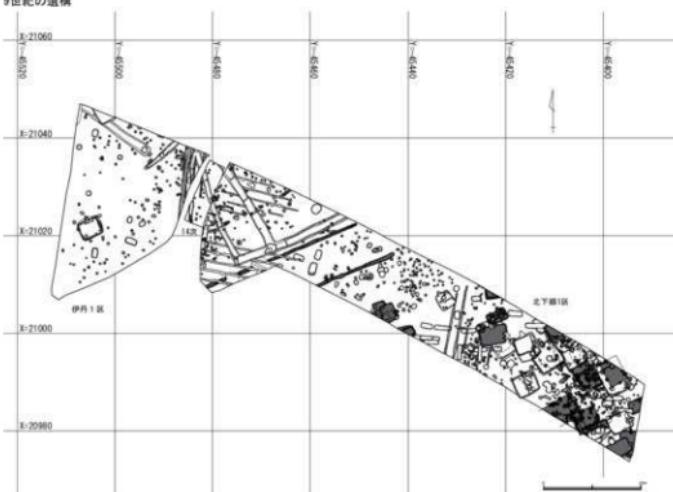


第131図 時期別の遺構分布 (1)

8世紀の遺構

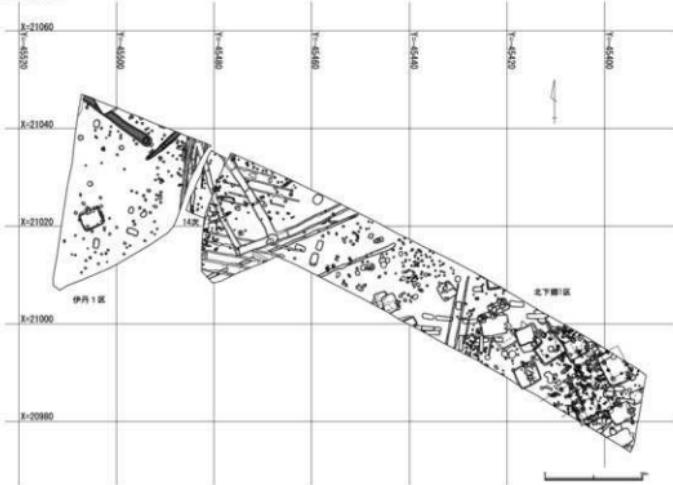


9世紀の遺構

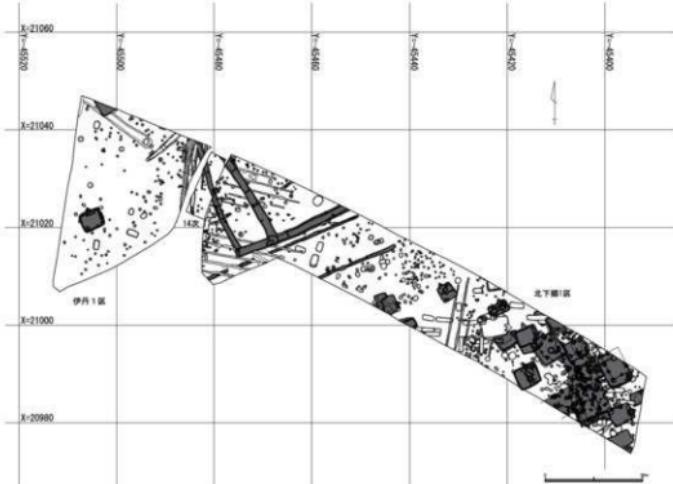


第132図 時期別の遺構分布 (2)

主軸方位1

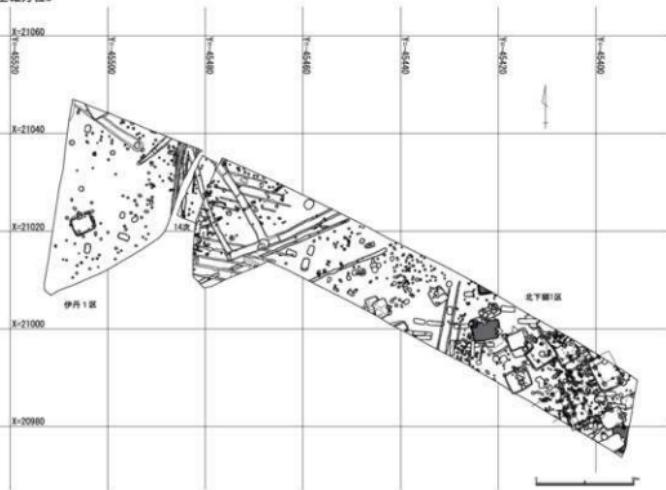


主軸方位2

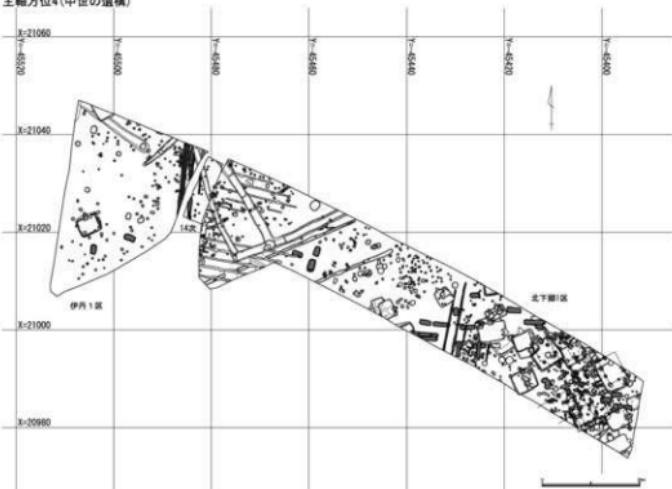


第133図 主軸方位のあり方 (1)

主軸方位3



主軸方位4(中世の遺構)



第134図 主軸方位のあり方 (2)

8世紀代には、道路に沿って区画溝が掘削される。区画は完結せず、幡羅遺跡第20次調査区にて、この区画の南西区画溝が西へと曲がっていく状況が確認されている。南西区画溝の北東側には遺構は疎らであるが、更に北東には正倉院がある。また、区画溝の南西には集落が広がると思われる。そうしたことから、この区画は広大な範囲に及び、官衙城と集落城を大きく区画した溝と考えるのが妥当である。また、調査区東部の遺構密集部分に大きな変化は無い。遺構の主軸方位は全て、道路とほぼ同じであり、今回の調査区付近では特にこの段階において、道路が方位の基準となっていたと思われる。

9世紀には、道路北西の区画溝は無くなり、調査区内に限っては、道路の北西に遺構はみられない。また、南東の遺構は、道路にやや近い位置にも進出していく。主軸方位には、道路と同じものと異なるものがある。主軸方位の異なるものは、9世紀前半の第4号竪

穴建物跡と9世紀後半の第2・15号竪穴建物跡であり、N-10°-Wである。

中世の遺構は、土坑と伊丹1区で確認された道路跡である（第134図）。全て主軸方位がN-10°前後-Eであり、これは現在の地割方位にも踏襲されている。

以上の通り、7世紀後半は調査区の西と東で別の基準に基づいており、この付近で2つの基準線があったとみられる。7世紀末以降8世紀にかけては概ね道路と主軸方位を同じくし、道路に規制されたあり方が認められる。9世紀になると、大きく異なる方位が現れる。そして中世になると、現在の地割方位と同じ主軸方位となる。

最後に改めて、この発掘調査に深いご理解とご協力を頂いた方々をはじめ、下郷遺跡の発掘調査、整理作業に携わり、文化財を記録保存して後世に残すことにして尽力頂いた皆様に敬意を表したい。

参考文献

- 青木克尚 2004 『下郷遺跡II』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第72集
青木克尚他 2006 『幡羅遺跡I』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第75集
知久裕昭 2007 『幡羅遺跡II』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第88集
知久裕昭 2007 『居立（第2次）／森吉古墳／下郷』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第92集
知久裕昭 2008 『幡羅遺跡III』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第99集
知久裕昭 2009 『幡羅遺跡IV』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第104集
知久裕昭 2009 『幡羅遺跡V』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第109集
知久裕昭 2010 『幡羅遺跡VI』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第111集
知久裕昭 2010 『下郷遺跡III』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第118集
鳥羽政之他 1997 『熊野遺跡発掘調査概要報告書』岡部町遺跡調査会発掘調査報告書第6集
鳥羽政之他 2001 『熊野遺跡I』岡部町遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書第9集
鳥羽政之他 2004 『熊野遺跡III』岡部町教育委員会埋蔵文化財調査報告書第9集
鳥羽政之 2008 『深谷市内遺跡XV』埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第94集
富田和夫 2002 『熊野遺跡（A・C・D区）』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第172集
山中敏史 1994 『古代地方官衙遺跡の研究』培書房
山中敏史他 2003 『古代の官衙遺跡I 遺構編』奈良文化財研究所
山中敏史他 2004 『古代の官衙遺跡II 遺物・遺跡編』奈良文化財研究所

写 真 図 版



図版 2



第2号竪穴建物跡



第2号竪穴建物跡遺物出土状況



第3号竪穴建物跡



第3号竪穴建物跡掘方



第3号竪穴建物跡遺物出土状況



第3号竪穴建物跡土層断面



第3号竪穴建物跡カマド



第4号竪穴建物跡遺物出土状況



第4号竪穴建物跡



第4号竪穴建物跡掘方土層断面



第4号竪穴建物跡掘方



第4号竪穴建物跡カマド (1)



第4号竪穴建物跡カマド (2)



第4号竪穴建物跡カマド (3)



第4号竪穴建物跡カマド (4)



第4号竪穴建物跡カマド (5)

图版 4



第 4 · 6 号竖穴建物跡



第 5 号竖穴建物跡



第 5 号竖穴建物跡掘方



第 5 号竖穴建物跡土層断面 (1)



第 5 号竖穴建物跡土層断面 (2)



第 5 · 9 号竖穴建物跡



第 6 号竖穴建物跡



第 6 号竖穴建物跡遺物出土状况 (1)



第6号竪穴建物跡遺物出土状況（2）



第6号竪穴建物跡遺物出土状況（3）



第6号竪穴建物跡遺物出土状況（4）



第6号竪穴建物跡遺物出土状況（5）



第6号竪穴建物跡マップ



第7・8号竪穴建物跡



第7・8号竪穴建物跡土層断面



第8号竪穴建物跡土層断面

図版 6



第8号竪穴建物跡



第9号竪穴建物跡（1）



第9号竪穴建物跡（2）



第9号竪穴建物跡掘方



第9号竪穴建物跡床下土坑



第9号竪穴建物跡遺物出土状況（1）



第9号竪穴建物跡遺物出土状況（2）



第9号竪穴建物跡遺物出土状況（3）

図版 7



第9号竪穴建物跡遺物出土状況（4）



第9号竪穴建物跡カマド（1）



第9号竪穴建物跡カマド（2）



第9号竪穴建物跡土層断面



第10号竪穴建物跡



第10号竪穴建物跡掘方



第10号竪穴建物跡カマド



第11号竪穴建物跡

図版 8



第11号竪穴建物跡掘方



第11号竪穴建物跡遺物出土状況（1）



第11号竪穴建物跡遺物出土状況（2）



第11号竪穴建物跡遺物出土状況（3）



第11号竪穴建物跡遺物出土状況（4）



第11号竪穴建物跡土層断面



第11号竪穴建物跡カマド、貯蔵穴



第11号竪穴建物跡カマド



第11号竪穴建物跡貯藏穴



第12号竪穴建物跡



第12号竪穴建物跡掘方



第12号竪穴建物跡遺物出土状況（1）



第12号竪穴建物跡遺物出土状況（2）



第12号竪穴建物跡遺物出土状況（3）



第12号竪穴建物跡カマド（1）



第12号竪穴建物跡カマド（2）

図版 10



第13号竪穴建物跡



第14号竪穴建物跡 (1)



第14号竪穴建物跡 (2)



第14号竪穴建物跡 (3)



第14号竪穴建物跡遺物出土状況



第14号竪穴建物跡カマド



第14号竪穴建物跡土層断面



第15号竪穴建物跡遺物出土状況 (1)



第15号竪穴建物跡遺物出土状況（2）



第16号竪穴建物跡掘方



第21・22・25号竪穴建物跡



第21・22・25号竪穴建物跡掘方（1）



第21・22・25号竪穴建物跡遺物出土状況



第21・22・25号竪穴建物跡掘方（2）



第21号竪穴建物跡カマド



第23号竪穴建物跡（1）

図版 12



第23号竪穴建物跡（2）



調査区東端部（1）



調査区東端部（2）



第1号掘立柱建物跡（1）



第1号掘立柱建物跡（2）



第1号掘立柱建物跡（3）



第1号掘立柱建物跡 P 3 と第12号竪穴建物跡



第1号掘立柱建物跡 P 5（1）



第1号掘立柱建物跡 P 5 (2)



第1号掘立柱建物跡 P 6



第1号掘立柱建物跡 P 8 (1)



第1号掘立柱建物跡 P 8 (2)



第1号掘立柱建物跡 P 8 (3)



第1号掘立柱建物跡 P 11



第1号掘立柱建物跡 P 12



第1号掘立柱建物跡 P 15 (1)

図版 14



第 1 号掘立柱建物跡 P 15 (2)



第 1 号掘立柱建物跡 P 16



掘立柱建物跡群 (1)



掘立柱建物跡群 (2)



掘立柱建物跡群 (3)



掘立柱建物跡群 (4)



掘立柱建物跡群 (5)



掘立柱建物跡群 (6)



掘立柱建物跡群 (7)



掘立柱建物跡群 (8)



掘立柱建物跡群 (9)



掘立柱建物跡群 (10)



第2号土坑



第2号土坑遺物出土状況 (1)



第2号土坑遺物出土状況 (2)



調査風景 (1)

図版 16



調査風景 (2)



調査風景 (3)



調査風景 (4)



調査風景 (5)



調査風景 (6)



調査区の風景 (1)



調査区の風景 (2)



調査区の風景 (3)

図版 17



第11図2 (S J 1)



第13図4 (S J 2)



第13図4 (S J 2) 墨書



第13図5 (S J 2)



第13図7 (S J 2)



第13図8 (S J 2)



第16図6 (S J 3)



第16図7 (S J 3)



第16図7 (S J 3) 墨書



第16図9 (S J 3)



第16図10 (S J 3)



第16図12 (S J 3)



第16図14 (S J 3)



第22図1 (S J 4)



第22図2 (S J 4)



第22図3 (S J 4)

図版 18



第22図4 (S J 4)



第22図5 (S J 4)



第22図7 (S J 4)



第22図8 (S J 4)



第22図9 (S J 4)



第22図15 (S J 4)



第22図16 (S J 4)



第23図31 (S J 4)



第23図32 (S J 4)



第23図32 (S J 4) 墨書



第23図34 (S J 4)



第23図35 (S J 4)



第23図36 (S J 4)



第23図41 (S J 4)



第23図43 (S J 4)



第23図47 (S J 4)



第23図48 (S J 4)



第24図49 (S J 4)



第24図50 (S J 4)



第24図58 (S J 4)



第24図59 (S J 4)



第25図60 (S J 4)



第25図61 (S J 4)



第25図62 (S J 4)



第25図66 (S J 4)



第25図67 (S J 4)



第29図4 (S J 5)



第25図5 (S J 5)



第29図11 (S J 5)



第29図12 (S J 5)

図版 20



第29図13 (S J 5)



第29図19 (S J 5)



第29図20 (S J 5)



第29図21 (S J 5)



第30図27 (S J 5)



第30図30 (S J 5)



第34図3 (S J 6)



第34図4 (S J 6)



第34図6 (S J 6)



第34図9 (S J 6)



第34図12 (S J 6)



第34図14 (S J 6)



第34図19 (S J 6)



第34図20 (S J 6)



第35図21 (S J 6)



第35図22 (S J 6)



第35図23 (S J 6)



第35図26 (S J 6)



第40図 3 (S J 8)



第40図 4 (S J 8)



第40図 5 (S J 8)



第44図 1 (S J 9)



第44図 4 (S J 9)



第44図 15 (S J 9)



第44図 16 (S J 9)



第44図 17 (S J 9)



第44図 18 (S J 9)



第44図 20 (S J 9)



第44図 21 (S J 9)



第44図 22 (S J 9)



第44図 23 (S J 9)



第44図 24 (S J 9)

図版 22



第44図25 (S J 9)



第44図26 (S J 9)



第44図27 (S J 9)



第44図28 (S J 9)



第44図29 (S J 9)



第44図30 (S J 9)



第44図31 (S J 9)



第44図32 (S J 9)



第44図34 (S J 9)



第45図45 (S J 9)



第45図46 (S J 9)



第45図55 (S J 9)



第45図59 (S J 9)



第45図60 (S J 9)



第45図63 (S J 9)



第45図63 (S J 9) 線刻、墨痕



第45図64 (S J 9)



第45図65 (S J 9)



第45図69 (S J 9)



第45図70 (S J 9)



第45図71 (S J 9)



第45図72 (S J 9)



第45図74 (S J 9)



第45図75 (S J 9)



第46図79 (S J 9)



第46図81 (S J 9)



第46図83 (S J 9)



第46図84 (S J 9)



第46図85 (S J 9)



第46図86 (S J 9)



第46図93 (S J 9)



第46図94 (S J 9)



第46図95 (S J 9)



第46図96 (S J 9)



第46図99 (S J 9)



第46図102 (S J 9)

図版 24



第46図108 (S J 9)



第47図115 (S J 9)



第47図117 (S J 9)



第47図118 (S J 9)



第47図124 (S J 9)



第48図130 (S J 9)



第48図133 (S J 9)



第49図141 (S J 9)



第49図142 (S J 9)



第49図143 (S J 9)



第49図144 (S J 9)



第49図149 (S J 9)



第57図 4 (S J 11)



第57図9 (S J 11)



第57図15 (S J 11)



第57図12 (S J 11)



第57図16 (S J 11)



第57図17 (S J 11)



第57図19 (S J 11)



第57図21 (S J 11)



第62図2 (S J 12)



第62図3 (S J 12)



第62図4 (S J 12)



第62図7 (S J 12)



第62図9 (S J 12)



第62図12 (S J 12)

図版 26



第62図14 (S J 12)



第62図16 (S J 12)



第62図17 (S J 12)



第62図18 (S J 12)



第63図27 (S J 12)



第63図28 (S J 12)



第63図30 (S J 12)



第63図31 (S J 12)



第63図32 (S J 12)



第66図 1 (S J 13)



第66図 3 (S J 13)



第66図 4 (S J 13)



第66図 5 (S J 13)



第66図 6 (S J 13)



第70図 1 (S J 14)



第70図 2 (S J 14)



第70図 3 (S J 14)



第70図 4 (S J 14)



第70図 5 (S J 14)



第70図 9 (S J 14)



第70図10 (S J 14)



第70図11 (S J 14)



第70図15 (S J 14)



第70図16 (S J 14)



第70図17 (S J 14)



第70図19 (S J 14)



第70図21 (S J 14)



第70図22 (S J 14)



第70図23 (S J 14)



第70図24 (S J 14)

図版 28



第71图25 (S J 14)



第71图26 (S J 14)



第71图27 (S J 14)



第71图30 (S J 14)



第71图36 (S J 14)



第71图39 (S J 14)



第71图40 (S J 14)



第71图43 (S J 14)



第71图44 (S J 14)



第72图46 (S J 14)



第72图52 (S J 14)



第75图 2 (S J 15)



第75图 4 (S J 15)



第75图 7 (S J 15)



第75图 8 (S J 15)



第75図11 (S J 15)



第75図22 (S J 15)



第75図23 (S J 15)



第75図24 (S J 15)



第75図26 (S J 15)



第76図28 (S J 15)



第76図30 (S J 15)



第76図31 (S J 15)



第76図32 (S J 15)



第76図33 (S J 15)



第76図34 (S J 15)



第76図36 (S J 15)



第76図41 (S J 15) 1



第76図44 (S J 15)



第76図41 (S J 15) 2



第76図45 (S J 15)

図版 30



第77図51 (S J 15)



第77図64 (S J 15)



第81図11 (S J 16)



第81図14 (S J 16)



第81図16 (S J 16)



第81図17 (S J 16)



第81図18 (S J 16)



第81図19 (S J 16)



第81図20 (S J 16)



第81図21 (S J 16)



第81図24 (S J 16)



第81図25 (S J 16)



第81図26 (S J 16)



第81図29 (S J 16)



第81図31 (S J 16)



第82図33 (S J 16)



第82図37 (S J 16)



第83図49 (S J 16)



第83図50 (S J 16)



第83図52 (S J 16)



第83図54 (S J 16)



第83図65 (S J 16)



第84図 4 (S J 17)



第84図 5 (S J 17)



第84図10 (S J 17)



第91図 1 (S J 21)



第91図 3 (S J 21)



第91図 7 (S J 21)



第91図10 (S J 21)



第91図13 (S J 21)

図版 32



第91図16 (S J 21)



第91図17 (S J 21)



第91図20 (S J 21)



第91図22 (S J 21)



第91図23 (S J 21)



第91図24 (S J 21)



第92図30 (S J 21)



第92図32 (S J 21)



第93図 1 (S J 22)



第93図 5 (S J 22)



第94図 1 (S J 21・22)



第94図 10 (S J 21・22)



第94図 11 (S J 21・22)



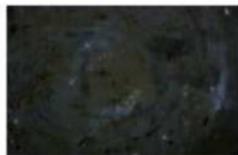
第95図 1 (S J 23)



第95図 2 (S J 23)



第109図2 (S B 2)



第109図2 (S B 2) 墨書き



第110図2 (S B 3)



第110図2 (S B 3) 外面墨書き



第110図2 (S B 3) 内面墨書き



第126図1 (S K 2)



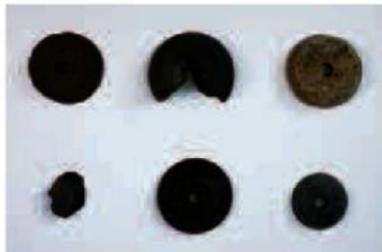
第126図6 (S K 6)



第127図18 (調査区)



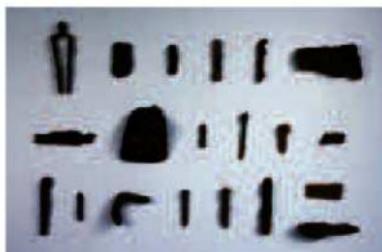
第127図19 (調査区)



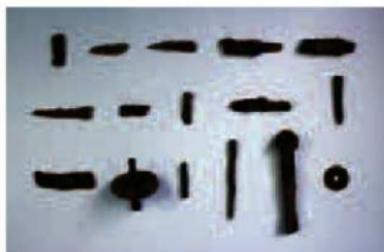
石・土製紡錘車



第1～5号竪穴建物跡出土金属製品

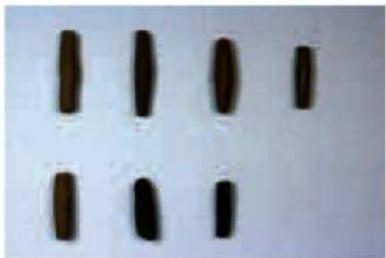


第8・9・11・13・15号竪穴建物跡出土
金属製品



第16・17・20・21・23号竪穴建物跡、
第2号土坑、調査区出土金属製品

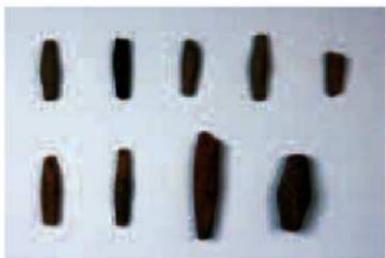
図版 34



第4号竪穴建物跡出土土錘



第4号竪穴建物跡出土磨痕石、編物石



第5号竪穴建物跡出土土錘



第5号竪穴建物跡出土磁石、編物石



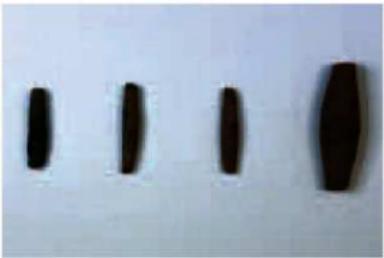
第6号竪穴建物跡出土土錘、編物石(1)



第6号竪穴建物跡出土編物石(2)



第6号竪穴建物跡出土編物石(3)



第8号竪穴建物跡出土土錘



第8号竪穴建物跡出土砥石、編物石



第9号竪穴建物跡出土土錘、編物石



第9号竪穴建物跡出土編物石、砥石



第11号竪穴建物跡出土砥石、磨痕石、編物石



第12号竪穴建物跡出土編物石、磨痕石



第15号竪穴建物跡出土土錘、磨痕石、編物石



第16号竪穴建物跡出土土錘、砥石、編物石



第14号竪穴建物跡出土須恵器

報告書抄録

| ふりがな | しもごういせき よん | | | | | | | |
|---------------|--|----------------------------|-----------------------------|---|--|----------------------|------------|--|
| 書名 | 下郷遺跡 IV | | | | | | | |
| 副書名 | 北通り線建設工事に伴う発掘調査 | | | | | | | |
| 卷次 | IV | | | | | | | |
| シリーズ名 | 埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書 | | | | | | | |
| シリーズ番号 | 第120集 | | | | | | | |
| 編著者名 | 知久裕昭 | | | | | | | |
| 編集機関 | 深谷市教育委員会 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒366-0823 埼玉県深谷市本住町17-3 TEL 048-572-9581 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 2010年12月24日 | | | | | | | |
| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所 在 地 | コ 一 ド | 北 緯 | 東 経 | 調 査 期 間 | 調 査 面 積 | 調 査 原 因 | |
| 下郷遺跡 (6次) | 深谷市東方 字伊丹2807、 字北下郷2736 | 11218 | 029 | 36 19 15 | 139 32 45 20050811 ～ 20060228 | 2,000 m ² | 道路建設 | |
| 所収遺跡名 | 種 別 | 主な時代 | 主 な 遺 構 | 主な遺物 | 特 記 事 項 | | | |
| 下郷遺跡 | 集落跡 | 古墳時代 奈良時代 平安時代 中世 | 堅穴建物跡 掘立柱建物跡 土坑 中世 | 25棟 6棟 50基 土師器 須恵器 土製品 石製品 鐵製品 中世陶器 | | | | |

埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書 第120集

下郷遺跡 IV

印 刷 平成22年12月20日
発 行 平成22年12月24日

発行 埼玉県深谷市教育委員会
